# WX01J R(F)

# 取扱説明書


はじめに／目次

1　ご使用になる前に

2　基本機能

3　メール

4　パソコンとの連携

5　セキュリティ（安全）

6　便利な使いかた

7　モードの活用

8　困ったときは

付録／索引など


JRC 日本無線株式會社

# はじめに

このたびは、「WX01J R(F)」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しくお使いください。

## ご使用にあたって

- ウィルコムのサービスのご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）に記載されているウィルコム法人様専用窓口へお問い合わせください。
- できるだけ電波の強い所でご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 4 本あるいは 5 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所､人の多い場所や静かな場所では､まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 繁華街など人通りの多い所では、通行の妨げにならない場所でご使用ください。
- オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。
- 固定電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。
- 電気製品や OA 機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。
- お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モバイル･リサイクル･ネットワーク
携帯電話･PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要となりました電話機本体､電池パック､ACアダプタおよび卓上ホルダは家庭ゴミとして捨てずに、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

# 本書の見かた

本書では、以下のように操作方法について説明しています。

**章タイトル**

**項目タイトル**

**操作手順**

本電話機を操作する際の操作手順を順に説明しています。

**お知らせ / ご注意**

機能の補足説明や、操作上の注意事項などを記載しています。

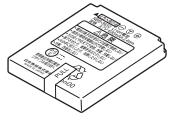
本書では、画面最下行に表示されたガイダンス表示（☞ 1-11 ページ）を ✉◉⋯ を押して実行する場合、◉（発信）のようにカッコ内にガイダンス表示の内容を表記します。
ただし、◉（決定）、◉（OK）、⋯（メニュー）および待ち受け画面でガイダンス表示がないときは、略して ✉、◉、⋯ のみを表示しています。

# セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万一、不足のもの、破損品、クイックマニュアルの乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　WX01J R(F)
【1 台】

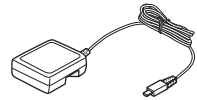
●リチウムイオン電池パック　NBB-9650
【1 個】



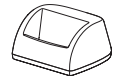
●クイックマニュアル【1 部】

●電池カバー【1 個】

● AC アダプタ　NBA-9650【1 台】



●卓上ホルダ　NQE-9530【1 台】

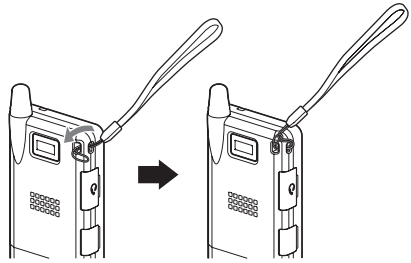


**お知らせ**

- 本体画面に貼られている保護シールは、はがしてお使いください。

## ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。



**お知らせ**

- ハンドストラップは同梱しておりません。

# こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

## 使う前の準備

お使いになる前に、充電や日時の設定などの準備が必要です。

☞ 1 章　ご使用になる前に（1-1 ページ）

## 電話で話そう

電話帳や留守録音など便利な機能がたくさんあります。

☞ 2 章　基本機能（2-1 ページ）

## メールを使おう

パソコンや他社の携帯電話にもメールが送れます。

☞ 3 章　メール（3-1 ページ）

## 赤外線通信

本電話機どうしや赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で、電話帳やプロフィールのデータをやり取りできます。

☞赤外線通信を行う（2-42 ページ）

## スケジュールを管理しよう

予定を登録しておけば、音とメッセージで予定が近づいたことを知らせてくれます。

☞スケジュール機能を利用する（6-20 ページ）

## 安全に使えます

番号非通知の電話の拒否や暗証番号によるロックなど、安全のための機能も充実しています。

☞ 5 章　セキュリティ（安全）（5-1 ページ）

## グループ通話機能

本電話機どうしやグループ通話機能に対応した他の電話機との間で、トランシーバ通話をすることができます。

☞グループモードで使う（7-9 ページ）

## オフィスシステムに対応

事業所コードレスシステムの子機として利用できます。

☞オフィスモードで使う（7-3 ページ）

# 目　次


**はじめに** ····· 0-1
**本書の見かた** ····· 0-2
**セットを確認する** ····· 0-3
　ハンドストラップを取り付けるには ····· 0-3
**こんなことができます** ····· 0-4
**目　次** ····· 0-5
**安全上のご注意—必ずお守りください** ····· 0-8
**電波に関するご注意** ····· 0-15
**取扱い上のお願い** ····· 0-16


## 1 ご使用になる前に


**充電する** ····· 1-2
　電池パックを取り付ける ····· 1-2
　ACアダプタで充電する ····· 1-4
　卓上ホルダで充電する ····· 1-5
**電源を入れる／切る** ····· 1-7
　電源を入れる ····· 1-7
　電源を切る ····· 1-7
　電源 OFF 確認メッセージの表示を設定する 1-7
**各部の名前** ····· 1-8
　アンテナの使いかた ····· 1-9
**画面の見かた** ····· 1-10
　ガイダンス表示について ····· 1-11
**ボタンの使いかた** ····· 1-12
　項目の選択と決定のしかた ····· 1-12
　メインメニューについて ····· 1-13
　共通のボタン操作 ····· 1-13
**日時を設定する** ····· 1-15


## 2 基本機能


**電話をかける（発信）** ····· 2-2
　電話をかける ····· 2-2
　利用できるサービス ····· 2-4
　利用できないサービス ····· 2-4
　より強い電波を探す（パワーサーチ） ····· 2-5
　通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する ····· 2-5
　記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ） ····· 2-6
　ポーズを利用する ····· 2-8
**電話を受ける（着信）** ····· 2-9
　電話がかかってきたときの画面表示 ····· 2-10
　電話に出ないとき ····· 2-10
　通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信） ····· 2-11
**通話中の操作** ····· 2-12
　受話音量を調節する ····· 2-12
　通話を保留にする ····· 2-12
　通話を録音する（通話録音） ····· 2-12
　小声で話す（ひそひそ通話） ····· 2-14
　手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話） ····· 2-14
　通話中に電話帳を検索する ····· 2-14
　通話中にスケジュールを確認する ····· 2-14
　通話中に電話番号をメモする（番号メモ） ····· 2-15
　通話中にメモ帳に入力する ····· 2-15
　通話中に自分の電話番号を確認する ····· 2-15
　通話中に電話番号を送出する ····· 2-16
**文字を入力する** ····· 2-17
　文字入力画面について ····· 2-17
　入力モードについて ····· 2-17
　入力する文字の種類を切り替える ····· 2-18
　ひらがなや漢字を入力する（漢字モード） ····· 2-19
　カタカナを入力する（カタカナモード） ····· 2-22
　英字を入力する（英字モード） ····· 2-23
　数字を入力する（数字モード） ····· 2-24
　改行を挿入する ····· 2-24
　記号や絵文字を入力する ····· 2-25
　定型文を引用する ····· 2-25
　文章を編集する ····· 2-27
　ポケベル方式で入力する ····· 2-29
**電話帳を利用する** ····· 2-31
　電話帳に登録する ····· 2-32
　電話帳を使って電話をかける ····· 2-35
　短縮番号で電話をかける ····· 2-38
　電話帳の内容を編集する ····· 2-39
　電話帳の内容を削除する ····· 2-39
　電話帳のグループ設定を変更する ····· 2-40
　電話帳ロック中の着信表示を設定する ····· 2-41
　シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示） ····· 2-41
　電話帳の登録件数を確認する（登録件数表示） ····· 2-41
　赤外線通信を行う ····· 2-42
**音を調整する** ····· 2-45
　受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量） ····· 2-45
　ひそひそ通話を設定する（ひそひそ設定） ····· 2-45
　着信音を設定する ····· 2-45
　マナーモードを設定する ····· 2-48
　特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント） ····· 2-50
　安全運転モードを設定する ····· 2-51
　キー確認音を設定する（効果音） ····· 2-52
　成功／エラー音を設定する（効果音） ····· 2-52
　圏外／充電警告音を設定する（効果音） ····· 2-53

送達確認音を設定する（効果音）……2-53
相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）……2-53
**留守録音を設定する**……2-54
留守録音を設定／解除する……2-54
録音されたメッセージを再生／削除する……2-54
**マイメニューを利用する**……2-56
マイメニューに登録する……2-56
マイメニューから操作する……2-56
マイメニューから削除する……2-56

## 3 メール

**メールについて**……3-2
E メールについて……3-2
ライトメールについて……3-3
メール BOX について……3-4
メールメニューを表示する……3-4
**E メールアドレスを作成する**……3-5
E メールアドレス設定の流れ……3-5
オンラインサインアップを行う……3-6
**E メールを作成送信する**……3-7
E メールを新規に作成して送信する……3-7
E メールを保存し、まとめて送信する……3-9
**受信したメールを読む**……3-11
E メールを受信する……3-11
受信メールを表示する……3-12
受信 BOX のフォルダを活用する……3-14
**送信メールを読む**……3-17
送信メールを表示する……3-17
送信メールを編集して送信する……3-17
**メールを管理する**……3-18
メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する……3-18
メール本文の文字をコピーする……3-19
メールを削除する……3-19
メールを保護する……3-20
メールを並べ替える（ソート）……3-21
メールを抽出する（フィルタ）……3-22
メールのヘッダ情報を表示する……3-22
メール BOX の使用状況を見る……3-23
**E メールの環境を設定する**……3-24
本文の引用について設定する……3-24
フォルダ表示を切り替える……3-24
E メール自動受信機能を設定する……3-25
送信メールに表示する名前を設定する……3-25
署名を設定する……3-26
返信メールアドレスを設定する……3-26
E メールをサーバに保存する……3-27
E メールの受信行数を設定する……3-27
**プロバイダのメールアカウントを利用する**……3-29
メールアカウントを設定する……3-29
**ライトメールを使用する**……3-32
ライトメールを作成して送信する……3-32
受信したライトメールを読む……3-35
**接続先を変更する（インターネット設定）**……3-37
ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）……3-37
接続モードを設定する（接続モード）……3-41
接続モードを選択する……3-42
接続モードを初期化する……3-43

## 4 パソコンとの連携

**パソコンと接続する**……4-2
**USB ドライバのインストール**……4-3
USB ドライバをインストールする……4-3

## 5 セキュリティ（安全）

**発信者番号通知を設定する（番号通知）**……5-2
**番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）**……5-3
**特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）**……5-4
着信拒否番号を登録する……5-4
着信拒否番号を削除する……5-5
**暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）**5-6
暗証番号を設定する……5-6
暗証番号で認証を行う……5-6
**ボタン操作をロックする（キーロック）**……5-7
キーロックを設定する……5-7
キーロックを解除する……5-7
**ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）**……5-8
キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）……5-8
無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）……5-9
**紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック〔遠隔ロック〕）**……5-10
リモートロック機能の概要……5-10
リモートロック機能の設定をする……5-11
リモートロックを実行する……5-13
**ユーザの情報をロックする（機能ロック）**……5-15
ロックする項目を設定する……5-15
機能ロック一覧……5-16
**管理者による制限を行う（管理者ロック）**……5-17
管理者ロック機能の概要……5-17
管理者パスワードを設定する……5-17
管理者パスワードで認証を行う……5-18
管理者ロック機能の設定をする……5-18
**設定をリセットする（リセット）**……5-25

## 6 便利な使いかた

**メニュー一覧表**……6-2

**いろいろな機能を設定する** ····· 6-5
プロフィールを表示する ····· 6-5
USB で充電する ····· 6-7
日時表示を設定する ····· 6-8
日時の自動補正を設定する ····· 6-8
カレンダーを設定する ····· 6-9
バックライトを設定する ····· 6-9
着信ランプを設定する ····· 6-12
オンラインサインアップ中の着信を設定する ····· 6-13
省電力モードを設定する ····· 6-13
サブアドレスを設定する ····· 6-14
エニーキーアンサーを設定する ····· 6-15
表示言語を切り替える ····· 6-15
壁紙の表示を設定する ····· 6-15
**カスタムボタンを設定する** ····· 6-16
カスタムメニューと短押し／長押しでの呼び出しについて ····· 6-16
カスタムメニューに登録する ····· 6-17
カスタムメニューに短押し／長押しを設定する ····· 6-18
ガイダンスを編集する ····· 6-19
**スケジュール機能を利用する** ····· 6-20
カレンダーを表示する ····· 6-20
スケジュールを登録する ····· 6-21
スケジュールの内容を表示する ····· 6-24
スケジュールの内容を変更する ····· 6-26
スケジュールを削除する ····· 6-26
**アラームを利用する** ····· 6-28
**電卓を利用する** ····· 6-30
**メモ録音を利用する** ····· 6-31
音声を録音する ····· 6-31
音声を再生する ····· 6-32
録音データを削除する ····· 6-32
**メモ帳を利用する** ····· 6-33
メモを入力する ····· 6-33
メモを表示する ····· 6-33
メモを削除する ····· 6-33
**位置情報を利用する** ····· 6-34
位置情報通知機能の概要 ····· 6-34
位置情報通知 LI を設定する ····· 6-36
自己位置通知機能を利用する ····· 6-36
位置検索機能の設定をする ····· 6-36
所在位置を登録する ····· 6-37
**イヤホンマイクを利用する** ····· 6-38
イヤホンマイク端子の使いかた ····· 6-38
イヤホン装着時の鳴動先を設定する ····· 6-38
イヤホン自動応答を設定する ····· 6-38
イヤホン装着時に電話を受ける ····· 6-39
**国際電話をかける（国際電話サービス）** ····· 6-40
**ウィルコムのサービスを利用する** ····· 6-41
分計サービスを利用する（有料） ····· 6-41
留守番電話サービスを利用する（有料） ··· 6-42
着信転送サービスを利用する ····· 6-42
ビジネス安心サービスを利用する（有料） · 6-43
**ソフトウェアを更新する** ····· 6-46

## 7 モードの活用

**利用するモードを選ぶ** ····· 7-2
待受モードについて ····· 7-2
待受モードを切り替える（待受モード設定） 7-2
**オフィスモードで使う** ····· 7-3
電話をかける ····· 7-3
電話を受ける ····· 7-4
電話を転送する ····· 7-4
外線発信番号を登録する（外線発信番号） · 7-4
自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加） ····· 7-4
優先発信するモードを切り替える（優先発信切替） ····· 7-5
優先発信するモードを一時的に切り替える · 7-5
発信時に発信方法の指定をする（発信時選択） ····· 7-5
確認メッセージの表示を設定する（ショートカット確認画面） ····· 7-6
すべて公衆モードで発信する（070 強制公衆発信） ····· 7-6
電話帳で発信方法の指定をする ····· 7-7
オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替） ····· 7-8
オフィス E メールを送受信する ····· 7-8
オフィスモードでのその他の機能 ····· 7-8
**グループモードで使う** ····· 7-9
グループを登録する ····· 7-9
グループ登録を削除する ····· 7-10
相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕 ····· 7-11
相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕 ····· 7-11

## 8 困ったときは

**故障かな？ちょっと確認してください** ····· 8-2
**エラーメッセージ一覧** ····· 8-6

## 付　録

**記号・絵文字一覧** ····· A-2
**定格・仕様** ····· A-3
**商標・登録商標** ····· A-4
**索　引** ····· A-5
**お問い合わせ窓口** ····· A-9
本電話機に関するご相談 ····· A-9

# 安全上のご注意—必ずお守りください

- **ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後はこの取扱説明書を大切に保管してください。**
- **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

| | | |
|---|---|---|
| | **危険** | この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| | **警告** | この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| | **注意** | この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

■ 次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。 | | |
| 分解禁止 | 分解してはいけないことを示す記号です。 | 水ぬれ禁止 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| ぬれ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 | 接触禁止 | 触れてはいけないことを示す記号です。 |
| 指示 | 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。 | 電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |
| 注意 | 注意を示す記号です。 | | |

［免責事項について］

- 地震、雷、風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器（パソコンなど）、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取扱いによって、ダウンロードしたデータなどが変化または消失することがありますが、これらデータの修復により生じた損害、逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

## 電話機本体、電池パック、ACアダプタおよび卓上ホルダの取扱いについて

### ⚠ 危　険

指示

**本電話機に使用する電池パック、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダは、下記指定のものをご使用ください。**

・AC アダプタ　NBA-9650
・リチウムイオン電池パック　NBB-9650
・卓上ホルダ　NQE-9530

上記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。**

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発のおそれがあります。

禁止

**電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダを入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。**

電池パックの液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火や、本電話機、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダの発熱、発煙、発火や故障のおそれがあります。

禁止

**直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。**

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障のおそれがあります。

### ⚠ 警　告

禁止

**強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**

電池パックの液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

指示

**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んだり、けがなどのおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

### ⚠ 注　意

指示

**子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。**

けがなどのおそれがあります。

禁止

**湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。**

火災や故障のおそれがあります。

禁止

**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**

落下して、けがなどのおそれがあります。

注意

**本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなるおそれがあります。**

注意

**直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそば、こたつの中などの高温の場所での使用、放置はしないでください。**

ケースの一部が熱くなり、やけどのおそれがあります。

## 電話機本体の取扱いについて

# ⚠ 警　告

指示

**ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。**
難聴になるおそれがあります。

指示

**本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、すぐに電源を切ってください。**
そのままご使用になると、火災のおそれがあります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

禁止

**アンテナ、ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。**
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損のおそれがあります。

指示

**航空機内など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。**
電子機器に影響をおよぼすおそれがあります。

指示

**高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの影響を与えるおそれがあります。
＊ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

**屋外で使用中に雷が発生した場合は、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。**
落雷、感電のおそれがあります。

指示

**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**
振動や着信音が身体に影響を与えるおそれがあります。

禁止

**医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。**
本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障のおそれがあります。

禁止

**赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与えるおそれがあります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えるおそれがあります。**

指示

**満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。**
電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与えるおそれがあります。

禁止

**自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。**
安全走行を損ない、事故のおそれがあります。乗り物を運転しながら PHS 電話機等を使用することは、危険なため法律で禁止されており罰則の対象となります。自動車や自転車等を安全なところに停車させてからご使用ください。

禁止

**本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。**
感電や故障のおそれがあります。

分解禁止

**分解、改造をしないでください。**
火災、けがなどの事故または故障のおそれがあります。

指示

**病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。**
医用電気機器に影響をおよぼすおそれがあります。

禁止

**人の多い場所では、使用しないでください。**
アンテナが人に当たり、けがのおそれがあります。

# ⚠ 注　意

禁止

**ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、カバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**
破損や故障のおそれがあります。

注意

**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。**
安全走行を損なうおそれがあります。

禁止

**本電話機を胸ポケットに入れたまま、かがまないでください。**
本電話機が落下して、故障あるいは人に当たり、けがのおそれがあります。

禁止

**磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうおそれがあります。

禁止

**本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。**
転んだり壊したりして、けがのおそれがあります。

注意

**建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れるおそれがあります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなるおそれがあります。**

指示

**本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。**
本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなるおそれがあります。

指示

**外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなるおそれがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。**
雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などの AV・OA 機器および自動車、オートバイなどがあります。

## 電池パックの取扱いについて

この電池パックは有機溶媒等の可燃物を使用しています。取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

| 表　示 | 電池の種類 |
|---|---|
| Li-ion00 | リチウムイオン電池 |

# ⚠ 危　険

禁止

**電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。**
高温になると危険を防止するための保護装置が働いて充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。また、熱により樹脂セパレータが損傷した場合には、電池パックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

次ページにつづく

禁止

**電池パックには、プラス・マイナスの向きが決められています。電池パックを本電話機にうまく装着できない場合は無理に装着しないでください。**
**また電池パックのプラス・マイナスの向きを確かめてから装着してください。**
電池パックのプラス・マイナスを逆に装着すると、電池パックが逆に充電されて内部で異常な化学反応が起こったり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。**
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックが破裂したり、変形したりして、内部でショート状態になり発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

指示

**電池パックの充電には、専用の AC アダプタおよび卓上ホルダまたはパソコンと USB ケーブルを使用してください。**
その他の改造した充電器などで充電しますと、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

指示

**電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。**
皮膚に障害を起すおそれがあります。

接触禁止

**電池パックの内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。**
素手でさわると、やけどをするおそれがあります。万一、目に入った場合は、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗い落として、すぐに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える結果となります。

水ぬれ禁止

**水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。**
電池パックの発熱、発煙、破裂、発火や感電、故障のおそれがあります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

**電池パックの(+)と(−)の端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火、感電のおそれがあります。また、針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱したりするおそれがあります。

分解禁止

**分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。**
電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。また熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。**
発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。**
高い電圧を加えられることによって電池パックに過大な電流が流れ、発煙、破裂、発火のおそれがあります。この電池パックを指定機器以外の用途に使いますと、電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

## ⚠ 警　告

指示

**電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください。**
液漏れした溶解液に引火し、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**所定の充電時間（AC アダプタまたは USB 高速充電：約 2.5 時間、USB 低速充電：約 15 時間）を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**
電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

禁止

**電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取り外し、使用しないでください。**
電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火のおそれがあります。

ぬれ手禁止

**濡れた手で電池パックを交換しないでください。**

## ⚠ 注　意

禁止

**一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊のおそれがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

**電池パックの充電温度範囲は 10℃～ 40℃です。**
この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱のおそれとなったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

# ＡＣアダプタおよび卓上ホルダの取扱いについて

## ⚠ 警　告

指示

**ＡＣアダプタには必ず AC100V を使用してください。**
誤った電圧で使用すると火災、故障のおそれがあります。

指示

**ＡＣアダプタの電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災のおそれがあります。

指示

**ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。**
感電、ショート、火災のおそれがあります。

電源プラグを抜く

**万一、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダを落としたり、破損したりしたときは、すぐにＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**
そのまま使用されると、火災、感電のおそれがありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

禁止

**風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。**
感電のおそれがあります。

禁止

**充電中はＡＣアダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**
本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障のおそれがあります。

禁止

**コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
故障、けが、感電、火災のおそれがあります。

禁止

**コードなどを持ってＡＣアダプタおよび卓上ホルダを振り回さないでください。**
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損のおそれがあります。

禁止

**コードが傷んだら使用しないでください。**
感電、火災、故障のおそれがあります。

次ページにつづく

禁止

**コードを無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。**
故障や感電、火災のおそれがあります。

禁止

**ＡＣアダプタおよび卓上ホルダのすき間などに金属や異物を差し込まないでください。**
感電や故障のおそれがあります。

禁止

**テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。**
発熱、火災のおそれがあります。

電源プラグを抜く

**万一、水や海水、ペットの尿などの液体が入った場合は、すぐにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。**
感電、発熱、火災のおそれがあります。

電源プラグを抜く

**ＡＣアダプタおよび卓上ホルダから煙が出たり、異臭がするときは、すぐにＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。**
そのままご使用になると、火災や感電のおそれがあります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグを抜く

**近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。**
火災、感電、故障のおそれがあります。

電源プラグを抜く

**充電終了後はＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。**
火災、故障のおそれがあります。

分解禁止

**分解、改造はしないでください。**
感電、火災、故障のおそれがあります。

水ぬれ禁止

**ＡＣアダプタの電源プラグを濡らさないでください。**
発熱や感電、故障のおそれがあります。使用場所、取扱いにご注意ください。

ぬれ手禁止

**濡れた手でＡＣアダプタの電源プラグ、コンセントおよび卓上ホルダに触れないでください。**

## ⚠ 注　意

電源プラグを抜く

**お手入れの際は、ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。**
感電のおそれがあります。

指示

**ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。**
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

禁止

**濡れた電池パックを充電しないでください。**
発熱、発火、破裂のおそれがあります。

禁止

**ＡＣアダプタおよび卓上ホルダに乗らないでください。特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。**
転んだり壊したりして、けがのおそれがあります。

禁止

**ＡＣアダプタのコードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。**
感電や火災のおそれがあります。

# 電波に関するご注意

- 本電話機は、1.9GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話です。この周波数帯では PHS の無線機のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- 本電話機は、同一周波数を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本電話機から他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに電源を OFF にして電波の発射を停止し、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行ってください。
- 上記事例が発生したなど、何かお困りのことが起きた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

# 取扱い上のお願い

## ■はじめに

**この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。**
製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

## ■共通のお願い

**本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、ズボンやスカートの後ろポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

**お手入れは乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。**
濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

**水につけたりしないでください。**
お風呂の中や水の中につけたりしないでください。また、雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

**汗や水がついたときには、すぐに布で拭き取ってください。**
汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた柔らかい清潔な布、綿棒などで拭いてください。

**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

## ■電話機本体についてのお願い

**極端な高温、低温はさけてください。**
温度は 0℃～ 40℃、湿度は 35% ～ 85% の範囲でお使いください。

**本電話機を直射日光のあたる場所や、ほこりの多い場所ではご使用にならないでください。**

**固定電話やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。**
固定電話やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

**電子レンジなど、電磁波が発生する機器のそばでのご使用は、雑音が入ったり、通話が途切れる場合があります。**

**電子機器から発生するノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。**

**お手入れは、乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。**
画面やケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい清潔な布（めがね拭きなど）で行ってください。
また、画面に水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

## ■電池パックについてのお願い

**充電は、適正な周囲温度（10℃～ 40℃）の場所で行ってください。**
初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。**

**直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。**

**長時間使用しないときは、高温多湿を避けて、本電話機から外して保管してください。**

**電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが安全上問題ありません。**

**電池パックは電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。**

**電池パックは消耗品です。**
使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

**不要になった電池パックは家庭ゴミとして捨てず、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマーク（☞ 0-1 ページ）のあるお店へお持ちください。**
この製品は、リチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルのときは、端子にテープなどを貼り絶縁してください。

## ■ＡＣアダプタおよび卓上ホルダについてのお願い

周囲の温度が 10℃～ 40℃の場所でご使用ください。

**次のような場所では充電しないでください。**
湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作や故障の原因となります。）
固定電話やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

**充電中、ＡＣアダプタおよび卓上ホルダが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**
抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

# 1

# ご使用になる前に

充電する…… 1-2
電源を入れる／切る…… 1-7
各部の名前…… 1-8
画面の見かた…… 1-10
ボタンの使いかた…… 1-12
日時を設定する…… 1-15

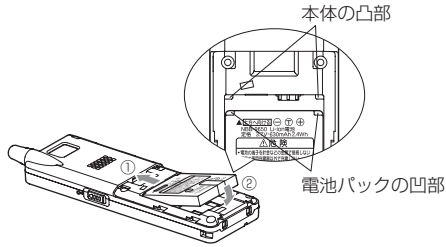
# 充電する

## 電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

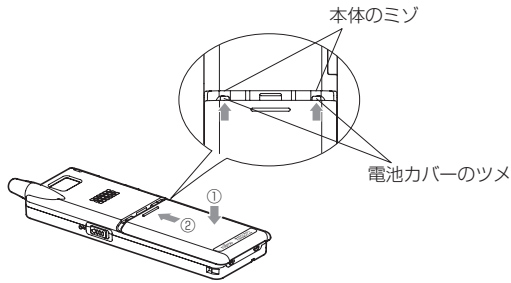
### 1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。




### 2 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。




### 3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

**ご注意**

- 電池カバーはゆるみのないようにしっかり閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出すおそれがあります。

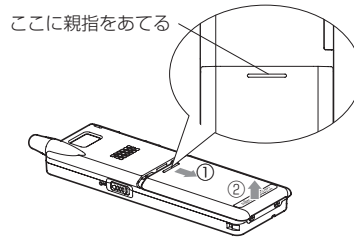
## 電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約 1 年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。
電池パックは次の手順で交換してください。

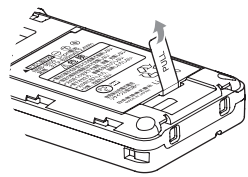
### 1 電源が入っているときは、PWR を約 3 秒以上押して電源を切る

### 2 電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。




### 3 電池パックの PULL テープを引っ張り電池パックを取り外す




### 4 新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

「充電する」（☞ 1-2 ページ）の手順 2 にしたがって、電池カバーを確実に取り付けてください。

### 5 充電する

「ＡＣアダプタで充電する」（☞ 1-4 ページ）

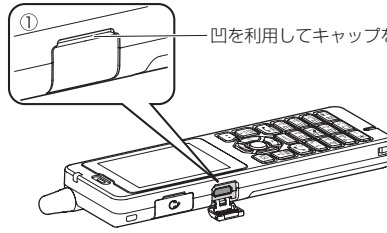
**ご注意**

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火のおそれがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

# AC アダプタで充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

## 1 本電話機の USB 端子のキャップを開ける



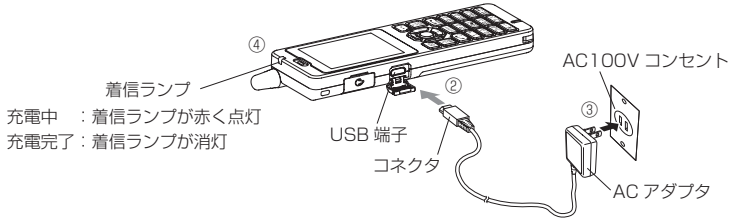

## 2 本電話機の USB 端子に AC アダプタのコネクタを接続する

## 3 AC アダプタをコンセント（AC100V）に差し込む

充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。

## 4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約 2.5 時間かかります。




## 5 充電が完了したらコンセントから抜きACアダプタのコネクタを本電話機から取り外す

充電が完了したら USB 端子のキャップを閉じてください。

**ご注意**

- 電池パックを外した状態で本電話機を充電しないでください。
- AC アダプタでの充電は、USB 充電の設定にかかわらず、「高速」で行われます。「USB で充電する」（☞ 6-7 ページ）
- AC アダプタのコネクタを、本電話機以外に挿さないでください。
- AC アダプタのコネクタを USB 端子に接続する際には、下図 A のようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図 B のようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB 端子やコネクタの先端部分を破損するおそれがあります。

（AC アダプタのコネクタを正面から見た図）

# 卓上ホルダで充電する

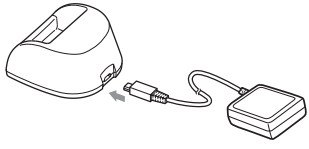
卓上ホルダと AC アダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダに置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

**ご注意**
- 必ず専用の卓上ホルダ（NQE-9530）をご使用ください。

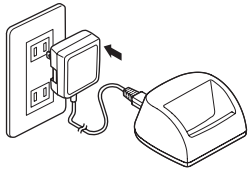
## 1 卓上ホルダの接続端子に AC アダプタのコネクタを接続する

**ご注意**
- AC アダプタのコネクタを卓上ホルダに接続する際には、下図 A のようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。
  下図 B のようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、卓上ホルダの接続端子やコネクタの先端部分を破損するおそれがあります。

（AC アダプタのコネクタを正面から見た図）

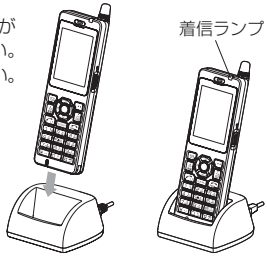


## 2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む



## 3 本電話機を卓上ホルダに置く

本電話機の背面底部を卓上ホルダの壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダのポケット内に確実に収まるように挿入してください。その際、若干の抵抗感がありますが、そのまま軽く押し下げてください。
本電話機を卓上ホルダに置くと、充電が始まります。
充電中　：着信ランプが赤く点灯
充電完了：着信ランプが消灯




## 4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約 2.5 時間かかります。

**ご注意**
- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダに置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダに逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子を時々清掃してください。端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダの置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートするおそれがあります。

**お知らせ**

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上ホルダに逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた柔らかい清潔な布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上ホルダに置き直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機、AC アダプタおよび卓上ホルダの一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上ホルダに戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンを USB ケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。
- 充電中に電池パックが高温となった場合、充電状態を示す着信ランプは点灯しながらも、安全のため電池パックへの充電電流を一時停止し、満充電にならないことがあります。この場合は、電池パックの温度が下がるのを待って、充電を再開してください。
- 充電開始後、着信ランプが一瞬消灯することがありますが、異常ではありません。

## 電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

十分にあります。
まだあります。
少なくなりました。
ほとんどありません。すぐに充電してください。

### ■ 電池がなくなったときは

「ピーピーピーピー」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。
通話中の場合は、「ピーピーピー」という警告音が鳴ってから約 3 分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

## 満充電にしたときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

| 待受／通話モード | 連続通話時間 | 連続待受時間※ |
|---|---|---|
| 公衆モード | 約 8.5 時間 | 約 660 時間 |

※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

**お知らせ**

- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間や連続待受時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力のご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

**1 [PWR] を約2秒以上押す**

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。

**お知らせ**

- アニメーションの途中で [PWR] を押すと、アニメーションが中断され、すぐに待ち受け画面が表示されます。
- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、公衆＋オフィスモード（デュアルモード）、公衆＋グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時は公衆モードに設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「モードの活用」（☞ 7-1 ページ）

## 電源を切る

**1 [PWR] を約3秒以上押す**

「電源を切りますか？」と表示されます。

**2 [◉] で「YES」を選択 → [◉]**

アニメーションが表示され、電源が切れます。

**お知らせ**

- 電源OFFメニューを「OFF」に設定している場合は、確認メッセージは表示されずに電源が切れます。

## 電源 OFF 確認メッセージの表示を設定する

電源を切る場合に、表示される確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ることができます。

**1 待ち受け画面で [◉] [5] [9] [3]**

「電源 OFF メニュー」が表示されます。

**2 次の項目より選択 → [◉]**

**1 ON**

電源を切る場合に確認メッセージを表示します。[◉] を押すと、「設定しました」と表示されます。

**2 OFF**

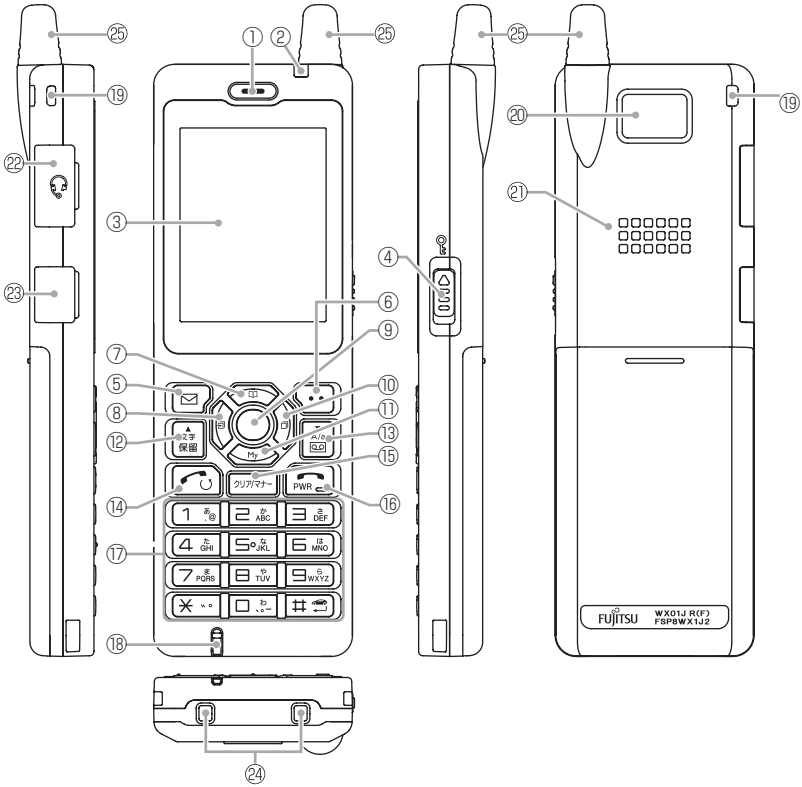
電源を切る場合に確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ります。[◉] を押すと、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

# 各部の名前

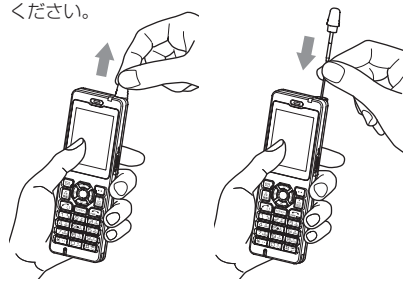
ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。



| | |
|---|---|
| ① | **受話口（レシーバ）** |
| ② | **着信ランプ**<br>着信があったときなどに点滅します。充電中は赤く点灯します。 |
| ③ | **画面** |
| ④ | **キーロックスイッチ**<br>キーロックの設定／解除を行います。 |
| ⑤ | **メールボタン**<br>メールメニューを表示します。<br>また、ソフトキーとして画面左下に表示された機能を実行します。 |
| ⑥ | **カスタムボタン**<br>よく使う電話番号や機能を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。登録した機能は待ち受け画面の右下にソフトキーとして表示されます。また、ソフトキーとして画面右下に表示された機能を実行します。 |
| ⑦ | **上ボタン**<br>画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。 |
| ⑧ | **左ボタン**<br>画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。 |
| ⑨ | **決定ボタン**<br>画面に表示された項目を確定します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、メインメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。 |
| ⑩ | **右ボタン**<br>画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。 |
| ⑪ | **下ボタン**<br>画面上の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、マイメニューを表示します。 |
| ⑫ | **保留ボタン**<br>通話中の電話を保留にします。 |
| ⑬ | **留守録ボタン**<br>電話に出られないときに相手にメッセージを伝えたり、相手の音声を録音します。留守録音を設定／解除できます。 |
| ⑭ | **発信・通話ボタン**<br>電話をかけたり受けたりするときに押します。 |
| ⑮ | **クリア／マナーボタン**<br>入力した番号・文字を消去します。また、操作中の前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。 |
| ⑯ | **電源・終話ボタン**<br>通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。 |
| ⑰ | **～、、ダイヤルボタン**<br>電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。 |
| ⑱ | **送話口（マイク）** |
| ⑲ | **ストラップ取り付け穴** |
| ⑳ | **赤外線ポート**<br>赤外線通信を行うときに使用します。 |
| ㉑ | **スピーカ** |
| ㉒ | **イヤホンマイク端子**<br>市販のイヤホンマイクを接続します。 |
| ㉓ | **USB 端子**<br>USB ケーブルでパソコンと接続できます。 |
| ㉔ | **充電端子** |
| ㉕ | **アンテナ** |

## アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納していても電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。



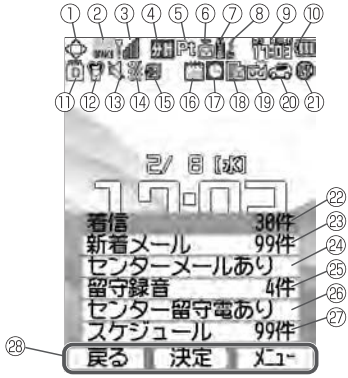
アンテナを伸ばすときは、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。

アンテナを収納するときは、アンテナの根元を持ってまっすぐに下ろしてください。

**お知らせ**

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると変形や破損の原因になります。

# 画面の見かた




| | | |
|---|---|---|
| ① | | 上下左右の項目を選択可能 |
| | | 上下の項目を選択可能 |
| | | 左右の項目を選択可能 |
| ② | | オフィスモード設定中 |
| | | 公衆／オフィスモード設定中<br>（優先発信：公衆） |
| | | 公衆／オフィスモード設定中<br>（優先発信：オフィス） |
| | | グループモード設定中 |
| | | 公衆／グループモード設定中<br>（優先発信：公衆） |
| | | 公衆／グループモード設定中<br>（優先発信：グループ） |
| ③ | | 受信している電波の強度<br>（公衆、オフィスモード）<br>電波が強いほど通話に適しています。<br>や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。電波の強い場所に移動してご使用ください。<br>弱い ← → 強い |
| | | 受信している電波の強度<br>（待受モードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定している場合）<br>公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態を表示します。（上が公衆、下がオフィス） |
| | | 圏外<br>通話できません。<br>電波の強い場所に移動してご使用ください。 |
| ④ | | 料金分計設定中 |
| | | 呼び出し中、通話中 |
| | | データ送受信中 |
| ⑤ | | パケット通信中 |
| | | 32kPIAFS 通信中 |
| | | 64kPIAFS のベストエフォート通信中 |
| | | 64kPIAFS のギャランティ通信中 |
| | | AO/DI 通信中<br>（1x パケットと 64kPIAFS の切り替え） |
| | | 未読メールあり |

| | | |
|---|---|---|
| ⑥ | | **E メールやライトメールの受信中** |
| | | **未受信のメールがサーバにあり** |
| ⑦ | | **USB ケーブルでパソコンと接続中**<br>データ送受信中は点滅します。 |
| ⑧ | | **USB ケーブル経由で高速充電中** |
| | | **USB ケーブル経由で低速充電中** |
| ⑨ | | **日付／時計表示** |
| ⑩ | | **電池残量**<br>要充電 ← → 十分 |
| | | **充電中** |
| | | **充電警告**<br>充電するよう警告を表示しているときに点滅します。 |
| ⑪ | | **ダイヤルロック設定中**<br>（キーロック起動、タイマ起動） |
| ⑫ | | **マナーモード設定中** |
| | | **オートサイレントモード設定中** |
| ⑬ | | **音量 オフ**<br>マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。 |
| ⑭ | | **バイブレーション オン**<br>マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。 |
| ⑮ | | **履歴が確認されていない不在着信あり** |
| ⑯ | | **未確認のスケジュールあり**<br>「通知しない」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。 |
| ⑰ | | **アラーム設定中** |
| ⑱ | | **留守番ネットワークセンターに留守録あり** |
| ⑲ | | **マナー留守録設定中** |
| | | **留守録設定中** |
| | | **未確認の留守録あり** |
| | | **留守録設定中に録音不可**<br>録音件数がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示されます。 |
| ⑳ | | **安全運転モード設定中** |
| ㉑ | | **位置情報機能設定中** |
| ㉒ | | **着信　○○件**<br>応答しなかった着信の件数が表示されます。 |

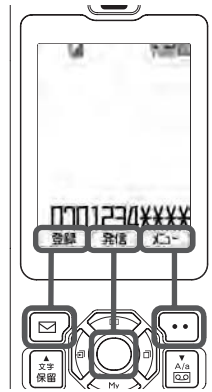
| | |
|---|---|
| ㉓ | **新着メール　○○件**<br>メールを受信したときに表示されます。 |
| ㉔ | **センターメールあり**<br>サーバにメールがあるときに表示されます。 |
| ㉕ | **留守録音　○○件**<br>留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。 |
| ㉖ | **センター留守電あり**<br>留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。 |
| ㉗ | **スケジュール　○○件**<br>「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。 |
| ㉘ | **ガイダンス表示** |

**お知らせ**

- 「㉒着信」の表示は最大 30 件です。30 件を越えた場合でも「30 件」と表示されます。
- 「㉓新着メール」「㉗スケジュール」の表示は最大 99 件です。99 件を越えた場合は「＊＊件」と表示されます。

## ガイダンス表示について

画面の下端には、✉、◉、•• のその時点の機能が表示されます。




**お知らせ**

- ガイダンス表示がないときは、•• はカスタムボタンとして機能する場合があります。「カスタムボタンを設定する」（☞ 6-16 ページ）

# ボタンの使いかた

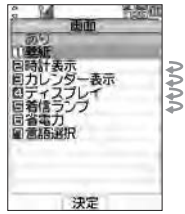
## 項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法があります。

### 上下左右ボタンで選択し、決定するには

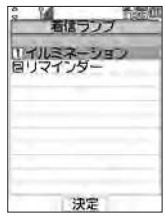
**1 上下左右ボタンで項目を選択する**

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、 または で項目を選択します。
例えば「壁紙」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、 を4回押します。




**2 を押す**

「着信ランプ」画面が表示されます。

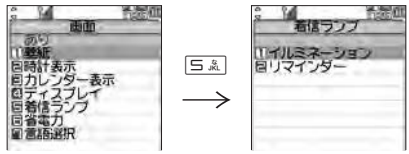



### ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に1、2、3…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が決定されます。

**1 ダイヤルボタンを押す**

例えば「着信ランプ」を決定する場合は 5 を押します。



# メインメニューについて

待ち受け画面で ◉ を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。
メインメニューの項目は ◎ で選択して ◉ を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。

1 メール
2 内線設定
3 アラーム
4 スケジュール
5 機能設定
6 電話帳
7 赤外線受信
8 アクセサリ
9 セキュリティ

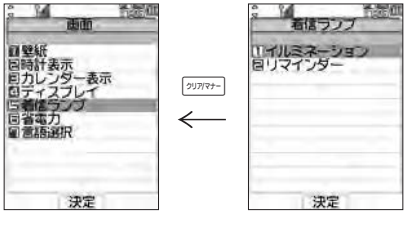
# 共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

## 前の画面に戻る

**1 クリア/マナー を押す**

操作の途中で クリア/マナー を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。




## 待ち受け画面に戻る

**1 PWR を押す**

**お知らせ**

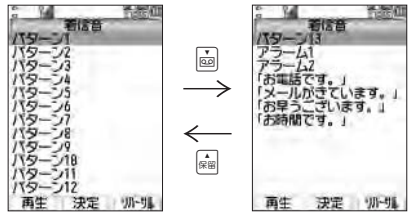
- 本書では、ボタンの操作を次のように簡略化しております。
  ◎ または ◎ を押すとき…◎
  ◉ または ◎ を押すとき…◉
  ◎、◎、◎ または ◎ を押すとき…◉

## スクロールする

一覧表示の画面では、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることができます。

### 1 ▼ または ▲ を押す

▼ で次の一覧を表示することができます。また、▲ で前の一覧に戻ることができます。




## 高速スクロールする

一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

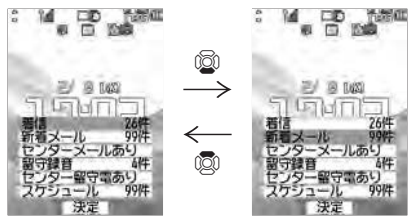
### 1 ▼ または ▲ を約1秒以上押したままにする

画面上のカーソルが高速にスクロールします。
▼、▲ も、ボタンを約1秒押したままにしておくと、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

## ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

### 1 ポップアップ表示時 ◉ で選択する




### 2 ◉ を押す

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

**ポップアップを消すには**
クリア/マナー を押します。

**ポップアップを再表示するには**
◉ を約 1 秒以上押します。

# 日時を設定する

日付・時刻は、オンラインサインアップ（☞3-6ページ）を行うと自動的に設定されるため、通常は変更する必要はありません。
オンラインサインアップを行わない場合は、次の手順で日時を設定してください。

**ご注意**

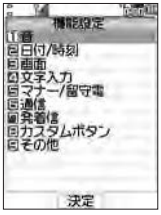
- 電池パックを外したり、完全に使い切ると、設定した日時がリセットされ、正しく表示されなくなります。その場合は、再度日時を設定し直してください。

**1 待ち受け画面で ◉**

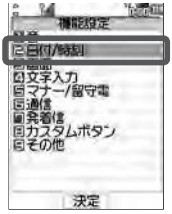
メインメニューが表示されます。

**2 ◉ で「機能設定」を選択 → ◉**

「機能設定」画面が表示されます。




**3 ◉ で「日付／時刻」を選択する**




**4 ◉ を押す**

「日付／時刻」画面が表示されます。

ここに現在の設定内容が表示されます

**5 ◉ で「時計設定」を選択 → ◉**

「時計設定」画面が表示されます。

**6 で年月日の直したい箇所にカーソル（点滅する四角）を移動し、 ～ で正しい数字を入力する**

年は、西暦の下 2 桁だけが変更できます。
1 桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて「01」のように入力してください。

カーソル

**7 年月日を直したら でカーソルを時刻側に移動する**

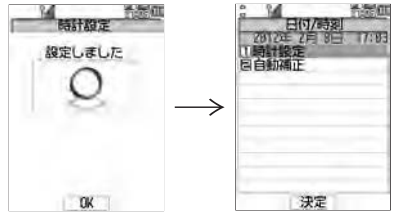
で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。

**8 で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、 ～ で正しい数字を入力する**

時刻は 24 時間制で入力します。

**9 正しい日時に合わせたら を押す**

日時が設定され、「設定しました」と表示されます。




**10 を押す**

待ち受け画面に戻ります。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「2012 年 1 月 1 日 00：00」に設定されています。
- 時計の精度は、1 ヶ月に± 60 秒程度です（25℃常温の場合）。
- 時計の表示形式を変えることもできます。「日時表示を設定する」（☞ 6-8 ページ）
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「日時の自動補正を設定する」（☞ 6-8 ページ）

# 2

# 基本機能

電話をかける（発信）…… 2-2
電話を受ける（着信）…… 2-9
通話中の操作…… 2-12
文字を入力する…… 2-17
電話帳を利用する…… 2-31
音を調整する…… 2-45
留守録音を設定する…… 2-54
マイメニューを利用する…… 2-56

# 電話をかける（発信）

## 電話をかける

### 1 画面にアンテナが表示されていることを確認する

**「圏外」が表示されているときは**
電波が届いていないため、ご利用になれません。アンテナの表示される場所へ移動しておかけください。

### 2 [ロ] ～ [9] でダイヤル → [発信] または [●]（発信）

電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。PHS、携帯電話にかけるときは、必ず全桁（11 桁）を入力してください。

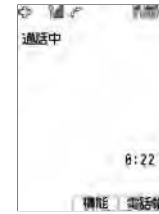
**固定電話にかけるには**
市外局番からダイヤルしてください。電話番号は 32 桁までダイヤルできます。

**番号を間違えたら**
[クリアマナー] を押すごとに最後の1桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。[●] でカーソルを削除したい箇所に移動し、[クリアマナー] を押して削除することもできます。[●] のあと [クリアマナー] を約1秒以上押すことで、カーソル以降の番号をすべて削除することもできます。

**電話をかけずに待ち受け画面に戻るには**
[PWR] を押します。

### 3 相手が出たら通話する

相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、右下に通話時間が表示されます。




**つながらないときは**
「ツーツーツー」と聞こえるときは、相手が話し中、電波が届かない場所にいる、回線が混雑しているなどの理由で電話をつなぐことができない状態にあります。そのようなときは、[PWR] を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけなおしてください。

**通話中に音量を変えるには**
音量は5段階で調節できます。[●] で現在の音量レベルが表示され、続けて [●] を操作するごとに音量が変わります。

**相手が出たことを振動で知らせるようにするには**
相手が電話に出たことを電話機の振動でお知らせするように設定することもできます。「相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）」（☞ 2-53 ページ）

## 4 通話が終了したら [PWR]

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

**お知らせ**

- [発信] を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約 5 秒経つか、[発信] または [◉] （発信）を押すと発信が行われます。
- ISDN 回線で端末を指定するときに使用するサブアドレスは [＊‥] に続けて入力します。「サブアドレスを設定する」（☞ 6-14 ページ）
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなるので、聞き取りにくかったり途切れたりすることがあります。
- 移動しながら通話していると、「ポポ　ポポ」と鳴ることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わるハンドオーバの通知音です。ハンドオーバの際は一時的に通話が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる直前に「ピーピー　ピーピー」という圏外警告音でお知らせするよう設定することもできます。「圏外／充電警告音を設定する（効果音）」（☞ 2-53 ページ）
- 待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。「入力した電話番号を登録する」（☞ 2-35 ページ）

# 利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

| | |
|---|---|
| 警察 | 110 |
| 消防・救急 | 119 |
| 海上保安庁 | 118 |
| NTT 災害伝言ダイヤル<br>詳しくは NTT 東日本／ NTT 西日本にお問い合わせください。 | 171 |
| 時報 | 117 |
| 天気予報<br>市外局番が必要です。 | 177 |
| 番号案内<br>PHS 電話番号はご案内できません。 | 104 |
| 国際電話（国際電話サービス）<br>手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける（国際電話サービス）」（☞ 6-40 ページ） | |
| フリーダイヤル<br>「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。 | |

## ■ 警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

- 移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
- PHS からの通報であることを伝えてください。
- 通報後、警察、消防・救急、海上保安庁から呼び返しを行うことがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

# 利用できないサービス

| | |
|---|---|
| 電報 | 115 |
| NTT テレホンセンター<br>116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。 | 116 |
| コレクトコール | 106 |
| ポケットベル呼び出し | |
| ダイヤル Q² | |
| ナビダイヤル | |
| 衛星船舶電話 | |

## より強い電波を探す（パワーサーチ）

いま検知している公衆基地局よりも電波の強い公衆基地局を探します。パワーサーチにより、さらに安定したクリアな通話ができます。

### 1 待ち受け時または通話時に 保留 を約 1 秒以上押す

「パワーサーチ」という文字が点滅します。公衆基地局が見つかると「パワーサーチ OK!」と表示され、元の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 待ち受け時はパワーサーチに成功したときに成功音が鳴ります。
- 通話時は 3 回までパワーサーチを実行することができます。この場合、◉ ＊ パワーサーチ）を押して実行することもできます。
- パワーサーチを行っても状態が変わらないことがあります。
- パワーサーチを行っても、電波の状態が悪い場所などではうまく公衆基地局を探せず圏外になることもあります。
- パワーサーチは公衆モード、公衆／オフィスモード、公衆／グループモードでのみ行えます。

## 通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるとき、電話番号の前に「184」を付けると相手に番号が通知されず、「186」を付けると番号が通知されます。これらの番号は以下の操作により自動的に入力することができます。

### 1 ロ ～ 9 で相手の電話番号を入力 → ⋯

### 2 次の項目より選択 → ◉

**2 184**

電話番号を通知しない場合

**3 186**

電話番号を通知する場合

「184」または「186」が電話番号の先頭に入力されます。

### 3 ⌒ または ◉（発信）

電話がかかります。

**お知らせ**

- 「184」「186」のどちらも付加しなかった場合は、番号通知の設定内容に従います。「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞ 5-2 ページ）
- 本電話機の番号通知が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号が通知されません。また、番号通知が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号が通知されます。
- 番号を通知した場合でも、発信者番号を表示する機能が相手の電話機にないときは発信者番号は表示されません。

# 記録されている電話番号にかける(発信履歴／着信履歴／番号メモ)

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、通話中に入力した番号メモを使用して電話をかけることもできます。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ)」（☞ 2-15 ページ）電話帳から電話をかける方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）を参照してください。



## 記録される内容

| 種類 | 内容 |
|---|---|
| 発信履歴 | 本電話機からかけた電話の記録です。電話番号とかけた日時が 30 件まで記録されます。発信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。<br>ﾗｲﾄﾒｰﾙ：ライトメールの発信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）<br>分計：分計発信「分計サービスを利用する（有料)」（☞ 6-41 ページ）<br>通録：未再生の通話録音が保存されている「通話を録音する(通話録音)」(☞ 2-12 ページ）<br>通録：再生済みの通話録音が保存されている |
| 着信履歴 | 本電話機にかかってきた電話の記録です。発信者番号通知を設定している相手からの場合は、電話番号と日時が記録されます。発信者番号非通知の場合は電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「電話を受ける（着信)」（☞ 2-9 ページ）<br>着信履歴画面のマークの意味は次のとおりです。<br>応答：電話に出た<br>不在：電話に出なかった<br>拒否：着信拒否の相手からの電話「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否)」（☞ 5-4 ページ）<br>ﾗｲﾄﾒｰﾙ：ライトメールの着信「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）<br>通録：未再生の通話録音が保存されている「通話を録音する(通話録音)」(☞ 2-12 ページ）<br>通録：再生済みの通話録音が保存されている<br>留録：未再生の留守録音が保存されている「留守録音を設定する」（☞ 2-54 ページ）<br>留録：再生済みの留守録音が保存されている |
| 番号メモ | 通話中に番号メモとして入力した電話番号です。「通話中に電話番号をメモする（番号メモ)」（☞ 2-15 ページ） |

**お知らせ**

- 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、万一、記録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発信履歴／着信履歴／番号メモのデータがそれぞれ 30 件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 電話帳に登録してある電話番号の場合は、相手の名前も表示されます。ただし、シークレットが「ON」で電話帳に登録されている場合は「ユーザ非通知」と表示されます。また、電話帳ロックが「ON」の場合は、名前は表示されません。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ)、「ユーザの情報をロックする（機能ロック)」（☞ 5-15 ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号は、電話帳に登録することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞ 2-35 ページ）

## 発信履歴／着信履歴／番号メモで電話をかける

発信履歴／着信履歴／番号メモを表示して、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

### 1 待ち受け画面で

で発信履歴、 着信履歴が表示されます。

### 2 で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 → で相手を選択

**シークレットの電話番号を一時的に表示するには**

**1**

サブメニューが表示されます。

**2** （シークレット一時表示）

**3** 暗証番号認証を行う

暗証番号認証を行うと、シークレット設定が「ON」で登録されている電話番号が一時的に表示されます。

### 3

表示されている相手に電話がかかります。

**お知らせ**

- 手順 2 で で相手を選択し、 を押すと、より詳しい情報が表示されます。
- 待ち受け画面に「着信　○○件」が表示されているときは、 を押して着信履歴を表示することもできます。
- 電話帳に登録してある相手の場合、登録してある電話番号を変更すると、履歴の表示が変更されます。
- 通話中も発信履歴／着信履歴／番号メモを参照することができます。

### ■ リダイヤルする

待ち受け画面で を 2 回押すことで、前回かけた相手に電話をかけることができます。

## 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容を削除する

発信履歴／着信履歴／番号メモの電話番号を 1 件ずつ削除します。全件をまとめて削除することもできます。

### 1 待ち受け画面で

で発信履歴、 で着信履歴が表示されます。

### 2 で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 → で削除するデータを選択

### 3

サブメニューが表示されます。

削除に関する項目はサブメニューの2ページ目にもあります。2ページ目を表示させるにはさらに （次頁）を押してください。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**E 一件削除**

選択した履歴 1 件だけを削除します。

**1 選択削除** ※サブメニューの2ページ目にあります。

履歴選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除する履歴を選択 → ◉（チェック）

履歴の先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、[••][1]（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、[••][E]（全件解除）を押します。

**2** 削除するデータの選択を終えたら [✉]（削除）

**2 全件削除** ※サブメニューの2ページ目にあります。

履歴の全データ（発信履歴／着信履歴／番号メモ）を削除します。

確認画面が表示されます。

**5 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

履歴が削除され、「削除しました」と表示されます。

## ポーズを利用する

発信する電話番号にポーズ（一時停止）を挿入することができます。ポーズを挿入すると、発信が一時的に停止しますが、[⏲] を押すとポーズ以降の番号が発信されます。留守番電話の暗証番号の入力やプッシュホンサービスなど、途中でポーズが必要な場合にご利用ください。電話帳にポーズ入りで登録することもできます。

**1 ダイヤルボタンで電話番号を入力 [••][E] → ダイヤルボタンで続きの番号を入力する**

[E]（ポーズ）を押した場所に「P」が表示されます。

**2 [⏲] または ◉（発信）**

電話番号の発信が行われます。「P」のところで発信は停止します。

**3 [⏲]**

「P」以降の番号が発信されます。

**お知らせ**

- 電話帳に電話番号を「P」付きで登録しておくと、電話帳からかけた電話でポーズを利用することができます。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞ 2-35 ページ）

# 電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

## 1 着信音が鳴る

画面が点灯し、「着信中」と表示されます。相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
着信ランプの設定に従い、着信ランプが点滅します。「着信ランプを設定する」（☞ 6-12 ページ）

## 2 を押して通話

**通話中に音量を変えるには**
音量は 5 段階で調節できます。 で現在の音量レベルが表示され、続けて を操作するごとに音量が変わります。

## 3 通話が終わったら

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

**着信中に着信音を止めるには（クイックサイレント）**
着信を切断せずに着信音やバイブレータの振動を止めるには、着信中に （マナー）または を押します。この状態から通話を始めるには を、着信を中断するには を押します。

**留守録音で応答するには**
着信中に または （留守録）を押します。

**着信を拒否するには**
着信中に （拒否）を押すと着信音が止まって電話が切れます。相手方には「ツーツーツー」という音が聞こえます。このとき、相手の電話番号は着信拒否（☞ 5-4 ページ）には登録されません。

## 電話がかかってきたときの画面表示

- 相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
- 発信者番号が非通知の相手からの着信では、以下のように表示されます。

| 非通知理由 | 意味 |
|---|---|
| ユーザ非通知 | 相手が発信者番号非通知に設定しています。 |
| 公衆電話発信 | 相手が公衆電話から発信しています。 |
| 通知不可能 | 国際電話などで発信者番号が通知できません。 |

**お知らせ**

- 画面に「圏外」が表示されているときは、電話を受けることはできません。
- 着信音は着信音の設定によって変更することができます。「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、電話がかかってきたことを振動によってお知らせします。「バイブレータを設定する」（☞ 2-47 ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、を押すほかに、、、～、、、でも電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞ 6-15 ページ）
- 相手の発信者番号が非通知のときは、着信履歴には電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

## 電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「」と「着信○○件」が表示されます。「」と「着信○○件」は着信履歴を確認すると消えます。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

**お知らせ**

- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。ボタンを何か 1 つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」（☞ 6-12 ページ）

## 通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）

「音声通話中着信」が「ON」の場合は、通話中に着信があると「プップッ　プップッ…」と鳴り、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。

- 音声着信（通常の電話）の場合 →「着信がありました」
- E メール自動受信着信の場合 →「センターに E メールがあります」
- 位置情報通知着信の場合 →「位置情報通知着信がありました」

通話中着信のメッセージは ◉ で消すことができます。
通話を終了すると、通話中の音声着信の件数が「着信○○件」と表示されます。通話中の音声着信は、待ち受け画面では のマークが表示されます。通話中の E メール自動受信着信は、待ち受け画面では「 」のマークが表示されます。

**お知らせ**

- ライトメールは、通話中は着信できません。
- 通話中に電話をかけてきた相手側には「ツーツーツー」という話し中の音が聞こえます。
- リマインダーを設定しているときは、設定に従って着信ランプが点滅します。通話終了後、待ち受け画面でボタンを何か 1 つ押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」( ☞ 6-12 ページ )

## 通話中の着信を設定する

通話中の着信を受けるかどうかを設定します。

### 1 待ち受け画面で ◉ 5 6 5 1

「音声通話中着信」メニューが表示されます。

### 2 次の項目より選択 → ◉

**1 ON**
着信を受ける

**2 OFF**
着信を受けない

設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

# 通話中の操作

## 受話音量を調節する

通話中に受話音量（相手の声の音量）やスピーカ音量を変えることができます。音量はVOL.1 ～ VOL.5 の 5 段階で調節できます。

**1 通話中に**

現在の音量レベルが表示されます。

**2 で音量を変更 →**

音量は で大きくなり、で小さくなります。約 60 秒以上操作をしないと、その時点の音量が設定され通話画面に戻ります。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、音量は「VOL.4」に設定されています。
- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 待ち受け中に受話音量を設定することもできます。「受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）」（☞ 2-45 ページ）
- 通話録音中は で受話音量を変えることもできますが、録音内容の音量は変わりません。
- スピーカでの受話については「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞ 2-14 ページ）を参照してください。

## 通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

**1 通話中に 保留**

「保留中」と表示され、保留音が相手に流れます。

**2 通話を再開するときは 保留 または**

**お知らせ**

- 通話中に （機能）2（保留）で保留にすることもできます。また、保留中に （機能）2（保留解除）で保留を解除することもできます。
- オフィスモードでは、オフィスシステム（PBX）の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

## 通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます（自分の声は録音されません）。録音内容は電源を切っても消えません。

**1 通話中に**

録音が開始され、「残　○○秒」と表示されます。

**2 （停止）**

録音が終了し、「録音終了」と表示されます。通話が終了したときや録音開始から16 秒たったときにも録音は終了します。

**お知らせ**

- 通話録音できる件数は、留守録音、メモ録音と合わせて 4 件までです。最長 16 秒ずつ保存することができます。「留守録音を設定／解除する」（☞ 2-54 ページ）「メモ録音を利用する」（☞ 6-31 ページ）
- 録音データがいっぱいのときには、通話録音はできません。通話を終了してから録音データ画面で不要なデータを削除してください。
- 通話中に （機能）3（通話録音）で録音を開始することもできます。
- 録音の開始や終了の成功音は鳴りません。
- 録音中は充電警告音は鳴らず、「 」が表示されます。
- 録音中、 で受話音量を調節することもできますが、録音内容の音量は変化しません。

## 通話録音を再生する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3**

「メモ録音」メニューが表示されます。

**2 2（録音データ）**

「録音データ」画面が表示されます。再生されていない録音データは「 」、再生済みの録音データは「 」が表示されます。録音データ名は、相手の電話番号が使われます（番号非通知での着信の場合は、非通知理由が表示されます）。電話帳に登録してある相手の場合は、登録名が表示されます。

**3 ◉ で再生する録音データを選択 → ◉ → ◉（再生）**

録音データが再生されます。

### 再生を終了するには

再生中に ◉（停止）または クリアマナー を押します。

### 再生中の録音データを削除するには

**1** 再生中に ･･（削除）

「削除しますか？」と表示されます。

**2** ◉ で「Yes」を選択 → ◉

録音データが削除され、「録音データ」画面が表示されます。

### 音量を調節するには

◉ 再生音量レベルが上がります。
◉ 再生音量レベルが下がります。

### スピーカから音を聞くには

再生中に ✉（スピーカ）を押します。受話口（レシーバ）に切り替えるには ✉（レシーバ）を押します。

**お知らせ**

- 「録音データ」画面では、新しい順にデータが並んでいます。
- 再生中に ▲保留 を押すと再生中の録音データの頭出しができます。▼応答 で次の録音データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードやマナーモードのときに再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、◉ で「Yes」を選択して ◉ を押すと、再生が開始されます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている相手の場合は、録音データ名が「ユーザ非通知」となります。登録名を一時的に表示するには、･･ を押し、サブメニューで 4（シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。

## ■ 発信履歴／着信履歴から再生する

通話録音のデータは、発信履歴／着信履歴から再生することもできます。

**1 待ち受け画面で ◉**

◉ で発信履歴、◉ で着信履歴が表示されます。

**2 ◉ で「発信履歴」「着信履歴」のいずれかを選択 → ･･ 6**

**3 ◉ で録音データを選択 → ◉ → ◉（再生）**

録音データが再生されます。

## 通話録音を削除する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3 2**

「録音データ」画面が表示されます。

**2 ◉ で削除する録音データを選択 → ･･**

サブメニューが表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**

選択した録音データ１件だけを削除します。

**2 選択削除**

録音データ選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除する録音データを選択 → ◉（チェック）

録音データの先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、･･ 1（全件選択）を押します。チェックをすべて外す場合は、･･ 2（全件解除）を押します。

**2** 削除するデータの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**

録音データを全件削除します。

**4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

## 小声で話す(ひそひそ通話)

小声でも相手に声が伝わるよう、送話音量を大きくします。あわせて受話音量も大きくなります。

**1 通話中に (機能) 4**

ひそひそ通話が開始され、「ひそひそ通話中」と表示されます。通話が終了すると、ひそひそ通話は解除されます。

**通話中にひそひそ通話を解除するには**
(機能)を押し、4 (ひそひそ通話解除)を押します。

**お知らせ**
- 最初からひそひそ通話になるよう設定することもできます。「ひそひそ通話を設定する(ひそひそ設定)」(☞ 2-45 ページ)

## 手に持たずに通話する(ハンズフリー通話/スピーカ受話)

ハンズフリー通話を利用すると、本電話機を手に持たずに話すことができます。また、スピーカ受話を利用すると相手の声をスピーカで聞くことができます。

### ハンズフリー通話にする

ハンズフリー通話時は、本電話機を手に持たずに相手と通話することができます。相手の声は、本電話機背面のスピーカから聞こえます。

**1 通話中に (機能) 9**

ハンズフリー通話が開始され、「H-Free 通話中」と表示されます。

**ハンズフリー通話を解除するには**
(機能)を押し、9 (ハンズフリー解除)を押します。

**お知らせ**
- ハウリング防止のため、ハンズフリー通話中は一方が話しているときはもう一方の声は音量が下げられ相手には聞こえません。相手が話し終えてから話すようにしてください。

### スピーカ受話にする

相手の声を受話口(レシーバ)ではなく本電話機背面のスピーカで聞くことができます。こちら側の声は、相手に伝わりません。

**1 通話中に (機能) 8**

スピーカでの受話に切り替わり、「スピーカ受話中」と表示されます。

**スピーカ受話を解除するには**
(機能)を押し、8 (スピーカ受話解除)を押します。

## 通話中に電話帳を検索する

通話中に電話帳を検索して電話番号など登録内容を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。電話帳の操作の詳細は「電話帳を利用する」(☞ 2-31 ページ)を参照してください。

**1 通話中に (機能) 1**

電話帳が表示されます。

**登録内容の詳細を表示するには**
で表示する相手を選択して (詳細)を押します。

**元の画面に戻すには**
クリア/マナー を 2 回押します。また、何も操作せずに約 60 秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

## 通話中にスケジュールを確認する

通話中にスケジュールを表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。スケジュール機能の詳細は「スケジュール機能を利用する」(☞ 6-20 ページ)を参照してください。

**1 通話中に (機能) 7**

カレンダーが表示されます。

**2 でスケジュールを確認する日付を選択 → **

選択した日付のスケジュール一覧が表示されます。

**3** でスケジュールを選択 → (詳細)

スケジュールの詳細が表示されます。

**元の画面に戻すには**

クリアマナー を 3 回押します。また、何も操作せずに約 60 秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

## 通話中に電話番号をメモする（番号メモ）

通話中に 32 桁までの電話番号を 30 件までメモすることができます。

**1** 通話中に (機能) 5

**2** ダイヤルボタンで電話番号を入力 →

番号メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

**登録しないで元の画面に戻すには**

を押す前に （戻る）を押すと、番号メモは登録されずに通話中画面に戻ります。また、何も操作せずに約 60 秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

**番号を削除するには**

クリアマナー を押します。最後の数字が削除されます。入力中の番号メモをすべて削除するには、クリアマナー を約 1 秒以上押したままにします。

**ポーズを入力するには**

番号メモにポーズを入力するには、 （ポーズ）を押します。ポーズを入力した箇所には「P」が表示されます。

**お知らせ**

- グループモードでは番号メモは利用できません。
- 30 件を超えて登録すると、一番古いデータが 1 件削除され、新しいデータが登録されます。

## 通話中にメモ帳に入力する

通話中にメモ帳を表示したり入力したりすることができます。メモ帳の詳細は「メモ帳を利用する」（☞ 6-33 ページ）を参照してください。

**1** 通話中に (機能) 6

**2** メモを登録する番号を選択 →

**3** メモを入力／編集 →

メモが保存され、「登録しました」と表示されます。

**既存のメモの内容を表示するには**

メモ帳一覧表示中に でメモを選択して を押します。

**登録済みのメモを編集するには**

メモ一覧画面で、登録済みの番号を選択して を押し、 （編集）を押します。

**元の画面に戻すには**

クリアマナー を押します。また、何も操作せずに約 60 秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

**お知らせ**

- 入力の途中で、相手から通話を切断された場合は、その時点で確定済みだった文字が自動的にメモ帳に登録されます。ただし、入力の途中で何も操作せず約 60 秒経過するか、 を押して通話を切断した場合は登録されません。

## 通話中に自分の電話番号を確認する

通話中に本電話機の電話番号や E メールアドレスなどプロフィール情報を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。プロフィール機能の詳細は「プロフィールを表示する」（☞ 6-5 ページ）を参照してください。

**1** 通話中に (機能) 0

プロフィールが表示されます。

**各種情報を表示するには**

で表示させたい項目を選択します。

**元の画面に戻すには**

クリアマナー を押します。また、何も操作せずに約 60 秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

# 通話中に電話番号を送出する

通話中に電話番号を送出することができます。

**1 通話中に番号を入力**

入力した番号が相手に送出されます。

## 電話帳から送出する

**1 通話中に (機能) 1**

**2 相手先を検索する**

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されますので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の 6 つの方法で検索できます。

**あかさたな一覧で検索する** (☞ 2-37 ページ)
**グループ一覧で検索する** (☞ 2-37 ページ)
**メモリ No. 一覧で検索する** (☞ 2-37 ページ)
**読み検索一覧で検索する** (☞ 2-38 ページ)
**電話番号で検索する** (☞ 2-38 ページ)
**メールアドレスで検索する** (☞ 2-38 ページ)

**3 相手先を選択 → (詳細)**

電話帳詳細画面が表示されます。
電話帳詳細画面通常表示および電話帳詳細画面一覧表示の説明については、「電話帳を使って電話をかける」(☞ 2-35 ページ) の手順 3 を参照してください。

**4 電話帳詳細画面通常表示中、 で発信する電話番号に対応する分類マークを選択**

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

**電話帳詳細画面一覧表示のときは**
 で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

**5 (送出) または**

選択した番号が相手に送出されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するように設定されています。
- 電話帳からの電話番号送出は、公衆モード、オフィスモードでのみ行えます。

## 発信履歴／着信履歴／番号メモから送出する

**1 通話中に**

**2 で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択**

**3 で相手を選択 → (詳細)**

**4 (送出) または**

選択した電話番号が相手に送出されます。

# 文字を入力する

## 文字入力画面について

文字を入力する画面では、次の記号や数字が表示されます。

入力モード
- 漢：漢字モード
- ア：カタカナモード（全角）
- ｱｲ：カタカナモード（半角）
- A：英字モード（全角）
- AB：英字モード（半角）
- 1：数字モード（半角）

入力した文字数／入力できる文字数

漢で予測変換が「ON」のとき表示される

**お知らせ**
- 画面の右下に表示される「入力した文字数／入力できる文字数」は、半角文字の文字数で表示され、全角文字の場合は、1 文字で半角文字 2 文字になります。

## 入力モードについて

電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。入力モードは [保留] で切り替えます。現在の入力モードは画面の左下に表示されます。

| 入力モード | 入力できる文字 |
|---|---|
| 漢 漢字モード | ひらがな（あ　い　う　え　お）　漢字 |
| ア カタカナモード（全角） | 全角カタカナ（ア　イ　ウ　エ　オ） |
| ｱｲ カタカナモード（半角） | 半角カタカナ（ｱｲｳｴｵ） |
| A 英字モード（全角） | 全角英字（A　B　C　D　E） |
| AB 英字モード（半角） | 半角英字（ABCDE） |
| 1 数字モード | 半角数字（12345） |

**お知らせ**
- 漢字は、漢字モードで入力したひらがなを変換して入力します。
- 全角と半角は、別の文字として扱われます。例えば全角カタカナの「ア」と半角カタカナの「ｱ」は別の文字になります。
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、E メールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

## 入力する文字の種類を切り替える

入力する文字に応じて、入力モードを切り替えます。

### 1 文字を入力する画面で [保留]

入力モードが表示されます。

### 2 [保留] または [◎] を押して入力モードを選択 → [◎]

入力モードが確定し、その入力モードの文字が入力できるようになります。[◎] を押さずにダイヤルボタンを押し、入力モードを確定するとともに文字入力を開始することもできます。選択中の入力モードの文字が入力されます。

**お知らせ**

- 記号や絵文字を入力することもできます。「記号や絵文字を入力する」（☞ 2-25 ページ）
- 入力画面によって、選択できる入力モードは異なります。例えば、E メールの本文を入力する画面ではカタカナモード（半角）は選択できません。

# ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞ 2-18 ページ）を参照してください。
ひらがなは、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。
漢字は、読みをひらがなで入力してから漢字に変換して入力します。変換には、予測変換によって自動的に変換する方法と ✉（変換）を押して変換する方法とがあります。

| ボタン | ボタンを押したときに入力される文字 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 回目 | 2 回目 | 3 回目 | 4 回目 | 5 回目 | 6 回目 | 7 回目 | 8 回目 | 9 回目 | 10 回目 |
| 1 | あ | い | う | え | お | ぁ | ぃ | ぅ | ぇ | ぉ |
| 2 | か | き | く | け | こ | | | | | |
| 3 | さ | し | す | せ | そ | | | | | |
| 4 | た | ち | つ | て | と | っ | | | | |
| 5 | な | に | ぬ | ね | の | | | | | |
| 6 | は | ひ | ふ | へ | ほ | | | | | |
| 7 | ま | み | む | め | も | | | | | |
| 8 | や | ゆ | よ | ゃ | ゅ | ょ | | | | |
| 9 | ら | り | る | れ | ろ | | | | | |
| 0 | わ | を | ん | ー | 、 | 。 | ? | ! | ～ | 全角スペース |
| # | 改行 | | | | | | | | | |
| * | ゛ | ゜ | | | | | | | | |

**お知らせ**

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、◎ でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「あい」と入力するときは、1 を押して「あ」を入力し、◎ でカーソルを右に移動してから 1 を 2 回押して「い」を入力します。
  ① 1 ……「あ」が入力される
  ② ◎ …… カーソルが右に移動する
  ③ 1 1 ……「い」が入力される
- # で改行が入力できるのは、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）のあとに * を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（は行）のあとに * を 2 回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、◎ でカーソルを右に移動してから * を押して入力します。その場合、文字と濁点または半濁点はどちらも全角文字で入力されます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょゎ」（小さいひらがな）は、大きい文字を入力したあと ⊡ または * を押して入力することもできます。
- 「つ」の場合、* を押すごとに「づ」→「っ」→「つ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに ⏲ を押すと、逆順に進みます。

## 予測変換を利用する（予測変換）

漢字モードで予測変換が「ON」の場合、その時点で入力が予測される文字列の一覧が表示されます。入力したい文字列が一覧にあるときは、それを選択するだけで文字列が入力できるので、文字入力の手間を大幅に減らすことができます。

**1 漢字モードで文字を入力する**

入力した文字から予測される予測候補の一覧が表示されます。入力したい予測候補が表示されるまで文字を入力していきます。

**2 で入力したい予測候補を選択 →**

選択した候補が入力されます。

**予測変換候補画面について**

一覧の右上の数字は、選択した予測候補の番号と予測候補の総数です。で予測候補の先頭、で予測候補の末尾にカーソルが移動し、さらにでカーソルを上下左右に移動することができます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、予測変換は「ON」に設定されています。

### ■ 予測変換を ON ／ OFF する

**1 文字入力画面で（次頁）**

## 漢字に変換する（漢字変換）

予測変換が「OFF」の場合は予測候補が表示されないので、漢字を入力するにはひらがなを漢字に変換する操作が必要です。

**1 ひらがなで読みを入力 → で変換**

再度を押すと変換候補一覧が表示されます。

**変換結果を確定するには**

表示された変換候補でよければを押します。

**2 で変換候補を選択 →**

変換が確定し、文字が入力されます。

**お知らせ**

- 読みは最大で 20 文字まで入力できます。

## 変換の区切りを変更する

予測変換や漢字変換したときに意図しない位置で文字列が区切られ、正しく変換されないときは、変換の区切りを変更します。

**1 文字を入力する →**

予測候補の一覧にカーソルが表示されます。

**漢字変換のときは**

文字を入力した後、を 2 回押します。

**2 適切な区切りになるまで（≪文節）で変換の範囲を短くする**

**変換の範囲を広げるには**

（文節≫）で変換の範囲を右に広げます。

**3 で変換候補を選択 →**

変換された部分が確定し、変換されていない部分が変換対象になります。残りの未変換部分についても同様な操作を繰り返して変換します。変換が必要ない場合はを押して文字列を確定します。

## ひらがなをカタカナや英数に変換する（カナ英数変換）

漢字モードで入力したひらがなをカタカナ、英字、数字に変換します。

**1 ひらがなを入力する →（カナ英数）**

入力したボタンに対応する英字や数字からなる候補が表示されます。例えば「あした」（1、3 × 2 回、4）と入力したときは、数字「１３４」「134」、数字を時間形式にしたもの「１：３４」「1:34」、英字「．ＥＧ」「.EG」「.ｅｇ」「.eg」、カタカナ「アシタ」「ｱｼﾀ」が変換候補として表示されます。

**2 で変換候補を選択 →**

変換が確定し、文字が入力されます。

**お知らせ**

- カナ英数変換は予測変換が「ON」「OFF」のいずれの場合でも行えます。

## よく使う語句をユーザ辞書に登録する

よく使う語句を読みと一緒にユーザ辞書に登録します。登録した語句は、予測変換や漢字変換により入力することができます。変換に手間のかかる語句を簡単な読みで登録しておくと、入力の手間が省けて便利です。
ユーザ辞書には最大 100 件までの語句を登録することができます。1 件につき語句は全角 15 文字（半角 30 文字）まで、読みは全角 8 文字まで登録することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1**

「ユーザ辞書」一覧が表示されます。
登録済みの語句がある場合は、その語句と読みが表示されます。

| | |
|---|---|
| DIC | 登録されている単語や語句 |
| ぎ | 登録されている単語や語句の読み |

**2 ✉（新規）を押す**

「単語」入力画面が表示されます。

**3 登録する単語や語句を入力 → ◉**

「読み」入力画面が表示されます。

**4 登録する単語や語句の読みを入力→ ◉**

単語や語句が登録され、「登録しました」と表示されます。

**文字入力画面から単語登録画面を表示するには**
⋯ を押し、⋯（次頁）を押し、5（ユーザ辞書登録）を押します。

### ■ 登録語句を変更する

登録した単語や語句、読みを変更することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1**

「ユーザ辞書」一覧が表示されます。

**2 ◉ で変更する語句を選択 → ◉**

「単語」入力画面が表示されます。

**3 必要に応じて語句を修正 → ◉**

「読み」入力画面が表示されます。

**4 必要に応じて読みを修正 → ◉**

変更が登録され、「登録しました」と表示されます。

### ■ 登録語句を削除する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 4 1**

「ユーザ辞書」一覧が表示されます。

**2 ◉ で変更する語句を選択 → ⋯**

サブメニューが表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**
選択した語句 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**
語句選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉で削除する語句を選択→◉（チェック）

語句の先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、⋯ 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、⋯ 2（全件解除）を押します。

**2** 削除するデータの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**
登録語句の全データを削除します。

**4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

語句が削除され、「削除しました」と表示されます。

## 学習内容を削除する

本電話機は、予測変換や漢字変換での変換結果を記録し、次回からの変換時に変換候補として優先的に表示します。この学習内容を削除することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 4 3**

「学習文字クリア」の暗証番号認証画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、「学習文字をクリアしますか？」と表示されます。

**3 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

学習内容が削除され、「クリアしました」と表示されます。

## カタカナを入力する（カタカナモード）

カタカナは、カタカナモード（全角）またはカタカナモード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞ 2-18 ページ）を参照してください。

| ボタン | ボタンを押したときに入力される文字 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 回目 | 2 回目 | 3 回目 | 4 回目 | 5 回目 | 6 回目 | 7 回目 | 8 回目 | 9 回目 | 10 回目 |
| 1 | ア | イ | ウ | エ | オ | ァ | ィ | ゥ | ェ | ォ |
| 2 | カ | キ | ク | ケ | コ | | | | | |
| 3 | サ | シ | ス | セ | ソ | | | | | |
| 4 | タ | チ | ツ | テ | ト | ッ | | | | |
| 5 | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | | | | | |
| 6 | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ | | | | | |
| 7 | マ | ミ | ム | メ | モ | | | | | |
| 8 | ヤ | ユ | ヨ | ャ | ュ | ョ | | | | |
| 9 | ラ | リ | ル | レ | ロ | | | | | |
| 0 | ワ | ヲ | ン | ー | 、 | 。 | ? | ! | ～ | 全角※<br>スペース |
| # | 改行 | | | | | | | | | |
| * | ゛ | ゜ | | | | | | | | |

※カタカナモード（半角）の場合は、半角スペースが入力されます。

**お知らせ**

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、でカーソルを移動してからボタンを押します。例えば「アイ」と入力するときは、1 を押して「ア」を入力し、でカーソルを移動してから 1 を 2 回押して「イ」を入力します。
- # で改行が入力できるのは、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、アクセサリのメモ帳です。
- 濁点「゛」は、濁点の付く文字（カ行、サ行、タ行、ハ行、「ウ」）のあとに * を押して入力します。
- 半濁点「゜」は、半濁点の付く文字（ハ行）のあとに * を 2 回押して入力します。
- 濁点や半濁点がつかない文字でも、つけることは可能です。文字を入力し、でカーソルを右に移動してから * を押して入力します。全角カタカナモードの場合、文字と濁点または半濁点は、どちらも全角で入力されます。半角カタカナモードの場合は、いずれの場合も文字および濁点、半濁点は半角で入力されます。
- 「ァィゥェォッャュョヮ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと または * を押して入力することもできます。ただし、小さい「ゥ」が入力できるのは全角の場合だけです。全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態で、* を押すと濁点あり／なしの切替えとなります。小さいカタカナの「ゥ」を入力するには、全角カタカナモードで「ウ」を入力した状態で を押します。
- 「ツ」の場合、* を押すごとに「ヅ」→「ッ」→「ツ」となります。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに を押すと、逆順に進みます。
- 漢字モードの予測候補からカタカナの言葉を選択することで漢字モードでカタカナを入力することもできます。
- E メールでは半角カタカナは入力できません。貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、半角のカタカナは切り捨てられます。

# 英字を入力する（英字モード）

英字（アルファベット）は、英字モード（全角）または英字モード（半角）で、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞ 2-18 ページ）を参照してください。
各ダイヤルボタンで入力できる文字の最後にはそのボタンと同じ数字があるので、英字モードで数字を入力することもできます。

| ボタン | ボタンを押したときに入力される文字 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 回目 | 2 回目 | 3 回目 | 4 回目 | 5 回目 | 6 回目 | 7 回目 | 8 回目 | 9 回目 | 10 回目 | 11 回目 |
| 1 | . | @ | , | / | : | - | ~ | _ | + | ^ | 1 |
| 2 | A | B | C | a | b | c | 2 | | | | |
| 3 | D | E | F | d | e | f | 3 | | | | |
| 4 | G | H | I | g | h | i | 4 | | | | |
| 5 | J | K | L | j | k | l | 5 | | | | |
| 6 | M | N | O | m | n | o | 6 | | | | |
| 7 | P | Q | R | S | p | q | r | s | 7 | | |
| 8 | T | U | V | t | u | v | 8 | | | | |
| 9 | W | X | Y | Z | w | x | y | z | 9 | | |
| 0 | ? | ! | ; | ‘ | 0 | スペース | | | | | |
| # | 改行 | | | | | | | | | | |
| * | 英字モード（半角）の場合は、E メールのアドレス用の文字列（.ne.jp など） | | | | | | | | | | |

**お知らせ**

- 同じ行の文字を続けて入力するときは、でカーソルを右に移動してからボタンを押します。例えば「AB」と入力するときは、2 を押して「A」を入力し、でカーソルを右に移動してから 2 を 2 回押して「B」を入力します。
  ① 2 ……「A」が入力される
  ② …… カーソルが右に移動する
  ③ 2 2 ……「B」が入力される
- # で改行が入力できるのは、メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、アクセサリのメモ帳です。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。
- ダイヤルボタンを押したあとに を押すと、逆順に進みます。
- 英字モードが小文字の場合、表の網かけの文字は入力できません。「大文字と小文字を切り替える」（☞ 2-24 ページ）

## 大文字と小文字を切り替える

英字モード（全角）と英字モード（半角）では、それぞれ大文字と小文字を切り替えることができます。

| 入力モード | 大文字 | 小文字 |
|---|---|---|
| 英字モード（全角） | A ＡＢＣ… | a ａｂｃ… |
| 英字モード（半角） | AB ABC… | ab abc… |

**1 英字モードで文字を入力する**

最初は大文字で入力されます。

**2 小文字にしたい文字を入力 → [▼]**

カーソルの位置の文字が小文字に変わります。大文字に戻すには、もう一度 [▼] を押します。

**入力前に大文字と小文字を切り替えるには**

文字を入力する前に [▼] を押します。[▼] を押すごとに、大文字と小文字が切り替わります。

## アドレス文字を入力する

英字モード（半角）ではアドレス用の文字列を入力することができます。E メールアドレスや Web のアドレス（URL）を入力するときに便利です。

**1 英字モード（半角）で [＊]**

「アドレス文字」一覧が表示されます。

**2 入力したいアドレス文字を選択 → [◎]**

選択した文字が入力されます。

## 数字を入力する（数字モード）

数字を入力するときは、数字モードに切り替えます。入力モードの切り替えについては「入力する文字の種類を切り替える」（☞ 2-18 ページ）を参照してください。

| ボタン | ボタンを押したときに入力される文字 |
|---|---|
| [1] | 1 |
| [2] | 2 |
| [3] | 3 |
| [4] | 4 |
| [5] | 5 |
| [6] | 6 |
| [7] | 7 |
| [8] | 8 |
| [9] | 9 |
| [0] | 0 |
| [#] | # |
| [＊] | * |

**「-」（ハイフン）を入力するには**

「-」を入力するときは、英字モードで [1] を 6 回押します。「英字を入力する（英字モード）」（☞ 2-23 ページ）

## 改行を挿入する

メールの本文、署名設定、引用設定、自作定型文、スケジュールの内容、アクセサリのメモ帳では、文章に改行を入力することができます。

**1 [◎] で改行したい箇所にカーソルを移動 → [#]**

カーソルのあった箇所に改行が挿入されます。改行は「⏎」で表されます。

**お知らせ**

- カーソルが文章の最後にあるときは [◎] で改行を挿入することもできます。

# 記号や絵文字を入力する

本電話機では記号や絵文字を入力することができます。記号や絵文字を入力できるのは、メールの本文や署名、スケジュール、電話帳の名前、メモ帳、ユーザ辞書の単語、自作定型文などです。

**1 文字入力画面で**

サブメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 →**

**1 絵文字**

絵文字一覧が表示されます。

**2 記号**

記号一覧が表示されます。

**半角の記号しか入力できない場合は**

メールアドレスの入力画面など全角の文字が入力できない画面では、半角記号の選択画面のみ表示されます。

**3 （前頁）、（次頁）で入力したい記号／絵文字のページを表示する**

各一覧画面は、ページを切り替えていくことですべて表示することができます。（次頁）で次のページ、（前頁）で前のページを表示することができます。

**記号一覧画面の切り替えについて**

半角記号 1 画面、全角記号 8 画面の順に表示されます。「記号･絵文字一覧」（☞ A-2 ページ）

**絵文字一覧画面の切り替えについて**

Web入力用絵文字6画面、絵文字4画面の順に表示されます。「記号･絵文字一覧」（☞ A-2ページ）

**4 で記号／絵文字を選択 →**

記号／絵文字が入力されます。

**お知らせ**

- ライトメールでは、アニメーション絵文字を使用することもできます。「アニメーション絵文字を添付する」（☞ 3-33 ページ）
- Web 入力用絵文字を使用してメールを送信した場合、相手の携帯電話によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は、対応しているウィルコムの電話機で使用できます。絵文字に対応していない機種や他社の電話機やパソコンなどにメールで送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。

# 定型文を引用する

文字入力画面では、定型文を呼び出して入力することができます。定型文には次の 3 種類があります。

- 自作定型文（自分で登録した定型文）
- 顔文字（記号を組み合わせて表情を表した文字列）
- アドレス文字（E メールアドレスや Web のアドレスで使われる文字列）

## 自作定型文を引用する

**1 文字入力画面で 6 1**

自分で登録した定型文の一覧が表示されます。「自作定型文を登録／編集する」（☞ 2-26 ページ）

**詳細を表示するには**

自作定型文の一覧には、全角換算で最初の10文字までしか表示されません。11 文字以上の長さの定型文の全体を表示するには（詳細）を押します。

**2 引用したい自作定型文を選択 →**

**お知らせ**

- 定型文が 1 件も登録されていないときは、自作定型文を引用することができません。

## 定型文から顔文字を引用する

記号を組み合わせて表情を表す顔文字が 60 件登録されています。顔文字は次の手順で入力します。

**1 文字入力画面で 6 2**

「顔文字」一覧が表示されます。

**2 、 を押して、入力する顔文字のページを表示する**

顔文字の一覧は 5 ページにわたっています。 で前のページ、 で次のページが表示されるので、入力する顔文字のあるページを表示させてください。

**3 で顔文字を選択 →**

顔文字が入力されます。

## 定型文からアドレス文字を引用する

E メールアドレスや Web のアドレスでよく使われるアドレス文字が定型文に収録されています。これは英字モード（半角）で [*] を押して入力できるアドレス文字と同じものです。「アドレス文字を入力する」（☞ 2-24 ページ）

**1 文字入力画面で [・・] [6] [3]**

「アドレス文字」一覧が表示されます。

**2 引用したいアドレス文字を選択 → [◉]**

アドレス文字が入力されます。

## 自作定型文を登録／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は 12 件まで、1 件につき全角50 文字(半角 100 文字)まで登録できます。「自作定型文を引用する」（☞ 2-25 ページ）

**1 待ち受け画面で [◉] [5] [4] [2]**

「自作定型文」一覧が表示されます。

**2 自作定型文を登録する番号を選択→ [◉]**

「自作定型文」入力画面が表示されます。

**3 自作定型文を入力／編集 → [◉]**

自作定型文が保存され、「登録しました」と表示されます。

**新規に登録するには**
自作定型文一覧画面で、未登録の番号を選択して [◉] を押します。

**登録済みの自作定型文を編集するには**
自作定型文一覧画面で、登録済みの番号を選択して [◉] を押し、[✉]（編集）を押します。

### ■ 入力画面の文章を自作定型文に登録する

メールの本文など、文字入力画面で入力した文章をコピーして自作定型文に登録することができます。

**1 登録する文章を文字入力画面で入力 → [・・][・・]（次頁）[2]**

「本文入力」画面で「始点を選んで下さい」と表示されます。

**2 [◉] で登録する文章の先頭にカーソルを移動 → [◉]**

「終点を選んで下さい」と表示されます。

**3 [◉] で登録する文章の最後にカーソルを移動 → [◉]**

「自作定型文」一覧が表示されます。

**4 [◉] で登録箇所を選択 → [◉]**

自作定型文が保存され、「登録しました」と表示されます。

**既存の自作定型文に上書きするには**
すでに自作定型文の登録されている番号を選択すると、元の定型文を削除し、新しい定型文を上書きするかどうか確認する画面が表示されます。上書きして良いときは、[◉] で「Yes」を選択して、[◉] を押します。

## 自作定型文を削除する

**1 待ち受け画面で [◉] [5] [4] [2]**

「自作定型文」一覧が表示されます。

**2 [◉] で削除する自作定型文を選択 → [・・]**

サブメニューが表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**

選択した自作定型文1件だけを削除します。

**2 選択削除**

自作定型文選択画面が表示されます。

**1** ◉で削除する自作定型文を選択→ ◉（チェック）

自作定型文の先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、 2（全件解除）を押します。

**2** 削除するデータの選択を終えたら ✉（削除）を押します。

**3 全件削除**

自作定型文の全データを削除します。

**4 ◉で「Yes」を選択 → ◉**

自作定型文が削除され、「削除しました」と表示されます。

# 文章を編集する

## 文章の途中に文字を挿入する

文字を入力する画面で、入力済みの文章の途中に文字を挿入することができます。

**1 ◉で文字を入力したい箇所にカーソルを移動 → 文字を入力する**

カーソルの位置に文字が挿入され、カーソル以降の部分は入力した文字数分だけ後ろにずれます。

## 文字を削除する

**1 ◉で削除したい文字にカーソルを移動 → クリアマナー**

カーソルのあった箇所の文字が削除されます。カーソルが文章の最後尾にあるときはカーソルの前の文字が削除されます。

**文章をまとめて削除するには**

◉でカーソルを文章の先頭または最後尾に移動し、約1秒以上 クリアマナー を押します。文章全体が削除されます。カーソルが文章の途中にある場合は、カーソル以降だけが削除されます。

## 文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は電源を切っても記録されており、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角2048文字（半角4096文字）までです。

### ■ 文章をコピー／カットする

編集中の文章をコピー／カットします。コピーの場合は元の文章はそのまま残りますが、カットの場合は元の文章は残りません。受信メール、送信メールの内容をコピーすることもできます。「メール本文の文字をコピーする」（☞3-19ページ）

**1 文字入力画面で ⋯**

「サブメニュー」が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**3 コピー**

**4 カット**

「始点を選んで下さい」と表示されます。

**3 ◉でコピー／カットする文章の先頭にカーソルを移動 → ◉**

「終点を選んで下さい」と表示されます。

**4 ◉でコピー／カットする文章の最後にカーソルを移動 → ◉**

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。
コピーの場合は選択した範囲の文章はそのまま残りますが、カットの場合は削除されます。

## ■ 文章を貼り付ける

**1 文字入力画面でコピー／カットした文章を貼り付けたい箇所にカーソルを移動 → [5]**

カーソル位置の文字の前に、コピー／カットした文章が挿入されます。

**お知らせ**
- 文字列がコピーされていないときは使用できません。
- その画面で入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字列だけが貼り付けられます。
- 半角文字しか入力できない画面で全角のカタカナ、英字、数字を貼り付けると、半角文字に変換されて貼り付けられます。
- その画面に入力できる文字数よりも貼り付ける文章の文字数が多い場合は、エラー音が鳴り、入力できる文字数分までが貼り付けられます。

# 電話帳／プロフィール／メモ帳から引用する

文字入力画面では、電話帳／プロフィール／メモ帳に登録してある情報を引用して入力することができます。

## ■ 電話帳から引用する

**1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動 → [7]**

電話帳が表示されます。

**2 で引用する対象の人を選択 → （詳細）**

「電話帳引用」画面が表示されます。

**3 で引用する項目を選択 →**

カーソルの位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。
電話帳の検索方法については「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）を参照してください。

**お知らせ**
- 引用対象は、名前、電話番号、メールアドレスとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。

## ■ プロフィール／メモ帳から引用する

**1 文字入力画面で で引用先の箇所にカーソルを移動 →**

「サブメニュー」が表示されます。
引用に関する項目はサブメニューの2ページ目にもあります。2ページ目を表示させるにはさらに（次頁）を押してください。

**2 次の項目より選択 →**

**2 プロフィール引用**
「プロフィール引用」画面が表示されます。

**1 メモ帳引用**
※サブメニューの2ページ目にあります。
「メモ帳」一覧が表示されます。

**3 で引用する項目を選択 →**

カーソル位置の前に、選択した項目の文字列が挿入されます。

**お知らせ**
- プロフィールの引用対象は、名前、電話番号、内線番号、トランシーバ番号、メールアドレスとなります。
- 入力できない文字が含まれている場合は、入力できる文字だけが引用されます。
- メモ帳からの引用では、手順3で（詳細）を押すと、メモの詳細が表示されます。

# ポケベル方式で入力する

ポケットベルと同様の方法で文字を入力することができます。

## ポケベル方式に切り替える

**1 文字入力画面で ⋯⋯（次頁）**

「サブメニュー」が表示されます。

**2 4 2**

ポケベル入力に切り替わり、入力画面に戻ります。

**かな入力に切り替えるには**

手順2で 4 1 と押します。

## ポケベル方式で入力する

**1 を押して入力モードを選択 → ◉**

大文字と小文字の切り替えは、文字入力画面で、 を押します。

ポケベル入力には次の入力モードがあり、 で選択することができます。

| | |
|---|---|
| P | 全角大文字モード |
| p | 全角小文字モード |
| PB | 半角大文字モード |
| pb | 半角小文字モード |

**2 ダイヤルボタンで文字を入力する**

ダイヤルボタンを 2 回押すことで文字を指定します。

＜全角モードの場合＞

| | | 2 回目に押すボタン | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |
| 1 回目に押すボタン | 1 | あ | い | う | え | お | A | B | C | D | E |
| | 2 | か | き | く | け | こ | F | G | H | I | J |
| | 3 | さ | し | す | せ | そ | K | L | M | N | O |
| | 4 | た | ち | つ | て | と | P | Q | R | S | T |
| | 5 | な | に | ぬ | ね | の | U | V | W | X | Y |
| | 6 | は | ひ | ふ | へ | ほ | Z | ? | ! | - | ／ |
| | 7 | ま | み | む | め | も | ¥ | & | スペース | ☎ | 、 |
| | 8 | や | ( | ゆ | ) | よ | * | # | 改行 | ♥ | 。 |
| | 9 | ら | り | る | れ | ろ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 0 | わ | を | ん | ゛ | ゜ | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |

＜半角モードの場合＞

| | | 2 回目に押すボタン | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |
| 1 回目に押すボタン | 1 | ｱ | ｲ | ｳ | ｴ | ｵ | A | B | C | D | E |
| | 2 | ｶ | ｷ | ｸ | ｹ | ｺ | F | G | H | I | J |
| | 3 | ｻ | ｼ | ｽ | ｾ | ｿ | K | L | M | N | O |
| | 4 | ﾀ | ﾁ | ﾂ | ﾃ | ﾄ | P | Q | R | S | T |
| | 5 | ﾅ | ﾆ | ﾇ | ﾈ | ﾉ | U | V | W | X | Y |
| | 6 | ﾊ | ﾋ | ﾌ | ﾍ | ﾎ | Z | ? | ! | - | ／ |
| | 7 | ﾏ | ﾐ | ﾑ | ﾒ | ﾓ | ¥ | & | スペース | | 、 |
| | 8 | ﾔ | ( | ﾕ | ) | ﾖ | * | # | 改行 | | 。 |
| | 9 | ﾗ | ﾘ | ﾙ | ﾚ | ﾛ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 0 | ﾜ | ﾖ | ﾝ | ゛ | ゜ | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 |

**お知らせ**

- # を押して改行することもできます。
- * を押して濁点や半濁点を入力することはできません。
- アルファベットの大文字と小文字は ⇧ で切り替えます。
- 「ぁぃぅぇぉっゃゅょわ」（小さいひらがな）と「ｱｲｳｴｵｯｬｭｮﾜ」（小さいカタカナ）は、大きい文字を入力したあと ⇧ を押して変換します。

# 電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを、電話帳に登録しておくことができます。登録件数は最大で 1000 件です。電話帳には、次の項目を登録できます。

| | |
|---|---|
| 名 名前<br>カナ フリガナ | 発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、相手の名前が画面に表示されます(着信者表示機能)。 |
| Gr グループ | ビジネスや友人など、電話帳に登録するデータを10 グループに分類して管理できます。 |
| 電話番号 | 電話帳 1 件の登録につき、3 つの電話番号が登録できます。また、PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。<br>**分類マーク**<br>1 電話番号　5 会社　9 病院<br>2 携帯電話　6 FAX　0 その他<br>3 PHS　7 ショップ<br>4 自宅　8 レストラン |
| @ メールアドレス | 電話帳1件の登録につき、3つのメールアドレスが登録できます。また、携帯電話や会社 PC など、相手のメールアドレスにマークを付けて分類できます。<br>**分類マーク**<br>1 指定なし　3 PHS　5 会社 PC<br>2 携帯電話　4 自宅 PC |
| 短 短縮番号 | よく電話をかける相手をメモリ No.000 ～ 009 の短縮番号に設定しておくと、短縮番号の下 1 桁を押すだけで簡単に電話をかけることができます。 |
| シークレット | 電話帳データのシークレット設定を「ON」にすると、そのデータが電話帳に表示されなくなります。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また、シークレット設定を「ON」にして登録した相手に電話をかけても、発信履歴には名前が残りません。<br>シークレットデータを表示するには、暗証番号による認証が必要になります。 |
| 指定電話着信音<br>指定Eメール着信音<br>指定ライトメール着信音 | 特定の電話帳データに着信音を登録しておくと、着信時の呼び出し音の種類でだれからの電話、E メール、ライトメールなのかを知ることができます。この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。 |
| 指定電話着信イルミネーション<br>指定 E メール着信イルミネーション<br>指定ライトメール着信イルミネーション | 特定の電話帳データに着信イルミネーションを登録しておくと、着信時のイルミネーションの種類でだれからの電話、E メール、ライトメールなのかを知ることができます。イルミネーションは 3 種類あります。<br>この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。 |

**お知らせ**

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

# 電話帳に登録する

## 電話帳を新規登録する

**1 待ち受け画面で ◉ 6 2**

「電話帳登録」画面が表示されます。

**2 ◉ で入力する項目を選択 → ◉**

選択した項目の編集画面が表示されます。

どの項目からでも入力できますが、名前、フリガナ、電話番号またはメールアドレスの最低3項目を入力しないと電話帳に登録できません。次の項目が入力・設定できます。

| | |
|---|---|
| 名 カナ | 名前とフリガナを入力する<br>(☞ 2-33 ページ) |
| Gr | グループを選択する<br>(☞ 2-33 ページ) |
| ☎ | 電話番号と分類マークを入力する<br>(☞ 2-33 ページ) |
| @ | メールアドレスと分類マークを入力する<br>(☞ 2-33 ページ) |
| 短 | 短縮番号を設定する<br>(☞ 2-34 ページ) |
| 🔑 | シークレットを設定する<br>(☞ 2-34 ページ) |
| ♪ | 電話やメールの着信音を選択する<br>(☞ 2-34 ページ) |
| ✧ | 電話やメールの着信イルミネーションを選択する<br>(☞ 2-34 ページ) |

**3 必要に応じて手順2を繰り返し、各項目を入力・設定 → ✉（登録）**

メモリ No. の登録画面が表示されます。ただし「短縮設定」を「ON」にしている場合は、登録画面は表示されずに登録が完了します。

**4 0 ～ 9 でメモリ No. を入力→ ◉**

メモリ No. は、「010」～「999」の3桁の数字を入力します。
データが登録され、「メモリ No. ○○○に登録しました」と表示されます。

**自動でメモリ No. を登録するとき**
メモリ No. を入力せずに ◉ を押します。メモリ No.010 以降の、空いている一番小さいメモリ No. に登録されます。

**すでに登録済みのメモリ No. を入力したとき**
「○○○に上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きをしてよいときは、◉ で「Yes」を選択して ◉ を押します。
「No」を選択したときは、もう一度 0 ～ 9 でメモリ No. を入力します。

**お知らせ**

- 表示方法が「あかさたな一覧」、「グループ一覧」の場合は、待ち受け画面から ◉ で電話帳一覧を表示し、✉（新規）を押しても、電話帳の新規登録画面が表示されます。
- 電話帳ロック、管理者ロックの発信制限・着信制限が設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳機能が使えなくなります。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 5-15 ページ）
- 登録件数がいっぱいのときは、電話帳に登録できません。まず、電話帳から不要なデータを削除してください。「電話帳の内容を削除する」（☞ 2-39 ページ）

## ■ 名前とフリガナを入力する

名前は全角 16 文字（半角 32 文字）まで、フリガナは半角で 32 文字まで入力できます。

### 1 名前を入力 → ◉

「フリガナ」入力画面が表示されます。

### 2 必要に応じてフリガナの編集 → ◉

名前とフリガナが表示された電話帳登録画面に戻ります。

**文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

**フリガナを修正するには**

◉で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリアマナーで消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

**お知らせ**

- フリガナに空白は入力できません。名前に空白を入力しても、フリガナでは空白が削除されて表示されます。

## ■ グループを選択する

グループを選択しなかった電話帳データは、「グループ 0」に登録されます。
グループ名を変更することもできます。「グループ名を変更する」（☞ 2-40 ページ）

### 1 登録するグループを選択 → ◉

選択したグループが表示された電話帳登録画面に戻ります。

## ■ 電話番号と分類マークを入力する

電話帳 1 件につき、電話番号を最大 3 件まで登録できます。電話番号は 32 桁まで入力できます。

### 1 □ ～ 9 で電話番号を入力 → ◉

「番号種別選択」画面が表示されます。

**電話番号を修正するには**

◉ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリアマナーで消去してから、□ ～ 9 で正しい番号を入力します。

### 2 登録する分類マークを選択 → ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力した電話番号が電話番号1として表示されます。また、電話番号 2 を入力するための項目が追加されます。

**分類マークを指定しないときは**

□（Tel その他）を押します。

**電話番号 2、3 を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示された電話番号の項目を選択してから、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

**お知らせ**

- 手順 1 で「070」から始まる電話番号を入力した場合は、手順 2 で「PHS」が自動的に選択されます。
- 手順 1 で「090」や「080」から始まる電話番号を入力した場合は、手順 2 で「DK 携帯電話」が自動的に選択されます。

## ■ メールアドレスと分類マークを入力する

電話帳 1 件につき、メールアドレスを最大 3 件まで登録できます。また、メールアドレスは半角 64 文字まで入力できます。

### 1 メールアドレスを入力 → ◉

「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

### 2 登録する分類マークを選択 → ◉

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力したメールアドレスがメールアドレス 1 として表示されます。また、メールアドレス 2 を入力するための項目が追加されます。

**分類マークを指定しないときは**

1（@ 指定なし）を押します。

**メールアドレス 2、3 を登録するには**

電話帳登録画面で、追加表示されたメールアドレスの項目を選択してから、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

## ■ 短縮番号を設定する

短縮番号は、メモリ No.000 ～ 009 の 10 件まで設定できます。短縮番号を設定した相手先には、メモリ No. の下 1 桁を入力するだけで簡単に電話をかけることができます。

**1** 1

「短縮設定」一覧画面が表示されます。

**2** で短縮番号を選択 →

短縮番号が表示された電話帳登録画面に戻ります。

**短縮番号を解除するには**
短縮番号設定時に 2（OFF）を押します。

**短縮番号が 10 件登録されているときは**
短縮番号を設定できません。クリア/マナー または 2 を押して、電話帳登録画面に戻ります。

## ■ シークレットを設定する

他人に知られたくない電話帳のデータを、シークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳にデータが表示されません。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞ 2-41 ページ）

**1** 1

シークレットが設定された電話帳登録画面に戻ります。

**シークレットの設定を解除するには**
2（OFF）を押します。

**お知らせ**
- シークレットを「ON」に設定してある相手先からの発信や着信があった場合、発信履歴には相手の電話番号が、着信履歴には「ユーザ非通知」と表示されます。相手の名前は表示されません。

## ■ 電話やメールの着信音を選択する

指定着信音を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、E メールやライトメールの着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

**1** 次の項目より選択 →

**1 設定なし**
着信音の設定が解除されます。

**2 着信音から選択**
本電話機に初めから用意されている着信音一覧が表示されます。 で着信音を選択して を押します。

**お知らせ**
- 着信音を選択して （再生）を押すと、選択した着信音が再生されます。
- 着信音の再生中に を押すと、着信音一覧での次の着信音が再生され、 を押すとひとつ前の着信音が再生されます。

## ■ 電話やメールの着信イルミネーションを選択する

指定イルミネーションを設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。また、E メールやライトメールのイルミネーションを登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。

**1** イルミネーションを選択 →

イルミネーションが設定された電話帳登録画面に戻ります。

**イルミネーションを確認するには**
 でイルミネーションを選択すると、そのイルミネーションが点滅します。

**イルミネーションの設定を解除するには**
1（設定なし）を押します。

## 発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を、電話帳に登録することができます。登録方法には、名前を新しく入力して登録する「新規登録」と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する「追加登録」があります。

**1 待ち受け画面で ◉ → 必要に応じて、◉ で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える**

**2 ◉ で登録する電話番号を選択 → ✉（登録）**

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 新規登録**
「新規登録する」（☞ 2-35 ページ）に進みます。

**2 追加登録**
「追加登録する」（☞ 2-35 ページ）に進みます。

### ■ 新規登録する

1（新規登録）を押したときは、電話番号の分類マークを選択する画面が表示されます。

**1 登録する分類マークを選択 → ◉**

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

**2 他の項目を入力し、電話帳を登録する**

「電話帳を新規登録する」（☞ 2-32 ページ）

### ■ 追加登録する

2（追加登録）を押したときは、電話帳の一覧画面が、前回使用したときと同じ形式で表示されます。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**1 ◉ で登録先の名前を選択 → ◉**

電話番号一覧画面が表示されます。

**2 ◉ で電話番号が登録されていない項目を選択 → ◉**

「番号種別選択」画面が表示されます。

**3 登録する分類マークを選択 → ◉**

選択した分類マークが設定されます。電話帳登録画面には、発信履歴／着信履歴／メモで選択した電話番号が表示されます。

**4 必要に応じて他の項目を入力し、電話帳を登録する**

**お知らせ**

- 登録済みの電話番号に上書きするときは、手順 2 で上書きする電話番号を選択して ◉ を押してください。「上書きしますか？」と表示されるので、◉ で「Yes」を選択して ◉ を押します。

## 入力した電話番号を登録する

待ち受け画面で入力した電話番号を、電話帳に登録することができます。

**1 待ち受け画面で、電話帳に登録する電話番号を入力 → ✉（登録）**

「電話帳登録」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 新規登録**
「新規登録する」（☞ 2-35 ページ）に進みます。

**2 追加登録**
「追加登録する」（☞ 2-35 ページ）に進みます。

# 電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してあるデータは、名前のフリガナの 50 音順・グループ・メモリ No.・名前の読み・電話番号・メールアドレスで検索して呼び出すことができます。この呼び出した電話帳データを使って、電話をかけられます。

## 1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳の一覧画面が表示されます。◉ でも、同じ操作ができます。ただし、電話帳に 1 件もデータが登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されます。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ）

## 2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されるので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の６つの方法で検索できます。

**あかさたな一覧で検索する**　（☞ 2-37 ページ）
**グループ一覧で検索する**　（☞ 2-37 ページ）
**メモリ No. 一覧で検索する**　（☞ 2-37 ページ）
**読み検索一覧で検索する**　（☞ 2-38 ページ）
**電話番号で検索する**　（☞ 2-38 ページ）
**メールアドレスで検索する**　（☞ 2-38 ページ）

## 3 相手先を選択 → ◉（詳細）

電話帳詳細画面が表示されます。

**電話帳詳細画面の表示方法を切り替えるには**

電話帳詳細画面を通常表示と一覧表示に切り替えることができます。
電話帳詳細画面で ⋯ を押し、1（表示切替）を押すと電話帳詳細画面の表示方法が切り替わります。

通常表示

一覧表示

**登録内容を確認するには**

電話帳詳細画面通常表示は ◉、電話帳詳細画面一覧表示は ◉ で分類マークを選択することができます。電話帳詳細画面通常表示の場合、その項目の登録内容が画面の下側に表示されます。 の場合は、選択して ◉（確認）を押すと、個別設定画面に着信音と着信イルミネーションの設定が表示されます。

**前後のデータを表示するには**

電話帳詳細画面通常表示で ◉ を押すと前のデータ、◉ を押すと次のデータが表示されます。
電話帳詳細画面一覧表示で ◉ を押すと前のデータ、◉ を押すと次のデータが表示されます。

## 4 電話帳詳細画面通常表示中、◉ で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

そのマークが設定されている電話番号が表示されます。

**電話帳詳細画面一覧表示のときは**

◉ で発信する電話番号に対応する分類マークを選択します。

## 5 ◉（発信）または

選択した電話番号に電話がかかります。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、電話帳は「あかさたな一覧」で表示するよう設定されています。
- 手順 2 で を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号が 2 つ以上登録されているときは、電話番号 1 に電話がかかります。
- オフィスモードのときには、手順 4 の後で を押すと、登録した外線発信番号が先頭に付加されます。もう一度 を押すと、外線発信番号は消えます。
- 手順 4 の後でダイヤルボタンを押すと、選択した電話番号の前にダイヤルボタンの番号が付加されます。 または を押すと、後ろに付加されます。また、 を押して ポーズを押すと、P（ポーズ）が付加されます。その状態で（登録）を押して電話番号を新規登録または追加登録することもできます。登録手順は発信履歴などの電話番号を登録する場合と同じです。「発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する」（☞ 2-35 ページ）

- 手順 4 の後で [··] を押し、[4] (184 発信) または [5] (186 発信) を押すと、電話番号に「184」または「186」が付加されて発信されます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」(☞ 2-5 ページ)
- 待受モードが「公衆＋オフィス」、「公衆＋グループ」に設定されている場合は、手順 4 で番号を選択して [#] を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「優先発信するモードを一時的に切り替える」(☞ 7-5 ページ)

## あかさたな一覧で検索する

**1 電話帳の一覧画面で [··] [1] [1]**

あかさたな一覧が表示されます。

**2 [◎] で表示する行を切り替え → [◎] で相手先を選択**

行を切り替えるには、[◎] による方法と、ダイヤルボタンによる方法の 2 つの方法があります。

**ダイヤルボタンで切り替えるには**

ダイヤルボタンに書かれているひらがなが、50 音の行に対応しています。例えば [3] を押すと「さ」行が表示されます。[#] を押すと「あ」～「わ」行以外の名前が表示されます。

### ■ 待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法があかさたな一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約 1 秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれているひらがなに対応した行が表示されます。

例えば待ち受け画面で [3] を約 1 秒以上押すと、「さ」行の電話帳が表示されます。

**お知らせ**

- あかさたな一覧画面で、行に対応するダイヤルボタンを繰り返し押すと、名前の読みの最初の文字単位で選択位置が移動します。例えば「さ」行が表示されているときは、[3] を押すたびに、読みが「さ」→「し」→「す」→「せ」→「そ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

## グループ一覧で検索する

**1 電話帳の一覧画面で [··] [1] [2]**

グループ一覧が表示されます。

**2 [◎] で表示するグループを切り替え → [◎] で相手先を選択**

### ■ 待ち受け画面から直接、目的のグループを表示させる

電話帳の表示方法がグループ一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約 1 秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したグループが表示されます。

例えば待ち受け画面で [3] を約 1 秒以上押すと、「グループ 3」の電話帳が表示されます。

**お知らせ**

- グループ一覧画面でダイヤルボタンを押すと、表示しているグループ内で、ダイヤルボタンに書かれているひらがなで始まる名前に選択位置が移動します。例えば [3] を押すと、読みが「さ」で始まる最初の名前に選択位置が移動します。

## メモリ No. 一覧で検索する

**1 電話帳の一覧画面で [··] [1] [3]**

「メモリ No. 一覧」のメモリ No. 入力画面が表示されます。

**2 検索するメモリ No. を入力 → [◎]**

**上 1 桁を入力したとき**

例えば「3」と入力すると、No.300 ～ 309 の電話帳データが表示されます。表示は 10 件単位となります。

**上 2 桁を入力したとき**

例えば「31」と入力すると、No.310 ～ 319 の電話帳データが表示されます。表示は10 件単位となります。

**メモリ No. を入力しなかったとき**

「短縮（000)」から、10 件単位で電話帳データが表示されます。

**3 必要に応じて、表示するメモリ No. の範囲を切り替え → で相手先を選択**

メモリ No. の範囲を切り替えるには、による方法と、ダイヤルボタンによる方法の 2 つの方法があります。

**ダイヤルボタンで切り替えるには**

ダイヤルボタンに書かれている数字が、メモリ No. の上1桁に対応しています。例えば を1回押すと、「短縮」(No.000 ～ 009)の電話帳データが表示されます。 を押すたびに、表示される範囲が No.010 ～ 019、No.020 ～ 029 のように 10 件単位で切り替わります。

## ■ 待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法がメモリ No. 一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約 1 秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれている数字に対応したメモリ No. が表示されます。例えば を約 1 秒以上押すと、No.300～309の電話帳データが表示されます。

**お知らせ**

- 入力したメモリ No. に対応するデータが 1 件も登録されていない場合は、入力したメモリ No. 以降で、最もメモリ No. の小さいデータが表示されます。

### 読み検索一覧で検索する

**1 電話帳の一覧画面で 1 4**

「読み検索一覧」の入力画面が表示されます。

**2 名前の読みを入力→ →相手先を選択**

読みは、すべてを入力しなくても構いません。最初の文字だけを入力すれば、その読みで始まる名前がすべて検索されます。

「あかさたな一覧で検索する」(☞ 2-37 ページ)

### 電話番号で検索する

局番など、電話番号の一部で電話帳データを検索することができます。

**1 電話帳の一覧画面で 2**

「番号検索」入力画面が表示されます。

**2 番号を入力 →**

「番号検索」一覧画面が表示されます。

**3 で相手先を選択**

**お知らせ**

- 番号は 5 桁まで入力できます。

### メールアドレスで検索する

メールアカウント (@ より前) やドメイン名 (@ より後) など、メールアドレスの一部で電話帳データを検索することができます。

**1 電話帳の一覧画面で 3**

「アドレス検索」入力画面が表示されます。

**2 アドレスを入力 →**

「アドレス検索」一覧画面が表示されます。

**3 で相手先を選択**

**お知らせ**

- アドレスは半角で 10 文字まで入力できます。

## 短縮番号で電話をかける

短縮番号（メモリ No.000 ～ 009）に登録した相手先には、メモリ No. の下 1 桁を入力するだけで、簡単に電話をかけることができます。電話番号が複数登録されているときは、電話番号 1 にかかります。

**1 待ち受け画面で、 ～ 9 でメモリ No. の下 1 桁を入力 → または ( 発信 )**

**お知らせ**

- 短縮番号による発信は、公衆モード、オフィスモードでご利用いただけます。
- 短縮番号にシークレットデータが設定されている場合は、短縮番号で電話をかけることはできません。

# 電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

**1 修正する電話帳データの詳細を表示する**

「電話帳を使って電話をかける」(☞ 2-35ページ)

**2 ✉（編集）**

「電話帳登録」画面が表示されます。

**3 ◎ で編集する項目を選択 → ◎**

**4 登録内容を編集**

「電話帳を新規登録する」(☞ 2-32 ページ)

# 電話帳の内容を削除する

電話帳のデータは、1件ずつ、または何件かまとめて削除できます。
電話帳のデータをすべて削除するには、暗証番号による認証が必要になります。

## 1件だけ削除する

**1 待ち受け画面で ◎ 6 1**

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

**2 削除するデータを選択 → ⋯ 8**

削除するデータの内容を確認したいときは、データを選択して ◎ を押し、詳細を表示させてから ⋯ を押します。

**3 ◎ で「Yes」を選択 → ◎**

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

## 選択して削除する

**1 待ち受け画面で ◎ 6 1**

電話帳の一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

**2 ⋯⋯（次頁）1**

電話帳の一覧にチェックボックスが表示されます。

**3 削除するデータを選択**

**1 件ずつ選択するには**

◎ で削除する電話帳データを選択し、◎（チェック）を押します。電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◎（チェック）を押します。

**全件選択するには**

⋯ を押し、サブメニューで 1（全件選択）を押します。すべての電話帳データの先頭に「☑」が付きます。チェックをすべて外すときは、⋯ を押し、サブメニューで 2（全件解除）を押します。

**4 ✉（削除）**

「選択されたデータを削除しますか？」と表示されます。

**5 ◎ で「Yes」を選択 → ◎**

選択したデータが削除され、「削除しました」と表示されます。

## 全件削除する

電話帳のデータをすべて削除すると、シークレットデータも削除されます。

**1 待ち受け画面で ◎ 6 7**

「全件削除」の暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」(☞ 5-6 ページ)
認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

**3 ◎ で「Yes」を選択 → ◎**

電話帳のデータがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

# 電話帳のグループ設定を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。また、グループごとに着信音やイルミネーションを設定することもできます。

## グループ名を変更する

電話帳のグループ名は、全角 9 文字（半角 18 文字）まで入力できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 3**

「グループ設定」画面が表示されます。

**2 名前を変更するグループの番号を選択 → ◉**

「グループ名」入力画面が表示されます。

**3 ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力 → ◉**

グループ名が設定され、「設定しました」と表示されます。

**文字の入力方法について**

「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

### ■ グループ名をお買い上げ時の状態に戻す

お買い上げ時には、グループ名は「グループ 1」～「グループ 0」に設定されています。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 3**

「グループ設定」画面が表示されます。

**2 ･･ 2**

「全てのグループ名を初期設定に戻しますか？」と表示されます。

**3 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

グループ名が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

## グループごとの着信音／着信イルネーション／バイブを設定する（グループ着信設定）

グループごとに着信音／着信イルミネーション／バイブレータを設定することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 3**

「グループ設定」画面が表示されます。

**2 ◉ で設定するグループの番号を選択 → ･･ 1**

「グループ着信設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 電話着信**
電話着信に対する設定になります。

**2 E メール着信**
E メール着信に対する設定になります。

**3 ライトメール着信**
ライトメール着信に対する設定になります。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 着信音**
2（着信音から選択）を押し、◉ で着信音を選択して ◉ を押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）で設定した着信音となります。

**2 着信イルミネーション**
1 ～ 4 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「着信ランプを設定する」（☞ 6-12 ページ）で設定した着信イルミネーションとなります。

**3 バイブ**
1 ～ 8 のいずれかを押します。1（通常と同じ）を押した場合は、「バイブレータを設定する」（☞ 2-47 ページ）で設定したバイブレータとなります。

着信音／着信イルミネーション／バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

## 電話帳ロック中の着信表示を設定する

「機能ロック」(☞ 5-15 ページ)で電話帳をロック中に、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときの表示方法を設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 4**

「ロック中着信表示」暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」(☞ 5-6 ページ)

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
着信中画面に電話帳に登録してある名前が表示されます。

2 OFF
着信中画面には名前は表示されません。

着信表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## シークレットデータを一時的に表示する(シークレット一時表示)

電話帳の登録時にシークレット設定を「ON」にしたデータは、電話帳を検索しても表示されません。シークレットデータを一時的に表示するには、暗証番号による認証が必要になります。
電話帳の検索画面から発信を行ったり、違う画面に表示を切り替えたりすると、シークレットデータは自動的に非表示に戻ります。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 5**

または、電話帳検索画面で ⋯ を押し、5 (シークレット一時表示)を押します。
「シークレット一時表示」暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」(☞ 5-6 ページ)
認証されると電話帳の一覧画面が表示されます。シークレットデータは他と違う色の文字で表示されます。

## 電話帳の登録件数を確認する(登録件数表示)

電話帳に登録されているデータの総数、およびグループごとの登録件数を表示できます。
シークレット設定されているデータもカウントされます。

**1 待ち受け画面で ◉ 6 6**

登録件数表示画面が表示されます。登録件数は「○○○/ 1000」と表示され、棒グラフでも表示されます(1000 は登録可能な最大件数)。

**お知らせ**
- 電話帳検索画面で ⋯ を押し、4 (登録件数表示)を押しても、電話帳の登録件数を表示できます。

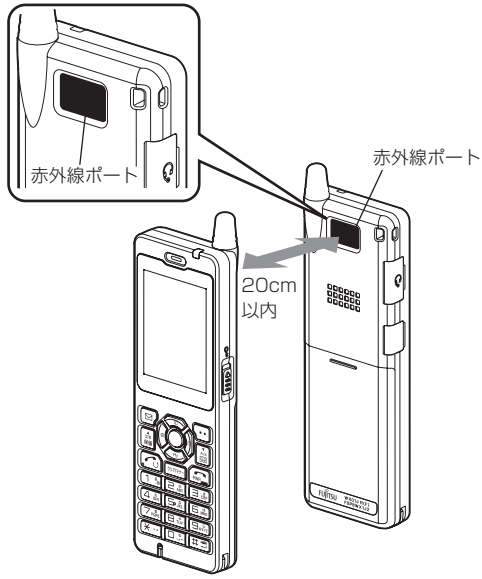
# 赤外線通信を行う

赤外線通信により、本電話機どうしや赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳のデータをやり取りすることができます。

## 赤外線通信の利用のしかた



赤外線通信を行うには、送信側と受信側がそれぞれ準備をする必要があります。通信時は電話機の赤外線ポートどうしを向い合わせ、20cm 以内の距離に近づけてください。また、通信が終わるまでは電話機は動かさないでください。




**お知らせ**

- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータは、電話帳の 1 件または全件です。
- 電話帳は vCard 形式で送信されます。
- 受信できるデータの容量は 1.25M バイトまでです。容量によっては、通信に時間がかかる場合や正しく受信できない場合があります。
- 赤外線通信機能を使った電話帳の転送は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信を使ってプロフィールも送信することができます。
「プロフィールを赤外線通信で送信するには」（☞ 6-6 ページ）

## 赤外線通信で受信する

本電話機を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

### 1 待ち受け画面で ◉ 7

「赤外線受信」画面に「受信待機中」と表示されます。

### 2 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向ける

送信側から送信が始まると、自動的に受信が始まり、「データ受信中」と表示されます。

### 3 受信データに応じて操作する

**「電話帳一件を受信しました　登録しますか？」と表示されたときは**

1 件のデータを受信しました。◎ で「Yes」を選択して ◉ を押してください。受信したデータが電話帳に登録されます。

**「認証パスワードを入力して下さい」と表示されたときは**

送信側が電話帳の全件を送信しようとしています。次のように操作してください。

1. 送信側から指定された 4 桁の認証パスワードを入力し、◉ を押します。
2. ◎ で「Yes」を選択 → ◉
3. 次の項目より選択 → ◉

   1 追加登録
   受信したデータが電話帳の空き領域に登録されます。

   2 上書き登録
   暗証番号認証（☞ 5-6 ページ）の後、「電話帳を全件削除しますか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択して ◉ を押すと、現在の電話帳のデータはすべて削除され、受信したデータが登録されます。

登録が終わると、「（登録件数）／（受信件数）件登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 1 件の電話帳データを受信した場合、受信データが 1.25M バイトをこえた場合「サイズオーバーです受信できません」と表示され、データは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、登録の途中で受信側の電話帳がいっぱいになると「電話帳がいっぱいです」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、上書き登録時に、先頭のデータはプロフィールに登録されます。追加登録時は電話帳に登録されます。
- 電話帳のグループ名とグループ番号は、電話帳を全件受信して上書き登録した場合のみ登録されます。
- 相手の電話機によっては、受信および送信できないデータもあります。
- 受信した電話帳データに電話番号とメールアドレスの情報がない場合、電話番号として「＊＊＊＊」が登録されます。
- 他社の電話機において設定された、絵文字を伴う電話帳データを受信した場合、正しく受信できないことがあります。
- 受信した電話帳データに名前がない場合、フリガナ、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかが名前として登録されます。
- 受信した電話帳データにフリガナがない場合、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかがフリガナとして登録されます。

## 赤外線通信で送信する

本電話機の電話帳データを送信します。

### ■ 1 件だけ送信する

### 1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。◎ でも、同じ操作ができます。

### 2 送信するデータを選択 → ⋯ 7 1

送信するデータの内容を確認したいときは、データを選択して ◉ を押し、詳細を表示させてから ⋯ を押します。

### 3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて ◉（送信）

相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「電話帳一件送信完了」と表示されます。

## ■ 全件送信する

全件送信の場合、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります（暗証番号とは別のパスワードです）。事前に認証パスワードとして 4 桁の数字を決め、受信側に伝えておいてください。

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

電話帳に登録されているシークレットデータは、一時的に表示していない限り送信されません。シークレットデータも含めてすべての電話帳データを送信するには、あらかじめシークレットデータを一時的に表示しておく必要があります。「シークレットデータを一時的に表示する（シークレット一時表示）」（☞ 2-41 ページ）

### 1 待ち受け画面で ◉ 6 1

電話帳一覧画面が表示されます。◉ でも、同じ操作ができます。

### 2 ･･ 7 2

「赤外線送信」暗証番号入力画面が表示されます。

### 3 暗証番号認証を行う

**シークレットデータを一時表示していないとき**
「送信しますか？シークレットデータは送信されません」と表示されます。

**シークレットデータを一時表示しているとき**
「送信しますか？シークレットデータも送信します」と表示されます。

### 4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉

「赤外線送信」認証パスワード入力画面が表示されます。

**「 No」を選択すると**
送信を中止し、手順1の電話帳一覧画面へ戻ります。

### 5 認証パスワードを入力 → ◉

「電話帳全件　待機中」と表示されます。

### 6 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて ◉（送信）

相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「電話帳全件送信完了」と表示されます。

# 音を調整する

## 受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）

通話先の相手の声を聞くときの受話音量を５段階で設定できます。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 5 2

「受話音量」画面が表示されます。

**2 ◉ で受話音量レベルを選択 → ◉**

受話音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

◉：受話音量レベルが上がります。
◉：受話音量レベルが下がります。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「VOL.4」に設定されています。
- 本機能の設定は、電源を切っても変わりません。
- 通話中に受話音量を調節することができます。「受話音量を調節する」（☞ 2-12ページ）

## ひそひそ通話を設定する（ひそひそ設定）

公共の場所などで小さな声で話したいときに、通話時の音を設定できます。この場合、小さな声で話しても相手には大きく聞こえます。また、相手の声も大きく聞こえます。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 5 3

「ひそひそ設定」画面が表示されます。

**2 1（ON）**

ひそひそ通話が設定され、「設定しました」と表示されます。
ひそひそ通話が設定されていると、通話中の画面に「ひそひそ通話中」と表示されます。

**ひそひそ設定を解除するには**

ひそひそ設定時に 2（OFF）を押します。
ひそひそ通話が解除され、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 通話中に一時的にひそひそ通話設定を切り替えることができます。この場合、通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話）を選択します。ひそひそ通話を解除するには、ひそひそ通話中に ◉（機能）を押し、通話中機能から 4（ひそひそ通話解除）を選択します。
- 通話中に一時的にひそひそ通話に切り替えた場合に、通話を終了すると自動的にひそひそ通話は解除されます。
- 本機能を「ON」に設定すると、解除するまで有効です。
- 本機能の設定は、イヤホンマイク装着時の通話でも有効です。

## 着信音を設定する

着信時の着信音、着信音の音量、鳴動時間、バイブレータ、Eメールのバックグラウンド受信通知について設定します。

### 着信音を設定する

相手から着信したときの着信音を設定できます。着信音の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音の設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 1 1

「着信」画面が表示されます。

**2 1 1**

「着信音」画面が表示されます。

**着信音を聞くには**

で着信音を選択して（再生）を押すと、着信音が再生されます。この場合、で次の着信音、で前の着信音を再生します。再生を終了するには、（停止）または クリアマナー を押します。を押すと、再生中の着信音が着信音として設定されます。

**音量を調節するには**

着信音再生中に、で音量の調節ができます。

**着信時の動作を確認するには**

（リハーサル）を押すと、本電話機が現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、で次の着信音、で前の着信音を再生します。を押すと、その時点で再生中の着信音が設定されます。再生を終了するには、（停止）を押します。

### 3 で着信音を選択 → 

着信音が設定され、「設定しました」と表示されます。

## ■ 着信音一覧

| 種別 | 着信音名 |
|---|---|
| Beep 音 | パターン 1<br>パターン 2<br>パターン 3<br>パターン 4<br>パターン 5<br>パターン 6<br>パターン 7<br>パターン 8<br>パターン 9<br>パターン 10<br>パターン 11<br>パターン 12<br>パターン 13 |
| アラーム | アラーム 1<br>アラーム 2 |
| 音声 | 「お電話です。」<br>「メールがきています。」<br>「お早うございます。」<br>「お時間です。」 |

## ■ お買い上げ時の設定値

| 機能 | 着信音 | 鳴動時間 | 音量 | バイブレータ | バックグラウンド受信通知 |
|---|---|---|---|---|---|
| 公衆着信 | パターン 1 | － | 音量 3 | OFF | － |
| E メール着信 | パターン 2 | 10 秒 | | | ON |
| ライトメール着信 | 「メールがきています。」 | 10 秒 | | | － |
| オフィス外線着信 | パターン 3 | － | | | － |
| オフィス内線着信 | パターン 4 | － | | | － |
| オフィス専用線着信 | パターン 5 | － | | | － |

## 着信音量を設定する

着信音量を調節できます。着信音量の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音量の設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1**

「着信」画面が表示されます。

**2 1 2**

「音量」画面が表示されます。

**3 ◉ で着信音量のレベルを選択 → ◉**

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

**音量レベルの操作と表示について**

◉：着信音量レベルが上がります。
◉：着信音量レベルが下がります。

着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。

着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

着信音量レベル VOL.1 ～ VOL.5

レベル VOL.1 よりさらに ◉ を押すと「OFF」になります。

**着信音量を確認するには**

✉（再生）を押すと、現在選択している着信音量レベルが確認できます。確認を終了するには、✉（停止）を押します。

**着信時の動作を確認するには**

（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。再生を終了するには、✉（停止）を押します。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「VOL.3」に設定されています。

## バイブレータを設定する

相手から着信したとき、音を鳴らさずにバイブレータでお知らせするように設定できます。バイブレータの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時のバイブレータの設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 1 1**

「着信」画面が表示されます。

**2 1 3**

「バイブ」画面が表示されます。
バイブレータには6つのパターンがあります。◉ でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 パターン1**
**2 パターン2**
**3 パターン3**
**4 パターン4**
**5 パターン5**
**6 バイブ後着信音鳴動**
着信時にバイブレータが動作し、約10秒後に着信音も鳴り出します。この場合、着信音は現在設定されている着信音です。
「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）
**7 OFF**

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

**バイブレータを解除するには**

バイブレータ設定時に 7（OFF）を押します。

**着信時の動作を確認するには**

（リハーサル）を押すと、現在の設定で着信時の動作をします。動作中は、✉ で次のバイブレータ、✉ で前のバイブレータのパターンが変更できます。◉ を押すと、その時点でのパターンが設定されます。再生を終了するには、✉（停止）を押します。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## メール着信時の鳴動時間を設定する

Eメールとライトメールを受信したときの鳴動時間を、1～60秒の間で設定できます。以下はEメール着信時の鳴動時間の設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で ◉5 1 1**

「着信」画面が表示されます。

**2 2 4**

「鳴動時間」入力画面が表示されます。

**3 0～9で鳴動時間を入力 → ◉**

メール着信時の鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

**鳴動時間の入力について**

◉で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

## Eメールのバックグラウンド受信通知を設定する（バックグラウンド受信通知）

Eメール以外の機能の使用時にEメールを受信したとき、Eメール着信音やメッセージで通知するかどうかを設定します。

**1 待ち受け画面で ◉5 1 1**

「着信」画面が表示されます。

**2 2 5**

「バックグラウンド受信通知」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

バックグラウンドでEメールを受信した場合に受信通知を行います。

**2 OFF**

バックグラウンドでEメールを受信した場合に受信通知を行いません。

バックグラウンド受信通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

# マナーモードを設定する

公共の場所などで音を鳴らしたくないときに、マナーモードを設定できます。また、マナーモードの内容はお好みで設定できます。

## マナーモードにする

**1 待ち受け画面でクリアマナーを約1秒以上押す**

本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」「 」「 」が表示されます。

**マナーモードを解除するには**

マナーモード設定時に、待ち受け画面でクリアマナーを約1秒以上押すと、マナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 「マナーモード」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時の状態で「マナーモード」を設定すると、「バイブ」は「ON」に、「電話着信音量」「メール着信音量」「アラーム音量」「スケジュール音量」「効果音」「留守録音」は「OFF」に設定されます。それぞれの機能設定画面で違う設定にしていても、「マナーモード」の設定が優先されます。
- 「オートサイレント」が設定されているときには、本機能を設定することはできません。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 2-50ページ）

## マナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「バイブレータ」、「電話着信音量」、「メール着信音量」、「アラーム音量」、「スケジュール音量」、「効果音（キー確認音、成功／エラー音、圏外／充電警告音、送達確認音）」、および「留守録音」の設定内容を変更できます。

### ■「バイブ」「効果音」のマナーモードの設定内容を変更する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1**

「マナー登録」画面が表示されます。

**2 1**

「マナーモード」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 バイブ**
「バイブ」画面が表示されます。

**6 効果音**
「効果音」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象とします。

**2 OFF**
「バイブレータ」または「効果音」を、「マナーモード」の設定対象外とします。

「マナーモード」画面に戻ります。

**5 ✉（登録）**

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**
- バイブレータの動作は、「電話着信」、「メール着信」、「アラーム」、および「スケジュール」のそれぞれで動作パターンが異なります。

### ■「電話着信音量」「メール着信音量」「アラーム音量」「スケジュール音量」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモードに設定したときでも、お好みの音量で音を鳴らすことができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1**

「マナー登録」画面が表示されます。

**2 1**

「マナーモード」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**2 電話着信音量**
「電話着信音量」画面が表示されます。

**3 メール着信音量**
「メール着信音量」画面が表示されます。

**4 アラーム音量**
「アラーム音量」画面が表示されます。

**5 スケジュール音量**
「スケジュール音量」画面が表示されます。

**4 ◉ で着信音量のレベルを選択 → ◉**

「マナーモード」画面に戻ります。

**5 ✉（登録）**

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

**音量レベルの操作と表示について**

◉：着信音量レベルが上がります。
◉：着信音量レベルが下がります。

着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。

着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

着信音量レベル VOL.1 ～ VOL.5

レベル VOL.1 よりさらに ◉ を押すと「OFF」になります。

**それぞれの音量を確認するには**

✉（再生）を押すと、現在選択している音量レベルが確認できます。確認を終了するには、✉（停止）を押します。

## ■「留守録音」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモード時の「留守録音」の動作を設定します。この機能が設定されている場合（「ON」の場合）は、待ち受け画面に「 」が表示されます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1**

「マナー登録」画面が表示されます。

**2 1 7**

「留守録音設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
応答時間設定画面が表示されます。応答時間を 0 ～ 9 で入力し、◉ を押します。

**2 OFF**
「留守録音設定」をマナーモードの対象外とします。

「マナーモード」画面に戻ります。

**4 （登録）**

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

**留守録音の設定方法について**
「留守録音を設定する」（☞ 2-54 ページ）

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## 特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、着信音を自動的に鳴らさないように設定できます。オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」（☞ 1-15 ページ）

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5 1**

「マナー登録」画面が表示されます。

**2 2**

「オートサイレント」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON（毎日）**
毎日、同じ時間帯にオートサイレントを有効にします。

**2 ON（一度きり）**
1度だけオートサイレントを有効にします。

**3 ON（曜日指定）**
曜日の一覧が表示されるので、オートサイレントを有効にしたい曜日を ◉ で選択し、◉（選択）を押してチェックを付けます。曜日を選択したら、✉（完了）を押します。

**4 OFF**
オートサイレントが解除され、「解除しました」と表示されます。

「ON」を選択した場合は開始時刻の設定画面が表示されます。
「OFF」を選択した場合は「マナー登録」画面に戻ります。

**4 0 ～ 9 で開始時刻を入力 → ◉**

開始時刻の設定画面が表示されます。

**5 0 ～ 9 で終了時刻を入力 → ◉**

オートサイレントが設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、その時刻になるとオートサイレントが有効になり、待ち受け画面に「 」が表示されます。

**入力する箇所を選ぶには**
◉ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**「終日」に設定するには**
（終日）を押します。

**お知らせ**

- 「オートサイレント」設定時、成功音は鳴りません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 23:00 ～ 04:00 のように、日をまたがる設定もできます。
- 「ON（一度きり）」を設定していた場合、その設定時刻を過ぎたときは、自動的に「OFF」に設定されます。
- 本機能が設定されているときに、録音データや着信音の設定で再生をしようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、◎で「Yes」を選択して◎を押すと、再生を開始します。
- 音量調節などで音を鳴らしているときに本機能の設定時刻になっても、再生音は停止しません。

# 安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに「安全運転モード」に設定しておくと便利です。電話がかかってきても、着信音やバイブレータ、バックライトなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。

安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする「電話機応答」と、ウィルコムのネットワークから電話に出られないことをお伝えする「ネットワーク応答留守電サービス」および「ネットワーク応答」の 3 つのモードがあります。「ネットワーク応答留守電サービス」や「ネットワーク応答」を利用するには、ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただく必要があります。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞ 6-42 ページ）

## 安全運転モードにする

**1 待ち受け画面で #を約 1 秒以上押す**

お買い上げ時の設定では、安全運転モードが設定され、「電話機応答に設定しました」と表示されます。

本機能を設定すると、待ち受け画面に「🚗」が表示されます。

**安全運転モードを解除するには**

待ち受け画面で #を約 1 秒以上押すと、安全運転モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

## 安全運転モードの設定内容を変更する

**1 待ち受け画面で ◎ 5 5 7**

「安全運転モード設定」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◎**

**1 ネットワーク応答留守電サービス**

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流し、ウィルコムの留守番電話センターに相手のメッセージを録音します。

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に「センター留守電あり」と表示され、「📞」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

**2 ネットワーク応答**

運転中のため電話に出ることができないという旨の応答メッセージを流します。この場合、相手のメッセージは録音されません。

待ち受け画面に着信件数が表示され、「📞」が表示されます。この表示は、着信履歴を確認するまで表示されます。

**3 電話機応答**

「ただいま移動中のため、電話に出られません。ピーッとなりましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージを流し、メモ録音に相手のメッセージを録音します。1 件につき最大 16 秒間のメッセージが録音できます。

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

安全運転モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「電話機応答」に設定されています。
- 「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、[戻る] を押すと録音は中止されます。この場合、途中までのメッセージが保存されます。
- 「ネットワーク応答留守電サービス」または「電話機応答」設定時、相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間（16秒間）が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 「電話機応答」設定時、応答メッセージを流しているときや録音中は、相手からの音声を受話口（レシーバ）で聞くことができます。
- 「電話機応答」設定時、メモ録音がいっぱいの場合には、メッセージを流した後、通話が終了します。

## キー確認音を設定する（効果音）

ボタンを押したときに、キー確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

**1 待ち受け画面で** [◉] [5] [1]

「音」画面が表示されます。

**2** [2] [1]

「キー確認音」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** [◉]

**1 パターンA**

**2 パターンB**

**3 OFF**

キー確認音を解除します。

キー確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

**キー確認音を確認するには**

キー確認音には2つのパターンがあります。キー確認音画面で [◉] でパターンを選択すると、それぞれのキー確認音が確認できます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「パターンA」に設定されています。
- キー確認音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。キー確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていればキー確認音は鳴ります。
- キー確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。キー確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中はキー確認音は鳴りません。
- キー確認音を「ON」にしても、イヤホン装着時は試聴時を含めキー確認音は鳴りません。

## 成功／エラー音を設定する（効果音）

各機能を設定したときに、成功音およびエラー音を鳴らすかどうかを選択できます。

**1 待ち受け画面で** [◉] [5] [1]

「音」画面が表示されます。

**2** [2] [2]

「成功／エラー音」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** [◉]

**1 ON**

成功／エラー音を設定します。

**2 OFF**

成功／エラー音を解除します。

成功／エラー音が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 成功／エラー音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。成功／エラー音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば成功／エラー音は鳴ります。
- 成功／エラー音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。成功／エラー音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は成功／エラー音は鳴りません。

## 圏外／充電警告音を設定する（効果音）

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるとき、または電池の充電が必要となり「▭」が表示されるときに、圏外警告音および充電警告音を鳴らすかどうかを選択できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 1**

「音」画面が表示されます。

**2 2 3**

「圏外／充電警告音」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
圏外／充電警告音を設定します。

2 OFF
圏外／充電警告音を解除します。

圏外／充電警告音が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 圏外 / 充電警告音の設定は「マナーモード」の「効果音」に従います。圏外 / 充電警告音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば圏外 / 充電警告音は鳴ります。
- 圏外 / 充電警告音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。圏外 / 充電警告音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は圏外 / 充電警告音は鳴りません。

## 送達確認音を設定する（効果音）

ライトメールを送信したときに、送達確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 1**

「音」画面が表示されます。

**2 2 4**

「送達確認音」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
送達確認音を設定します。

2 OFF
送達確認音を解除します。

送達確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 送達確認音の設定は「マナーモード」の「効果音設定」に従います。送達確認音を「OFF」にしても、「マナーモード」の「効果音」が「ON」になっていれば送達確認音は鳴ります。
- 送達確認音の設定は「オートサイレント」の設定に従います。送達確認音を「ON」にしても、「オートサイレント」起動中は送達確認音は鳴りません。

## 相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約 0.5 秒振動してそのことをお知らせするかどうかを選択できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 4**

「発信先応答通知」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
発信先応答通知を設定します。

2 OFF
発信先応答通知を解除します。

発信先応答通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

# 留守録音を設定する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、留守録音、通話録音、メモ録音合わせて 4 件まで、最長 16 秒ずつ録音することができます。

## 留守録音を設定／解除する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5**

「マナー／留守電」画面が表示されます。

**2 4**

「留守録音設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
応答メッセージを流し、相手のメッセージをデータフォルダに保存します。

**2 OFF**
留守録音設定を解除します。

「ON」を選択した場合は、「応答時間設定」画面が表示されます。
「OFF」を選択した場合は、「解除しました」と表示され、「マナー／留守電」画面に戻ります。

**4 ロ ～ 9 で応答時間を入力 → ◉**

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「✉」が表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「留守録音設定」は「OFF」に設定されています。
- お買い上げ時には、「応答時間設定」は「10 秒」に設定されています。
- 待ち受け画面で 0 を約 1 秒以上押すことでも、留守録音を設定／解除できます。
- 応答メッセージを流しているときや留守録音中は、相手からの音声をレシーバで聞くことができます。
- 応答メッセージの再生中に ☎ または ◉（通話）を押すと、通話状態となり相手と話すことができます。
- 「留守録音設定」を設定していなくても、着信中に ◉（留守録）を押すと、留守録音に切り替わります。
- 通話中に相手の声を録音することもできます。「通話を録音する（通話録音）」（☞ 2-12 ページ）
- 相手がメッセージを録音している途中で、最大録音可能時間が過ぎると「ピー」という音が鳴り、録音を終了します。
- 録音データがいっぱいのときには、留守録音を行うことができません。不要なデータは削除してください。「録音されたメッセージを削除する」（☞ 2-55 ページ）

## 録音されたメッセージを再生／削除する

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、クリアマナー を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

### 録音データから再生する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 5 5**

「録音データ」一覧画面が表示されます。

| | |
|---|---|
| NEW VOICE | 再生されていない録音メッセージ |
| VOICE | 再生済みの録音メッセージ |

**待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは**
まだ再生していない留守録音メッセージがあります。この場合は、◉ を押すと録音データ一覧画面が表示されます。

**2 で再生したい録音メッセージを選択 → （再生）**

「録音データ」画面が表示されます。

**3 （再生）**

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。

**スピーカから音を聞くには**

再生中に （スピーカ）を押します。レシーバに切り替えるには （レシーバ）を押します。

**再生を終了するには**

再生中に （停止）または クリア/マナー を押します。

**再生中の録音メッセージを削除するには**

再生中に （削除）を押すと、「削除しますか？」と表示されます。この場合、 で「Yes」を選択して を押すと、「削除しました」と表示されます。

**音量を調節するには**

再生中に、 で音量を調節します。

：再生音量レベルが上がります。

：再生音量レベルが下がります。

**お知らせ**

- 録音メッセージの一覧には、着信時間の新しい順に録音メッセージが表示されます。
- 再生中に、 で再生中のデータの頭出しをします。 で次の録音メッセージを再生します。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音メッセージを再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、 で「Yes」を選択して を2回押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- シークレットが「ON」で電話帳に登録されている発信者の場合は、留守録音のデータ名は「ユーザ非通知」になります。登録名を一時的に表示するには、 を押し、サブメニューで 4 （シークレット一時表示）を押します。暗証番号認証を行うと、登録名が表示されます。
- ウィルコムの留守番電話サービスにお申し込みいただくと、ネットワーク経由で留守番電話機能をご利用いただけます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞6-42 ページ）

## 着信履歴から再生する

留守録音メッセージは、着信履歴から再生することもできます。

**1 待ち受け画面で 6**

「録音データ」一覧画面が表示されます。

**2 で履歴を選択 → **

「録音データ再生」画面が表示されます。

**3 （再生）**

留守録音メッセージが再生されます。

## 録音されたメッセージを削除する

**1 待ち受け画面で 5 5 5**

「録音データ」一覧画面が表示されます。

**2 で削除する録音メッセージを選択 → **

サブメニュー画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → **

**1 一件削除**

選択した録音メッセージ 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**

録音メッセージ選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1. で削除する録音メッセージを選択 → （チェック）

録音メッセージの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 （チェック）を押します。

全件選択する場合は、 1 （全件選択）を押します。

チェックをすべて外す場合は、 2 （全件解除）を押します。

2. 削除する録音メッセージの選択を終えたら （削除）

**3 全件削除**

留守録音の全メッセージを削除します。

**4 で「Yes」を選択 → **

録音メッセージが削除され、「削除しました」と表示されます。

# マイメニューを利用する

よく利用するメニューを「マイメニュー」に登録すると、操作が簡単に行えるようになります。

## マイメニューに登録する

メニューを最大 12 件までマイメニューに登録することができます。
以下は、機能ロックをマイメニューに登録する設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で ◎**

「マイメニュー」画面が表示されます。

**2 登録する番号を選択 → ✉（登録）**

メインメニュー画面が表示されます。

**登録済みの番号を選択して ✉ を押すと**
「上書きしますか？」と表示されます。上書きして良いときは、◎ で「Yes」を選択して ◎ を押します。

**3 登録する機能をメインメニューから選択する**

ここでは機能ロックを登録するので、9（セキュリティ）を押し、5（機能ロック）を押します。
マイメニューに機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「マイメニュー」には、「オンラインサインアップ」、「電卓」、「公衆着信」、「オフィス外線着信」および「オフィス内線着信」が登録されています。
- 同じ機能を複数登録することができます。
- 待ち受け画面から ◎ 8 5 でもマイメニューを表示することができます。

## マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューを操作します。

**1 待ち受け画面で ◎**

「マイメニュー」画面が表示されます。

**2 呼び出す機能を選択 → ◎**

選択したメニューの画面が表示されます。

## マイメニューから削除する

登録されているメニューを削除します。

**1 待ち受け画面で ◎**

「マイメニュー」画面が表示されます。

**2 ◎ で削除するメニューを選択 → ··（サブメニュー）**

サブメニューが表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◎**

**1 一件削除**
選択したマイメニュー1件だけを削除します。

**2 選択削除**
マイメニュー選択画面が表示されます。

**1** ◎ で削除するマイメニューを選択→ ◎（チェック）

マイメニューの先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◎（チェック）を押します。
全件選択する場合は、··1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、··2（全件解除）を押します。

**2** 削除するマイメニューの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**
すべてのマイメニューを削除します。

**4 ◎ で「Yes」を選択 → ◎**

マイメニューが削除され、「削除しました」とメッセージが表示されます。

# 3
# メール

メールについて…… 3-2
E メールアドレスを作成する…… 3-5
E メールを作成送信する…… 3-7
受信したメールを読む…… 3-11
送信メールを読む…… 3-17
メールを管理する…… 3-18
E メールの環境を設定する…… 3-24
プロバイダのメールアカウントを利用する… 3-29
ライトメールを使用する…… 3-32
接続先を変更する（インターネット設定）… 3-37

# メールについて

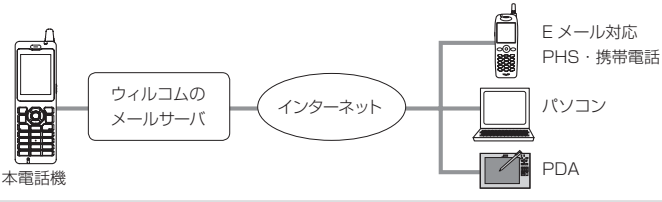
本電話機で利用できるメールには、E メールとライトメールがあります。

| | |
|---|---|
| **E メール** | インターネットを経由するメールです。パソコンや他社の E メール対応携帯電話機ともやり取りが可能です。「E メールについて」（☞ 3-2 ページ） |
| **ライトメール** | 相手の電話機と直接通信して送受信するメールで、送信時は相手の電話番号を宛先として指定します。ウィルコムのライトメール対応電話機どうしでやり取りが可能です。「ライトメールについて」（☞ 3-3 ページ） |



## E メールについて

Eメールは、ウィルコムのメールサーバを経由してインターネットに接続し、パソコンや Eメール対応電話機などとメッセージをやり取りするサービスです。パソコンなどで利用しているメールアカウントを本電話機で利用することもできます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞ 3-29 ページ）




**お知らせ**

- E メールを使用するには、オンラインサインアップを行う必要があります。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ）
- 本電話機は、添付ファイルつきのメール保存には対応しておりません。添付ファイルを含めてメールを受信しますが、保存の際に削除します。受信メールには添付ファイルがあったことを示すアイコンが表示されます。また、メール本文の文末に「＊添付ファイルは削除しました＊」と表示されます。
- 新規ご契約時のメール BOX の容量は 1M バイトです。画像やメロディなどの添付ファイルがない場合で、約1000 文字のメール約 500 通に相当します。センターの蓄積容量がいっぱいになるとそれ以上メールを受信することができなくなります。なお、オンラインサインアップから「メール BOX サイズ変更」を選択して容量を15M バイトに変更することが可能です。（2012 年 2 月現在）
- ウィルコムのメールサーバでの保管期間はメールの到着日を含め 30 日です。
- ご契約の料金プランによっては、ウィルコムのメールサーバに接続できず、E メールをご利用いただけない場合があります。詳しくはウィルコム法人様専用窓口にお問い合わせください。
- 本電話機に保存されているEメールやライトメールは、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。万一、保存されているメールが消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 通信料の節約について

ご契約の料金プランによっては、E メールの送受信の通信時間またはデータ量に応じた通信料がかかります。予期しない長文メールやサイズの大きい添付ファイルの受信によって通信料が多くかかることを避けるには、1 件あたりの受信メールの行数を少なく制限するのが有効です。「E メールの受信行数を設定する」（☞ 3-27 ページ）
添付ファイルを自動的に削除することもできます。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ）

## E メール送信の流れ

E メールを送信すると、いったんセンターに蓄積されます。

1. メッセージを作成
2. 相手のEメールアドレスを入力
3. 送信

→ ウィルコムのメールサーバに 1 度 E メールが蓄積されてから、相手に送信される

→ 相手がEメールを受け取る

## E メール受信の流れ

受信の場合も、E メールはセンターに蓄積されます。本電話機はセンターから受信メールを読み取ります。受信メールの読み取り方法には、自動受信と手動受信があります。

1. 相手がメッセージを作成
2. あなたの E メールアドレスを入力
3. 送信

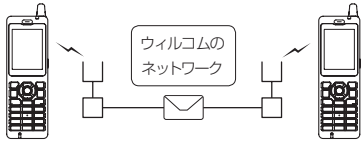
← ウィルコムのメールサーバに E メールが蓄積される

← ・自動受信する
・手動で受信する

自動受信については「自動で E メールを受信する」（☞ 3-11 ページ）を、手動受信については「手動で E メールを受信する」（☞ 3-12 ページ）を参照してください。

## ライトメールについて

ライトメールは、インターネット経由ではなく電話機どうしで直接やり取りするメールです。本電話機は、ライトメール対応機種との間でライトメールを送受信することができます。アニメーション絵文字に対応した機種には、アニメーション絵文字を付けてライトメールを送信することもできます。ライトメールについては、「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）を参照してください。




ライトメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

| | 全角文字 | 半角文字 |
|---|---|---|
| 文字のみ | 45 文字 | 90 文字 |
| アニメーション絵文字付き | 44 文字 | 88 文字 |

**お知らせ**

- ライトメールを送信するときは、相手がライトメール対応電話機であることを確認してください。
- 本電話機はライトメールのフレームには対応していません。フレーム付きのライトメールが送信されてきても正しく表示されません。
- 相手の電話機によっては、ライトメール対応機種であっても送信した文字や絵文字が完全に表示されないことがあります。
- ライトメールは、分計サービスを使って送信することはできません。

## メール BOX について

E メールとライトメールは、メール BOX に保存されます。メール BOX には次の 3 種類があります。

| メール BOX の種類 | 用途 |
|---|---|
| 受信 BOX | 受信したメールが保存されます。8 つのサブフォルダがあり、受信メールをサブフォルダに分けて整理することができます。「受信したメールを読む」(☞ 3-11 ページ) |
| 未送信 BOX | 送信待ちのメールや下書きメールが保存されます。「E メールを保存し、まとめて送信する」(☞ 3-9 ページ) |
| 送信 BOX | 送信済みのメールが保存されます。「送信メールを読む」(☞ 3-17 ページ) |



## メールメニューを表示する

E メールとライトメールの作成・送信、受信したメールの表示、メールアカウントを取得するためのオンラインサインアップや設定などは、メールメニューから操作を行います。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信 BOX**
「受信メールを表示する」(☞ 3-12 ページ)

**2 送信 BOX**
「送信メールを表示する」(☞ 3-17 ページ)

**3 未送信 BOX**
「未送信メールを編集する」(☞ 3-9 ページ)

**4 E メール受信**
「E メールを受信する」(☞ 3-11 ページ)

**5 E メール作成**
「E メールを新規に作成して送信する」(☞ 3-7 ページ)

**6 ライトメール作成**
「ライトメールを作成して送信する」(☞ 3-32 ページ)

**7 E メールアカウント設定**
「E メールアドレスを作成する」(☞ 3-5 ページ)
「プロバイダのメールアカウントを利用する」(☞ 3-29 ページ)

**8 オプション**
「本文の引用について設定する」(☞ 3-24 ページ)
「フォルダ表示を切り替える」(☞ 3-24 ページ)

**9 オンラインサインアップ**
「オンラインサインアップを行う」(☞ 3-6 ページ)

**0 インターネット設定**
「接続先を変更する(インターネット設定)」(☞ 3-37 ページ)

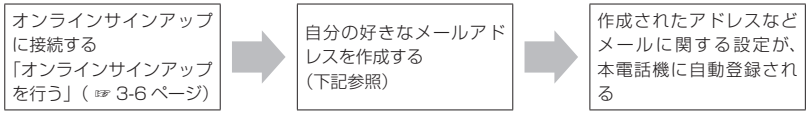
**メモリ使用状況/全削除**
「メール BOX の使用状況を見る」(☞ 3-23 ページ)

# E メールアドレスを作成する

本電話機でウィルコムの E メールを送受信できるようにするため、E メールアドレスを作成します。作成するには、メールやインターネットに関する設定を行う「オンラインサインアップ」の手続きが必要です。

## E メールアドレス設定の流れ

E メールアドレスは、下記のような流れで設定します。




オンラインサインアップで作成するのは E メールアドレスの @（アットマーク）より前の部分（ユーザネーム）で、自分の好きな文字列で作成できます。ただし、作成するにあたって次の注意点があります。

- 使用可能文字数は、半角文字 4 文字～ 20 文字です。
- 半角英数字のほか、記号の「_」（アンダーバー）、「-」（ハイフン）が使用できます。
- 「.」（ドット）、「スペース（空白）」は使用できません。
- 英字に大文字小文字の区別はありません。すべて小文字で登録されます。
- 先頭文字は英文字にしてください。
- @（アットマーク）より後ろは、あらかじめ決められたドメインが自動的に設定されます。

## オンラインサインアップを行う

オンラインサインアップサーバに接続して E メールアドレスを登録します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 9 1**

ネットワークに接続し、詳細設定が表示されます。

**3 画面の指示に従って、操作を行う**

◎ で項目を選択し、◉ を押し、必要な情報を入力してください。
オンラインサインアップが完了すると、E メールアドレス、パスワードなどのメールアカウント設定、ダイヤルアップ設定が、本電話機に自動的に設定されます。

**お知らせ**

- 同じユーザネームがすでに登録されている場合、そのユーザネームはご利用いただけません。別のユーザネームを指定し直してください。
- 機種変更で本電話機をご購入になった場合は、オンラインサインアップにより、機種変更前の E メールアドレスを継続してご使用になれます。
- 待ち受けモードが「公衆＋オフィス」でオフィス優先に設定されている場合でも、オンラインサインアップを行うことができます。

## オンラインサインアップ情報を削除する

オンラインサインアップで取得した E メールアカウントの使用を停止する場合は、オンラインサインアップ情報を削除します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 9 2**

「削除しますか？」と表示されます。

**3 ◎ で Yes を選択 → ◉**

オンラインサインアップ情報が削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 誤ってオンラインサインアップ情報を削除してしまったときは、オンラインサインアップサーバに接続することで再度設定することができます。
- オンラインサインアップ情報を削除しても、一般のプロバイダのメールアカウントは削除されません。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞ 3-29 ページ）

# E メールを作成送信する

新しい E メールを作成して送信します。すぐに送信せずに保存して、あとで送信することもできます。

## Eメールを新規に作成して送信する

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 5**

「E メール作成」画面が表示されます。

**3 ◉ で次の項目より選択 → ◉**

**差出人(From)を設定する**（☞ 3-8 ページ）
**宛先（To）を入力する**（☞ 3-8 ページ）
**件名（Sub）を入力する**（☞ 3-9 ページ）
**本文を入力する**（☞ 3-9 ページ）

**4 ◉ で「送信」を選択 → ◉**

E メールが送信されます。送信中は、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名、送信件数が表示されます。
送信が成功すると、送信した件数が表示されます。送信したEメールは送信BOXに保存されます。

**送信に失敗したときは**
Eメールは未送信メールとして未送信BOXに保存され、「送信に失敗しました」と表示されます。
「未送信メールを送信する」（☞ 3-10 ページ）

**電話帳からメールを作成するには**

**1** 電話帳で E メールの送信先を検索し、詳細画面を表示する

「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**2** 電話帳詳細画面通常表示の場合は ◉、電話帳詳細画面一覧表示の場合は ◉ で「@」を選択

**3** ◉（E メール）または ··· 3（E メール作成）

メールアドレスが宛先に入力された状態で E メール作成画面が表示されます。

**待ち受け画面から短縮番号で E メールを作成するには**
待ち受け画面で 1 桁の数字を入力し、✉（メール）を押して、サブメニューで 2（E メール）を押します。入力した 1 桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データの E メールアドレスが宛先にコピーされて E メール作成画面が表示されます。

**お知らせ**

- 作成中の E メールをライトメールに変更することができます。変更するには、手順 2 の Eメール作成画面で ··· を押し、3（メール種別切替）を押します。本文の文字数が 90 バイトを超える場合は、「本文の文字数 90 バイト目以降は削除されます。よろしいですか？」と表示されるので、◉ で「Yes」を選択して、◉ を押します。本文の先頭から全角 45 文字(半角 90 文字)までがコピーされて、ライトメール作成画面が表示されます。ライトメールとして編集し直します。「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）
- 未送信 BOX と送信 BOX の E メールの合計が 50 件ある場合や、新規作成に必要な容量が不足している場合に E メールを新規作成すると、保護されていない E メールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20 ページ）
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する(ダイヤルアップ)」(☞3-37 ページ)

## 差出人（From）を設定する

メールの差出人を設定します。

**1 E メール作成画面で ◎ で「From」を選択 → ◎**

アカウント一覧が表示されます。

**2 ◎ でアカウントを選択 → ◎**

「自動選択」を選択すると、現在の動作モードで設定されている送信メールアカウントが使用されます。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞ 3-37 ページ）

## 宛先（To）を入力する

E メールの送り先となるメールアドレスを入力します。

**1 E メール作成画面で ◎ で「To」を選択 → ◎**

「アドレス編集」画面が表示されます。

**2 ◎ 2**

「宛先入力」画面が表示されます。To 欄が選択された状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

### 電話帳から宛先を指定するには

1 アドレス編集画面で ◎ 1（電話帳引用）

電話帳が表示されます。

2 宛先のデータを検索し、登録されているメールアドレスを選択「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**3 メールアドレスを入力 → ◎**

「アドレス編集」画面に戻ります。電話帳に登録されているメールアドレスの場合は、登録名が表示されます。

### 複数の宛先を入力するには

1 つ目の宛先を入力すると、別の宛先（To）欄が追加されます。追加された To 欄を◎で選択してメールアドレスを入力することで、複数の宛先を入力することができます。宛先を追加すると、さらにまた新しい To 欄が追加されます。

### 他の人にメールのコピーを送信するには

Cc/Bcc 欄に変更します。Cc 欄は、To 欄とは別に参考として同じメールを送りたい宛先がある場合に使います。Bcc 欄は、その人に送信したことを To、Cc 欄の人には知らせたくないときに使います。

### Cc/Bcc 欄に変更するには

1 To 欄で ⋯ を押す

2 次の項目より選択 → ◎

2 Cc に変更
3 Bcc に変更

Cc/Bcc 欄に変更されます。

### Cc/Bcc 欄を To 欄に戻すには

1 Cc/Bcc 欄で ⋯ を押す

2 「1 To に変更」を選択 → ◎

### 宛先を削除するには

1 To/Cc/Bcc 欄のいずれかで ⋯ を押す

2 次の項目より選択 → ◎

4 一件削除
1 件だけを削除します。
5 選択削除
複数の宛先を選択して削除します。
6 全件削除
指定した宛先すべてを削除します。

確認の画面が表示されます。

3 ◎ で「Yes」を選択 → ◎

宛先が削除されます。

**4 ✉（決定）**

「E メール作成」画面に戻ります。

**お知らせ**

- メールアドレスは半角 64 文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）
- 宛先は、To/Cc/Bcc を合わせて最大 20 件まで入力できます。
- Cc は Carbon Copy（カーボンコピー）の略で、Bcc は Blind Carbon Copy（ブラインドカーボンコピー）の略です。どちらも参考としてメールのコピーを送る宛先を指します。Cc の宛先は、To や他の Cc の相手にも公開されるのに対して、Bcc の宛先は To や Cc の相手には公開されないという違いがあります。

## 件名（Sub）を入力する

メールの件名を入力します。

**1 E メール作成画面で ◎ で「Sub」を選択 → ◎**

「Subject 入力」画面が表示されます。「Sub」を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

**2 件名を入力 → ◎**

件名は全角 40 文字（半角 80 文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

## 本文を入力する

メールの本文を入力します。

**1 E メール作成画面で ◎ で本文欄を選択 → ◎**

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

**2 本文を入力 → ◎**

全角 2500 文字（半角 5000 文字）まで入力できます（改行は全角 1 文字に相当します）。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

**お知らせ**

- From で選択されているアカウントに署名が設定されている場合は、その署名が本文に自動的に挿入されます。署名の前に本文を入力してください。「署名を設定する」（☞ 3-26 ページ）
- E メールの作成では、半角のカタカナは入力できません。
- 本文が規定文字数を超える場合は、改行が自動的に挿入される場合があります。
- 携帯電話やパソコンに送信する場合、絵文字は受信者側で正しく表示されない場合があります。
- 本文中の文字列をコピーして流用することができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ）

# E メールを保存し、まとめて送信する

作成中の E メールを保存し、あとでまとめて送信することができます。

## 作成中の E メールを保存する

**1 E メールの宛先、件名、本文を入力する**

「E メールを新規に作成して送信する」（☞ 3-7 ページ）

**2 [••] [1]**

E メールが未送信メールとして未送信 BOX に保存されます。「未送信メールを送信する」（☞ 3-10 ページ）

**作成中の E メールを下書きとして保存するには**

[2]（下書き保存）を押します。E メールは未送信 BOX に保存されます。下書きとして保存した E メールは送信操作を行っても送信されません。「未送信メールを送信する」（☞ 3-10 ページ）

**お知らせ**

- 宛先が未入力の場合は、[1]（送信待ち保存）は選択できません。
- E メールは下書きを 20 件まで保存できます。ただし、未送信 BOX と送信 BOX の合計で 50 件を超える場合は保存できません。

## 未送信メールを編集する

未送信 BOX に保存された送信待ちメールや下書きメールを編集します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◎ [1]**

メールメニューが表示されます。

**2 [3]**

「未送信 BOX」画面が表示されます。

**3 でメールを選択 →**

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです（設定されていない項目は表示されません）。

- メールの保存日時
- To：宛先
- Cc：Cc の宛先
- Bcc：Bcc の宛先
- Sub：メールの件名
- メールの本文

**マークの意味について**

| | |
|---|---|
| | 送信待ち E メール |
| | 下書き E メール |
| | 下書きライトメール |
| | 保護メール |

**前後のメールを表示するには**

で前のメール、で次のメールが表示されます。

**メールアドレスをすべて表示するには**

差出人（From）やすべての To、Cc を表示する方法については「E メールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞ 3-13 ページ）を参照してください。

**本文に電話番号、メールアドレスが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレスは、で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する」（☞ 3-18 ページ）を参照してください。

**4 1**

「E メール作成」画面が表示されます。

**5 必要に応じてメールの各項目を編集する**

で To 欄～本文欄のいずれかを選択し、を押すと、その項目の内容を変更することができます。「E メールを新規に作成して送信する」（☞ 3-7 ページ）

**お知らせ**

- 送信待ちメール、下書きメールを編集した場合は、元のメールに上書きされます。
- 手順 3 の詳細画面の表示において、To、Cc、Bcc は各々の 1 番目を表示します。

## 未送信メールを送信する

送信待ち保存で保存した E メールを送信します。

**1 待ち受け画面で または 1**

メールメニューが表示されます。

**2 3**

「未送信 BOX」画面が表示されます。

**3 で未送信メールを選択 → 2（送信）**

選択した E メールが送信されます。

**未送信メールをまとめて送信するには**

3（全送信）を押します。

**メール詳細画面からメールを送信するには**

「未送信メールを編集する」（☞ 3-9 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作を行い、を押し、2（送信）を押します。

**お知らせ**

- 下書き保存したメールは送信されません。
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞ 3-37 ページ）

### ■ 下書き保存したメールを送信する

**1 待ち受け画面で または 1**

メールメニューが表示されます。

**2 3**

「未送信 BOX」画面が表示されます。

**3 で下書きメールを選択 → 1**

「E メール作成」画面が表示されます。

**4 必要に応じてメールを編集**

**5 で「送信」を選択 →**

選択した E メールが送信されます。

# 受信したメールを読む

## E メールを受信する

受信した E メールは最大 500 件まで保存されます。受信できる E メールのサイズは 1 件あたり最大で約 100K バイト（ヘッダ、添付ファイルを含む）です。受信メール本文の最大文字数は、20000 バイト（半角文字で 20000 文字、全角文字で 10000 文字）です。

### 自動で E メールを受信する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントのメールは、自動で受信することができます。自動で受信するには、E メール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。「E メール自動受信機能を設定する」（☞ 3-25 ページ）

**1　E メールを自動的に受信する**

ウィルコムのメールサーバに E メールが届くと本電話機に通知され、本電話機は自動的に E メールを受信します。

受信中は画面上端に「 」が表示され、受信が完了すると E メール着信音が鳴ります。また、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面には受信したメール件数が「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」（☞ 3-12 ページ）

**お知らせ**

- 受信するメールのサイズを制限したい場合は、受信行数制限を設定してください。「E メールの受信行数を設定する」（☞ 3-27 ページ）
- 受信によって受信 BOX の E メールが 500 件を超える場合や、保存先の空き容量を超える場合は、保護されていない既読 E メールが日付の古い順に削除され、新しい E メールが受信されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20 ページ）
- センターからEメールの受信通知を受け取った際、センターの電話番号などの情報が本電話機に登録されているセンターの電話番号と一致しない場合、「Eメール自動受信通知のセンタコードが一致しません」と表示されます。メールアカウントの内容をご確認になり、一度オンラインサインアップ情報を削除してからもう一度オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」（☞3-6ページ）
- を押して受信を中断した場合や受信中に圏外になるなどの理由で受信に失敗した場合は、「センターにEメールがあります」というメッセージと「 」が表示されます。この場合は クリアマナー または を押すと待ち受け画面に戻ることができます。「手動でEメールを受信する」（☞ 3-12ページ）
- 待受モードが「オフィス」または「グループ」に設定されているときは、E メールの自動受信を行うことはできません。「公衆＋オフィス」、「公衆＋グループ」に設定されているときは、優先発信切替の設定にかかわらず E メールの自動受信を行うことができます。

### ■ バックグラウンドでの受信について

待ち受け画面以外を表示しているときに E メールを受信した場合は受信が終わると、「E メール受信完了」と表示され、画面上端に「 」が表示されます。待ち受け画面に戻ると、「新着メール　○○件」と表示されます。「受信メールを表示する」（☞ 3-12 ページ）

**お知らせ**

- 「バックグラウンド受信通知」が「OFF」の場合は、「E メール受信完了」のメッセージは表示されません。「Eメールのバックグラウンド受信通知を設定する（バックグラウンド受信通知）」（☞ 2-48ページ）
- 本電話機の操作内容によっては、E メールを受信できない場合があります。また、E メール受信中に赤外線受信などの操作を行おうとすると、E メール受信を中断するかどうか確認するメッセージが表示されます。 で「Yes」を選択して を押すと、E メールの受信は中断されます。 で「No」を選択して を押すと、受信が続行されます。

## 手動で E メールを受信する

ウィルコムのメールサーバにある未受信の E メールを手動で受信します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 4**

センターにある未受信の E メールがすべて受信されます。受信中は、受信件数と未受信メールの合計件数、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名が表示されます。
受信が完了すると、受信したアカウント名ごとに受信件数が表示されたあと、受信 BOX が表示されます。「受信メールを表示する」（☞ 3-12 ページ）

**「センターに E メールがあります」と表示されているときは**

クリア/マナー または PWR を押すとメッセージが消え、「センターメールあり」というポップアップが表示されます。この状態で ◉ を押すと、E メールの受信が開始されます。

**お知らせ**

- オンラインサインアップの設定によって、E メールがウィルコムのメールサーバに届いていることをライトメールで通知させることもできます。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ）

### ■ 複数アカウントが設定されている場合のメール受信

複数のメールアカウントを設定してある場合、手動でEメール受信を行ったときにどのメールアカウントで受信するかは、現在選択している接続モードの設定によります。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞3-37ページ）接続モードの受信メールアカウントの「毎回選択」が「ON」のときは、手動での受信の手順は次のようになります。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 4**

「受信アカウント選択」画面が表示されます。

**3 ◉ で受信するアカウントを選択 → ◉（チェック）**

**4 ✉（開始）**

選択したアカウントのメールが受信されます。

**お知らせ**

- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、ダイヤルアップ接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞ 3-37 ページ）

## 受信メールを表示する

受信したメールは受信 BOX に保存されます。受信 BOX には、ユーザ受信 BOX1 ～ユーザ受信 BOX8 の 8 つのサブフォルダもあり、設定により自動的に受信メールをサブフォルダに振り分けることもできます。「メールを自動的にフォルダに振り分ける」（☞ 3-15 ページ）

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

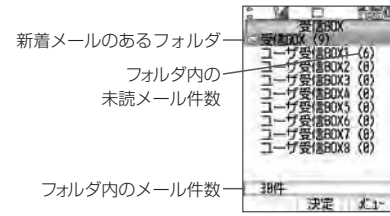
メールメニューが表示されます。

**待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

まだ読んでいないメールが受信 BOX にある場合は、待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されます。この場合は、◉ を押すと受信 BOX の新着メール一覧が表示されるので、手順 4 へ進んでください。

**2 1**

受信 BOX のフォルダ一覧が表示されます。新着メールのあるフォルダの左側には「✉」が表示されます。また、各フォルダの右側にはフォルダ内の未読メール件数が表示されます。



**フォルダ一覧を表示させないようにするには**
オプションの設定により、フォルダを表示せず受信 BOX の各フォルダ全体のメール一覧を表示させることもできます。「フォルダ表示を切り替える」（☞ 3-24 ページ）

### 3 でフォルダを選択 →

選択したフォルダ内のメール一覧が表示されます。

**フォルダ内のメール一覧に表示されるマークの意味について**

| | |
|---|---|
| | 新着メール |
| | 未読 E メール |
| | 既読 E メール |
| | 未読ライトメール |
| | 既読ライトメール |
| | 保護メール |
| | 不完全な新着メール※ |
| | 不完全な未読メール※ |
| | 不完全な既読メール※ |

※ 受信行数制限設定を「ON」にしている場合など、すべてのデータを受信しきれなかったときに表示されます。

### 4 でメールを選択 →

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです。

- **差出人がメールを送信した日時**
  メールに送信日時の情報がない場合やライトメールの場合は受信日時を表示します。
- From：メールの差出人
- Reply：返信先
  指定されていない場合は表示されません。
- Sub：メールの件名
- メールの本文

**前後のメールを表示するには**
で前のメール、 で次のメールが表示されます。

**本文に電話番号、メールアドレスが含まれているときは**
本文の電話番号、メールアドレスは、 で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する」（☞ 3-18 ページ）を参照してください。

**お知らせ**

- 本電話機は、添付ファイルつきのメールには対応しておりません。添付ファイルが削除された状態でメールを受信しますが、添付ファイルがあったことを示すアイコン と、本文の文末に「＊添付ファイルは削除しました＊」と表示されます。
- HTML 形式の E メールは正しく表示することができません。
- 新着メール一覧画面には新着の未読メールだけが表示されます。手順 4 でメールの詳細画面を表示し、その後メール一覧に戻ると、そのメールは新着メール一覧には表示されません。

## E メールに指定されているアドレスをすべて表示する

E メールには、宛先（To）と差出人（From）のほか、Cc や返信先（Reply）が指定されている場合もあります。To や Cc が複数指定されている場合もあります。これらのメールアドレスをすべて表示することができます。

### 1 メール詳細画面で でFromを選択 →

E メールに指定されている To/Cc/From/Reply のすべてが表示されます。

**メールアドレスを電話帳に登録するには**

**1** でいずれかのメールアドレスを選択 →

「電話帳に登録しますか？」と表示されます。

**2** で「Yes」を選択 →

**3** 次の項目より選択 →

1 新規登録
2 追加登録

メールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ）

## 返信する

受信したEメールに返信をします。

### 1 受信メール詳細画面で [・・] [1]

または、メール一覧でEメールを選択した状態で [・・] を押し、[1]（返信）を押します。
差出人のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。本文には受信メールの内容を引用することができます。

**お知らせ**
- メール詳細画面および一覧画面から [✉]（返信）を押しても、メールを返信することができます。

**全員へ返信するには**
メール詳細画面で [・・] を押し、[2]（全員へ返信）を押します。差出人（From）、Ccの全員のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。

### 2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞ 3-7ページ）

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「引用設定」は「引用しない」に設定されています。「本文の引用について設定する」（☞ 3-24ページ）

## 転送する

受信したEメールを差出人とは別の人に送信します。

### 1 受信メール詳細画面で [・・] [3]

または、メール一覧でEメールを選択した状態で [・・] を押し、[3]（転送）を押します。
本文に受信メールの内容が引用された状態でEメール作成画面が表示されます。

### 2 Eメールを作成して送信する

「Eメールを作成送信する」（☞ 3-7ページ）

# 受信BOXのフォルダを活用する

受信BOXには、「受信BOX」フォルダと「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」の合計9つのサブフォルダがあります。お買い上げ時の設定では、受信メールはすべて「受信BOX」に保存されますが、設定により自動的にユーザ受信BOXに受信メールを振り分け、受信メールを整理することができます。ユーザ受信BOXはフォルダ名を変更することもできます。

### 1 待ち受け画面で [✉] または [◉] [1]

メールメニューが表示されます。

### 2 [1]

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。

### 3 [◉] で名前を変更したいフォルダを選択 → [・・] [1]

「フォルダ名編集」画面が表示されます。

### 4 フォルダ名を変更 → [◉]

フォルダ名が変更され、受信BOXのフォルダ一覧に戻ります。

**お知らせ**
- フォルダ名は全角11文字（半角23文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17ページ）

## メールを自動的にフォルダに振り分ける

特定の差出人（メールアドレス）からのメールを自動的に受信 BOX の指定フォルダに振り分けることができます。1 つのフォルダに対して最大 24 件のメールアドレスを設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 1**

受信 BOX のフォルダ一覧が表示されます。

**3 ◉ で振り分け先のフォルダを選択 → ･･ 2**

「振り分け設定」画面が表示されます。

**4 ◉ で「振り分け設定追加」を選択 → ◉**

サブメニュー画面が表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 電話帳引用**
電話帳が表示されるので、振り分けるメールアドレスを電話帳から選択します。「電話帳を利用する」（☞ 2-31 ページ）

**2 送信履歴引用**
1（E メール）または 2（ライトメール）を押し、振り分けるメールアドレスを送信履歴から選択します。

**3 グループ**
電話帳のグループ一覧が表示されるので、振り分けるグループを選択します。この場合、グループに含まれる各メールアドレスが振り分けの対象になります。「グループ一覧で検索する」（☞ 2-37 ページ）

**4 直接入力**
振り分けるメールアドレスを直接入力します。

**6 必要に応じて設定を追加する**

設定を追加すると、設定したメールアドレスやグループ名が振り分け設定画面に表示されます。設定を追加する場合は、◉ で「振り分け設定追加」を選択し、◉ を押します。

**振り分け設定を変更するには**
振り分け設定画面で変更したい設定を ◉ で選択し、◉ を押します。振り分けるメールアドレスの指定方法を変更します。

**お知らせ**
- 複数のフォルダに同じ差出人を設定することはできません。ただし、あるフォルダに設定したグループ内のメールアドレスを他のフォルダに単独の差出人として設定することはできます。この場合、単独の差出人として設定したフォルダへの振り分けが優先されます。
- 受信メールを手動でフォルダに移動することもできます。「メールを移動する」（☞ 3-16 ページ）

### ■ 振り分け設定を削除する

**1 振り分け設定画面で削除したい設定を ◉ で選択 → ･･**

サブメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**
選択した設定 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**
振り分け設定選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉で削除する設定を選択→◉（チェック）
設定の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。全件選択する場合は ･･ 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、･･ 2（全件解除）を押します。

**2** 削除するデータの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**
設定の全データを削除します。

確認画面が表示されます。

**3 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

設定が削除され、「削除しました」と表示されます。

## ■ 振り分け設定をリセットする

全フォルダの振り分け設定を一括して削除します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 1**

受信 BOX のフォルダ一覧が表示されます。

**3 ··3**

暗証番号入力画面が表示されます。

**4 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「全てのフォルダの振り分け設定をリセットしますか？」と表示されます。

**5 ◉ で Yes を選択 → ◉**

振り分け設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

# メールを移動する

受信 BOX 内のメールを他のフォルダに移動することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 1**

受信 BOX のフォルダ一覧が表示されます。

**3 ◉ でフォルダを選択 → ◉**

選択したフォルダ内のメール一覧が表示されます。

**4 ◉ で移動するメールを選択 → ··4**

サブメニューが表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 1 件移動**

選択したメール 1 件だけを移動します。

**2 選択移動**

メール選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1 ◉ で移動するメールを選択 → ◉（チェック）**

メールの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は ··1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、··2（全件解除）を押します。

**2 移動するメールの選択を終えたら ✉（移動）**

**3 全件移動**

フォルダ内の全メールを移動します。

**6 ◉ で移動先のフォルダを選択 → ◉**

メールが移動し、「移動しました」と表示されます。

**お知らせ**

- メール詳細画面からメールを移動することもできます。メール詳細画面で ·· を押し、4（移動）を押します。フォルダ選択画面が表示されるので、◉ で移動先のフォルダを選択し、◉ を押します。
- メールをフォルダに移動した場合でも、フォルダ表示を「表示しない」に設定すると、すべてのメールが受信 BOX 内に表示されるようになります。再度、「表示する」に設定したときは、それぞれのフォルダ内に表示されます。

# 送信メールを読む

送信メール（送信済みのメール）は送信 BOX に保存されます。送信メールを編集して、別のメールとして送信することもできます。

## 送信メールを表示する

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 2**

「送信 BOX」が表示されます。

**3 ◎ でメールを選択 → ◉**

メールの詳細画面が表示されます。表示される内容は未送信メールと同じです。「未送信メールを編集する」（☞ 3-9 ページ）

**マークの意味について**

| | |
|---|---|
| | 送信済み E メール |
| | 送信済みライトメール |
| | 保護メール |

**前後のメールを表示するには**

◎ で前のメール、◎ で次のメールが表示されます。

**メールアドレスをすべて表示するには**

差出人（From）やすべての To、Cc を表示する方法については「E メールに指定されているアドレスをすべて表示する」（☞ 3-13 ページ）を参照してください。

**本文に電話番号、メールアドレス、が含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレスは、◎ で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する」（☞ 3-18 ページ）を参照してください。

## 送信メールを編集して送信する

**1 送信メールのメール詳細画面を表示する**

「送信メールを表示する」（☞ 3-17 ページ）

**2 ✉ 1**

「E メール作成」画面が表示されます。

**3 必要に応じてメールの各項目を編集する**

◎ で To 欄～本文欄のいずれかを選択し、◉ を押すと、その項目の内容を変更することができます。「E メールを新規に作成して送信する」（☞ 3-7 ページ）

**4 ◎ で「送信」を選択 → ◉**

編集した E メールが送信されます。

**お知らせ**

- 送信メールを編集した場合は、新規メールとして保存され、元のメールも残ります。
- 未送信 BOX と送信 BOX の E メールの合計が 50 件を超える場合や、編集に必要な容量が不足している場合、保護されていない E メールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20 ページ）
- 未送信 BOX と送信 BOX のライトメールの合計が 20 件を超えると、保護されていないライトメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20 ページ）

# メールを管理する

メールの管理方法について説明します。ここで説明する操作は、受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX に共通するものです。

## メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する

メール詳細画面の本文に含まれる電話番号、メールアドレスの利用方法を説明します。

### メール本文の電話番号を利用する

メール本文の電話番号を利用して、電話の発信、ライトメール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

**1 メール詳細画面を表示する**

受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX のいずれのメールでもかまいません。

**2 で電話番号を選択 → **

「0」で始まる10～32桁および「TEL:」で始まる32桁以内の半角の数字列が電話番号とみなされます。

**3 次の項目より選択 → **

**1 発信**
「この番号に発信しますか？」と表示されます。（発信）または を押すと、選択した電話番号に電話がかかります。

**2 ライトメール作成**
選択している電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）

**3 電話帳登録**
選択している電話番号を電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ）

**4 コピー**
選択している電話番号がコピーされます。コピーした電話番号は、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ）

**お知らせ**
- 手順 2 で を押して （発信）または を押しても電話をかけることができます。

### メール本文のメールアドレスを利用する

メール本文のメールアドレスを利用して、E メール作成、電話帳登録、文字列のコピーを行うことができます。

**1 メール詳細画面を表示する**

受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX のいずれのメールでもかまいません。

**2 でメールアドレスを選択 → **

「@」を含む半角の英数字列がメールアドレスとみなされます。

**3 次の項目より選択 → **

**1 E メール作成**
選択しているメールアドレスを宛先にした E メール作成画面が表示されます。「E メールを作成送信する」（☞ 3-7 ページ）

**2 電話帳登録**
選択しているメールアドレスを電話帳に登録することができます。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ）

**3 コピー**
選択しているメールアドレスがコピーされます。コピーしたメールアドレスは、メモ帳などで貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ）

# メール本文の文字をコピーする

メール本文の文字列をコピーします。コピーした文字列は他の場所で貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」(☞ 2-27 ページ)

**1 メール詳細画面を表示する**

受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX のいずれのメールでもかまいません。

**2 ⋯ → ◎ で「コピー」を選択 → ◎**

「コピー」画面が表示されます。

**3 ◎ でコピーする文章の先頭にカーソルを移動 → ◎**

**4 ◎ でコピーする文章の最後にカーソルを移動 → ◎**

選択した範囲の文章が本電話機内に記録され、いつでも貼り付けられる状態になります。

**お知らせ**

- コピーできるのは約全角 2000 文字（半角 4000 文字）までです（改行は全角 1 文字に相当します）。

# メールを削除する

## ■ 1 件／選択／全件削除する

**1 待ち受け画面で ✉ または ◎ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◎**

**1 受信 BOX**

フォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。サブフォルダ表示状態ではフォルダ内を全件削除することができます。「フォルダ内で全件削除する（受信 BOX のみ)」(☞ 3-20 ページ)

**2 送信 BOX**

**3 未送信 BOX**

**3 ◎ で削除するメールを選択 → ⋯**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◎**

**S 一件削除**

選択したメール 1 件だけを削除します。

**E 選択削除**

メール選択画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1. ◎ で削除するメールを選択 → ◎（チェック）

メールの先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◎（チェック）を押します。全件選択する場合は ⋯ 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、⋯ 2（全件解除）を押します。

2. 削除するメールの選択を終えたら ✉（削除）

**A 全件削除**

BOX 内の全データを削除します。削除条件を指定する画面が表示されるので、◎ で削除条件を選択して ◎ を押し、暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(☞ 5-6 ページ)

**5 ◎ で「Yes」を選択 → ◎**

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 1 件だけ削除する場合は、メール詳細画面から削除することもできます。メール詳細画面で ⋯ を押し、「削除」を選択します。
- 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。
- 「全件削除」では、フィルタにより表示されていないメールは削除されません。「メールを抽出する（フィルタ)」(☞ 3-22 ページ)
- 受信 BOX のフォルダ一覧から全件削除を行うには、⋯ 4（メール全件削除）を押し、◎ で削除条件を選択して ◎ を押した後、暗証番号認証を行い、手順 5 を行います。

## ■ フォルダ内で全件削除する（受信 BOX のみ）

受信 BOX の選択したサブフォルダ内の全メールを削除します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 1**

受信 BOX が表示されます。

**3 ◎ でメールを削除するサブフォルダを選択**

**受信ボックスをフォルダ表示にしていないときは**
メール一覧から全件削除を行います。「1 件 / 選択 / 全件削除する」（☞ 3-19 ページ）

**4 ··5**

削除条件を指定する画面が表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 既読のみ削除**
既読メールだけが削除されます。

**2 保護以外削除**
保護メール以外が削除されます。

**3 全件削除**
フォルダ内の全メールが削除されます。

「暗証番号」画面が表示されます。

**6 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**7 ◎ で「Yes」を選択 → ◉**

メールが削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**
- 「全件削除」では保護メールも削除されます。削除したくないメールがないか確認のうえ、実行してください。

## ■ メールBOX内のメールをすべて削除する

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 ✕··· （全削除）**

「暗証番号」画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**4 ◎ で「Yes」を選択 → ◉**

メールがすべて削除され、「削除しました」と表示されます。

# メールを保護する

大切なメールは保護することができます。保護されたメールは、全件削除以外の削除機能では削除することができません。また、保護された未送信メールは編集や送信もできません。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信 BOX**
フォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

**2 送信 BOX**

**3 未送信 BOX**

各フォルダのメール一覧が表示されます。

**3 ◎ で保護するメールを選択 → ···**

サブメニューが表示されます。

**4 ◎ で「保護／保護解除」を選択 → ◉**

メールが保護され、「保護しました」と表示されます。保護メールは、メール一覧やメール詳細画面で「🔒」が表示されます。

**お知らせ**

- メール詳細画面からメールを保護することもできます。メール詳細画面で ⋯ を押し、「保護／保護解除」を選択します。
- 保護の設定は 1 件ずつ行います。複数のメールをまとめて保護することはできません。
- 保護メールに同じ操作を行うと、保護が解除されます。
- 保護できるメールの件数は、ライトメールの場合は受信 BOX で 25 件まで、未送信 BOX／送信 BOX で 10 件までです。E メールは保護できるメールの件数に制限はありません。

## メールを並べ替える（ソート）

メール一覧のメールの並べかたを設定します。これは、メールの日付、差出人（宛先）、件名のいずれかの要素でメールの順序を決めるものです。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信 BOX**

フォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

**2 送信 BOX**

**3 未送信 BOX**

各フォルダのメール一覧が表示されます。

**3 ⋯ → ◉ で「ソート」を選択**

受信 BOX では「ソート」はサブメニューの 2 ページ目にあります。

**4 ◉**

並べ替えの条件を選択する画面が表示されます。

**受信 BOX の場合**

| 順序を決めるための要素 | 順序 | 説明 |
|---|---|---|
| 日付 | 古い順 | メールの日時の古い順に並べます。 |
| | 新しい順 | メールの日時の新しい順に並べます。 |
| 差出人 | 昇順（A ～ Z） | 差出人のメールアドレスの順に並べます。 |
| | 降順（Z ～ A） | 差出人のメールアドレスの順に逆から並べます。 |
| 件名 | 昇順（A ～ Z） | メールの件名の順に並べます。 |
| | 降順（Z ～ A） | メールの件名の順に逆から並べます。 |

**未送信 BOX ／送信 BOX の場合**

| 順序を決めるための要素 | 順序 | 説明 |
|---|---|---|
| 日付 | 古い順 | メールの日時の古い順に並べます。 |
| | 新しい順 | メールの日時の新しい順に並べます。 |
| 宛先 | 昇順（A ～ Z） | 宛先のメールアドレスの順に並べます。 |
| | 降順（Z ～ A） | 宛先のメールアドレスの順に逆から並べます。 |
| 件名 | 昇順（A ～ Z） | メールの件名の順に並べます。 |
| | 降順（Z ～ A） | メールの件名の順に逆から並べます。 |

**5 ◉ で条件を選択 → ◉**

指定した条件に合わせてメールの順番が並べ替えられます。

**お知らせ**

- ソートの設定は、いったん他のメール BOX やメールメニューを表示すると解除されます。

## メールを抽出する（フィルタ）

メール一覧に表示するメールの条件を設定します。これにより、新着メールのみ、保護メールのみ、といったように特定の条件に合うメールだけを抽出して表示することができます。フィルタの設定は、いったん他のメール BOX やメールメニューを表示すると解除され、すべてのメールが表示される状態に戻ります。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信 BOX**
フォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

**2 送信 BOX**

**3 未送信 BOX**

各フォルダのメール一覧が表示されます。

**3 ⋯ → ◉ で「フィルタ」を選択**

受信 BOX、未送信 BOX では「フィルタ」はサブメニューの 2 ページ目にあります。

**4 ◉**

表示するメールの条件を選択する画面が表示されます。BOX により選択できる条件が異なります。「解除」を選択すると、すべてのメールが表示されます。

**5 ◉ で条件を選択 → ◉**

指定した条件に合わせてメールが抽出されます。

## メールのヘッダ情報を表示する

E メールには本文以外に「ヘッダ情報」と呼ばれるさまざまな情報が付加されています。このヘッダ情報を表示することができます。この機能が使用できるのは、受信 BOX と送信 BOX です。ライトメールではヘッダ情報を表示することはできません。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信 BOX**
フォルダ表示にしている場合は、さらにサブフォルダを選択してメール一覧を表示してください。

**2 送信 BOX**

各フォルダのメール一覧が表示されます。

**3 ◉ でメールを選択 → ◉**

メール詳細画面を表示します。

**4 受信 BOX 表示のときは ⋯ 8 （メールヘッダ表示）**
**送信 BOX 表示のときは ⋯ 5 （メールヘッダ表示）**

ヘッダ情報が表示されます。

**ヘッダ情報をコピーするには**
手順４のあとに、⋯（コピー）を押すとヘッダ情報をコピーすることができます。

**1 ⋯（コピー）**

コピーの始点を選択する画面になります。

**2 ◉ でコピーの始点にカーソルを移動 → ◉**

**3 ◉ でコピーの終点にカーソルを移動 → ◉**

選択した範囲がコピーされます。

コピーしたヘッダ情報は、メールの本文などに貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ）

## メールBOXの使用状況を見る

メールBOXの使用状況を帯グラフで表示します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 ✱**

「メール BOX 使用状況」画面が表示されます。

| | |
|---|---|
| 受信 BOX | 受信 BOX で使用している容量です。 |
| 送信 BOX | 送信 BOX で使用している容量です。 |
| 未送信 BOX | 未送信 BOX で使用している容量です。 |
| 空き容量 | 使用されていない容量です。 |

**お知らせ**

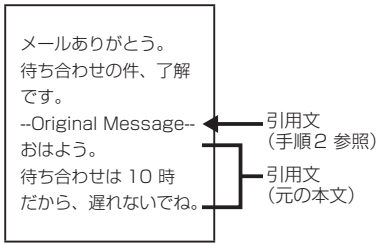
- ··（全削除）を押すと、メール BOX 内のデータをすべて削除することができます。「メール BOX 内のメールをすべて削除する」（☞ 3-20 ページ）

# E メールの環境を設定する

## 本文の引用について設定する

E メールを返信する場合に、元の本文を引用するかどうかについて設定することができます。「引用する」に設定した場合は、引用の先頭に入れる文字列（引用文）も指定することができます。

＜例＞




**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 8 1**

「引用設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 引用する**
E メール返信時に、入力した引用文と元の本文が引用されます。

**2 引用しない**
E メール返信時に、入力した引用文も元の本文も引用されません。

引用について設定され、「設定しました」と表示されます。

**引用文を入力するには**
手順 3 で 3 を押し、引用文を入力し、◉を押します。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「引用しない」に設定されています。
- 引用文は、全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）
- 半角カタカナの入力はできません。
- 転送の場合は設定にかかわらず元の本文が引用されます。

## フォルダ表示を切り替える

受信 BOX でフォルダを表示するかどうかについて設定することができます。「表示する」にした場合は、各フォルダに保存されたメールはそのフォルダを開かなければ表示されません。「表示しない」にした場合は、各フォルダに保存したメールも含め、すべてのメールが受信 BOX 直下に一覧表示されます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 8 2**

「フォルダ表示切替」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 表示する**

**2 表示しない**

フォルダ表示切替が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「表示する」に設定されています。
- 受信メールを表示する方法については、「受信メールを表示する」（☞ 3-12 ページ）を参照してください。
- フォルダ名を変更したり受信メールを自動的にフォルダに振り分けたりすることができます。「受信 BOX のフォルダを活用する」（☞ 3-14 ページ）

## E メール自動受信機能を設定する

新しい E メールがウィルコムのメールサーバに届いたときに、E メールを自動で受信するよう設定します。
本機能は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントでのみ利用できる機能です。また、あらかじめオンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定しておく必要があります。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 7 1 7**

「E メール自動受信機能」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
E メール自動受信を設定します。
「自動受信回数設定」画面が表示されます。
→手順4へ

**2 OFF**
E メール自動受信を解除します。
「E メール」画面に戻ります。→手順5へ

**4 1～3の範囲で受信を試みる回数を入力 → ◉**

「E メール」画面に戻ります。

**5 ✉（完了）**

E メール自動受信機能が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 「OFF」の場合は、手動で E メールを受信してください。「手動で E メールを受信する」（☞ 3-12 ページ）
- オンラインサインアップでは、「Eメール自動受信」「新着メール通知」「しない」のいずれかが選択できます。E メールの自動受信が行われるのは、オンラインサインアップで「E メール自動受信」を選択し、上記手順で「ON」に設定した場合のみです。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ）

## 送信メールに表示する名前を設定する

送信する相手先に表示される差出人の名前を設定することができます。名前はメールアカウントごとに設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

「Eメールアカウント設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 E メール**
**2 アカウント２**
**3 アカウント３**

各アカウントの設定画面が表示されます。

**4 8（アカウント２、３では 7）**

「名前」入力画面が表示されます。

**5 名前を入力 → ◉**

各アカウントの設定画面に戻ります。

**6 ✉（完了）**

差出人名が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- 名前は、全角 16 文字（半角 32 文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）
- 半角カタカナの入力はできません。
- お買い上げ時には、名前は設定されていません。

## 署名を設定する

Eメールを新規作成、返信、転送するときに署名を付けるかどうかを設定します。署名は、メールアカウントごとに設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

「Eメールアカウント設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 Eメール
2 アカウント2
3 アカウント3

各アカウントの設定画面が表示されます。

**4 9 (アカウント2、3では 8) 3**

「署名入力」画面が表示されます。

**5 署名を入力 → ◉**

「署名」画面に戻ります。

**6 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
入力した署名を付けます。

2 OFF
入力した署名を付けません。

各アカウントの設定画面に戻ります。

**7 ✉（完了）**

署名が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 署名は、全角128文字（半角256文字）まで入力できます。絵文字を使用することもできます。「文字を入力する」（☞2-17ページ）
- 半角カタカナの入力はできません。
- お買い上げ時には、署名は設定されていません。
- 署名を設定すると、Eメール作成時に、あらかじめメール作成画面に署名が入力された状態となります。
- ライトメールには署名は挿入されません。

## 返信メールアドレスを設定する

メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定します。例えば、オンラインサインアップのメールアカウントから送信したメールの返信を、パソコンで使用しているメールアドレスにもらいたい場合などにこの設定を行います。返信メールアドレスは、メールアカウントごとに設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

「Eメールアカウント設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

1 Eメール
2 アカウント2
3 アカウント3

各アカウントの設定画面が表示されます。

**4 ロ (アカウント2、3では 9) 1**

「返信メールアドレス」入力画面が表示されます。

**5 返信メールアドレスを入力 → ◉**

「詳細設定」画面に戻ります。

**6 ✉（完了）**

返信メールアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 返信メールアドレスは、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-17ページ）
- 返信メールアドレスは正確に入力してください。1文字でも間違いがあると、相手からの返信のメールは届きません。
- お買い上げ時には、返信メールアドレスは設定されていません。
- 返信メールアドレスが設定されていないときは、メールを送信したときのメールアカウントに返信されます。
- 相手のメールソフトによっては、返信メールアドレスに返信されない場合もあります。

## E メールをサーバに保存する

お買い上げ時の設定では、受信した E メールはサーバやセンターから削除されますが、削除せずに残しておくよう設定することもできます。E メールを本電話機で受信した後、パソコンからも受信したいという場合などにこの設定を行います。これはメールアカウントごとに設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

「Eメールアカウント設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 E メール**
**2 アカウント 2**
**3 アカウント 3**

各アカウントの設定画面が表示されます。

**4 0 (アカウント2、3では 9) 2**

「E メール削除設定」画面が表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 保存**
メールサーバ上に E メールを保存します。

**2 削除**
受信した E メールはメールサーバ上から削除します。

「詳細設定」画面に戻ります。

**6 ✉ (完了)**

E メールの保存について設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
- 「削除」に設定した場合、本電話機がメールを受信すると、これまで保存されていたメールサーバ上のメールは、すべて削除され、受信し直すことができません。
- 「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。

## E メールの受信行数を設定する

E メールを受信する際の 1 通あたりのメールのデータ量を行数で指定して制限することができます。受信行数制限は、メールアカウントごとに設定することができます。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

「Eメールアカウント設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 E メール**
**2 アカウント 2**
**3 アカウント 3**

各アカウントの設定画面が表示されます。

**4 0 (アカウント2、3では 9) 9**

「受信行数制限設定」画面が表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
受信行数を制限します。
「受信行数」画面が表示されます。→手順6へ

**2 OFF**
受信行数を制限しません。
「詳細設定」画面に戻ります。→手順 7 へ

## 6 受信行数を入力 → ◉

「詳細設定」画面に戻ります。

## 7 ✉（完了）

E メールの受信行数が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 受信行数は、0 ～ 999 の範囲で半角数字で入力します。「文字を入力する」(☞ 2-17ページ)
- お買い上げ時には、受信行数制限設定は「OFF」で、受信行数は「600」に設定されています。
- 受信行数を少なく制限することで通信料を低く抑えることができます。ただし、設定した行数を超える長いメールは、途中までしか受信できないことになります。
- サーバによっては受信行数制限が有効にならない場合があります。

# プロバイダのメールアカウントを利用する

オンラインサインアップによって取得したウィルコムのメールアカウントのほかに、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。
プロバイダにより、メールアカウントの設定変更のみで利用可能なプロバイダと、ダイヤルアップの接続先も変更する必要があるプロバイダがあります。
また、ご利用のプロバイダでのメールの送受信に、本電話機で設定できない内容が必要な場合、本電話機でのメールの送受信はできません。あらかじめご了承ください。

## メールアカウントを設定する

ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに設定を行います。設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
メールアカウントの設定は、オンラインサインアップで取得するアカウントと合わせて3件まで登録できます。
設定したメールアカウントを使用してメールを送受信するには、そのメールアカウントを「送信メールアカウント」、「受信メールアカウント」で選択します。「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞ 3-37 ページ）

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉1**

メールメニューが表示されます。

**2 7**

Eメールアカウントの設定画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**2 アカウント2**
**3 アカウント3**

各アカウントの設定画面が表示されます。ここに現在設定されているメールアカウント名が表示されます。未設定のアカウントは「アカウントn」（nは数字）と表示されます。
1（Eメール）は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントなので、下記の1（センター名称設定）～6（メールアドレス）は変更できないため、プロバイダのメールアカウントは登録できません。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 センター名称設定**
この設定の名前としてご自分でわかりやすい名前を入力し、◉を押します。
全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

**2 受信メール (POP)**
プロバイダからの通知をもとに受信メールサーバ（POPサーバやPOP3サーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、◉を押します。

**3 送信メール (SMTP)**
プロバイダからの通知をもとに送信メールサーバ（SMTPサーバともいいます）のアドレスを半角で入力し、◉を押します。

**4 アカウント**
プロバイダからの通知をもとにメールアカウント（ユーザ名ともいいます）を半角で入力し、◉を押します。

**5 パスワード**
プロバイダからの通知をもとにメールのパスワードを半角で入力し、◉を押します。
入力したパスワードは、文字数にかかわらず「******」で表示されます。

**6 メールアドレス**
プロバイダからの通知をもとに自分のEメールアドレスを半角で入力し◉を押します。

**7 名前**

メールの差出人名として使用する名前を入力し、◉ を押します。
全角 16 文字（半角 32 文字）まで入力できます。「送信メールに表示する名前を設定する」（☞ 3-25 ページ）

**8 署名**

E メールを新規作成、返信、転送するときにメールに付ける署名を設定します。
署名を付ける場合は「ON」に設定し、8（署名入力）を押して署名の入力も行ってください。全角 128 文字（半角 256 文字）まで入力できます。署名を付けない場合は「OFF」に設定します。「署名を設定する」（☞ 3-26 ページ）

各アカウントの設定画面が表示されます。

**5** 9

詳細設定を行わないときは、手順 7 へ進んでください。

**6 次の項目より選択 → ◉**

**1 返信メールアドレス**

メールを送った相手から返信してもらうときのメールアドレスを半角で入力し、◉ を押します。
メールアカウントのメールアドレスとは別のメールアドレスを返信先として設定したいとき、この項目を入力します。「返信メールアドレスを設定する」（☞ 3-26 ページ）

**2 E メール削除設定**

E メールを受信するときに、メールサーバにメールを残すかどうかの設定です。残す場合は「保存」に設定します。残さない場合は「削除」に設定します。お買い上げ時には、「削除」に設定されています。
「保存」の場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残るので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。「E メールをサーバに保存する」（☞ 3-27 ページ）

**3 POP ポート番号**

POP サーバのポート番号を半角で入力し、◉ を押します。
半角数字 5 桁まで入力できます。お買い上げ時には、「110」に設定されています。

**4 SMTP ポート番号**

SMTP サーバのポート番号を半角で入力し、◉ を押します。
半角数字 5 桁まで入力できます。お買い上げ時には、「25」に設定されています。

**5 SMTP 認証**

メール送信時の認証方式である SMTP 認証を行う場合は「ON」、行わない場合は「OFF」を選択し、◉ を押します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
POPbeforeSMTP が「ON」の場合は、SMTP 認証は設定できません。

**6 POPbeforeSMTP**

メール送信時に POP before SMTP と呼ばれる認証システムを使用するプロバイダの場合は、「ON」に設定します。お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、POPサーバとの接続から SMTPサーバに接続するまでの待ち時間（秒）を 0 ～ 999 の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「0」に設定されています。SMTP 認証が「ON」の場合は、POPbeforeSMTP は設定できません。

**7 SMTP ユーザ名**

メール送信用のアカウント名を半角で入力し、◉ を押します。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

**8 SMTP パスワード**

メール送信用のパスワードを半角で入力し、◉ を押します。入力したパスワードは、文字数にかかわらず「******」で表示されます。この項目は、メール送信用のアカウントの設定が必要なプロバイダの場合に設定します。

**9 受信行数制限設定**

受信するメールの行数を制限する場合は「ON」に設定します。本電話機で受信可能な最大データ量（約 100K バイト）まで受信したい場合は「OFF」に設定します。お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
「ON」に設定した場合は、受信行数を 0 ～ 999 の範囲で半角で入力できます。お買い上げ時には、「600」に設定されています。
「E メールの受信行数を設定する」（☞ 3-27 ページ）

**認証方式設定**

プロバイダのメール受信時のパスワード認証方式が POP の場合は「POP」に設定します。APOP の場合は「APOP」に設定します。お買い上げ時には、「POP」に設定されています。

**7** （完了）→ （完了）

メールアカウントの設定が登録され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 設定を完了させ、登録するには、必ず手順 7 に従い、「完了」を行ってください。（完了）を 1 回押しただけでは設定が登録されません。

## メールアカウント設定をリセットする

メールアカウント設定を初期値に戻します。（リセット）

**1** 待ち受け画面で または 1

メールメニューが表示されます。

**2** 7

各アカウントの設定画面が表示されます。

**3** 次の項目より選択

2 アカウント 2

3 アカウント 3

**4** （リセット）

「このアカウント設定をリセットします　よろしいですか？」と表示されます。

**5** で Yes を選択 →

メールアカウントの設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

**お知らせ**

- オンラインサインアップで取得した E メールアドレスのアカウントは、リセットできません。

# ライトメールを使用する

## ライトメールを作成して送信する

新しいライトメールを作成して送信します。

**1 待ち受け画面で ✉ または ◉ 1**

メールメニューが表示されます。

**2 6**

「ライトメール作成」画面が表示されます。

**3 ◉ で宛先（To）欄を選択 → ◉**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 発着信履歴**

発信履歴／着信履歴から宛先を指定します。必要に応じて、◉ で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替え、◉ で宛先を選択し、◉ を押します。

**2 電話帳引用**

電話帳から宛先を指定します。
電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されている電話番号を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**3 宛先入力**

宛先の電話番号を入力します。
「宛先入力」画面が表示されます。To 欄が選択された状態で 1 ～ 9、＊、# のいずれかを押しても「宛先入力」画面を表示できます。

**4 削除**

宛先を削除します。

**5 ◉ で本文欄を選択 → ◉**

「本文入力」画面が表示されます。
本文欄を選択した状態で 1 ～ 9、＊、# のいずれかを押しても表示できます。
本文は、全角45文字（半角90文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

**6 本文を入力 → ◉**

「ライトメール作成」画面に戻ります。

**作成したライトメールの内容を送信前に確認するには**

◉ で「プレビュー」を選択し、◉ を押すと、ライトメールの内容が確認できます。

**7 ◉ で「送信」を選択 → ◉**

ライトメールが送信されます。送信したライトメールは送信 BOX に保存されます。

**送信に失敗したときは**

送信相手の電話機の電源が入っていないなどの理由でライトメールが送信できなかったときは「送信に失敗しました　再送信しますか？」とメッセージが表示され「Yes」、「No」選択画面になります。

**電話帳からライトメールを作成するには**

**1** 電話帳でライトメールの送信先を選択し、詳細画面を表示する

「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**2** ◉ で PHS などの PHS の電話番号を選択 → ＊

**3** 2（ライトメール作成）

選択した電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

**待ち受け画面からライトメールを作成するには**

**1** 待ち受け画面で 1 桁の数字を入力 → ✉（メール）

サブメニューが表示されます。

**2** 1（ライトメール）

ライトメール作成画面が表示されます。
入力した一桁の数字に該当する短縮番号が電話帳に登録されていれば、その登録データの 1 番目の電話番号が宛先にコピーされてライトメール作成画面が表示されます。

**お知らせ**

- 絵文字を使用した場合、送信できる本文の文字数が少なくなることがあります。
- 作成中のライトメールをEメールに変更することができます。変更するには、ライトメール作成画面で［…］を押し、［E］（メール種別切替）を押します。Eメール作成画面が表示されます。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞ 3-7ページ）
- 未送信BOXと送信BOXのライトメールの合計が20件ある場合にライトメールを新規作成すると、保護されていないライトメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20ページ）
- 送信済みのライトメールを読む方法については、「送信メールを読む」（☞ 3-17ページ）を参照してください。

## アニメーション絵文字を添付する

ライトメールにアニメーション絵文字を付けて送信することができます。ただし、相手側がライトメールのアニメーション絵文字に対応している必要があります。

**1 ライトメール作成画面で ◎ で「アニメ絵文字」を選択 → ◉**

「アニメ絵文字」一覧が表示されます。

**2 ◎ でアニメーション絵文字を選択 → ◉**

選択したアニメーション絵文字が付加されます。

**アニメーション絵文字を解除するには**

ライトメール作成画面で ◎ で「［アニメ絵文字］□」（□は付加されたアニメーション絵文字）を選択し、◉ を押します。アニメーション絵文字が解除され、「［アニメ絵文字］ ―」の表示に戻ります。

**お知らせ**

- 送信する相手の電話機によっては、送信したアニメーション絵文字が正しく表示されないことがあります。

## ■ アニメーション絵文字一覧

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 21 | 41 会議 | 61 D De De De a ar |
| 2 | 22 | 42 緊急 | 62 |
| 3 | 23 | 43 残業 | 63 |
| 4 | 24 O OK OK ? | 44 出張 | 64 |
| 5 | 25 | 45 遅刻 | 65 |
| 6 | 26 | 46 秘密 | 66 |
| 7 | 27 | 47 休み | 67 |
| 8 | 28 | 48 IN IN IN | 68 |
| 9 | 29 | 49 OUT OUT OUT | 69 |
| 10 | 30 | 50 | 70 |
| 11 | 31 | 51 | 71 |
| 12 | 32 | 52 | 72 |
| 13 | 33 | 53 | 73 |
| 14 | 34 | 54 | 74 |
| 15 | 35 | 55 | 75 |
| 16 | 36 | 56 | 76 |
| 17 | 37 | 57 | 77 |
| 18 | 38 | 58 | 78 |
| 19 超超 | 39 O_K O_K O_K | 59 | 79 |
| 20 | 40 N_G N_G N_G | 60 | 80 |

| | | |
|---|---|---|
| 81 | 86 | 92 |
| 82 | 87 | 93 |
| 83 | 88 | 94 |
| 84 | 89 | 95 |
| 85 | 90 | 96 |
| | 91 | |

## 作成中のライトメールを下書きとして保存する

作成中のライトメールを下書きとして保存し、あとで続きの操作をすることができます。保存したライトメールは下書きメールとして未送信BOXに保存されます。

**1 ライトメール作成画面で 1**

ライトメールが下書きとして保存され、「保存しました」と表示されます。

**お知らせ**

- ライトメールは下書きを5件まで保存できます。
- 下書きメールを送信する方法については「下書き保存したメールを送信する」（☞ 3-10 ページ）を参照してください。

# 受信したライトメールを読む

## ライトメールを受信する

ライトメールは自動的に受信されます。受信したライトメールは最大50件まで保存されます。

**1 ライトメールを自動的に受信する**

受信中は画面上端に「」が表示されます。受信が完了すると、画面上端に「」が表示されます。待ち受け画面には「新着メール　1件」と表示されます。

**お知らせ**

- 受信したライトメールが50件を超える場合は、新しいライトメールを受信したときに、保護されていない受信ライトメールのうち、日付の古い既読ライトメールから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞ 3-20 ページ）

## 受信したライトメールを表示する

ライトメールも、Eメールと同じく受信BOXに保存されます。受信BOXの詳細は「受信したメールを読む」（☞ 3-11 ページ）を参照してください。

**1 待ち受け画面で または 1**

メールメニューが表示されます。

**待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

を押すと、新着メール一覧が表示されます。

**「ライトメール受信完了」と表示されているときは**

または クリアマナー を押すと、新着メール一覧が表示されます。

**2 1**

「受信BOX」画面が表示されます。

**3 でフォルダを選択 → **

各フォルダのメール一覧が表示されます。

**4 でメールを選択 → **

メールの詳細画面が表示されます。

**前後のメールを表示するには**

で前のメール、で次のメールが表示されます。

**本文に電話番号、メールアドレスが含まれているときは**

本文の電話番号、メールアドレスは、で順に選択していくことができます。これらを利用した操作については「メール本文の電話番号、メールアドレスを利用する」（☞ 3-18 ページ）を参照してください。

## ライトメールに返信する

ライトメールの差出人に返信します。差出人の電話番号は自動的に入力されます。

### 1 受信メール詳細画面で ✉ または ••• 1

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で ••• を押し、1（返信）を押します。差出人の電話番号が宛先に入力された状態でライトメール作成画面が表示されます。

### 2 ライトメールを作成して送信する

本文を入力して送信します。「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）

## ライトメールを転送する

受信したライトメールを差出人とは別の人に送信します。

### 1 受信メール詳細画面で ••• 3

または、メール一覧でライトメールを選択した状態で ••• を押し、3（転送）を押します。本文に受信メールの内容が引用された状態でライトメール作成画面が表示されます。

### 2 ライトメールを作成して送信する

宛先、本文を入力して送信します。「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）

# 接続先を変更する（インターネット設定）

本電話機はインターネット標準のプロトコルを採用しているので、お客様がパソコンで使っている一般のプロバイダなどにダイヤルアップで接続したり、会社のネットワークに接続することができます。
また、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してＥメールを送受信することができます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞ 3-29 ページ）

- 一般のプロバイダをご利用になるときは、別途プロバイダとの契約が必要です。
- プロバイダによっては、サーバの設定や接続条件により接続できない場合があります。

## ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）

ダイヤルアップの接続先は 3 件まで設定できます。1 件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されていますが、あとの 2 件については接続先を任意に設定できます。ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに以下の設定を行ってください。詳しい設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
オフィスモードで事業所内のネットワークなどに接続する場合の設定内容については、社内の LAN 管理者などにお問い合わせください。また、オフィスモードで利用するには、事業所等に設置されている事業所用 PHS システムに本電話機が登録されている必要があります。「オフィスモードで使う」（☞ 7-3 ページ）

**1 待ち受け画面で ✉ 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 を押して表示することもできます。

**2 1**

「ダイヤルアップ」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**2 接続先 2**
**3 接続先 3**

接続先の設定画面が表示されます。

**1（CLUB AIR-EDGE）を押した場合は**
料金分計の設定のみ変更できます。接続先などは変更できません。「5（料金分計）」（☞ 3-39 ページ）

**4 次の項目より選択 → ◉**

| | |
|---|---|
| **1 接続先名称** | （☞ 3-38 ページ） |
| **2 接続先電話番号** | （☞ 3-38 ページ） |
| **3 ユーザ ID** | （☞ 3-38 ページ） |
| **4 パスワード** | （☞ 3-38 ページ） |
| **5 料金分計** | （☞ 3-39 ページ） |
| **6 ワンタイムパスワード** | （☞ 3-39 ページ） |

**5 表示された設定画面で入力・設定を行う**

**6 必要に応じて手順 4~5 を繰り返し、各項目を入力・設定**

**7 さらに詳細な設定を行う場合は 7 を押し、各項目を入力・設定**

| | |
|---|---|
| **1 IPアドレス自動取得** | （☞ 3-39 ページ） |
| **2 IP アドレス** | （☞ 3-39 ページ） |
| **3 DNS 自動取得** | （☞ 3-39 ページ） |
| **4 プライマリ DNS** | （☞ 3-39 ページ） |
| **5 セカンダリ DNS** | （☞ 3-39 ページ） |

各項目の設定が完了したら、✉（完了）を押してください。「設定しました」と表示され、手順 3 の接続先の設定画面に戻ります。

CLUB AIR-EDGE の場合は
「6 詳細設定」は設定できません。

**8 設定が完了したら ✉**

接続先が設定され、「ダイヤルアップ設定しました」と表示されます。

**9 次の接続先を設定するときは、手順 3 ～ 8 を繰り返す**

**お知らせ**

- 接続先名称、接続先電話番号、ユーザ IDの3つの項目を入力しないと「完了」は表示されません。
- 「編集を中止しますか？」が表示された状態で操作を中止すると、入力した内容は反映されません。

## ダイヤルアップの各項目を設定する

### 1 接続先名称

お好みの名称をつけることができます。接続先名称を、全角 8 文字（半角 16 文字）以内で入力し、◉ を押します。

### 2 接続先電話番号

プロバイダから通知された、ダイヤルアップの接続先電話番号（アクセスポイント）を、32桁以内で入力し、◉ を押します。
また、アクセスポイントの対応通信方式に合わせて、電話番号に続けて下表の番号を入力してください。

| アクセスポイント | 電話番号に続けて |
|---|---|
| 4x パケット方式※<br>2x パケット方式※ | ##64 |
| 1x パケット方式※ | ##61 |
| 64kPIAFS（ベストエフォート） | ##4 |
| 64kPIAFS（ギャランティー） | ##41 |
| 32kPIAFS | ##3 |
| フレックスチェンジ方式※ | ##7 |

「発信者番号通知を設定する（番号通知）」（☞ 5-2 ページ）の設定に関係なく、本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されます。あらかじめご了承ください。

※ 4x パケット方式、2x パケット方式、1x パケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFS で通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

### 3 ユーザ ID

プロバイダから通知されたユーザ ID を、半角 64 文字以内で入力し、◉ を押します。

### 4 パスワード

プロバイダから通知されたパスワードを、半角 128 文字以内で入力し、◉ を押します。

## 5 料金分計

分計サービスを利用する場合は 1（ON）、利用しない場合は 2（OFF）を押します。
分計サービスを利用すると、メール送信の料金の請求先を主計先と分計先の 2 箇所に分けることができます。料金分計を「OFF」に設定すると料金は主計先に、「ON」に設定すると分計先に請求されます。料金分計は、お申し込みが必要な有料のサービスです。「分計サービスを利用する（有料）」（☞ 6-41 ページ）
分計サービスは、待受モードが「公衆」のとき、または「公衆 / オフィス」「公衆 / グループ」で公衆優先に設定されているときにご利用になれます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## 6 ワンタイムパスワード

接続のたびにワンタイムパスワードを入力する場合は 1（ON）、入力しない場合は 2（OFF）を押します。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

# ダイヤルアップの詳細情報を設定する

## 1 IP アドレス自動取得

IP アドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

## 2 IP アドレス

1（IP アドレス自動取得）を「OFF」に設定した場合、プロバイダから通知されている IP アドレスを入力し、◉ を押します。◉ で「.」の右に移動できます。1（IP アドレス自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

## 3 DNS 自動取得

DNS サーバの IP アドレスを自動で取得する場合は 1（ON）、取得しない場合は 2（OFF）を押します。プロバイダからの通知をもとに選択してください。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

## 4 プライマリ DNS

3（DNS 自動取得）を「OFF」に設定した場合、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力し、◉ を押します。◉ で「.」の右に移動できます。3（DNS 自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

## 5 セカンダリ DNS

3（DNS 自動取得）を「OFF」に設定した場合、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力し、◉ を押します。◉ で「.」の右に移動できます。3（DNS 自動取得）が「ON」の場合は設定できません。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「0.0.0.0」に設定されています。

## ダイヤルアップ設定を初期化する

**1 待ち受け画面で ✉ 📖**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 を押して表示することもできます。

**2 1**

「ダイヤルアップ」画面が表示されます。

**3 ◉ で初期化する設定を選択 → ･･（初期化）**

暗証番号入力画面が表示されます。

**4 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証後に「設定を初期化しますか？」と表示されます。

**5 ◉ で Yes を選択 → ◉**

ダイヤルアップ設定が初期化され、「初期化しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 1（CLUB AIR-EDGE）の設定は初期化できません。

# 接続モードを設定する（接続モード）

ダイヤルアップの接続先（メール用）、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせを決める「接続モード」は、3 件まで設定できます。お買い上げ時には、各モードの接続先やアカウントは以下のように設定されています。

| 接続モード | ダイヤルアップ接続先(メール用) | 送信メールアカウント | 受信メールアカウント |
|---|---|---|---|
| 接続モード 1 | 接続先 1（CLUB AIR-EDGE） | E メール | E メールのみ ON |
| 接続モード 2 | 接続先 2 | アカウント 2 | アカウント 2 のみ ON |
| 接続モード 3 | 接続先 3 | アカウント 3 | アカウント 3 のみ ON |

**1 待ち受け画面で ✉ 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 を押して表示することもできます。

**2 2**

「接続モード設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 接続モード 1**
**2 接続モード 2**
**3 接続モード 3**

各接続モードの設定画面が表示されます。

**4 1**

「接続モード名称」入力画面が表示されます。

**5 接続モードの名称を入力 → ◉**

◉ を押すと各接続モードの設定画面に戻ります。

**6 2**

「メール用ダイヤルアップ接続先」画面が表示されます。

**7 次の項目より選択 → ◉**

**1 CLUB AIR-EDGE**
**2 接続先 2**
**3 接続先 3**

各接続モードの設定画面に戻ります。

**8 3**

「送信メールアカウント」画面が表示されます。

**9 次の項目より選択 → ◉**

**1 E メール**
**2 アカウント 2**
**3 アカウント 3**

各接続モードの設定画面に戻ります。

**10 4**

「受信メールアカウント」画面が表示されます。

**11 次の項目より選択 → ◉**

**1 受信アカウント選択**

受信アカウントの一覧が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** 1 ～ 3 のいずれかを押す

受信アカウントの ON/OFF を設定する画面が表示されます。

**2** 次の項目より選択 → ◉

1 ON
2 OFF

受信アカウント選択画面に戻ります。

**3** ✉（完了）

受信メールアカウント選択画面に戻ります。
メールアカウントは 3 件まで設定できます。
「E メールアドレスを作成する」（☞3-5 ページ）

**2 毎回選択**

受信アカウントを毎回選択するかどうかを設定します。1（ON）または 2（OFF）を押すと、受信メールアカウント画面に戻ります。

**12 受信メールアカウント画面で ✉（完了）**

受信メールアカウントが設定され、「設定しました」と表示されます。各接続モードの設定画面に戻ります。

**13 接続モードの設定画面で ✉（完了）**

接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 接続モードはお好みの名称をつけることができます。全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力できます。
- ダイヤルアップの接続先は、1 件は「CLUB AIR-EDGE」に固定されており、あとの 2 件は任意に設定できます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞ 3-37 ページ）
- メールアカウントは 3 件まで設定できます。「E メールアドレスを作成する」（☞ 3-5 ページ）

## 接続モードを選択する

公衆モードで接続する場合と、オフィスモードで接続する場合のそれぞれについて、あらかじめ接続モード（ダイヤルアップ接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントの組み合わせ）を設定しておくことができます。

### 公衆モード時の接続モードを選択する（公衆接続モード選択）

**1 待ち受け画面で ✉ 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 を押して表示することもできます。

**2 3**

「公衆接続モード選択」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 接続モード 1**
**2 接続モード 2**
**3 接続モード 3**

公衆接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**接続モードの詳細を確認するには**

◎ で接続モードを選択して ✉（詳細）を押すと、接続モードの名称、メール用ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。クリア/マナー を押すと、公衆接続モード選択画面に戻ります。

**オフィス接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**

「オフィス接続モード選択で選択されています　設定しますか？」と表示されます。◎ で「Yes」を選択して ◉ を押すと、選択したモードが公衆接続時の接続モードとして設定されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、公衆接続モードは「接続モード 1」（接続先は CLUB AIR-EDGE）に設定されています。

### オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）

**1 待ち受け画面で ✉ 0**

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で ◉ 5 6 4 を押して表示することもできます。

**2 4**

「オフィス接続モード選択」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 接続モード 1**
**2 接続モード 2**
**3 接続モード 3**

オフィス接続モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**接続モードの詳細を確認するには**

で接続モードを選択して（詳細）を押すと、接続モードの名称、メール用ダイヤルアップ接続先、送信／受信メールアカウントなどの詳細情報が表示されます。クリアマナーを押すと、オフィス接続モード選択画面に戻ります。

**公衆接続モードで選択されている接続モードを選択したときは**

「公衆接続モード選択で選択されています　設定しますか？」と表示されます。で「Yes」を選択してを押すと、選択したモードがオフィス接続時の接続モードとして設定されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、オフィス接続モードは「接続モード 3」に設定されています。

## 接続モードを初期化する

### 1 待ち受け画面で

インターネット設定画面が表示されます。待ち受け画面で 5 6 4 を押して表示することもできます。

### 2 5

暗証番号入力画面が表示されます。

### 3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「設定を初期化しますか？」と表示されます。

### 4 で Yes を選択 →

接続モードの設定がお買い上げ時の状態に戻り、「初期化しました」と表示されます。

# 4
# パソコンとの連携

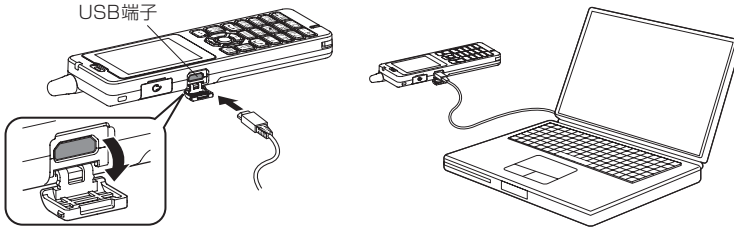
パソコンと接続する…… 4-2
USBドライバのインストール…… 4-3

# パソコンと接続する

USBケーブル（Micro USB対応）で、パソコンと本電話機を接続します。接続する前に USBドライバをインストールしてください。「USBドライバのインストール」（☞ 4-3 ページ）

**1 パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブルのコネクタを接続する**

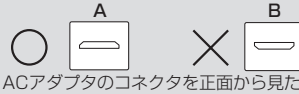
**2 本電話機のUSB端子のカバーを外し、USBケーブルのコネクタ（Micro USB）をUSB端子にまっすぐ差し込む**




確認音が鳴り、本電話機の画面に「」が点灯し、「データ通信 ON」と表示されます。
データ通信が終わったら、USB端子のキャップを閉じてください。

**お知らせ**

- 電池パックを外した状態で、本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBケーブルを外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- 本電話機からUSBケーブルを抜くときは、差し込むときと同じようにUSB端子のカバーを押さえて、まっすぐに抜いてください。
- 本電話機よりUSBケーブルを外すと、「」が消灯し、「データ通信OFF」と表示されます。
- USBケーブルでパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。「USBで充電する」（☞ 6-7 ページ）
- USB充電を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費する場合があります。
- ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。
- 本電話機にUSBケーブルを接続する時には、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続すると、「USBで充電する」（☞ 6-7 ページ）の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- USBケーブルのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損するおそれがあります。




（ ACアダプタのコネクタを正面から見た図）

# USBドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続して電話帳の編集などを行うことができます。詳しくは、パソコンからサポート Web サイト（http://www.jrcphs.jp/）をご覧ください。

## USBドライバをインストールする

### 本電話機の対応OSについて

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。（2012 年2月現在。詳細はサポートWebサイトをご覧ください。）ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

| Windows | Macintosh |
|---|---|
| Windows7 Ultimate（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows7 Professional（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows7 Home Premium（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows7 Starter（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows Vista Ultimate（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows Vista Business（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows Vista Home Premium（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows Vista Home Basic（32 ビット版／ 64 ビット版）<br>Windows XP Professional x 64 Edition<br>Windows XP Professional（SP3）<br>Windows XP Home Edition（SP3） | Mac OS X v10.4.11 以降 |

Windows は Microsoft Corporation の、Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

**ご注意**

- 以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
  - ・自作したパソコンをご使用の場合
  - ・対応OSがプレインストールされていないパソコンをご使用の場合
  - ・OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
  - ・パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
  - ・パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
  - ・増設したUSB端子をお使いの場合
  - ・USBハブなどを経由して接続している場合
  - ・パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合
  - ・USB3.0 のポートをご使用の場合

## USBドライバのダウンロード

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続して電話帳の編集などを行うには、あらかじめ、本電話機用のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。ドライバは、サポートWebサイトからダウンロードすることができます。ドライバのダウンロード方法はいずれのOSも共通です。

**お知らせ**

- Mac OSの場合は、ドライバはダウンロードする必要はありません。「USBドライバの設定（Mac OS）」（☞ 4-12 ページ）をお読みください。

**1 パソコンのWebブラウザから、サポートWebサイト (http://www.jrcphs.jp/) にアクセスする**

**2 ダウンロードページで、WX01J の USBドライバの「Win」をクリックする**

**3 USBドライバ for Windowsで、対応OSの「ダウンロード」をクリックする**

**4 USBドライバの使用許諾契約をよくお読みのうえ「同意する」をクリックする**

**5 「ファイルのダウンロード－セキュリティの警告」画面で「保存」をクリックする**

**6 「名前をつけて保存」画面で、保存するフォルダを選択し、「保存」をクリックする**

保存先は、デスクトップなど分かりやすい場所を指定してください。

## USBドライバのインストール（Windows）

USBドライバをインストールする前に、WX01J R(F)（本電話機）、USBケーブル（別売）、パソコンをご用意ください。USBドライバのインストール方法は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

**Windows 7 の場合**　（☞ 4-5 ページ）
**Windows Vista の場合**　（☞ 4-8 ページ）
**Windows XP の場合**　（☞ 4-10 ページ）

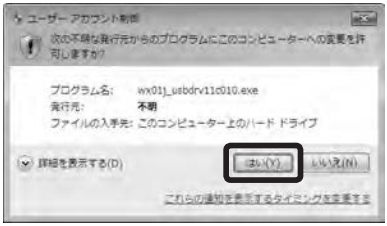
本書では、ログイン時のユーザ名が「PHS」、ドライバファイルをデスクトップに解凍した場合を例に説明いたします。

## ■ Windows 7 の場合

**1** パソコンと本電話機の電源を入れる

**2** ダウンロードした「wx01j_usbdrv11c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する

「wx01j_usbdrv11c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイヤログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。




**3** 解凍後、プログラム互換性アシスタント画面が表示された場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックする

**4** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」が吹き出し表示されます。

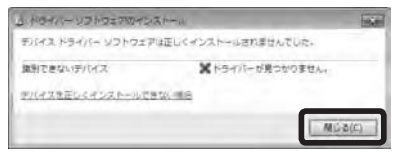
**5** 「ステータスを見るにはここをクリックしてください。」をクリックする

**6** 「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックする

**7** 確認画面が表示されるので「はい」をクリックする

**8** 「ドライバーが見つかりません。」と表示されたら、「閉じる」をクリックする

お使いの環境によっては、少々お時間がかかる場合がございます。



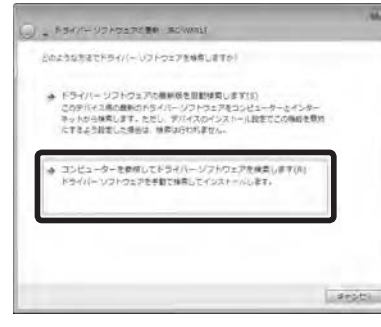
**9** パソコンの画面左下の「スタートボタン」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする

**10** コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックする

**11**「デバイスマネージャー」をクリックする

**12**「JRC WX01J」を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックする

**13**「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする



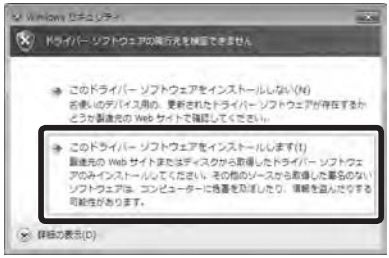
**14**「参照」をクリックする

**15** 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックする

**16**「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」が更新されたかどうかを確認し、「次へ」をクリックする

**17**「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバーソフトウェアのインストールが開始されます。




**18** インストールしたドライバが「WXJ USB Port-11C010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

**ご注意**

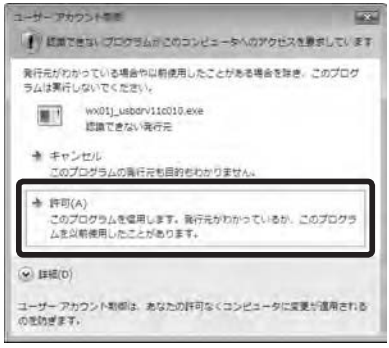
- ドライバ名称の下６桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更される場合があります。
- COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。

## ■ Windows Vista の場合

**1 パソコンと本電話機の電源を入れる**

**2 ダウンロードした「wx01j_usbdrv11c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する**

「wx01j_usbdrv11c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイヤログが表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

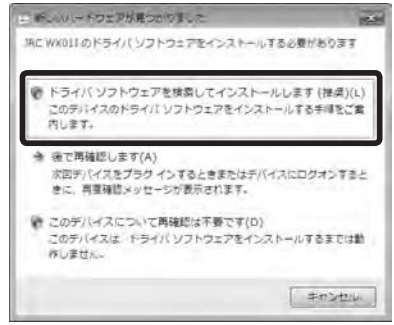



**3 解凍後、プログラム互換性アシスタント画面が表示された場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックする**

**4 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する「パソコンと接続する」(☞4-2 ページ)**

接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示され、インストールが開始されます。

**5 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」をクリックする**




**6 ユーザーアカウント制御ダイヤログが表示された場合は、「続行」をクリックする**

**7**「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

**8**「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)」をクリックする

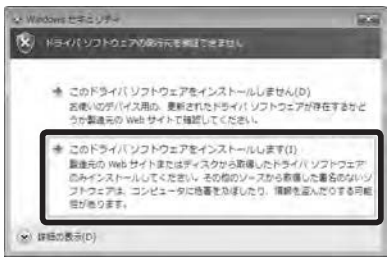
**9**「参照」ボタンをクリックする

**10** 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックする

**11** 次の場所でドライバソフトウェアを検索します」が更新されたことを確認し、「次へ」をクリックする

**12**「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバソフトウェアのインストールが開始されます。



**13** インストールしたドライバが「WXJ USB Port-11C010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

**ご注意**

- ドライバ名称の下 6 桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更される場合があります。
- COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。

## ■ Windows XP の場合

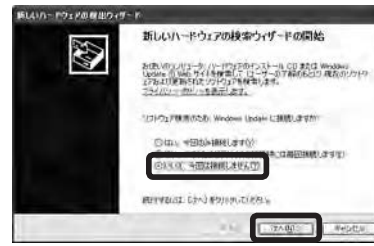
**1** パソコンと本電話機の電源を入れる

**2** ダウンロードした「wx01j_usbdrv11c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する

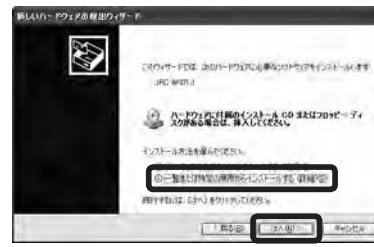
**3** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

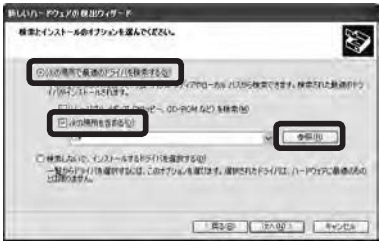
**4** 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする




**5** 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

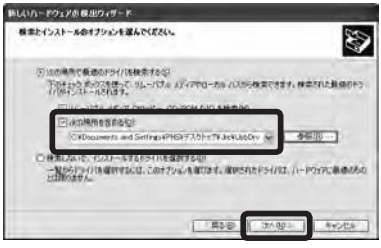


**6** 「次の場所で最適のドライバを検索する」および「次の場所を含める」を選択し、「参照」をクリックする



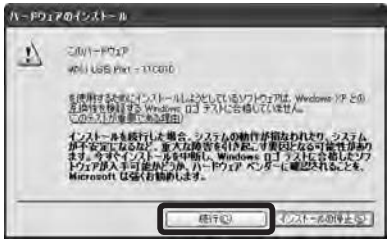
**7** 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックする

**8** 「次の場所を含める」が更新されたことを確認し、「次へ」をクリックする



**以下の画面が表示されたとき**

「続行」をクリックし、インストールを続けてください。



**9** インストールされたドライバが「WXJ USB Port-11C010」であることを確認し、「完了」をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

**ご注意**

- ドライバ名称の下６桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更される場合があります。

## USBドライバの設定（Mac OS）

USBドライバを設定する前に、WX01J R(F)（本電話機）、USBケーブル（別売）、パソコンをご用意ください。

Mac OS X v10.5 以降の場合
（☞ 4-12 ページ）

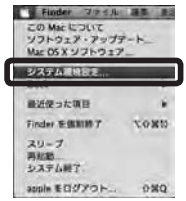
Mac OS X v10.4.11 の場合
（☞ 4-12 ページ）

### ■ Mac OS X v10.5 以降の場合

**1** パソコンと本電話機の電源を入れる

**2** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）

**3** 画面左上のアップルメニューから「システム環境設定」を選択する




**4** 「ネットワーク」をクリックし、ネットワーク接続サービスのリストに「JRC WX01J」が表示されていることを確認する

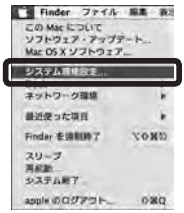
ネットワーク設定を行う必要はありません。そのままお使いいただけます。

### ■ Mac OS X v10.4.11 の場合

**1** パソコンと本電話機の電源を入れる

**2** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）

**3** 画面左上のアップルメニューから「システム環境設定」を選択する




**4** 「ネットワーク」をクリックし、「表示」プルダウンメニューに「JRC WX01J」が表示されていることを確認する

ネットワーク設定を行う必要はありません。そのままお使いいただけます。

## ■ Windowsでご利用になる場合のご注意

Windowsでお使いの場合、通信ソフトやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、パソコンの動作が不安定になることがあります。USBケーブルを抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブルを差し込むようにしてください。

## ■ Macintoshでご利用になる場合のご注意

Mac OSでお使いの場合、通信ソフトやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、システムの状態が不安定になることがあります。USBケーブルは、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ（接続断）したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

## ■ サポート Webサイトのお知らせ

インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトの Q&A もご覧ください。
サポートWebサイト http://www.jrcphs.jp/
このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

## ■ USBドライバが誤認識された場合の対処法（Windows 7、Vista および Windows XP）

インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「JRC WX01J」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。（下記の画面は Windows 7 の場合の例ですが、操作は Windows VistaおよびXPの場合も同様です。）

**1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する**

**2 デバイスマネージャを表示させる**

**3 「ポート」アイコンの先頭の「+」をクリックする**

先頭に「！」の付いた「JRC WX01J」が表示されています。

**4 「JRC WX01J」を右クリックし、「削除」を選択する**

**5**「OK」をクリックする

**6**「JRC WX01J」が消えていることを確認する

以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

# 5
# セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する
（番号通知）……5-2
番号非通知の電話を受けない
（非通知ガード）……5-3
特定の番号からの電話を受けない
（着信拒否）……5-4
暗証番号による認証を行う
（暗証番号変更）……5-6
ボタン操作をロックする
（キーロック）……5-7
ダイヤルをロックする
（ダイヤルロック）……5-8
紛失／盗難時に電話機をロックする
（リモートロック〔遠隔ロック〕）……5-10
ユーザの情報をロックする
（機能ロック）……5-15
管理者による制限を行う
（管理者ロック）……5-17
設定をリセットする
（リセット）……5-25

# 発信者番号通知を設定する（番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機の画面に表示するかどうかを設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 3**

「番号通知」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
番号通知を設定します。

**2 OFF**
番号通知を解除します。

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

# 番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 1**

「非通知ガード」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 通知不可能**
相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。

**2 ユーザ非通知**
相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。

**3 公衆電話発信**
相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

各設定画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
非通知ガードを設定します。

**2 OFF**
非通知ガードを解除します。

非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順 3、4 を繰り返します。

## 非通知ガードを設定した場合の動作

**番号非通知の電話がかかってくると**
着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。
画面には「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は を押して電話に出ることができます。
着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

**番号非通知でライトメールが送信されてくると**
ライトメールを受信せず、相手の電話機では送信に失敗します。
ライトメールがあった場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。
- 本機能の設定にかかわらず、E メール自動受信を設定している場合には、E メールは受信されます。「E メール自動受信機能を設定する」（☞ 3-25 ページ）
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。

# 特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は 10 件までです。
着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

## 着信拒否番号を登録する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 2**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

**4 ✉（新規）**

サブメニューが表示されます。

**5 次の項目より選択 → ◉**

**1 直接入力**
番号入力画面が表示されるので、1～9、＊、#で相手の番号を入力します。

**2 発着歴引用**
発信履歴／着信履歴／番号メモの画面が表示されるので、◉ で相手先を選択します。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

**3 電話帳引用**
電話帳が表示されるので、必要に応じて表示方法を切り替え、相手先を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

**6 着信拒否する番号を入力**

**7 ◉**

着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。
続けて他の番号を設定するときは、手順 4~7 を繰り返します。

**登録されている番号を確認するには**
着信拒否番号の一覧画面で、◉ で確認したい番号を選択し、◉ を押します。元の画面に戻るには クリアマナー を押します。

**お知らせ**
- すでに着信拒否番号が 10 件登録されているときは、登録することができません。新しい番号を登録したい場合は、不要な番号を削除してください。「着信拒否番号を削除する」（☞ 5-5 ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの画面で電話番号を選択し、⋯ を押して 5（着信拒否登録）を押しても、着信拒否を設定することができます。

## 特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順 5 の「直接入力」で番号のあとに「＊」を付けると、先頭から「＊」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901 ＊」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

**お知らせ**
- 以下の場合は登録できません。
  「＊」が電話番号の先頭に入力されている場合
  「＊」が 2 つ以上入力されている場合
  「＊」の後ろに番号が入力されている場合

## 着信拒否番号を削除する

着信拒否に登録した番号を削除します。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 2**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

**4 ◉ で削除する着信拒否番号を選択**

**登録されている番号を確認するには**
番号を選択して、◉ を押します。元の画面に戻るには クリアマナー を押します。

**5 ⋯**

サブメニューが表示されます。

**6 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**
選択した着信拒否番号 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**
着信拒否画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除する着信拒否番号を選択 → ◉（チェック）

着信拒否番号の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は、⋯ 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、⋯ 2（全件解除）を押します。

**2** ✉（削除）

**3 全件削除**
すべての着信拒否番号を削除します。

確認メッセージが表示されます。

**7 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

着信拒否番号が削除され、「削除しました」と表示されます。

# 暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）

電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、機能ロックなどの操作を行う際には、暗証番号による認証が必要となります。
また、ここで説明する暗証番号のほかに、管理者の認証用にパスワードを登録することもできます。「管理者パスワードを設定する」（☞5-17 ページ）

## 暗証番号を設定する

暗証番号は、4～8 桁で設定します。暗証番号には、0～9 の数字と「＊」、「#」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 2**

「暗証番号変更」画面が表示されます。

**2 ◻ ～ 9、＊、# で現在の暗証番号を入力 → ◉**

「新しい暗証番号を入力してください」と表示されます。
暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順 1 の「暗証番号変更」画面に戻ります。

**3 ◻ ～ 9、＊、# で新しい暗証番号を入力 → ◉**

「もう 1 度新しい暗証番号を入力してください」と表示されます。

**4 確認のため、もう一度、◻ ～ 9、＊、# で新しい暗証番号を入力 → ◉**

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

**新しい暗証番号の入力が、1 回目と 2 回目で異なっていたとき**
エラー音が鳴り、「新しい暗証番号が正しくありません」と表示されます。もう一度、手順 3、4 を繰り返してください。

**管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき**
「管理者パスワードが初期値です　暗証番号と同じ番号にしますか？」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は ◉ で［Yes］を、管理者パスワードを変更しない場合は ◉ で［No］を選択し、◉ を押します。「管理者パスワードを設定する」（☞5-17 ページ）

**お知らせ**
- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。お買い上げの販売店へお申し出ください。

## 暗証番号で認証を行う

操作中に暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

**1 ◻ ～ 9、＊、# で 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力 → ◉**

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

**暗証番号が間違っているときは**
「暗証番号が違います」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、暗証番号は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、クリアマナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

# ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

## キーロックを設定する

**1 キーロックスイッチを上げる**

キーロックが設定され、「キーロック」と表示されます。
キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」（☞ 1-8 ページ）

## キーロックを解除する

**1 キーロックスイッチを下げる**

キーロックが解除され、「キーロック」の表示が消えます。

**お知らせ**

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中でも、メール受信やアラームは動作します。着信音やバイブは、[PWR] を押すことで停止できます。
- キーロック中は、[PWR] を押して電源を切ることができません。
  キーロック中も、[PWR] を押して電源を入れることができます。
- 待ち受け画面以外でもキーロックは設定できますが、そのまま 10 分経つと待ち受け画面に戻ります。

# ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。

**お知らせ**

- ダイヤルロック中でも、以下の操作は可能です。
  - ・電源の ON・OFF
  - ・着信電話への応答
  - ・通話の保留
  - ・留守録音
  - ・110番、118番、119番の緊急通報への発信
  - ・メールの受信など

## キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）

キーロック起動を設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。キーロック起動を設定するには、暗証番号の入力が必要になります。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 1**

「ダイヤルロック」画面が表示されます。

**2 1**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

キーロック起動を設定します。

→手順 5 へ

**2 OFF**

キーロック起動を解除します。

キーロック起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

**5 キーロックスイッチを上げる**

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「D」が表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- キーロック起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。
- キーロック起動が「ON」でも、待ち受け画面以外でキーロックスイッチを操作した場合はすぐにはダイヤルロックにならず、待ち受け画面に戻ったときにダイヤルロックが実行されます。

### ■ ダイヤルロックを解除するには

**1 画面上に「キーロック」と表示されている場合は、キーロックスイッチを下げる**

画面上に「キーロック」と表示されていない場合は、手順 2 から操作します。

**2 □ ～ 9 のいずれか**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

ダイヤルロックが解除され、「D」の表示が消えます。

**お知らせ**

- 手順 2 では、 以外のいずれかのボタンを押しても手順 3 に進めます。

## 無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 1**

「ダイヤルロック」画面が表示されます。

**2 2**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

タイマ起動を設定します。
タイマ起動時間の設定画面が表示されます。
→手順 5 へ

**2 OFF**

タイマ起動が解除され、「設定しました」と表示されます。

**5 0 ～ 9 で時間を入力 → ◉**

タイマ起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

**タイマ起動設定中の動作**

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が、手順 5 で入力した時間だけ続くと、自動的にダイヤルロックが実行されます。
待ち受け画面には「D」が表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」、「5 分」に設定されています。
- タイマ起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。
- 自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、1 ～ 99 分の間で設定できます。

### ■ ダイヤルロックを解除するには

**1 0 ～ 9 のいずれか**

暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「D」の表示が消えます。
この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度タイマ起動が実行されます。

**お知らせ**

- 手順 1 では、PWR 以外のいずれかのボタンを押しても、手順 2 に進めます。

# 紛失/盗難時に電話機をロックする(リモートロック(遠隔ロック))

## リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。他の電話機から本電話機にコマンド(命令)を送信することで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

### ■ リモートロック機能でできる処理

① **リモートロック**
電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
着信を受けて通話することや、電源の ON・OFF は可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳や発信履歴/着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサーを設定する」(☞ 6-15 ページ)

② **リモートロック+データ消去**
①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去+初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「設定をリセットする(リセット)」(☞ 5-25 ページ)
ただし、以下の項目は初期化されません。

- **暗証番号**
「暗証番号を設定する」(☞ 5-6 ページ)
- **リモートロック設定**「リモートロック機能の設定をする」(☞ 5-11 ページ)
- **ダイヤルロック**「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(☞ 5-8 ページ)
- **機能ロック**「ユーザの情報をロックする(機能ロック)」(☞ 5-15 ページ)
- **管理者ロック**「管理者による制限を行う(管理者ロック)」(☞ 5-17 ページ)
- **管理者パスワード**「管理者パスワードを設定する」(☞ 5-17 ページ)
- **位置情報通知**「位置情報を利用する」(☞ 6-34 ページ)

③ **リモートロック解除**
リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

### ■ リモートロックの実行

上記①〜③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送信することにより実行します。

- サブアドレス付き発信(サブアドレス通知可能な PHS 電話機や、ISDN 公衆電話機などの ISDN 対応電話機から)
- ライトメール送信(ライトメール対応の PHS 電話機から)

コマンドを送信すると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USB ケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

**お知らせ**

- リモートロックを実行すると、着信者表示機能、指定着信音機能、留守録は無効になります。「電話帳を利用する」(☞ 2-31 ページ)「電話やメールの着信音を選択する」(☞ 2-34 ページ)「留守録音を設定する」(☞ 2-54 ページ)
- リモートロックを実行すると、アラーム、スケジュールアラームは起動しません。
- リモートロックを実行すると、設定していた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック+データ消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。
- リモートロックは、ウィルコムのオンラインサポート(My WILLCOM)からも実行することができます。ただし、My WILLCOM からは、「リモートロック+データ消去」は実行できません。
- リモートロックを実行するには、「リモートロック機能用の許可パスワード」と「ライトメール起動 ON(番号制限なし)」を設定する必要があります。「許可パスワードを登録する(許可パスワード登録)」(☞ 5-11 ページ)、「ライトメールでのリモートロックの設定をする(ライトメール起動)」(☞ 5-12 ページ)

# リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、許可パスワードを設定します。また、サブアドレス付き発信による操作、ライトメールによる操作について、それぞれ設定を行います。

## 許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）

最初に、リモートロック機能用の許可パスワードを登録します。
許可パスワードは、4～8桁の数字で設定します。実際にリモートロック機能を使う際には、ここで登録した許可パスワードを入力してコマンド（命令）を送信することになります。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 3**

暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

**3 1**

「起動許可パスワードを入力して下さい（4～8 桁）」と表示されます。

**4 0 ～ 9 でパスワードを入力**

**入力したパスワードを修正する場合は**
クリアマナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

**5 ◉**

許可パスワードが登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**
- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

## サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2 件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 3**

暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

**3 2**

「サブアドレス起動」画面が表示されます。

**許可パスワードが未設定のとき**
リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、2（サブアドレス起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。
「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON（番号制限あり）**
許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されます。→手順 5 へ

**2 ON（番号制限なし）**
「ON（番号制限なし）」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでも、サブアドレス付き発信でのリモートロック操作ができます。

**3 OFF**
「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。サブアドレス付き発信でのリモートロック操作は実行できません。

**5** 1 2のどちらかを選択 → ◉

許可電話番号の入力画面が表示されます。

**6** 0 ～ 9 で許可電話番号を入力

**電話番号を修正するには**

◉ で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリアマナー を押します。

**7** ◉

許可電話番号の登録先を選択する画面に戻ります。次の許可電話番号を登録するときは、手順5~7を繰り返します。

**8** ✉（登録）

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 許可電話番号は32桁まで入力できます。

## ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

**1** 待ち受け画面で ◉ 9 3

暗証番号入力画面が表示されます。

**2** 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

**3** 3

「ライトメール起動」画面が表示されます。

**許可パスワードが未設定のとき**

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、3（ライトメール起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。
「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

**4** 次の項目より選択 → ◉

**1 ON（番号制限あり）**

許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されます。→手順5へ

**2 ON（番号制限なし）**

「ON(番号制限なし)」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでもライトメールによるリモートロック操作ができます。

**3 OFF**

「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。ライトメールでのリモートロック操作は実行できません。

**5** 1、2のどちらかを選択 → ◉

許可電話番号の入力画面が表示されます。

**6** 0 ～ 9 で許可電話番号を入力

**電話番号を修正するには**

◉ で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリアマナー を押します。

**7** ◉

許可電話番号の登録先を選択する画面に戻ります。次の許可電話番号を登録するときは、手順5~7を繰り返します。

**8** ✉（登録）

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 許可電話番号は32桁まで入力できます。

## リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

### サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

#### ■ 許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）」（☞ 5-11 ページ）
この場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

#### ■ コマンド文字列

| 操作の種類 | コマンド文字列 |
|---|---|
| ①リモートロック | 01xxxxxxxx |
| ②リモートロック＋データ消去 | 03xxxxxxxx |
| ③リモートロック解除 | 00xxxxxxxx |

xxxxxxxx は、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

#### ■ 入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX ＊ 011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

**お知らせ**

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送信した場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

## ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

### ■ 許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送信する必要があります。「ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）」（☞ 5-12 ページ）
この場合、許可電話番号からライトメールを送信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

### ■ コマンド文字列

| 操作の種類 | コマンド文字列 |
|---|---|
| ①リモートロック | ソウサ 1xxxxxxxx |
| ②リモートロック＋データ消去 | ソウサ 3xxxxxxxx |
| ③リモートロック解除 | ソウサ 0xxxxxxxx |

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
xxxxxxxx は、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

### ■ 入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で To 欄に「0701234XXXX」、本文欄に「ソウサ 11234567」と入力し、送信します。

**お知らせ**

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーション絵文字を付けて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信終了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

# ユーザの情報をロックする（機能ロック）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。機能ロックを設定すると、機能を使うときやデータを閲覧するときに暗証番号による認証が必要になります。

## ロックする項目を設定する

**1 待ち受け画面で ◉ 9 5**

暗証番号入力画面が表示されます。

**2 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「機能ロック」一覧画面が表示されます。

**3 ◉（変更）**

ロックする機能が選択可能になります。

**4 ロックする機能を選択**

ロックする機能にチェックを付け、ロックを解除する機能はチェックを外します。

**1 件ずつ選択するには**

◉ で設定する機能を選択し、◉（チェック）を押します。機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。

**全件選択するには**

⋯ を押し、サブメニューで 1（全て選択）を押します。すべての機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、⋯ を押し、サブメニューで 2（全て解除）を押します。

**5 ✉（完了）**

ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、すべて「解除」に設定されています。
- 手順 4 で「スケジュール」を選択して「スケジュール」を機能ロックした場合は、◉ 5 3 を押して 3（カレンダー表示）を押したときに、9（スケジュールカレンダー）を選択できなくなります。また、壁紙をスケジュールカレンダーに設定しているときに「スケジュール」を機能ロックすると、自動的に壁紙が 1 ヶ月カレンダーに変更されます。
- ロックした機能を呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。暗証番号による認証を行うと、機能が一時的に解除され使用することができます。他の機能の画面を表示すると、自動的にロック状態に戻ります。
- ロックした情報を他の機能から参照する場合も認証が必要になります。例えば、メモ録音がロックされていると、留守録音の音声を録音データから選択する場合にも認証が必要です。

## 機能ロック一覧

機能ロックによって認証が必要になる機能は以下のとおりです。

| 機能ロック | 認証が必要になる機能 |
|---|---|
| プロフィール | プロフィールの表示、編集、引用 |
| メール | メール関連機能 |
| スケジュール | スケジュールの表示、編集 |
| メモ録音 | 録音データの再生 |
| メモ帳 | メモ帳の表示、編集、引用 |
| グループ | グループの登録、削除 |
| インターネット設定 | インターネット設定、オンラインサインアップ |
| 電話帳 | 電話帳の表示、引用 |
| ユーザ辞書 | ユーザ辞書の表示、編集 |
| 自作定型文登録 | 自作定型文の表示、編集、引用 |
| 発着履歴／メモ | 発信履歴の表示、着信履歴の表示、番号メモの表示 |

**お知らせ**

- 電話帳ロック中は、電話帳の登録や編集は行えません。
- 電話帳ロック中は、電話着信の際は名前は表示されません。ただし、「ロック中着信表示」を「ON」にした場合は、表示されます。「電話帳ロック中の着信表示を設定する」（☞ 2-41 ページ）
- 電話帳ロック中は、録音データの通話録音データ・留守録音データも電話帳の名前は表示されません（電話番号のみの表示になります）。

# 管理者による制限を行う（管理者ロック）

## 管理者ロック機能の概要

管理者が本電話機の機能の一部に制限をかけ、情報漏洩の防止や、業務に必要のない機能の利用を制限することができます。制限できる機能は以下のとおりです。

- Eメール機能
- オンラインサインアップ
- ダイヤルアップ機能
- USB 接続機能
- 着信機能
- 発信機能
- 赤外線送受信
- 先頭一致発信許可
- 機能ロック設定
- 位置情報通知設定
- リモートロック設定
- ダイヤルロック設定

### ■ 管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、USB接続などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

**お知らせ**

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードによる認証が必要です。「管理者パスワードを設定する」（☞ 5-17 ページ）
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「設定をリセットする（リセット）」（☞ 5-25 ページ）
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかることを実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去＋初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、4 ～ 8 桁で設定します。管理者パスワードには、0 ～ 9 の数字と「＊」、「#」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 6**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 0 ～ 9、＊、# で現在の管理者パスワードを入力 → ◉**

「新しい管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**3 0 ～ 9、＊、# で新しい管理者パスワードを入力 → ◉**

「もう 1 度新しい管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**4 確認のため、もう一度、0 ～ 9、＊、# で新しい管理者パスワードを入力 → ◉**

新しい管理者パスワードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**新しい管理者パスワードの入力が、1 回目と 2 回目で異なっていたとき**

エラー音が鳴り、「新しい管理者パスワードが正しくありません」と表示されます。もう一度、手順 3、4 を繰り返してください。

**お知らせ**

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。お買い上げの販売店へお申し出ください。
- 完全消去＋ 初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。
- 管理者パスワードが初期値（「0000」）の場合、暗証番号の設定時に管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に設定することもできます。「暗証番号を設定する」（☞ 5-6 ページ）

## 管理者パスワードで認証を行う

操作中に管理者パスワードによる認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

**1** [0]～[9]、[＊]、[#] で 4 ～ 8 桁の管理者パスワードを入力 → [◉]

管理者パスワードが正しいと、次の画面に進みます。

**管理者パスワードが間違っているときは**

「管理者パスワードが違います」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「管理者パスワード」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、[クリア/マナー] を押します。入力した数字が右端から消えます。

## 管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能の設定には、E メール制限、オンラインサインアップ制限、ダイヤルアップ制限、USB 制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可、赤外線制限、位置情報通知設定制限、機能ロック設定制限、ダイヤルロック設定制限、リモートロック設定制限があります。

## E メールを制限する

E メールの作成、送受信ができないようにします。

**1 待ち受け画面で** [◉][9][7]

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

**3** [1]

「E メール制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 →** [◉]

**1 送受信共に制限**

E メールの作成、E メールの送受信ができないようにします。

**2 送信のみ制限**

E メールの作成、E メールの送信ができないようにします。

**3 OFF**

E メール制限を解除します。

E メール制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- E メール制限を「送受信共に制限」に設定した後、ウィルコムのメールサーバから E メール自動受信の通知を受けた場合は、「センターに E メールがあります」と表示され、E メールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「[E]」が点灯します。「センターメールあり」を選択し、[◉] を押すと「E メール制限設定中です」と表示されます。「E メールを受信する」（☞ 3-11 ページ）
- E メール制限を「送受信共に制限」または「送信のみ制限」に設定しても、オフィスモードでの E メール送受信は制限されません。

## オンラインサインアップを制限する

オンラインサインアップができないようにします。

### 1 待ち受け画面で ◉ 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

### 2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

### 3 2

「オンラインサインアップ制限」画面が表示されます。

### 4 次の項目より選択 → ◉

**1 ON**
オンラインサインアップ制限を設定します。

**2 OFF**
オンラインサインアップ制限を解除します。

オンラインサインアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- オンラインサインアップ制限を「ON」に設定した場合、オンラインサインアップをすると、「オンラインサインアップ制限設定中です」と表示されます。

## ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭 9 桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

### 1 待ち受け画面で ◉ 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

### 2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

### 3 3

「ダイヤルアップ制限」画面が表示されます。

### 4 次の項目より選択 → ◉

**1 WILLCOM のみ許可**
ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可します。

**2 OFF**
ダイヤルアップ制限を解除します。

ダイヤルアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOM のみ許可」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、E メール送受信をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示されます。
- ダイヤルアップ制限を「WILLCOM のみ許可」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。

## USB 接続を制限する

USB 接続をして使用する機能（データ通信）への接続ができないようにします。

### 1 待ち受け画面で ◉ 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

### 2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

### 3 4

「USB 制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
USB 制限を設定します。

**2 OFF**
USB 制限を解除します。

USB 制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB 制限を「ON」に設定した場合、USB 接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB 制限を「ON」に設定した場合でも、USB 充電は可能です。

## 発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 7**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3 5**

「発信制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON（電話帳編集不可）**
発信制限を設定します。電話帳の登録、修正、削除はできません。

**2 ON（電話帳編集可）**
発信制限を設定します。電話帳の登録、修正、削除は可能です。

**3 OFF**
発信制限を解除します。

発信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（自己位置通知と所在位置の登録）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「位置情報を利用する」（☞ 6-34 ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に 184 または 186 を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊ 931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機をUSB 接続することによって、電話帳を書き換えることができます。発信制限をより確実に行うためには、USB 接続の制限も同時に設定してください。「USB 接続を制限する」（☞ 5-19 ページ）

## 着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 7**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3** 6

「着信制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 →**

**1 ON**
着信制限を設定します。

**2 OFF**
着信制限を解除します。

着信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があったときは、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたりライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞ 5-4 ページ）
- 着信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機を USB 接続することによって、電話帳を書き換えることができます。着信制限をより確実に行うためには、USB 接続の制限も同時に設定してください。「USB 接続を制限する」（☞ 5-19 ページ）

## 先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。先頭一致発信許可番号の10件すべてが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、すべての電話番号が発信可能となります。

**1 待ち受け画面で** 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3** 7

「先頭一致発信許可」画面が表示されます。

**4 1～5の項目より選択 →**

許可電話番号の入力画面が表示されます。

**5 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力**

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。184または186から始まる番号は登録できません。

**先頭一致発信許可番号を修正するには**
最後の１桁を消す：クリアマナー を押す
すべての桁を消す：クリアマナー を約 1 秒以上押す

**設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには**
設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順 6 に進みます。

**6 （登録）**

先頭一致発信許可が設定され、「登録しました」と表示されます。

**7 必要であれば、手順 4 ～ 6 の要領で他の番号を同様に設定する**

**登録した番号を削除するには**

先頭一致発信許可の一覧画面にて、次の操作を行ってください。

**1** で削除したい番号を選択 → 

サブメニューが表示されます。

**2** 次の項目より選択 → 

1 一件削除
2 選択削除
3 全件削除

確認画面が表示されます。

**3** で「Yes」を選択 → 

2を選択した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 位置情報通知機能（自己位置通知と所在位置の登録）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「位置情報を利用する」（☞ 6-34 ページ）
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に 184 または 186 を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ウィルコムサービスセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊ 931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

## 赤外線通信を制限する

赤外線での送受信をできないようにします。「赤外線通信を行う」（☞ 2-42 ページ）

**1 待ち受け画面で** 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

**3** 8

「赤外線制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 →**

1 ON
赤外線制限を設定します。

2 OFF
赤外線制限を解除します。

赤外線制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## 位置情報通知設定を制限する

位置情報通知の設定を変更できないようにします。「位置情報を利用する」（☞ 6-34 ページ）

**1 待ち受け画面で** 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

**3** 9 1

「位置情報通知設定制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 →**

1 ON
位置情報通知設定制限を設定します。

2 OFF
位置情報通知設定制限を解除します。

位置情報通知設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## 機能ロック設定を制限する

機能ロックの設定を変更できないようにします。設定の変更を制限するだけなので、すでに設定されている機能ロックについては、そのまま継続されます。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 5-15 ページ）

**1 待ち受け画面で ◉ 9 7**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3 9 2**

「機能ロック設定制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
機能ロック設定制限を設定します。

2 OFF
機能ロック設定制限を解除します。

機能ロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## ダイヤルロック設定を制限する

ダイヤルロックの設定を変更できないようにします。「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞ 5-8 ページ）

**1 待ち受け画面で ◉ 9 7**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3 9 3**

「ダイヤルロック設定制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
ダイヤルロック設定制限を設定します。

2 OFF
ダイヤルロック設定制限を解除します。

ダイヤルロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## リモートロック設定を制限する

リモートロックの設定を変更できないようにします。「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞ 5-10 ページ）

**1 待ち受け画面で ◉ 9 7**

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**2 管理者パスワード認証を行う**

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

**3 9 4**

「リモートロック設定制限」画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

1 ON
リモートロック設定制限を設定します。

2 OFF
リモートロック設定制限を解除します。

リモートロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## 機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能は以下のとおりです。なお、「赤外線制限」、「位置情報通知設定制限」、「機能ロック設定制限」、「ダイヤルロック制限」、「リモートロック制限」については、それぞれ赤外線通信、位置情報通知設定、機能ロック設定、ダイヤルロック設定、リモートロック設定のみを制限します。

| 管理者ロック設定 / 制限される機能 | Eメール制限 | オンラインサインアップ制限 | ダイヤルアップ制限 | USB制限 | 発信制限 | 着信制限 | 先頭一致発信許可 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 音声発信 | – | – | – | – | ○ ※2 | – | ○ ※3 |
| 音声着信 | – | – | – | – | – | ○ ※2 | – |
| ライトメール送信 | – | – | – | – | ○ ※2 | – | ○ ※3 |
| ライトメール着信 | – | – | – | – | – | ○ ※2 | – |
| E メール送受信 | ○ ※4 | – | ○ ※1 | – | – | – | – |
| オンラインサインアップ | – | ○ | – | – | – | – | – |
| リモートロック | – | – | – | – | – | – | – |
| 位置情報通知機能（自己位置通知と所在位置の登録） | – | – | – | – | ○ ※2 | – | ○ ※3 |
| 位置情報通知機能（位置検索） | – | – | – | – | – | – | – |
| H" 問屋 | – | – | – | ○ | – | – | – |
| 電話帳編集 | – | – | – | – | ○ ※5 | ○ | – |

○　：制限あり
—　：制限なし
※ 1：ウィルコムのダイヤルアップのみ許可
※ 2：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※ 3：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可
※ 4：「送受信共に制限」設定時は送受信ともに制限あり、「送信のみ制限」設定時は送信のみ制限あり
※ 5：「ON（電話帳編集可）」設定時は電話帳の編集可能

# 設定をリセットする（リセット）

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
設定だけをリセットしてお客様が登録した内容を残す「オール設定リセット」と、設定も登録内容もすべてお買い上げ時の状態に戻す「完全消去＋初期化」の 2 つがあります。「完全消去＋初期化」の場合は、管理者パスワードの入力が必要になります。

**1 待ち受け画面で ◉ 9 4**

「リセット」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 オール設定リセット**
暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**2 完全消去＋初期化**
管理者パスワードの入力が必要になります。「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

1の場合は「すべての設定をリセットしますか？」と表示されます。
2の場合は「完全消去＋初期化しますか？」と表示されます。

**3 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

1の場合は「本当にすべての設定をリセットしますか？」と表示されます。
2の場合は「本当に完全消去＋初期化しますか？」と表示されます。

**4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

●：お買い上げ時の状態になります。
　お買い上げ時の設定内容は「メニュー一覧表」（☞ 6-2 ページ）をご覧ください。
—：お客様が登録または設定した内容が保存されたままになります。

| 機　能 | | | オール設定リセット | 完全消去＋初期化 |
|---|---|---|---|---|
| 発信履歴／着信履歴／番号メモ | | | ● | ● |
| 文字入力 | コピー／カットデータ | | — | ● |
| | 予測変換機能 | | ● | ● |
| | 入力方法 | | ● | ● |
| | 学習文字内容 | | — | ● |
| プロフィール | | | —<br>（オンラインサインアップで取得したメールアドレスは消えます） | ● |
| メール | | | —<br>（メール BOX の内容、受信 BOX 名、振り分け設定などはすべて残ります） | ● |
| | E メールアカウント設定 | | ● | ● |
| | オプション | 引用設定 | ● | ● |
| | | フォルダ表示切替 | ● | ● |
| | オンラインサインアップ | | ● | ● |
| | インターネット設定 | | ● | ● |

| 機　能 | | | オール設定リセット | 完全消去＋初期化 |
|---|---|---|---|---|
| スケジュール | 登録したスケジュール | | — | ● |
| | | 通知設定 | — | ● |
| | スケジュール音設定 | | ● | ● |
| | 休日設定 | | — | ● |
| 機能設定 | 音 | | ● | ● |
| | 日付／時刻 | 時計設定 | — | ● |
| | | 自動補正 | ● | ● |
| | 画面 | | ● | ● |
| | 文字入力 | ユーザ辞書 | — | ● |
| | | 自作定型文登録 | — | ● |
| | | 学習文字クリア | —<br>（クリアされません） | ● |
| | マナー／留守電 | | ● | ● |
| | 通信 | 待受モード | — | —<br>（グループ、公衆＋グループ時は公衆。公衆登録がなくオフィス登録がある場合はオフィス） |
| | | グループ | — | ● |
| | | 位置情報通知 | — | ● |
| | | インターネット設定 | ● | ● |
| | | 通信中着信 | ● | ● |
| | | オフィス番号切替 | ● | ● |
| | 発着信 | | （ただし、着信拒否を除く） | ● |
| | カスタムボタン | | ● | ● |
| | その他 | USB 充電 | ● | ● |
| | | 電源 OFF メニュー | ● | ● |
| 電話帳 | | | —<br>（電話帳登録した内容はそのまま残ります） | ● |
| | 電話帳一覧（表示方法） | | ● | ● |
| | グループ設定 | グループ名 | ● | ● |
| | | グループ着信設定 | — | ● |
| | ロック中着信表示 | | ● | ● |
| アクセサリ | | | ●<br>（メモ録音データ、メモ帳の登録内容は残ります） | ● |
| セキュリティ | | | — | ● |

# 6
# 便利な使いかた


メニュー一覧表…… 6-2
いろいろな機能を設定する…… 6-5
カスタムボタンを設定する…… 6-16
スケジュール機能を利用する…… 6-20
アラームを利用する…… 6-28
電卓を利用する…… 6-30
メモ録音を利用する…… 6-31
メモ帳を利用する…… 6-33
位置情報を利用する…… 6-34
イヤホンマイクを利用する…… 6-38
国際電話をかける（国際電話サービス）…… 6-40
ウィルコムのサービスを利用する…… 6-41
ソフトウェアを更新する…… 6-46

# メニュー一覧表

| メニュー | | | | | 機能が使えるモード | | | お買い上げ時の設定 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 公衆 | オフィス | グループ | | |
| メール | 11 | 受信 BOX | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-12 |
| | 12 | 送信 BOX | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-17 |
| | 13 | 未送信 BOX | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-9 |
| | 14 | E メール受信 | | | ○ | ○ | × | − | 3-11 |
| | 15 | E メール作成 | | | ○ | ○ | ○※1 | − | 3-7 |
| | 16 | ライトメール作成 | | | ○ | ○ | ○※1 | − | 3-32 |
| | 17 | E メールアカウント設定 | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-29 |
| | 18 | オプション | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-24 |
| | 19 | オンラインサインアップ | | | ○ | × | × | − | 3-6 |
| | 10 | インターネット設定 | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-37 |
| | 1 ＊ | メモリ使用状況 / 全削除 | | | ○ | ○ | ○ | − | 3-20 |
| 内線設定 | 21 | 待受モード | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 56 参照】 | 7-2 |
| | 22 | グループ | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 56 参照】 | 7-9 |
| | 23 | オフィス番号切替 | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 56 参照】 | 7-8 |
| | 24 | 優先発信 | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 57 参照】 | 7-5 |
| | 25 | 自動外線発信番号付加 | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 57 参照】 | 7-4 |
| アラーム | 3 | アラーム | | | ○ | ○ | ○ | 【メニュー 82 参照】 | 6-28 |
| スケジュール | 4 | スケジュール | | | ○ | ○ | ○ | 通知設定：通知しない<br>スケジュール音：アラーム 2<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF<br>鳴動時間：30 秒 | 6-20 |
| 機能設定 | 51 | 音 | 着信 | 公衆着信 | ○ | × | ○ | 着信音：パターン 1<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF | 2-45 |
| | | | | E メール着信 | | ○ | × | 着信音：パターン 2<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF<br>鳴動時間：10 秒<br>バックグラウンド受信通知：ON | |
| | | | | ライトメール着信 | | ○ | × | 着信音：「メールがきています。」<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF<br>鳴動時間：10 秒 | |
| | | | | オフィス外線着信 | × | | | 着信音：パターン 3<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF | |
| | | | | オフィス内線着信 | | | | 着信音：パターン 4<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF | |
| | | | | オフィス専用線着信 | | | | 着信音：パターン 5<br>音量：音量 3<br>バイブ：OFF | |
| | | | 効果音 | | ○ | ○ | ○ | キー確認音：パターン A<br>成功 / エラー音：ON | 2-52 |
| | | | | | | | | 圏外 / 充電警告音：ON | 2-53 |
| | | | | | | | × | 送達確認音：ON | |
| | | | イヤホン装着時鳴動先 | | ○ | ○ | ○ | 本体 | 6-38 |
| | 52 | 日付 / 時刻 | 時計設定 | | ○ | ○ | ○ | 2012 年 1 月 1 日　00:00 | 1-15 |
| | | | 自動補正 | | ○ | ○ | × | ON | 6-8 |

| メニュー | | | | | 機能が使えるモード 公衆 | オフィス | グループ | お買い上げ時の設定 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機能設定 | 53 | 画面 | 壁紙 | | ○ | ○ | ○ | あり | 6-15 |
| | | | 時計表示 | | ○ | ○ | ○ | 画面パターン：大（日本語）<br>表示位置：画面中央<br>色：白 | 6-8 |
| | | | カレンダー表示 | | ○ | ○ | ○ | OFF | 6-9 |
| | | | ディスプレイ | | ○ | ○ | ○ | 明るさ：レベル 2<br>点灯時間：8 秒<br>消灯時間：30 秒後<br>通話中点灯：OFF<br>キーライト点灯：OFF<br>卓上充電器充電中点灯：OFF<br>キーロック中点灯：電源キーのみ | 6-9 |
| | | | 着信ランプ | イルミネーション | ○ | ○ | ○ | 電話着信：パターン 1/ 緑 | 6-12 |
| | | | | | ○ | ○ | × | メール着信：パターン 2/ 緑 | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | スケジュール：パターン 3/ 緑 | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | アラーム：パターン 3/ 緑 | |
| | | | | | ○ | ○ | × | 通話中：OFF | |
| | | | | リマインダー | ○ | ○ | × | ON / 2 カラー | |
| | | | 省電力 | | ○ | ○ | ○ | OFF | 6-13 |
| | | | 言語選択 | | ○ | ○ | ○ | 日本語 - Japanese | 6-15 |
| | 54 | 文字入力 | ユーザ辞書 | | ○ | ○ | ○ | 未登録 | 2-21 |
| | | | 自作定型文登録 | | ○ | ○ | ○ | 未登録 | 2-26 |
| | | | 学習文字クリア | | ○ | ○ | ○ | ー | 2-21 |
| | 55 | マナー / 留守電 | マナー登録 | マナーモード | ○ | ○ | ○ | バイブ：ON<br>電話着信音量、メール着信音量、<br>アラーム音量、スケジュール音量、<br>効果音、留守録音設定：OFF<br>応答時間設定：10 秒 | 2-48 |
| | | | | オートサイレント | ○ | ○ | ○ | OFF | |
| | | | 受話音量 | | ○ | ○ | ○ | 音量 4 | 2-45 |
| | | | ひそひそ設定 | | ○ | ○ | ○ | OFF | 2-45 |
| | | | 留守録音設定 | | ○ | ○ | × | OFF<br>応答時間設定：10 秒 | 2-54 |
| | | | 録音データ | | ○ | ○ | ○ | ー | 2-54 |
| | | | 留守番電話 (NW) | | ○ | × | × | ー | 6-42 |
| | | | 安全運転モード | | ○ | ○ | × | OFF<br>電話機応答 | 2-51 |
| | 56 | 通信 | 待受モード | | ○ | ○ | ○ | 公衆 | 7-2 |
| | | | グループ | | × | × | ○ | ー | 7-9 |
| | | | 位置情報通知 | | ○ | × | × | 位置情報通知 LI：OFF<br>自動位置情報送出設定：OFF | 6-36 |
| | | | インターネット設定 | | ○ | ○ | × | ー | 3-37 |
| | | | 通信中着信 | | ○ | × | × | 音声通話中着信：ON<br>オンラインサインアップ中着信：ON | 2-11 |
| | | | オフィス番号切替 | | × | ○ | × | 手動切替 | 7-8 |
| | 57 | 発着信 | 非通知ガード | | ○ | × | × | 通知不可能、ユーザ非通知、<br>公衆電話発信：OFF | 5-3 |
| | | | 着信拒否 | | ○ | ○ | × | 未登録 | 5-4 |
| | | | 番号通知 | | ○ | ○ | × | ON | 5-2 |
| | | | 発信先応答通知 | | ○ | ○ | ○ | OFF | 2-53 |
| | | | エニーキーアンサー | | ○ | ○ | × | OFF | 6-15 |
| | | | イヤホン自動応答 | | ○ | ○ | × | OFF | 6-38 |
| | | | サブアドレス | | ○ | ○ | × | ON | 6-14 |
| | | | 優先発信 | 優先発信切替 | ○ | ○ | ○ | オフィス、グループ優先 | 7-5 |
| | | | | 発信時選択 | ○ | ○ | ○ | OFF | 7-5 |
| | | | | ショートカット確認画面 | ○ | ○ | ○ | OFF | 7-6 |
| | | | | 070 強制公衆発信 | ○ | ○※2 | ○※2 | ON | 7-6 |
| | | | 外線発信番号 | | × | ○ | × | 未登録 | 7-4 |
| | | | 自動外線発信番号付加 | | × | ○ | × | OFF | 7-4 |

| メニュー | | | | 機能が使えるモード | | | お買い上げ時の設定 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 公衆 | オフィス | グループ | | |
| 機能設定 | 58 | カスタムボタン | 公衆待受画面 | ○ | × | × | − | 6-16 |
| | | | 公衆通話中画面 | ○ | × | × | （電話帳） | |
| | | | オフィス待受画面 | × | ○ | × | − | |
| | | | オフィス通話中画面 | × | ○ | × | （電話帳） | |
| | 59 | その他 | USB 充電 | ○ | ○ | ○ | 高速 | 6-7 |
| | | | ソフトウェア更新 | ○ | ○ | ○ | − | 6-46 |
| | | | 電源 OFF メニュー | ○ | ○ | ○ | ON | 1-7 |
| 電話帳 | 61 | 電話帳一覧 | | ○ | ○ | ○ | 表示方法：あかさたな一覧 | 2-36 |
| | 62 | 新規登録 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-32 |
| | 63 | グループ設定 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-40 |
| | 64 | ロック中着信表示 | | ○ | ○ | ○ | OFF | 2-41 |
| | 65 | シークレット一時表示 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-41 |
| | 66 | 登録件数表示 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-41 |
| | 67 | 全件削除 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-39 |
| 赤外線受信 | 7 | 赤外線受信 | | ○ | ○ | ○ | − | 2-43 |
| アクセサリ | 81 | 電卓 | | ○ | ○ | ○ | − | 6-30 |
| | 82 | アラーム | | ○ | ○ | ○ | 時刻：0:00<br>曜日設定：一度きり<br>アラーム音：アラーム 1<br>音量：音量 3<br>バイブ：パターン 3<br>鳴動時間：30 秒<br>スヌーズ：OFF | 6-28 |
| | 83 | メモ録音 | | ○ | ○ | ○ | 録音優先モード設定：ON | 6-31 |
| | 84 | メモ帳 | | ○ | ○ | ○ | − | 6-33 |
| | 85 | マイメニュー | | ○ | ○ | ○ | オンラインサインアップ（F19）<br>電卓（F81）<br>公衆着信（F5111）<br>オフィス外線着信（F5114）<br>オフィス内線着信（F5115） | 2-56 |
| セキュリティ | 91 | ダイヤルロック | | ○ | ○ | ○ | キーロック起動：OFF<br>タイマ起動：OFF、5 分 | 5-8 |
| | 92 | 暗証番号変更 | | ○ | ○ | ○ | 0000 | 5-6 |
| | 93 | リモートロック | | ○ | ○ | × | 許可パスワード登録：未登録<br>サブアドレス起動：OFF<br>ライトメール起動：OFF | 5-11 |
| | 94 | リセット | | ○ | ○ | ○ | − | 5-25 |
| | 95 | 機能ロック | | ○ | ○ | ○ | すべて OFF | 5-15 |
| | 96 | 管理者パスワード変更 | | ○ | ○ | ○ | 0000 | 5-17 |
| | 97 | 管理者ロック※3 | | ○ | × | × | OFF（先頭一致発信許可：未登録） | 5-18 |

○：機能を使うことができます。
×：機能を使うことができません。

※ 1：メールの作成は可能ですが、送信することはできません。
※ 2：デュアルモードのみ可能
※ 3：USB 制限、赤外線制限、設定制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

**お知らせ**

- メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で ◉ に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信 BOX」の数字は「11」なので、◉ 1 1 を押すことで表示することができます。

# いろいろな機能を設定する

## プロフィールを表示する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときの内線番号、グループモードのときのトランシーバ番号、自分の名前、フリガナ、E メールアドレス、ファームウェアのバージョン情報を表示できます。このうち公衆の電話番号、内線番号、トランシーバ番号、オンラインサインアップで取得した E メールアドレス、ファームウェアのバージョン情報以外はユーザが登録します。

### プロフィールを登録する

**1 待ち受け画面で**

「プロフィール」画面が表示されます。

**2 （編集）**

「プロフィール編集」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →**

名
名前を入力します。
「名前とフリガナを入力する」（☞ 6-5 ページ）

カナ
フリガナを入力します。
「名前とフリガナを入力する」（☞ 6-5 ページ）

@
メールアドレスを入力します。
「メールアドレスを入力する」（☞ 6-6 ページ）

各入力画面が表示されます。

**4 各項目を入力・設定 →**

「プロフィール編集」画面が表示されます。
必要に応じて手順3～4を繰り返してください。

**5 （登録）**

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 「☎」には、本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- 「」には、「オフィス番号切替」で選択した内線番号が表示されます。
- 「」にはグループモードのときのトランシーバ番号が表示されます。
- 「」には、オンラインサインアップで取得した E メールアドレスが表示されます。
- 公衆の電話番号、内線番号、オンラインサインアップで取得した E メールアドレスは、グレー表示されており編集できません。

### ■ 名前とフリガナを入力する

**1 名前を入力 →**

入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

**フリガナを修正するには**

で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリアマナーで消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

**2**

名前とフリガナが入力されます。

**お知らせ**

- 名前は全角 16 文字（半角 32 文字）まで、フリガナは半角 32 文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

## ■ メールアドレスを入力する

**1 アドレスを入力 → ◎**

「メールアドレス種別選択」画面が表示されます。

**2 次の項目よりアドレス種別を選択 → ◎**

**1 @ 指定なし**
**2 携帯電話**
**3 PHS**
**4 自宅 PC**
**5 会社 PC**

1 件登録されると「プロフィール編集」画面に戻り、2 件目のアドレス入力項目にカーソルが移動します。最大 3 件まで続けて登録できます。

**お知らせ**

- メールアドレスを最大3件まで登録できます。
- また、半角 64 文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞ 2-17 ページ）

## プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

**1 待ち受け画面で ◎ 0**

「プロフィール」画面が表示されます。

**2 ◎ で表示したいアイコンを選択**

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

| | |
|---|---|
| ☎ | 本電話機の公衆の電話番号が表示されます。 |
| OFFICE | オフィス面の名称と内線番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。 |
| BP | トランシーバ番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。 |
| @ | オンラインサインアップで取得した E メールアドレスが表示されます。オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。 |
| @ | メールアドレスが表示されます。メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。 |
| Ver | ファームウェアのバージョン情報が表示されます。 |

**プロフィールを一覧表示するには**

1 を押すと、プロフィールが一覧表示されます。

## プロフィールを赤外線通信で送信するには

プロフィール画面でプロフィールのデータを赤外線通信で他の電話機に送信することができます。赤外線通信を行うには、受信側の操作も必要です。「赤外線通信を行う」（☞ 2-42 ページ）

**1 待ち受け画面で ◎ 0**

「プロフィール」画面が表示されます。

**2 2**

「プロフィール待機中」と表示されます。

**3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向け → ◎（送信）**

相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「プロフィール送信完了」と表示されます。

**お知らせ**

- 送信後は相手にデータが送られたことを確認してください。

# USB で充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。USB で充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

## USB 充電を設定する

**1 待ち受け画面で ◉ 5 9 1**

「USB 充電」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 高速**

USB 充電が高速に設定され、「設定しました」と表示されます。

**2 低速**

USB 充電が低速に設定され、「設定しました」と表示されます。

**3 OFF**

USB 充電が「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「高速」に設定されています。
- 充電時間は、「高速」の場合約 2.5 時間、「低速」の場合約 15 時間です。本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 本電話機を USB ケーブルに接続するときには、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続すると USB 充電の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費します。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。

## USB ケーブルを接続して充電する

USB ケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）

パソコンと接続して充電するには、パソコンに USB ドライバをインストールする必要があります。「USB ドライバをインストールする」（☞ 4-3 ページ）

**1 本電話機とパソコンを USB ケーブルで接続する**

「USB 充電」が「高速」の場合は「」が、「低速」の場合は「」が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると「」「」は消えます。

**お知らせ**

- USB 接続後、本電話機とパソコンが相互に認識されると「」が表示され、「データ通信 ON　USB 充電は　高速（低速 /OFF）です」と表示されます。「」が表示されない場合でも「」または「」が表示されていれば充電は行われています。
- 電池パックを外した状態で本電話機を USB ケーブルに接続しないでください。
- USB ハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンの USB ポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機を USBケーブルで接続したとき、画面に「」または「」が点灯した後「」が点灯し、再度「」または「」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USB ケーブル経由での充電ができないことがあります。

## 日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは 6 種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

### 1 待ち受け画面で ◉ 5 3

「画面」画面が表示されます。

### 2 2

「時計表示」画面が表示されます。

### 3 次の項目より選択 → ◉

**1 大（日本語）**
日付が日本語表示になり、時刻が大きく表示されます。

**2 大（英語）**
日付が英語表示になり、時刻が大きく表示されます。

**3 中（日本語）**
日付が日本語表示になり、時刻が小さく表示されます。

**4 中（英語）**
日付が英語表示になり、時刻が小さく表示されます。

**5 小（日本語）**
日付が日本語で表示されます。

**6 小（英語）**
日付が英語で表示されます。

**7 OFF**
日時は表示されません。

選択した画面パターンがプレビュー表示されます。

**プレビュー表示された画面パターンを変更するには**
▲ で前のパターン、▼ で次のパターンが表示されます。

### 4 ◉ で画面パターンの表示位置を指定

表示可能な領域であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置は画面最下部のガイダンス表示部分までとなります。
◉ を短く押す：2dot ずつ移動
◉ を約 1 秒以上押す：10dot ずつ移動

### 5 （色）で表示色を選択

表示色は 10 色用意されています。（色）を押すごとに表示色が変化しますので、お好みの色が選択できます。

**表示位置と色を元に戻すには**
（リセット）を押します。表示位置は画面中央、色は「白」に戻ります。

### 6 ◉

日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、画面パターンは「大（日本語）」、表示位置は画面中央、色は「白」に設定されています。
- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。
- 省電力モードの設定によっては、日時が表示されないことがあります。「省電力モードを設定する」（☞ 6-13 ページ）
- 表示位置を決定する前に着信などの割り込みが入ると、割り込み終了後、待ち受け画面に戻ります。最初から設定してください。

## 日時の自動補正を設定する

自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

### 1 待ち受け画面で ◉ 5 2

「日付／時刻」画面が表示されます。

### 2 2

「自動補正」画面が表示されます。

### 3 次の項目より選択 → ◉

**1 ON**
自動補正が設定され、「設定しました」と表示されます。

**2 OFF**
自動補正が解除され、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- ネットワーク側と本電話機の時刻に約 30 秒以上のずれがあると自動補正されます。
- 音声通話時には自動補正されません。

## カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。「スケジュール機能を利用する」(☞ 6-20 ページ)

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 3**

カレンダーのパターンが表示されます。

**パターンを一覧表示するには**
（一覧）を押すと、パターンの一覧が表示されます。

**3 ◉ でパターンを選択**

**パターンを選択するには**
カレンダーには 9 パターンがあり、◉ または ▲、▼ でパターンを切り替えることができます。

**4 ◉**

カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 待ち受け画面に壁紙が設定されているときは、壁紙の上にカレンダーが表示されます。

## バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

### 明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル 1」の明るさになります。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 4 1**

「明るさ」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択**

1 レベル 4
2 レベル 3
3 レベル 2
4 レベル 1

明るさには 4 つのパターンがあります。◉ でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。

**4 ◉**

明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「レベル 2」に設定されています。

## 点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 4 2**

「点灯時間」入力画面が表示されます。

**3 0 ～ 9 で点灯時間を入力**

5 ～ 59 秒の間で入力できます。◉ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**4 ◉**

点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「8 秒」に設定されています。
- 発信中または着信中に、設定した点灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

## 消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 4 3**

「消灯時間」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 30 秒後**
**2 60 秒後**
**3 90 秒後**
**4 120 秒後**

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「30 秒後」に設定されています。
- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「30 秒後」です。
- ◉ 5 3 4 2 で設定したディスプレイの点灯時間の設定よりも、消灯時間の設定の方が優先されます。
- 消灯時間の設定よりも ◉ 5 3 6 で設定した省電力設定の方が優先されます。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。
- 発信中または着信中に、設定した消灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

## 通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 4 4**

「通話中点灯」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
通話中に点灯します。通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル 1」の明るさで点灯し続けます。

**2 OFF**
通話中点灯を解除します。

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## キーライト点灯を設定する

キーライト（ボタンのバックライト）点灯の設定ができます。

**1 待ち受け画面で** [◉] [5] [3]

「画面」画面が表示されます。

**2** [4] [5]

「キーライト点灯」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** [◉]

**1 ON**
本電話機の動作時にキーライトが点灯します。

**2 OFF**
キーライト点灯を解除します。

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- キーライトが消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。
- 本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

## 卓上ホルダでの充電中の点灯を設定する

卓上ホルダで充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。

**1 待ち受け画面で** [◉] [5] [3]

「画面」画面が表示されます。

**2** [4] [6]

「卓上充電器充電中点灯」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** [◉]

**1 ON**
本電話機を卓上ホルダに置いてもバックライトはレベル 1 の明るさで点灯を続けます。

**2 OFF**
本電話機を卓上ホルダに置き、消灯時間が経過すると、バックライトが消灯します。

卓上ホルダでの充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 設定が「ON」のとき、バックライトが消灯した状態で卓上ホルダに置くと、設定したバックライトの「明るさ」で約 3 秒点灯した後、レベル 1 の明るさで点灯します。

## キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 5-7 ページ）

**1 待ち受け画面で** [◉] [5] [3]

「画面」画面が表示されます。

**2** [4] [7]

「キーロック中点灯」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** [◉]

**1 全てのキー**
キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル 1 の明るさで点灯します。

**2 電源キーのみ**
キーロック中、消灯しているときに [PWR] を押すとレベル 1 の明るさで点灯します。

キーロック中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「電源キーのみ」に設定されています。

# 着信ランプを設定する

## イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、アラーム、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション（点滅パターン）を設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 5 1**

「イルミネーション」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 電話着信**
電話着信時のイルミネーションが設定できます。

**2 メール着信**
メール着信時のイルミネーションが設定できます。

**3 スケジュール**
スケジュールの通知時のイルミネーションが設定できます。

**4 アラーム**
アラーム鳴動時のイルミネーションが設定できます。

**5 通話中**
通話時のイルミネーションが設定できます。

パターン選択画面が表示されます。

**4 次の項目より選択**

**1 パターン 1**
**2 パターン 2**
**3 パターン 3**
**4 OFF**

◉ でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

**5 ◉**

色選択画面が表示されます。
4を選択した場合は、「設定しました」と表示され、「イルミネーション」画面に戻ります。

**6 次の項目より選択**

**1 赤**
**2 緑**
**3 2カラー**

◉ で色を選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

**7 ◉**

イルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。

| メニュー | パターン | 色 |
|---|---|---|
| 電話着信 | パターン 1 | 緑 |
| メール着信 | パターン 2 | 緑 |
| スケジュール | パターン 3 | 緑 |
| アラーム | パターン 3 | 緑 |
| 通話中 | OFF | ― |

## リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3**

「画面」画面が表示されます。

**2 5 2**

「リマインダー」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
色選択画面が表示されます。→手順４へ

**2 OFF**
「設定しました」と表示され、リマインダーの設定は終了です。「着信ランプ」画面に戻ります。

**4** 次の項目より選択

1 赤
2 緑
3 2カラー

で色を選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

**5**

リマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

**点滅中の着信ランプを消すには**
ボタンを何か 1 つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、クリアマナーを押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、ダイヤルロック中も着信ランプが消えません。
「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 5-7 ページ）
「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞ 5-8 ページ）

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「2 カラー」に設定されています。

## オンラインサインアップ中の着信を設定する

オンラインサインアップ中に、電話がかかってきたときに、それを受けるかどうかを設定します。

**1** 待ち受け画面で 5 6 5 2

「オンラインサインアップ中着信」画面が表示されます。

**2** 次の項目より選択 →

1 ON
着信を受ける。

2 OFF
着信を受けない。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

## 省電力モードを設定する

電池パックの消費を抑えるために画面の消費電力等を節約するように設定できます。

### 省電力モードを設定する

省電力モードを「ON」に設定すると、消費電力が節約されます。

**1** 待ち受け画面で 5 3

「画面」画面が表示されます。

**2** 6

「省電力」画面が表示されます。

**3** 次の項目より選択 →

1 ON
省電力モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

2 OFF
省電力モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には「OFF」に設定されています。
- 省電力モードの設定内容は変更できます。「省電力モードの内容を変更する」（☞ 6-14 ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。「バックライトを設定する」（☞ 6-9 ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、画面が消灯時、一度、ボタンを何か押すと、画面が点灯します。

## 省電力モードの内容を変更する

省電力モードが「ON」のときの、日時表示、バックライトの明るさ、点灯時間、消灯時間、通話中点灯、キーライト点灯、リマインダーを設定します。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 3 6**

「省電力」画面が表示されます。

**2 ◉ で「ON」を選択 → ✉（編集）**

「省電力」の編集画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 日時表示設定**
「日時表示を設定する」（☞ 6-8 ページ）

**2 明るさ**
「明るさを設定する」（☞ 6-9 ページ）

**3 点灯時間**
「点灯時間を設定する」（☞ 6-10 ページ）

**4 消灯時間**
「消灯時間を設定する」（☞ 6-10 ページ）

**5 通話中点灯**
「通話中点灯を設定する」（☞ 6-10 ページ）

**6 キーライト点灯**
「キーライト点灯を設定する」（☞6-11ページ）

**7 リマインダー**
「リマインダーを設定する」（☞ 6-12 ページ）

**4 必要に応じて各項目を設定 → ✉（登録）**

省電力モードの内容が設定され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 1（日時表示設定）を OFF にすると、◉ 5 3 2 時計表示の設定にかかわらず、待ち受け画面に日付が表示されなくなります。
- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「日時表示設定」は「OFF」、「明るさ」は「レベル 1」、「点灯時間」は「5 秒」、「消灯時間」は「30 秒後」、「通話中点灯」は「OFF」、「キーライト点灯」は「OFF」、「リマインダー」は「OFF」に設定されています。

## サブアドレスを設定する

ISDN 回線は、1 本の回線に複数の端末を接続できるため、端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルした後、＊ を押してサブアドレスをダイヤルすると、希望する端末だけを呼び出せます。ISDN 端末のサブアドレスにダイヤルする場合、本機能を「ON」に設定しておく必要があります。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 7**

「発着信」画面が表示されます。

**2 7**

「サブアドレス」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
サブアドレスを設定します。

**2 OFF**
サブアドレスを解除します。

サブアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定すると、電話番号＋＊ に続く番号をサブアドレス情報として発信します。「OFF」に設定すると、電話番号＋＊＋番号を電話番号情報として発信します。
- サブアドレスは、「公衆モード」および「オフィスモード」で有効です。「グループモード」では利用できません。
- 「オフィスモード」時、 のあとに電話番号をダイヤルして電話をかけると、＊＋サブアドレスを電話番号として発信します。この場合、ご希望の端末に直接電話をかけることはできません。
- 「オフィスモード」時、オフィスシステム（PBX）によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

## エニーキーアンサーを設定する

電話がかかってきたときに、[オフフック] 以外のボタンを押しても電話に出られるように設定できます。
本機能を設定すると、[保留]、[クリア/マナー]、[0]～[9]、[＊]、[#]、[◎]、[◎]、[◎]、[◎] を押しても電話に出られるようになります。

**1 待ち受け画面で [◎][5][7]**

「発着信」画面が表示されます。

**2 [5]**

「エニーキーアンサー」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → [◎]**

1 ON
エニーキーアンサーを設定します。

2 OFF
エニーキーアンサーを解除します。

エニーキーアンサーが設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定しても、[✉]、[••]、[◎]、[オフフック] では電話に出られません。

## 表示言語を切り替える

各機能の表示を日本語または英語に切り替えることができます。

**1 待ち受け画面で [◎][5][3]**

「画面」画面が表示されます。

**2 [7]**

「言語選択」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → [◎]**

1 日本語－ Japanese
日本語表示に設定され、「設定しました」と表示されます。

2 英語－ English
英語表示に設定され、「Set」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「日本語－Japanese」に設定されています。

## 壁紙の表示を設定する

本電話機にあらかじめセットされている壁紙を表示するかどうかを設定します。

**1 待ち受け画面で [◎][5][3]**

「画面」画面が表示されます。

**2 [1]**

「壁紙」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → [◎]**

1 あり
本電話機にあらかじめセットされている壁紙が待ち受け画面に表示されます。

2 なし
待ち受け画面に壁紙は表示されません。

壁紙が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「あり」に設定されています。

# カスタムボタンを設定する

カスタムボタン に、電話発信やライトメール／Ｅメールの起動など各種機能を設定し、機能を簡単に実行できるようにします。

## カスタムメニューと短押し／長押しでの呼び出しについて

### カスタムメニューについて

待ち受け画面や通話中画面で を押すと、自由に機能が設定できる「カスタムメニュー」が表示されます。カスタムメニューには６つまで機能を登録することができます。

カスタムメニュー

カスタムボタン

カスタムメニューは待ち受け画面と通話中画面で異なるほか、公衆モードとオフィスモードでも異なるので、下記のように場面に応じた４種類のカスタムメニューが利用できます。

| | | |
|---|---|---|
| 公衆 | 待ち受け画面 | カスタムメニュー（機能×６個） |
| | 通話中画面 | カスタムメニュー（機能×６個） |
| オフィス | 待ち受け画面 | カスタムメニュー（機能×６個） |
| | 通話中画面 | カスタムメニュー（機能×６個） |

**お知らせ**

- カスタムメニュー表示中に自動切替によりオフィス面が切り替わった場合、カスタムメニューに登録されている内線番号への発信はできません。「オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替）」（☞ 7-8 ページ）

### カスタムボタンの短押し／長押しについて

カスタムメニューに登録した機能に「長押し」または「短押し」というショートカット（近道）を設定することができます。「長押し」は約１秒以上押す操作で、「短押し」は押してすぐ離す操作です。たとえば、カスタムメニューの３番目に「短押し」を設定すると、 の短押しでカスタムメニューの３番目の機能が実行されます。「長押し」を設定すると、長押しでその機能が実行されます。

短押し、長押しが設定されていない場合は、どちらの操作でもカスタムメニューが表示されますが、短押しや長押し両方が設定されている場合は、該当の機能が実行されるのでカスタムメニューは表示されません。

| の操作 | 操作の結果 | | |
|---|---|---|---|
| | 短押し設定あり | 長押し設定あり | 短押しも長押しも設定なし |
| 短押しすると | 短押しを設定した機能が実行される | カスタムメニューが表示される | カスタムメニューが表示される |
| 長押しすると | カスタムメニューが表示される | 長押しを設定した機能が実行される | カスタムメニューが表示される |

## カスタムメニューを呼び出す

カスタムメニューに登録された機能を呼び出します。

### 1 待ち受け画面で

カスタムメニューが表示されます。（ただし、お買い上げ時には、待ち受け画面にはカスタムメニューは登録されていないため、ガイダンスは表示されません。また、通話中画面は、短押しが設定されているため、カスタムメニューを表示するには長押しする必要があります。）

### 2 で実行したい機能を選択 → または 1 ～ 6 のいずれか

選択した機能が実行されます。

＜例＞

- **電話番号を選択すると**
  選択した電話番号に発信します。
- **ライトメールを選択すると（待ち受け画面のみ）**
  選択した電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」（☞ 3-32 ページ）
- **E メールを選択すると（待ち受け画面のみ）**
  選択したメールアドレスを宛先にした E メール作成画面が表示されます。「E メールを新規に作成して送信する」（☞ 3-7 ページ）

**お知らせ**

- 手順 2 で機能の登録されていないカスタムメニューを選択して を押すと、「カスタムメニューに登録する」（☞ 6-17 ページ）の手順 5 の画面になり、メニューへの登録が行えます（待ち受け画面のみ）。
- 短押し、長押しが設定されている場合の動作については「カスタムボタンの短押し／長押しについて」（☞ 6-16 ページ）を参照してください。
- 短押し、長押しが両方とも設定されている場合は、カスタムボタンからはカスタムメニューを表示できません。カスタムメニューを表示するには、「カスタムメニューに登録する」(☞ 6-17ページ)の手順 1 ～ 2 を行ってください。

## カスタムメニューに登録する

### 1 待ち受け画面で 5 8

「カスタムボタン」画面が表示されます。

### 2 次の項目より選択 →

1 公衆待受画面
2 公衆通話中画面
3 オフィス待受画面
4 オフィス通話中画面

「カスタムメニュー」画面が表示されます。
3、4を選択した場合は、「オフィス番号選択」画面が表示されるので、登録を行うオフィス面をさらに選択してください。

### 3 で登録する番号を選択 →

サブメニューが表示されます。

### 4 3

機能選択画面が表示されます。

### 5 次の項目より選択 →

**1 機能**
メインメニューが表示されるので、登録する機能を選択します。

**2 電話番号**
入力方法を、1（電話帳引用）、2（発着歴引用）、3（直接入力）から選択し、電話番号を入力します。

**3 ライトメール**
入力方法を、1（電話帳引用）、2（発着歴引用）、3（直接入力）から選択し、電話番号を入力します。

**4 E メール**
入力方法を、1（電話帳引用）、2（直接入力）から選択し、メールアドレスを入力します。

### 6

カスタムメニューに電話番号または機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

**登録した機能を削除するには**

手順３で ⋯ を押して表示されるメニューで

**1** 次の項目より選択 → ◉

5 一件削除
6 選択削除
7 全件削除

確認画面が表示されます。

**2** ◎ で「Yes」を選択 → ◉

6を選択した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、待ち受け画面と通話中画面のカスタムメニューには以下の機能が登録されています。通話中画面のカスタムメニュー の１に「電話帳」が短押しで登録されています。

| 待ち受け画面 | 通話中画面 |
|---|---|
| 登録なし | 電話帳 短<br>通話録音<br>パワーサーチ<br>スケジュール<br>プロフィール |

- 短押しや長押しが設定されていない場合は、待ち受け画面や通話中画面で ⋯ を短押しや長押ししてカスタムメニューを表示することができます。
- 公衆／オフィスモード(デュアルモード)の場合は、カスタムメニューの７番目に「優先発信切替」が自動的に表示されます。これを選択するごとに発信先が公衆とオフィスとで切り替わります。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替)」(☞ 7-5 ページ)
- カスタムメニューの空欄の番号を押して手順５の登録画面を表示することもできます。
- すでに機能が登録されている番号に新たに機能を登録した場合は、元の機能に新しい機能が上書きされます。
- 電話番号、ライトメール、Eメールを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ 、L、Eのアイコンが表示されます。
- 「パワーサーチ」は、公衆モードでの通話中に入力できます。オフィスモードでは入力できません。
- 電話番号入力時は、0 ～ 9、＊、#、「ポーズ」、「フック」(オフィス通話中画面のみ)が入力できます。「フック」は保留と同じ信号を送出する機能で、で入力します。
- 「ポーズ」と「フック」は同じ番号の中に入力できません。
- 「フック」の入力は１番号につき１回だけです。

## カスタムメニューに短押し／長押しを設定する

カスタムメニューに登録されている機能に短押しや長押しを設定し、カスタムボタンのワンタッチで機能を呼び出せるようにします。電話番号を登録してある場合は、ワンタッチでその番号に発信できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 8 6**

「カスタムボタン」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

1 公衆待受画面
2 公衆通話中画面
3 オフィス待受画面
4 オフィス通話中画面

「カスタムメニュー」画面が表示されます。
3、4を選択した場合は、「オフィス番号選択」画面が表示されるので、登録を行うオフィス面をさらに選択してください。

**3 ◎ で登録する番号を選択 → ⋯**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

1 短押し登録
2 長押し登録

「ガイダンス編集」画面が表示されます。

**5 ガイダンスを編集 → ◉**

短押しまたは長押しが設定され、「登録しました」と表示されます。
ここで入力した文字列が、待ち受け画面や通話中画面の下部にカスタムボタンの名称としてガイダンス表示されます。「ガイダンス表示について」(☞ 1-11 ページ)

**短押し／長押しを削除するには**

短押し／長押しの設定された項目を手順３で選択し、手順４で1または2を選択します。

**お知らせ**

- 短押し／長押しを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ短、長のアイコンが表示されます。
- 手順 5 のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で 3 文字、半角で 6 文字までです。

## ガイダンスを編集する

ガイダンス（画面に表示されるカスタムボタンの名称）は、変更することができます。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 JKL 8 TUV

「カスタムボタン」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 →** ◉

**1 公衆待受画面**
**2 公衆通話中画面**
**3 オフィス待受画面**
**4 オフィス通話中画面**

「カスタムメニュー」画面が表示されます。
3、4を選択した場合は、「オフィス番号選択」画面が表示されるので、登録を行うオフィス面をさらに選択してください。

**3** ✉

サブメニューが表示されます。

**4** 4 GHI

「ガイダンス編集」画面が表示されます。

**5 ガイダンスを編集 →** ◉

ガイダンスが登録され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 手順 5 のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で 3 文字、半角で 6 文字までです。
- カスタムボタンでカスタムメニューを表示した状態で上記の手順 3 ～ 5 を行い、ガイダンスを編集することもできます（待ち受け画面のみ）。

# スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

## カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

### 1 待ち受け画面で 4

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3 件を超える場合でも 3 個しか表示されません。
カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。

### 2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

：翌日に移動します。
：前日に移動します。
：前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。
：翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。
：前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。
：翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

**スケジュールの内容を表示するには**

「スケジュールの内容を表示する」（☞ 6-24 ページ）

**お知らせ**

- カーソルを移動するボタンを約 1 秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは 2000 年 01 月 01 日から 2099 年 12 月 31 日まで表示されます。
- 祝日データは 2000 年から 2030 年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー表示」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入のカレンダーを表示することができます。「カレンダーを設定する」（☞ 6-9 ページ）

## 指定した日や今日にジャンプする

カレンダー画面から指定の年月日やその日にカーソルを移動することができます。

**1 待ち受け画面で ◉4**

カレンダーが表示されます。

**2 ··3**

「日時」入力画面が表示されます。

**3 0～9で移動先の年月日を入力 → ◉**

指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。カーソルは、指定した日に移動します。

**今日にジャンプするときは**
··（今日）を押します。

# スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大100件までスケジュールを登録できます。カレンダーの日付は2000年01月01日から2099年12月31日まで選択できます。

## スケジュールを登録する

**1 待ち受け画面で ◉4**

カレンダーが表示されます。

**2 登録したい日にカーソルを移動 → ✉（新規）**

「スケジュール」画面が表示されます。

**3 ◉で入力する項目を選択 → ◉**

- 日時を入力する（☞6-21ページ）
- 内容を入力する（☞6-21ページ）
- 場所を入力する（☞6-21ページ）
- 通知設定を入力する（☞6-22ページ）

**4 必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を入力・設定 → ✉（登録）**

スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

### ■ 日時を入力する

用件の日付、開始時刻、終了時刻を入力することができます。

**1 0～9で「日付」を入力**

「日付」には選択した日付がセットされています。必要に応じて変更します。◉で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**2 ◉でカーソルを「開始時刻」に移動**

**3 0～9で「開始時刻」を入力**

00:00～23:59の間で入力します。◉で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**「終日」に設定するには**
··（終日）を押します。

**4 ◉**

終了時刻の入力画面が表示されます。

**5 0～9で「終了時刻」を入力**

開始時刻と同じか、それ以降の時間を入力します。日をまたがる時刻設定はできません。

**6 ◉**

「スケジュール」画面に戻ります。

### ■ 内容を入力する

用件の内容を入力することができます。

**1 内容を入力 → ◉**

全角45文字（半角90文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-17ページ）

### ■ 場所を入力する

用件の場所を入力することができます。

**1 場所を入力 → ◉**

全角27文字（半角54文字）まで入力できます。「文字を入力する」（☞2-17ページ）

## ■ 通知設定を入力する

スケジュールを通知するように設定できます。通知するよう設定すると、スケジュールの一覧画面に「🔔」が表示されます。

**1 次の項目より選択 → ◉**

**1 通知する**
スケジュールの開始時刻になったら通知します。

**2 事前通知する**
「事前通知」画面が表示されるので、事前に通知する時間を5分から99分までの間で1分単位で入力し、◉を押します。◉で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

**3 通知しない**
スケジュール通知は行いません。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「通知設定」は「通知しない」に設定されています。
- お買い上げ時には、「事前通知」の時間は「5分前」に設定されています。
- 通知時刻になると、該当するスケジュールが画面に表示されます。スケジュール音やバイブレータを設定すると、音やバイブレータでも知ることができます。「スケジュール音を設定する」(☞ 6-22 ページ)
- スケジュールを登録するには、あらかじめ本電話機の日時を設定しておきます。「日時を設定する」(☞ 1-15 ページ)
- スケジュールが100件登録されていると、新規登録はできません。
- スケジュール登録中に、電話着信、アラームおよびスケジュールの割り込みがあったときは、各機能終了後、スケジュール登録中の画面に戻ります。引き続き文字入力が行えます。

## スケジュール音を設定する

スケジュールを通知するときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりすることができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 ·· 4**

「スケジュール音設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

| | |
|---|---|
| **1 スケジュール音** | (☞ 6-22 ページ) |
| **2 音量** | (☞ 6-23 ページ) |
| **3 バイブ** | (☞ 6-23 ページ) |
| **4 鳴動時間** | (☞ 6-23 ページ) |

### 1 スケジュール音

スケジュールを通知するときの音を設定できます。

**1 ◉ でスケジュール音を選択**

**スケジュール音を聞くには**
◉ でスケジュール音を選択して ✉（再生）を押すと、スケジュール音が再生されます。この場合、▼ で次のスケジュール音、▲ で前のスケジュール音を再生します。再生を終了するには、✉（停止）または クリアマナー を押します。

**音量を調節するには**
スケジュール音再生中に、◉ で音量の調節ができます。

**2 ◉**

スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

## 2 音量

スケジュールを通知するときの音量を設定できます。

**1 で音量を選択**

**音量を確認するには**

（再生）を押します。停止する場合は再度（停止）を押します。

**2**

音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

## 3 バイブ

スケジュールを通知するときのバイブレータのパターンを設定できます。
バイブレータには 6 つのパターンがあります。

**1 次の項目より選択**

1 パターン 1
2 パターン 2
3 パターン 3
4 パターン 4
5 パターン 5
6 バイブ後サウンド鳴動
7 OFF

でパターンを選択すると、そのバイブパターンを確認できます。

**2**

パターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

## 4 鳴動時間

スケジュールを通知するときの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。
1 ～ 60 秒までの間で 1 秒単位で入力できます。

**1 ～ で鳴動時間を入力 →**

鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「通知設定」の「スケジュール音」は「アラーム 2」、「音量」は「VOL.3」、「バイブ」は「OFF」、「鳴動時間」は「30 秒」に設定されています。
- 「通知設定」で、「通知する」のときは開始時刻に、「事前通知する」のときは通知設定時刻になると、画面にスケジュールが表示されます。「通知されたスケジュールの内容を確認する」（☞ 6-25 ページ）
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にスケジュールが通知されます。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、スケジュール音は鳴りません。

# 休日を設定する

スケジュールのカレンダーで任意の日を選択し、休日として設定できます。土日も選択できます。上限はありません。

**1 待ち受け画面で 4**

カレンダーが表示されます。

**2 休日を設定する日付にカーソルを合わせる →**

サブメニューが表示されます。

**3 5**

選択した日付が休日に設定され、「設定しました」と表示されます。
休日設定された日付は赤色で表示されます。

**休日設定を解除するには**

**1** 休日設定された日付にカーソルを合わせ

サブメニューが表示されます。

**2 5**（休日設定解除）

休日設定が解除され、「解除しました」と表示されます。休日設定が解除されると、日付の色は元の色に戻ります。

# スケジュールの内容を表示する

スケジュールは、1ヶ月のカレンダー上で表示するだけでなく、1日ごとや1週間ごとの一覧、全スケジュールの一覧を表示することができます。通知されたスケジュールを確認したり、登録件数を確認することもできます。

## 1日分のスケジュールを表示する

**1 待ち受け画面で 4**

カレンダーが表示されます。

**2 スケジュールを表示する日付にカーソルを移動 →**

指定日のスケジュール一覧が表示されます。

**3 でスケジュールを選択**

**1日に7件以上のスケジュールがあるときは**
で前ページが、で次ページが表示されます。

**4 （詳細）**

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

**お知らせ**
- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- スケジュール一覧では、で翌日の、で前日のスケジュールが表示されます。

## 1週間分のスケジュールを表示する

**1 待ち受け画面で 4**

カレンダーが表示されます。

**2 スケジュールを表示する週にカーソルを移動 →**

サブメニューが表示されます。

**3 1**

1週間分のスケジュール一覧が表示されます。

**4 でスケジュールを選択**

**1週間に7件以上のスケジュールがあるときは**
で前ページが、で次ページが表示されます。

**5 （詳細）**

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

**お知らせ**
- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- 週間スケジュール一覧では、で次の週の、で前の週のスケジュールが表示されます。

## 全スケジュールを表示する

**1 待ち受け画面で 4**

カレンダーが表示されます。

**2 2**

全スケジュール一覧が表示されます。

**3 でスケジュールを選択**

**7件以上のスケジュールがあるときは**
で前ページが、で次ページが表示されます。

**4 （詳細）**

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

## 通知されたスケジュールの内容を確認する

スケジュールの「通知設定」が「通知する」または「事前通知する」の場合、通知の時刻になるとバックライトが点灯し、スケジュールの詳細画面が表示され、設定に応じてスケジュール音やバイブレータが鳴動し、着信ランプのイルミネーションが点灯します。「イルミネーションを設定する」(☞ 6-12 ページ)

**1 スケジュールが通知される**

音とバイブレータを途中で停止するには、ボタンを何か 1 つ押します。

**2 スケジュールを確認したら、クリア/マナー または PWR**

待ち受け画面に戻ります。

### ■ 未確認のスケジュールの内容を表示する

スケジュールが通知されたあと クリア/マナー または PWR を押さずに約 30 秒経過した場合などは、待ち受け画面に「スケジュール　○○件」と未確認のスケジュール件数が表示され、画面上部に「▦」が表示されます。
未確認のスケジュールは次の手順で内容を確認することができます。

**1 待ち受け画面で ◉**

未確認のスケジュールのうち、一番日付の古いスケジュールの一覧画面が表示され、スケジュールの内容を確認できます。

**2 クリア/マナー**

カレンダーが表示されます。

**3 クリア/マナー**

待ち受け画面に戻ります。未確認スケジュールが残っている場合は、「スケジュール　○○件」と「▦」が表示されるので、手順 1、2 を繰り返して未確認スケジュールを確認してください。

**お知らせ**

- 通知設定の日時が同じで開始時刻が同じ場合、終了時刻の早いほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 通知設定の日時が同じで開始・終了時刻が同じ場合、後で登録したほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 機能ロックで「スケジュール」が ON に設定されている場合、通知時刻になるとスケジュールの詳細画面ではなく、「スケジュール通知（ロック中です)」と表示されます。

## 登録件数を確認する

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 ･･ 5**

スケジュール登録件数が表示されます。クリア/マナー でカレンダー画面に戻ります。

## スケジュールの内容を変更する

登録されたスケジュールの内容を変更できます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たなスケジュールを作成することもできます。

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 変更するスケジュールの日付にカーソルを移動 → ◉**

指定日のスケジュール一覧が表示されます。

**3 ◉ でスケジュールを選択 → ··**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 編集**
選択したスケジュールを編集します。

**2 コピー＆編集**
選択したスケジュールのコピーを作成し、編集します。

スケジュールの編集画面が表示されます。

**5 ◉ で変更する項目を選択 → ◉**

入力画面が表示されます。

**6 内容を編集 → ◉**

**7 ✉（登録）**

スケジュールが変更され、「登録しました」と表示されます。

**お知らせ**
- 手順 3 の代わりに、◉ で変更するスケジュールを選択して ◉ を押し、✉（編集）を押して変更することもできます。

## スケジュールを削除する

登録したスケジュールを削除できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 削除するスケジュールの日付にカーソルを移動 → ◉**

指定日のスケジュール一覧が表示されます。

**3 ◉で削除するスケジュールを選択 → ··**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**3 一件削除**
選択したスケジュール 1 件だけを削除します。

**4 選択削除**
その日のスケジュールの画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除するスケジュールを選択 → ◉（チェック）

スケジュールの先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は ·· 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、·· 2（全件解除）を押します。

**2** 削除するスケジュールの選択を終えたら ✉（削除）

**5 当日全件削除**
その日のすべてのスケジュールを削除します。

**5 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

スケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**
- 週間スケジュール一覧の場合は、·· を押し、サブメニューで 5（今週全件削除）を押すと、1 週間分のスケジュールが全件削除されます。「1 週間分のスケジュールを表示する」（☞ 6-24 ページ）

## 前日までのスケジュールを全件削除する

前日までのスケジュールを全件削除できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 削除するスケジュールの翌日にカーソルを移動 → ••**

サブメニューが表示されます。

**3 7**

「前日までのスケジュールを全件削除しますか？」と表示されます。

**4 ◎ で「Yes」を選択 → ◉**

前日までのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 全スケジュールの一覧でも、前日までのスケジュールを削除することができます。全スケジュール一覧でスケジュールを選択し、•• を押してサブメニューで 5（前日まで削除）を押します。
- 前日までのスケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞ 6-23 ページ）
- 前日とは、カレンダー表示でカーソルがある日付の前日を指します。

## スケジュールを全件削除する

登録したスケジュールを全件削除することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 4**

カレンダーが表示されます。

**2 •• 8**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号認証を行う**

「全件削除しますか？」と表示されます。

**4 ◎ で「Yes」を選択 → ◉**

すべてのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。
「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**お知らせ**

- 全スケジュールの一覧でも、全件削除ができます。全スケジュール一覧で •• を押し、サブメニューで 6（全件削除）を押します。
- スケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」（☞ 6-23 ページ）

# アラームを利用する

指定した日時にアラームを鳴らすことができます。アラームが鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。「イルミネーションを設定する」（☞ 6-12 ページ）アラームを止めても約 5 分後に再び鳴らすスヌーズ機能もあります。アラームは 3 件登録できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 3**

「アラーム」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 8 2 を押して表示することもできます。

**2 ◎ で登録する場所を選択 → ···**

「ON」に切り換わり、🔔が表示されます。

**3 ◉**

編集画面が表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

| | |
|---|---|
| 1 時刻 | （☞ 6-28 ページ） |
| 2 曜日設定 | （☞ 6-28 ページ） |
| 3 アラーム音 | （☞ 6-28 ページ） |
| 4 音量 | （☞ 6-29 ページ） |
| 5 バイブ | （☞ 6-29 ページ） |
| 6 鳴動時間 | （☞ 6-29 ページ） |
| 7 スヌーズ | （☞ 6-29 ページ） |

**5 必要に応じて各項目を設定 → ✉（登録）**

アラームが登録され、「登録しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

**アラームが鳴ったときに音や振動を止めるには**
いずれかのボタンを 1 つ押します。アラームの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

## 1 時刻

アラームを鳴らす時刻を設定できます。

**1 0 ～ 9 で時刻を入力 → ◉**

00:00 ～ 23:59 の間で入力します。
◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

## 2 曜日設定

アラームを鳴らす曜日を設定できます。

**1 次の項目より選択 → ◉**

**1 1 度きり**

曜日には関係なく、一度だけ動作する設定になります。

**2 曜日指定**

「曜日指定」画面が表示されます。
→手順 2 へ

**2 ◎ で曜日を選択 → ◉**

**3 ✉（完了）**

## 3 アラーム音

アラームの音を設定できます。

**1 ◎ でアラーム音を選択 → ◉**

**アラーム音を聞くには**
◎ でアラームを選択して ✉（再生）を押すと、アラームが再生されます。この場合、R/B で次のアラーム、R/B で前のアラームを再生します。再生を終了するには、✉（停止）を押します。

**音量を調節するには**
アラーム再生中に、◎ で音量の調節ができます。

## 4 音量

アラームの音量を設定できます。

**1 ◎ で音量のレベルを選択 → ◎**

**音量レベルの操作と表示について**

◎：着信音量レベルが上がります。
◎：着信音量レベルが下がります。

着信音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の着信音量が継続されます。

着信音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の着信音量が継続されます。

着信音量レベル VOL.1 ～ VOL.5

レベル VOL.1 よりさらに ◎ を押すと「OFF」になります。

**音量を確認するには**

✉（再生）を押すと、設定したアラームが選択中の音量で再生されます。再生を停止するには、✉（停止）を押します。

## 5 バイブ

アラームのバイブレータのパターンを設定できます。バイブレータには6つのパターンがあります。

**1 次の項目より選択 → ◎**

**1 パターン1**
**2 パターン2**
**3 パターン3**
**4 パターン4**
**5 パターン5**
**6 バイブ後サウンド鳴動**
アラームの設定時刻にバイブレータが動作し、約10秒後にアラーム音も鳴ります。
**7 OFF**

◎ でパターンを選択すると、そのバイブパターンを確認できます。

## 6 鳴動時間

アラームの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。

**1 [0] ～ [9] で鳴動時間を入力 → ◎**

1 ～ 60 秒の間で入力できます。◎ で入力したい箇所にカーソルを移動できます。鳴動時間が設定されます。

## 7 スヌーズ

設定した時間にアラームが鳴ったあと、約5分間隔で5回までアラームを鳴らすことができます。

**1 次の項目より選択 → ◎**

**1 ON**
スヌーズを設定します。
**2 OFF**
スヌーズを無効とします。

**アラームが鳴ったときに音や振動を止めるには**

スヌーズ中のアラーム音や振動は、いずれかのボタンを1つ押すと一時的に止められます。[クリアマナー] または [PWR] を押すと、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。
この場合、◎ で「Yes」を選択して ◎ を押すと、スヌーズが解除され、アラーム音の繰り返しが停止します。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「時刻」は「0:00」、「曜日設定」は「一度きり」、「アラーム音」は「アラーム2」、「音量」は「VOL.3」、「バイブ」は「パターン3」、「鳴動時間」は「30秒」、「スヌーズ」は「OFF」に設定されています。
- マナーモードやオートサイレントモードを設定しているときは、それらのモードが有効になります。
- アラームを2件以上設定していて、設定時刻が重なるときは、設定時刻の遅いほうが優先されます。先に鳴っていたアラームは、次のアラームが鳴った時点で、スヌーズも含めて停止します。3件のアラームの設定時刻が同じときは、「アラーム1」が優先されます。
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にアラーム音が作動します。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、アラームは鳴りません。

# 電卓を利用する

10 桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

**1 待ち受け画面で** [◉] [8] [1]

「電卓」画面が表示されます。

**2 各ボタンで計算式を入力する**

| | |
|---|---|
| [0] ～ [9] | 0 ～ 9（数字） |
| [◉] | 足し算 |
| [◉] | 引き算 |
| [◉] | 掛け算 |
| [◉] | 割り算 |
| [◉] | 合計 |
| [✉] | 電卓を終了して元の画面に戻ります。数字入力中はボタンは「AC」（オールクリア）になります。 |
| [••] | 小数点 |
| [▲保留] | 逆数切り替え |
| [▼RG] | ＋／－切り替え |
| [クリア/マナー] | クリア |

**3** [◉]

計算結果が表示されます。

**お知らせ**

- [••]（小数点）を押したあと、小数点以下を入力する前に、[◉] を操作したときは、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が 11 桁以上になったときは、「ERROR」と表示され、計算できません。
- 計算中に、スケジュールのアラーム時刻になったときなどは、それぞれの動作が優先され、計算は中止されます。

# メモ録音を利用する

音声の録音や再生ができます。

## 音声を録音する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3**

「メモ録音」画面が表示されます。

**2 1**

「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順 2 のあとに「録音機能に入ると圏外状態となります　開始しますか？」と表示されるので、◉ で「Yes」を選択し、◉ を押してください。

**3 ◉（録音）**

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。画面には、録音の残り時間が表示されます。

**録音を一時停止するには**

◉ を押します。再び ◉ を押すと、録音が開始します。

**録音を中止するには**

PWR を押すと、「録音を中止しますか？」と表示されます。この場合、◉ で「Yes」を選択して ◉ を押します。

**4 クリア/マナー**

録音停止音が鳴り、録音が停止します。保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、録音データが保存されます。

**お知らせ**

- オートサイレントモードまたはマナーモードのときは、録音開始音、録音停止音は鳴りません。
- 留守録音、通話録音、メモ録音合わせて4件まで、最長16秒ずつ保存することができます。
- 音声が十分な音量で録音できるように、マイクから近距離でお使いください。

## 保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音データがいっぱいのときには、待ち受け画面に「FULL」が表示されます。この状態で音声を録音しようとすると「録音件数がいっぱいです」と表示されます。「録音データ」画面で不要なデータを削除してください。

## 録音優先モードを設定する

録音を電話着信、アラーム、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3**

「メモ録音」画面が表示されます。

**2 3**

「録音優先モード設定」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。アラームやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

**2 OFF**

録音前や録音中でも、電話の着信、アラーム、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

## 音声を再生する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3**

「メモ録音」画面が表示されます。

**2 2**

「録音データ」画面が表示されます。

| | |
|---|---|
| | 未再生のデータです。 |
| | 再生済みのデータです。 |

**3 ◉ で録音データを選択 → ◉（再生）**

選択した録音データの録音日時が表示されます。

**4 ◉（再生）**

再生が開始されます。

**停止するには**

クリア/マナー（■）を押すと、停止します。もう一度クリア/マナー（■）を押すと、手順 2 の「録音データ」画面に戻ります。

**スピーカから音を聞くには**

再生中に ✉（🔊）を押します。レシーバに切り替えるには ✉（🎧）を押します。

**音量を調節するには**

再生中に、◉（＋）または ◉（－）で音量を調節します。

**お知らせ**

- 手順3の画面（再生前の確認画面）では、▲保留 で前の録音データ、▼発信 で次の録音データに切り替えることができます。
  手順4の画面（再生中画面）では、▲保留 で再生中のデータの頭出し、▼発信 で次の録音データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音内容を再生しようとすると、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、◉ で「Yes」を選択して ◉ を押すと、再生前の確認画面が表示されます。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

## 録音データを削除する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 3**

「メモ録音」画面が表示されます。

**2 2**

「録音データ」画面が表示されます。

**3 ◉ で削除する録音データを選択 → ••**

サブメニューが表示されます。

**4 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**

選択した録音データ 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**

「録音データ」画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除する録音データを選択 → ◉（チェック）

録音データの先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は ••1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、••2（全件解除）を押します。

**2** 削除する録音データの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**

すべての録音データを削除します。

**5 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

録音データが削除され、「削除しました」と表示されます。

# メモ帳を利用する

メモ帳には、1 件あたり全角 50 文字（半角 100 文字）までのメモを、12 件まで登録することができます。

## メモを入力する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 4**

「メモ帳」一覧画面が表示されます。

**2 メモを登録する番号を選択 → ◉**

入力画面が表示されます。

**3 メモを入力／編集 → ◉**

メモが保存され、「登録しました」と表示されます。

**新規に登録するには**

「メモ帳」一覧画面で、未登録の番号を選択して ◉ を押します。

**登録済みのメモを編集するには**

「メモ帳」一覧画面で、登録済みの番号を選択して ◉ を押し、✉（編集）を押します。

## メモを表示する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 4**

「メモ帳」一覧画面が表示されます。

**2 表示したいメモの番号を選択 → ◉**

選択したメモが表示されます。

## メモを削除する

**1 待ち受け画面で ◉ 8 4**

「メモ帳」一覧画面が表示されます。

**2 ◉ で削除するメモを選択 → ••**

サブメニューが表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 一件削除**

選択したメモ 1 件だけを削除します。

**2 選択削除**

「メモ帳」一覧画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** ◉ で削除するメモを選択→ ◉（チェック）

メモの先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。
全件選択する場合は ••1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、••2（全件解除）を押します。

**2** 削除するメモの選択を終えたら ✉（削除）

**3 全件削除**

すべてのメモを削除します。

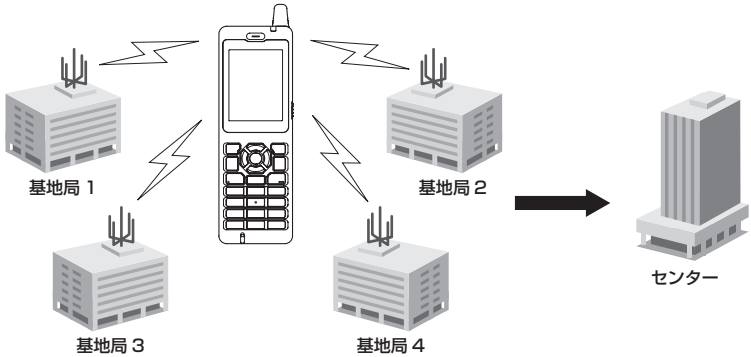
**4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

メモが削除され、「削除しました」と表示されます。

# 位置情報を利用する

## 位置情報通知機能の概要

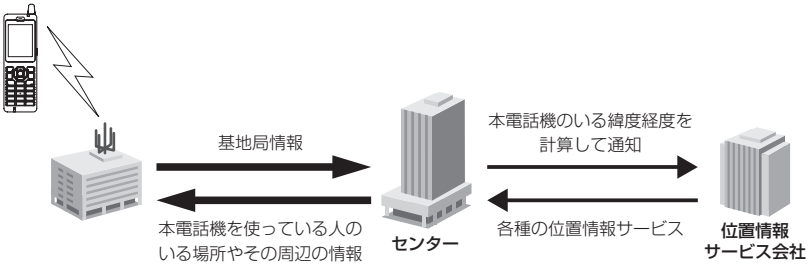
位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、自己位置通知機能（LI：Location Information 機能）と、位置検索機能があります。




基地局からの受信電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。
ウィルコムでは位置情報サービスを利用した位置検索サービスを提供しています。詳しくは、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

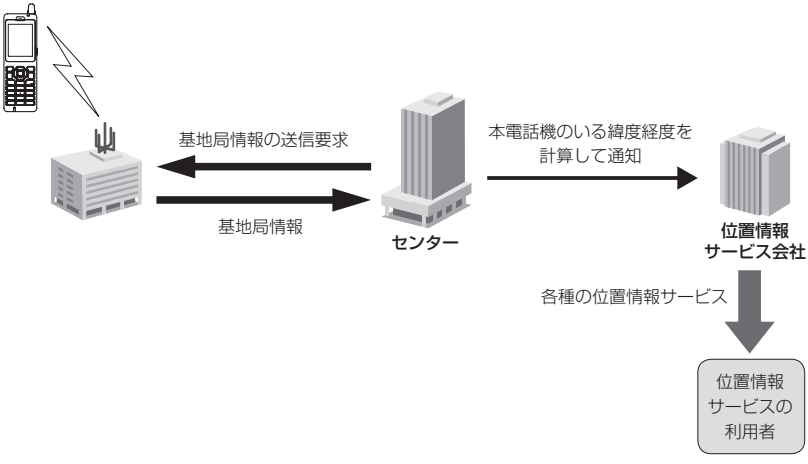
## ■ 自己位置通知機能（LI：Location Information 機能）

位置情報通知ＬＩを「ON」に設定すると、本電話機からセンターに基地局情報を通知し、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。
センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機の居場所を算出し、位置情報サービス会社に通知します。この情報をもとに、位置情報サービス会社は各種情報サービスを提供します。




## ■ 位置検索機能

位置情報通知 LI と自動位置情報送出設定を「ON」に設定すると、センターからの位置情報送出の問い合わせに応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、あらかじめ登録している通知許可番号から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。また、本電話機の所在位置を登録することができ、位置情報送出の要求があったときは、登録した情報が送られます。



# 位置情報通知LIを設定する

位置情報通知 LI を「ON」に設定すると、位置情報通知機能を利用することができます。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 6 3**

「位置情報通知 LI」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

位置情報通知機能が設定され、「設定しました」と表示された後、「自動位置情報送出設定」画面が表示されます。手順3に進みます。

**2 OFF**

位置情報通知機能を解除します。以上で設定は終了です。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**

自己位置通知機能と位置検索機能の両方をご利用になる場合に選択してください。暗証番号入力画面が表示されます。

**2 OFF**

自己位置通知機能のみをご利用になる場合に選択してください。「解除しました」と表示されます。以上で設定は終了です。

**4 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

**5 「自動位置情報送出設定」画面が表示されます。以下の設定を行ってください。**

**1 通知許可番号**

「通知許可番号を登録する」(☞ 6-36 ページ)

**2 着信音設定**

「位置情報が通知されたときの着信音を設定する」（☞ 6-37 ページ）

**3 自動送出機能**

「自動送出機能を設定する」(☞ 6-37 ページ)

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「位置情報通知 LI」は「OFF」、「自動位置情報送出設定」は「OFF」に設定されています。
- 自己位置通知機能と位置検索機能の両方をご利用になる場合は、「自動位置情報送出設定」および「自動位置情報送出設定」画面の「3自動送出機能」を「ON」に設定する必要があります。

# 自己位置通知機能を利用する

## 位置情報を通知する

自己位置情報通知機能で、センターに位置情報を通知するときは、位置情報通知 LI を「ON」に設定してください。「位置情報通知 LI を設定する」（☞ 6-36 ページ）

**1 待ち受け画面で ⌒ を約 1 秒以上押す**

入力画面に「♥」が表示されます。

**2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力 → ⌒ または ◉（発信）**

自己位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

# 位置検索機能の設定をする

## 通知許可番号を登録する

位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送出する電話番号を登録します。

**1 「自動位置情報送出設定」画面で 1（通知許可番号）**

通知許可番号の入力画面が表示されます。

**2 0 ～ 9 で通知許可番号を入力 → ◉**

「通知許可パスワードを入力して下さい」と表示されます。

**3 0 ～ 9 で通知許可パスワードを入力 → ◉**

通知許可番号が設定され、「設定しました」と表示された後、「自動位置情報送出設定」画面が表示されます。

**お知らせ**

- お買い上げ時には、「通知許可番号」は「0445406750」、通知パスワードは「10480000」に設定されています。
- 通知許可番号は 20 桁まで入力できます。
- 通知許可パスワードは1～8桁まで入力できます。全桁0で設定することはできません。

- 入力した通知パスワードを修正するときは、クリアマナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

## 位置情報が通知されたときの着信音を設定する

センターからの位置情報送出の問い合わせに応じて本電話機の位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうか設定します。

**1 「自動位置情報送出設定」画面で 2**

「着信音設定」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
送信確認音が設定され、「設定しました」と表示された後、「自動位置送出設定」画面が表示されます。

**2 OFF**
送信確認音が解除され、「解除しました」と表示された後、「自動位置送出設定」画面が表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「着信音設定」は「ON」に設定されています。

## 自動送出機能を設定する

通知許可番号として登録した電話番号から位置情報送出の問い合わせがあったときに、自動的に位置情報を送出するかどうかを設定します。

**お知らせ**
- 「通知許可番号」が設定されていないときには、「自動送出機能」は選択できません。

**1 「自動位置情報送出設定」画面で 3**

「自動送出機能」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
自動送出機能が設定され、「設定しました」と表示されます。待ち受け画面に「LOC」が表示され、位置検索機能をご利用になれます。

**2 OFF**
自動送出機能が解除され、「解除しました」と表示されます。待ち受け画面の「LOC」の表示が消えます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には「自動送出機能」は「OFF」に設定されています。

## 所在位置を登録する

「位置情報通知 LI」と「自動位置情報送出設定」を「ON」に設定すると、本電話機で位置情報を登録することができます。センターから位置情報送出の問い合わせがあったときは、本電話機であらかじめ登録した位置情報が送出されます。また、位置情報と一緒にステータスコードも登録することができます。

### ① 位置情報のみを登録する

**1 待ち受け画面で ＊ を約 1 秒以上押す**

「位置情報送信」と表示されます。

**2 ☎ または ◉（発信）**

「位置情報動作中」と表示された後、「送信終了」と表示されます。

**3 ☎**

### ② 位置情報とステータスコードを登録する

センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

**1 待ち受け画面で ＊ 1 □ ＊**

**2 ☎ または ◉（発信）**

「位置情報動作中（ステータス 10）」と表示された後、「送信終了」と表示されます。

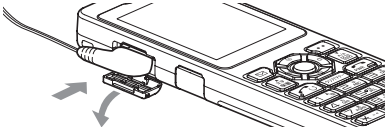
**3 ☎**

**お知らせ**
- ステータスコードについては、ご利用の位置情報サービス提供会社にお問い合わせください。「位置情報通知機能の概要」（☞ 6-34 ページ）

# イヤホンマイクを利用する

## イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで鳴動します。



## イヤホン装着時の鳴動先を設定する

イヤホンマイクを装着している状態で電話がかかってきたときに、鳴動先を電話機本体にするか、イヤホンマイクにするかを設定します。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 1

「音」画面が表示されます。

**2** 3

「イヤホン装着時鳴動先」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** ◉

**1 本体**
電話がかかってきたときに、電話機本体が鳴動します。

**2 イヤホン**
電話がかかってきたときに、イヤホンマイクが鳴動します。

**お知らせ**
- お買い上げ時には「本体」に設定されています。
- イヤホン装着時鳴動先の設定は、イヤホン装着時のみ有効です。

## イヤホン自動応答を設定する

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクで自動的に電話を受けることができるように設定できます。

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 7

「発着信」画面が表示されます。

**2** 6

「イヤホン自動応答」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 →** ◉

**1 ON**
着信音が約５秒鳴った後に、イヤホンマイクで自動的に電話を受けることができます。イヤホン自動応答が設定され、「設定しました」と表示されます。

**2 OFF**
イヤホン自動応答が解除され、「解除しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 「留守録音設定」が０～５秒に設定されている場合は、「留守録音設定」が優先されます。
- 本機能を「ON」に設定していても、着信時にイヤホンマイクを装着した場合は、自動応答しません。
- 本機能を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合、イヤホンマイクによる通話はできません。
- 本機能を「ON」に設定していると、着信時にイヤホンマイクを抜いても自動応答します。
- 着信音は鳴動先の設定に依存します。
- スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

## イヤホン装着時に電話を受ける

イヤホンマイクが完全に接続されているのを確認してください。

### 1 着信音が鳴る

**着信時にイヤホンマイクを接続したときには**
イヤホン自動応答が「ON」でも、イヤホンマイクで電話を受けることができません。本電話機のマイクとレシーバで通話してください。「イヤホン自動応答を設定する」（☞ 6-38 ページ）

### 2 を押して通話

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を受けることができます。

**本電話機で通話中にイヤホンマイクを装着したときには**
イヤホンマイクで通話を継続できます。

**通話中にイヤホンマイクを抜いたときには**
本電話機のマイクとレシーバで通話してください。イヤホンマイクを接続して通話中に、「ハンズフリー通話」または「スピーカ受話」を設定したときは、イヤホンマイクを抜いても設定した通話モードで通話を継続できます。「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話／スピーカ受話）」（☞ 2-14 ページ）

### 3 通話が終わったら

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を切ることができます。

**お知らせ**

- 着信時にイヤホンマイクを抜いたときは、イヤホン自動応答が「ON」であれば自動応答します。
- 着信時にイヤホンマイクが接続されていないときには、イヤホン自動応答が「ON」でもイヤホンマイクで電話を受けることができません。「イヤホン自動応答を設定する」（☞ 6-38 ページ）
- 安全運転モードに設定されているときは、イヤホンマイクを接続していても通話できません。「安全運転モードを設定する」（☞ 2-51 ページ）

# 国際電話をかける（国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010 と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。

| 0 1 0 をダイヤル | → | 相手先国番号をダイヤル | → | 相手先電話番号をダイヤル※<br>地域番号＋電話番号 |
|---|---|---|---|---|

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例）ニューヨークの 123-4567 へかけるとき

| 010 | → | 1 | → | 212 | → | 123-4567 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国際電話であることを示す番号 | | アメリカの国番号 | | ニューヨークの地域番号 | | 相手の電話番号 |

**お知らせ**

- 国際電話の通話料は、30 秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（免税）は、毎月のウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額 10,000 円（免税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコム法人様専用窓口にお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

# ウィルコムのサービスを利用する

## 分計サービスを利用する（有料）

分計サービスを使うと、通話料金の請求先を2箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。分計サービスのご利用には、あらかじめお申し込みが必要です。
分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞7-2ページ）
なお、ライトメールや、データ通信でのご利用は、分計サービスの対象外です。詳しくは、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

### 分計サービスを使って電話をかける

**1 相手の電話番号を入力 → ⋯**

サブメニューが表示されます。

**2 4**

画面上部に「分計」と表示されます。

**3 ◉（発信）または ⌒**

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

**お知らせ**

- 先に ⌒ を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆＋オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは、分計発信ではなく通常の発信になります。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度 ⋯4 を押してください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」を付けて、分計発信することもできます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞ 2-5 ページ）

### 発信履歴／着信履歴／メモから分計サービスを使って電話をかける

**1 待ち受け画面から、◉ で発信履歴画面または着信履歴画面を表示する**

**2 必要に応じて、◉ で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える**

**3 ◉ でかけたい電話番号を選択 → ◉（詳細）**

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

**4 ⋯4**

画面上部に「分計」と表示されます。

**5 ◉（発信）または ⌒**

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

### 電話帳から分計サービスを使って電話をかける

**1 待ち受け画面で ◉6 1**

電話帳の一覧画面が表示されます。◉ でも、同じ操作ができます。

**2 電話をかける相手を選択 → ◉（詳細）**

「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35ページ）

**3 ⋯6**

画面上部に「分計」と表示されます。

**4 ◉（発信）または ⌒**

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

## 留守番電話サービスを利用する（有料）

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

### ■ 留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「 」と留守録がある旨表示されます。
リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「着信ランプを設定する」（☞ 6-12 ページ）

**お知らせ**
- 留守番電話サービスはライトメールなどの文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にはご利用になれません。「着信転送サービスを利用する」（☞ 6-42 ページ）

## 留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

**1 待ち受け画面で** ◉ 5 5

「マナー／留守電」画面が表示されます。

**2** 6 1

留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると、待ち受け画面の「 」の表示が消えます。

**お知らせ**
- 待受画面に「センター留守録あり」のポップアップが表示されているときに ◉ を押すか、または「＊ 9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- プッシュ音の出せる固定電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

## 着信転送サービスを利用する

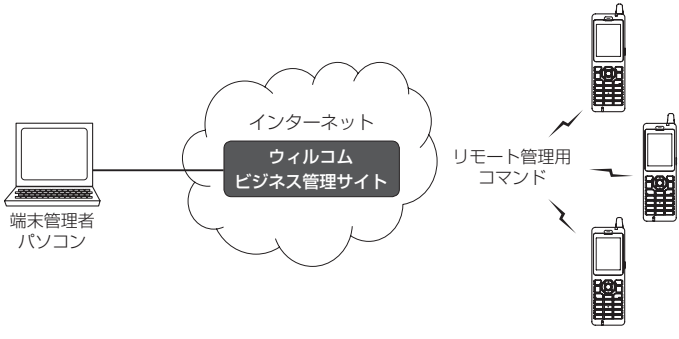
電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、固定電話、公衆電話などから行います。

着信転送サービスについては、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

**お知らせ**
- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

## ビジネス安心サービスを利用する（有料）

法人でまとめて WX01J R(F) を利用するときなどの端末管理者は、本電話機の各種機能の設定、ソフトウェア更新、電話帳のダウンロードなどの操作をリモートで管理することができます。
端末管理者パソコンから、インターネットを経由してウィルコムビジネス管理サイトにアクセスし、リモート管理用のコマンドを送信することにより、本電話機をリモート管理することができます。
本電話機がリモート管理用のコマンドを受信すると、画面上に「設定更新中」と表示され、設定が終了すると「設定完了」と表示されます。
ビジネス安心サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）




端末管理者から出される主なリモート管理用のコマンドは次のとおりです。

| | |
|---|---|
| ソフトウェア更新 | ソフトウェアを更新します。「ソフトウェアを更新する」（☞ 6-46 ページ） |
| 警告音鳴動 | 最大音量の警告音を連続して鳴らします。停止させる場合は を押します。 |
| 接続制限 | 電話の発信やメール、インターネットなどへの接続を制限します。 |
| 完全消去＋初期化 | 完全消去＋初期化を実行します。「設定をリセットする（リセット）」（☞ 5-25 ページ） |
| 電話帳ダウンロード | 端末管理者が許可した電話帳データをダウンロードします。 |

**ご注意**

- 本電話機は、国際ローミングには対応しておりません。
- ウィルコムの有料コンテンツは、本電話機は未対応機種のため、ご利用いただくことはできません。機種変更前にお客様が登録された有料コンテンツの解約については、ウィルコム法人様専用窓口までお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

リモート管理項目一覧

| 管理項目 | | | 設定内容 |
|---|---|---|---|
| 電話機本体／通信機能制御 | 電話機全操作ロック | | リモートロックを実行します。 |
| | オートダイヤルロック | | オートロックの設定を、「5 分」または「OFF」にします。 |
| | 発信（通話） | | 音声発信（公衆発信）のみを許可または禁止します。<br>禁止されると、音声発信（公衆発信）をしようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、発信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」「先頭一致発信許可」の設定に関係なく、動作が制限されます。 |
| | ライトメール送信 | | ライトメール送信を許可または禁止します。<br>禁止されると、ライトメールを送信しようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、送信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」「先頭一致発信許可」の設定に関係なく、動作が制限されます。 |
| | E メール送受信 | | E メール送受信を許可または禁止します。<br>この設定により、管理者ロック機能の「E メール制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「E メール制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。 |
| | オンラインサインアップ | | オンラインサインアップを許可または禁止します。<br>禁止されると、オンラインサインアップを実行しようとした際に「許可されていません」と表示され、オンラインサインアップができなくなります。 |
| | 位置情報通知 | | 「位置情報通知 LI」の設定を、「ON」または「OFF」にします。 |
| | 警告音鳴動設定 | | 本電話機の警告音を最大音量で、連続して鳴らします。 |
| | 外部デバイス操作 | 赤外線通信 | 赤外線通信を許可または禁止します。<br>この設定により、管理者ロック機能の「赤外線制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「赤外線制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。 |
| | | USB 制限 | USB 接続を許可または禁止します。<br>この設定により、管理者ロック機能の「USB 制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「USB 制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。 |
| | | IC レコーダー | メモ録音による録音を許可または禁止します。<br>リモート管理用コマンドによりメモ録音による録音が禁止されると、メモ録音で録音しようとした際に「許可されていません」と表示され、録音できなくなります。 |

| 管理項目 | | | 設定内容 |
|---|---|---|---|
| 電話機本体／通信機能制御 | データ閲覧 | スケジュール | スケジュールの使用を許可または禁止します。<br>禁止されると、スケジュールを使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、スケジュールが使用できなくなります。この場合、スケジュールの「通知設定」も動作しなくなり、アラームも鳴らなくなります。 |
| | | アドレス帳 | 電話帳の使用を許可または禁止します。<br>禁止されると、電話帳を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、電話帳が使用できなくなります。この場合、機能ロックの「電話帳」の設定に関係なく、動作が制限されます。 |
| | | プロフィール | プロフィールの表示を許可または禁止します。<br>禁止されると、プロフィールを表示しようとした際に「許可されていません」と表示され、プロフィールが表示できなくなります。 |
| | | 発着信履歴 | 発信履歴 / 着信履歴 / 番号メモおよびリダイヤルの使用を許可または禁止します。<br>禁止されると、これらの機能を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、機能が使用できなくなります。 |
| データ操作 | 本体メモリデータ消去・設定初期化＋電話機全操作ロック | | リモートロック＋消去を実行します。 |
| | 本体メモリデータ消去・設定初期化 | | 「完全消去＋初期化」を実行します。 |
| | 共通電話帳書き込み | | 端末管理者が許可した電話帳データが設定されます。 |
| ソフトウェア更新 | | | ソフトウェア更新を起動して、本電話機のソフトウェアを更新します。 |

# ソフトウェアを更新する

本電話機に内蔵されているソフトウェアがバージョンアップされた場合、インターネット経由で最新のソフトウェアに更新することができます。ソフトウェア更新にかかわる情報料、通信料は無料です。

**ご注意**

- ソフトウェア更新を安全に完了させるため、以下の点に注意してください。
  - ・ソフトウェア更新は、電池マーク表示が 2 本以上の状態で行ってください。電池マーク表示が 1 本以下の場合は、ソフトウェア更新は行われません。
  - ・ソフトウェア更新は、公衆の電波の強い場所で行ってください。
  - ・ソフトウェア更新を実施している間は、手順に記載されている以外の操作を行わないでください。また、電話を受けることも、かけることもできません。
  - ・電話機からソフトウェア更新ができない場合、本電話機とパソコンを USB ケーブルで接続して、パソコンから本電話機のファームウェアをアップデートすることができます。詳しくは、パソコンからサポート Web サイト (http://www.jrcphs.jp/) をご覧ください。

**1 待ち受け画面で ◉ 5 9 2**

更新サーバに接続されます。ソフトウェアのダウンロードが完了すると「バージョンアップを開始します　よろしいですか？」と表示されます。

「2ソフトウェア更新」がグレー表示で選択できない場合は、待受モードを公衆モードに変更してください。変更できない場合は、電話機からソフトウェア更新はできません。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 7-2 ページ）

**2 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

数回再起動後、ソフトウェア更新が完了し、待ち受け画面が表示されます。

# 7

# モードの活用

利用するモードを選ぶ…… 7-2
オフィスモードで使う…… 7-3
グループモードで使う…… 7-9

# 利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

## 待受モードについて

現在設定されている待受モードは、画面の左上端に表示されています。各モードと表示されるアイコンについて以下に説明します。

| | |
|---|---|
| | **公衆モード**<br>ウィルコムの公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。 |
| | **オフィスモード**<br>事業所用コードレスシステムの子機として使います。 |
| | **グループモード**<br>グループモード対応電話機どうしで、トランシーバとして使います。 |
| | **公衆 / オフィスモード（デュアルモード）**<br>公衆モードとオフィスモードの２つのモードで同時に待ち受けます。<br>は上側が公衆、下側がオフィスの状態を表示します。 |
| | **公衆 / グループモード（デュアルモード）**<br>公衆モードとグループモードの２つのモードで同時に待ち受けます。 |

**オフィスモード、および公衆 / オフィスのデュアルモードで使うには**

本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。

グループモード、および公衆 / グループのデュアルモードでグループ通話を行うには、本電話機１台に加えて、グループモードに対応した端末１台以上が必要です。

## 待受モードを切り替える（待受モード設定）

**1 待ち受け画面で ◉ 2 1**

「待受モード」画面が表示されます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

1 公衆
2 オフィス
3 公衆／オフィス
4 グループ
5 公衆／グループ

待受モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

**ご注意**

- 以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
  - ・オフィスモード、公衆 / オフィスモード「オフィスモードで使う」（☞ 7-3 ページ）
  - ・グループモード、公衆 / グループモード「グループモードで使う」（☞ 7-9 ページ）
- 通話中は、待受モードの変更はできません。
- 待ち受け画面で ◉ ☎ または ◉ 5 6 1 を押しても、待受モード設定画面が表示されます。

# オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。
また、「ダイヤルアップ」で、接続先として事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどを設定すると、オフィスモードでＥメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップの接続先を設定する（ダイヤルアップ）」（☞ 3-37 ページ）

- 事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用 PHS システムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけかたや転送などの操作方法は、PBX の設定によって、本書の説明と異なる場合があります。
- 対応する PBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカなどにお尋ねください。

## ■ モードを切り替える

オフィスシステム（PBX）の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆 / オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 7-2 ページ）

# 電話をかける

オフィスシステム（PBX）の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 7-5 ページ）

- 市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
- 国際電話がご利用いただけます。

### 1 内線の場合、相手の電話番号を入力 外線の場合、外線発信番号を付けて相手の電話番号を入力

**電話帳から電話番号を検索するには**

「電話帳を使って電話をかける」（☞2-35ページ）

**発信履歴などから電話番号を検索するには**

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

**電話番号を修正するには**

で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナーで消去してから、0 ～ 9、＊、#で正しい番号を入力します。

**あらかじめ外線発信番号を登録しておくと**

外線発信番号なしで電話番号を入力したあとや、電話帳などからの発信時に 0 を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号が付けられます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞ 7-4 ページ）
また、0 から始まる 10 桁以上の番号に自動的に外線発信番号を付けることもできます。
「自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）」（☞ 7-4 ページ）

### 2 または （発信）

相手が出ると通話できます。画面には通話時間が表示されます。

### 3 通話が終わったら

**お知らせ**

- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定によって異なります。
- 国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- 表示される通話時間は目安です。
- を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。
- を 2 回押すと、前回かけた電話番号にリダイヤルされます。
- オフィスモードでは「分計発信」はご利用になれませんが、公衆 / オフィスモード（デュアルモード）であれば「分計発信」がご利用になれます。「分計サービスを利用する（有料）」（☞ 6-41 ページ）

## 電話を受ける

### 1 着信音またはバイブレータが動作する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）

### 2 [応答]

相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

### 3 通話が終わったら [PWR]

**お知らせ**

- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、[応答] 以外に [保留]、[クリアマナー]、[0] ～ [9]、[＊]、[#]、[OK] を押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサーを設定する」（☞ 6-15 ページ）
- 着信中の回線の種別は、一部のオフィスシステムでは表示されない場合があります。

## 電話を転送する

一度受けた電話を、他の電話機に転送することができます。

### 1 通話中に [保留]

通話が保留になります。

### 2 転送先の電話番号を入力

### 3 転送先につながったら、取り次ぐことを伝えて [PWR]

転送先につながる前に [PWR] を押しても、電話は転送されます。転送先では、電話を受けるとすぐに相手とつながります。

## 外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、発信履歴、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに [GSD] を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的に付けることができます。もう一度 [GSD] を押すと、外線発信番号は消えます。

### 1 待ち受け画面で [OK] [5] [7]

「発着信」画面が表示されます。

### 2 [9]

「外線発信番号」一覧画面が表示されます。

### 3 [0] ～ [9] のいずれか

外線発信番号の入力画面が表示されるので、外線発信番号を登録するオフィス面の内線番号に対応したダイヤル番号を押します。

### 4 [0] ～ [9]、[＊]、[#] で外線発信番号を入力 → [OK]

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 外線発信番号は 6 桁まで入力できます。
- 入力した番号を修正する場合は、[クリアマナー] を押します。入力した数字が右端から消えます。

## 自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）

オフィスモードで 0 から始まる 10 桁以上の番号に発信する場合に、先頭に自動的に「外線発信番号」で登録した番号を付加します。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 5**

「自動外線発信番号付加」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 7 0 を押して表示することもできます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 ON**
自動外線発信番号付加を設定します。

**2 OFF**
自動外線発信番号付加を解除します。

自動外線発信番号付加が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

## 優先発信するモードを切り替える(優先発信切替)

待受モードを「公衆 / オフィス」または「公衆 / グループ」に設定しているときに、どちらのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 4**

「優先発信」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 7 8 を押して表示することもできます。

**2 1**

「優先発信切替」画面が表示されます。

**3 次の項目より選択 → ◉**

**1 公衆優先**
公衆モード優先が設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Grp」が表示されます。

**2 オフィス、グループ優先**
オフィスモードまたはグループモード優先に設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Grp」が表示されます。

優先発信モードが設定され「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「オフィス , グループ優先」に設定されています。
- 待ち受け画面で ◉ を 1 秒以上押すことでも、優先発信するモードを変更できます。
- 優先発信を設定しているモードが圏外のときは、優先発信に設定されていない方のモード（圏内時）に自動的に（一時的に）切り替わります。

## 優先発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆 / オフィス」または「公衆 / グループ」に設定しているとき、一時的に優先発信するモードを切り替えて発信することができます。どちらかのモードが圏外のときは、切り替えることはできますが、切替先が圏外のときは発信できません。

**1 相手の電話番号を入力 → 保留**

**2 ☎ または ◉（発信）**

相手が出ると通話できます。

**お知らせ**
- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切り替えを次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える(優先発信切替)」(☞ 7-5 ページ)
- 電話帳で発信方法が指定されている場合は、優先発信切替の設定にかかわらず、電話帳の指定に従います。

## 発信時に発信方法の指定をする（発信時選択）

発信時に公衆で発信するかオフィス / グループで発信するか選択する画面（発信時選択画面）を出すかどうかを設定できます。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 4**

「優先発信」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 7 8 を押して表示することもできます。

**2** 2

「発信時選択」画面が表示されます。

**3** 次の項目より選択 →

1 ON

「設定しました」と表示され、発信時に発信時選択画面が表示されます。

2 OFF

「解除しました」と表示され、発信時に優先発信切替（☞ 7-5 ページ）の設定に従い発信します。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 電話帳に発信方法の指定がある場合、優先発信切替の設定にかかわらず、発信履歴／着信履歴／番号メモ／電話帳／メール本文からの発信時は、発信時選択画面を出さずに電話帳の発信方法の指定に従って発信されます。「電話帳で発信方法の指定をする」（☞ 7-7 ページ）

## 確認メッセージの表示を設定する（ショートカット確認画面）

待ち受け画面で を 1 秒以上押すことでも優先発信するモードを変更できますが、本電話機をポケットに入れているときなどに、誤ってボタンが押されて優先発信するモードが変更することを防ぐため、操作時に確認メッセージ（ショートカット確認画面）を表示するかどうかの設定ができます。

**1** 待ち受け画面で 2 4

「優先発信」画面が表示されます。
待ち受け画面で 5 7 8 を押して表示することもできます。

**2** 3

「ショートカット確認画面」が表示されます。

**3** 次の項目より選択 →

1 ON

「設定しました」と表示され、待ち受け画面で を 1 秒以上押したときに、確認メッセージを表示します。

2 OFF

「解除しました」と表示され、待ち受け画面で を 1 秒以上押したときに、確認メッセージを表示しないで、一時的にモードを切り替えて発信します。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## すべて公衆モードで発信する（070 強制公衆発信）

待受モードを「公衆 / オフィス」または「公衆 / グループ」に設定しているときに、070 で始まる電話番号を、すべて公衆モードで発信するかどうかを設定できます。

**1** 待ち受け画面で 2 4

「優先発信」画面が表示されます。
待ち受け画面で 5 7 8 を押して表示することもできます。

**2** 4

「070 強制公衆発信」画面が表示されます。

**3** 次の項目より選択 →

1 ON

「設定しました」と表示され、発信時に、070 で始まる電話番号をすべて公衆モードで発信します。

2 OFF

「解除しました」と表示され、発信時に、優先発信切替（☞ 7-5 ページ）の設定に従い発信します。

**お知らせ**

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

## 電話帳で発信方法の指定をする

電話帳に登録された電話番号に、発信方法を指定することができます。

**1 電話帳登録画面で、◎で入力済みの電話番号を選択**

**2 ⋯で登録された電話番号に対する発信方法を選択**

⋯（発信先）を押すごとに、電話番号の右端に表示される発信先アイコンが内（オフィス発信）→公（公衆発信）→アイコンなし（指定なし）→内…と切り替わります。

**お知らせ**

- 電話帳の登録時にオフィス発信または公衆発信を指定すると、電話帳詳細画面で、電話番号の右端にはそれぞれ、内公のアイコンが表示されます。
- 電話帳の登録方法については、「電話帳を新規登録する」（☞ 2-32 ページ）を参照してください。
- 電話帳の修正方法については、「電話帳の内容を編集する」（☞ 2-39 ページ）を参照してください。
- 電話帳で発信方法の指定ができるのは、オフィスシステム（PBX）に登録されている場合のみです。

### ■ 電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作について

電話帳で発信方法の指定をした場合の発信動作は、待受モード、優先発信切替の設定により次の表のようになります。

| 待受モード | 電話帳での発信方法指定 | |
|---|---|---|
| | 公 公衆 | 内 内線 |
| 公衆モード | 公衆発信 | 発信できません |
| オフィスモード | 発信できません | オフィス発信 |
| 公衆＋オフィス（公衆優先） | 公衆発信 | |
| 公衆＋オフィス（オフィス優先） | | |
| 公衆＋オフィス（公衆圏外） | 発信できません | |
| 公衆＋オフィス（オフィス圏外） | 公衆発信 | 発信できません |
| グループモード | 発信できません | グループ発信 |
| 公衆＋グループ（公衆優先） | 公衆発信 | |
| 公衆＋グループ（グループ優先） | | |
| 公衆＋グループ（公衆圏外） | 発信できません | |

**お知らせ**

- 待受モードについては、「利用するモードを選ぶ」（☞ 7-2 ページ）を参照してください。
- 優先発信切替については、「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 7-5 ページ）および「優先発信するモードを一時的に切り替える」（☞ 7-5 ページ）を参照してください。

# オフィス番号を切り替える（オフィス番号切替）

オフィスモードの内線番号が複数登録されているときに、使用するオフィス面を自動または手動で切り替えます。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 3**

「オフィス番号切替」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 6 6 を押して表示することもできます。

**2 次の項目より選択 → ◉**

**1 自動切替**
「異なるオフィスシステムが近接しているエリアでは発信着信に失敗する場合があります」と表示され、オフィスモード用の電波が検知されます。数秒後、電波の強いオフィスの番号に自動的に切り替わり、「設定しました」と表示されます。

**2 手動切替**
オフィス面の一覧が表示されるので、使用する番号を選択して ◉ を押します。オフィス面が設定され、「設定しました」と表示されます。

**お知らせ**
- お買い上げ時には、「手動切替」に設定されています。
- オフィスモードの内線番号を登録すると「手動切替」に設定されます。

# オフィスEメールを送受信する

公衆モードでのEメール送受信と同様に、オフィスモードでEメールを送受信することができます。「Eメールを作成送信する」（☞ 3-7 ページ）

## ■ オフィスモード時の接続モードを設定する

オフィスEメールを送受信するには、あらかじめオフィスモード時の接続モード（接続先、送信メールアカウント、受信メールアカウントなど）を設定しておく必要があります。「オフィスモード時の接続モードを選択する（オフィス接続モード選択）」（☞ 3-42 ページ）

# オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカなどにお尋ねください。

**プッシュ信号の送信**
通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

**内線番号表示**
本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」（☞ 6-5 ページ）

**通話中保留**
通話中に 保留 を押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度 保留 を押します。

**内線／外線への転送**
保留状態で転送先の電話番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら 内線 を押します。

**キャッチホン**
通話中に「プップ‥プップ‥」という音（キャッチホン）が鳴ったときに、 を押して通話相手を切り替えます。

**外線／内線／専用線の着信音鳴り分け**
外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）

**お知らせ**
- 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。「着信音を設定する」（☞ 2-45 ページ）

# グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」(☞ 7-11 ページ)、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕」(☞ 7-11 ページ) を行うことができます。

## ■ グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループを 1 つ登録できます。
送信側 1 台と受信側 1 台以上の間で双方向に、または受信側どうしで、トランシーバ通話が可能です。

## ■ モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆 / グループ」に切り替えます。待受モードを切り替えるときは、あらかじめトランシーバ番号を登録しておく必要があります。「待受モードを切り替える (待受モード設定)」(☞ 7-2 ページ)

## グループを登録する

電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側 1 台と受信側 1 台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。
グループを1つ登録できます。あらかじめ同一の 4 桁の暗証番号を決めておく必要があります。

### 受信側の操作

登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 2 1**

「グループ登録」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 6 2 1 を押して表示することもできます。

**2 #**

「トランシーバ番号を入力してください」と表示されます。

**グループが登録されている場合**
「登録を上書きします　よろしいですか?」と表示されます。◉ で「Yes」または ◉ で「No」を選択して、◉ を押します。

**3 0 ～ 9 でトランシーバ番号を入力**

0001 ～ 8000 の間で、任意の番号を入力します。0001 は「1」、0123 は「123」というように、上位桁の「0」は省略して入力することができます。
「オフィス 1」に内線番号が 0 ～ 8000 の間で登録されている場合、その番号が受信側のトランシーバ番号としてあらかじめ入力されています。必要に応じて修正してください。
「オフィス 1」の内線番号は、◉ 2 3 2
「オフィス手動切替」で「1オフィス 1」を選択したときに、画面右下に表示されます。

**4 #**

グループ暗証番号入力画面が表示されます。

**5 0 ～ 9 で 4 桁のグループ暗証番号を入力**

「送信側の操作」の手順 3 (☞ 7-10 ページ) で入力する暗証番号を入力します。

**6 #**

「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」の手順 4(☞ 7-10 ページ)のときに、送受信が開始されます。送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

**登録できなかったとき**
エラー音が鳴り、受信失敗となります。PWR を押すと、手順 1 のグループ登録画面に戻ります。

**お知らせ**
- 受信側は約 30 秒間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。
- トランシーバ番号やグループ暗証番号を修正する場合は、クリアマナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

## 送信側の操作

**1 待ち受け画面で ◉ 2 2 1**

「グループ登録」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 6 2 1 を押して表示することもできます。

**2 ＊**

グループ暗証番号入力画面が表示されます。

**グループが登録されている場合**
「追加登録しますか？」と表示されます。◉ で「Yes」または ◉ で「No」を選択して、◉ を押します。

**3 0 ～ 9 で 4 桁のグループ暗証番号を入力**

「受信側の操作」の手順 5（☞ 7-9 ページ）で入力した暗証番号を入力します。

**4 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認 → #**

送信が成功すると「送信終了」と表示され、送信側が登録されます。

**送信が失敗したときは**
エラー音が鳴り、「送信失敗」と表示されます。PGM を押すと、手順 1 のグループ登録画面に戻ります。

**お知らせ**
- 「オフィス 1」に内線番号が 0 ～ 8000 の間で登録されている場合、その番号が送信側のトランシーバ番号に設定されます。それ以外の番号が登録されていたり、内線番号が登録されていない場合は、「0」に設定されます。
- グループ暗証番号を修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

## グループ登録を削除する

グループ登録の内容をすべて削除します。

**1 待ち受け画面で ◉ 2 2**

「グループ」画面が表示されます。
待ち受け画面で ◉ 5 6 2 を押して表示することもできます。

**2 2**

「暗証番号を入力してください」と表示されます。

**グループが登録されていないとき**
2（グループ削除）は選択できません。

**3 暗証番号認証を行う**

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、「グループ登録を削除しますか？」と表示されます。

**4 ◉ で「Yes」を選択 → ◉**

グループ登録が削除され、「グループ登録を削除しました」と表示されます。

## 相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆 / グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 7-2 ページ）デュアルモードの場合、「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 7-5 ページ）

### 1 待ち受け画面で相手のトランシーバ番号を入力

入力したトランシーバ番号が表示されます。トランシーバ番号を修正する場合は、クリアマナーを押します。入力した数字が右端から消えます。

### 2 または（発信）

相手が応答すると通話ができます。

### 3 通話が終了したら PWR

**お知らせ**

- グループ登録を行った電話機間で、トランシーバ通話ができます。
- グループ登録時の受信側、送信側のどちらからでも発信できます。また、受信側どうしでも発着信ができます。
- 次のときには通話が終了することがあります。
  - ・距離が離れすぎたとき
  - ・電池の残量がなくなったとき
  - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき（このときには「ツーツーツー」という切断音が聞こえます）
- 通話中、約 3 分ごとに自動的に通話が切れますが、自動的にもう一度つながります。

## 相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

グループの電話機からの着信を受けるには、待受モードを「グループ」または「公衆 / グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 7-2 ページ）

### 1 着信音またはバイブレータが動作する

### 2

相手と通話できます。画面には通話時間が表示されます。

### 3 通話が終了したら PWR

**お知らせ**

- 呼び出しを受けてから約 30 秒たっても を押さないときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、または を押して着信音やバイブレータの動作を止めることができます。

# 8

# 困ったときは

故障かな？ちょっと確認してください…… 8-2
エラーメッセージ一覧…… 8-6

# 故障かな？ちょっと確認してください

| 症状 | 確認点 | 対処法 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | PWR を約 2 秒以上押しましたか？ | PWR を約 2 秒以上押してください。「電源を入れる」（☞ 1-7 ページ） |
| | 電池パックが正しく取り付けられていますか？ | 電池パックを正しく取り付けてください。「電池パックを取り付ける」（☞ 1-2 ページ） |
| | 電池の残量は十分ですか？ | AC アダプタまたは卓上ホルダで充電してください。「AC アダプタで充電する」（☞ 1-4 ページ）「卓上ホルダで充電する」（☞ 1-5 ページ） |
| 電話が利用できない | 圏外が点灯していませんか？ | 圏外が消灯し、▼▲や▼▲が点灯する場所に移動してください。アンテナは十分伸ばしてください。「電話をかける」（☞ 2-2 ページ） |
| | 待受モードが正しく設定されていますか？ | 利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 7-2 ページ） |
| | ＜グループモード＞<br>グループ登録をしましたか？ | グループ登録を行ってください。「グループモードで使う」（☞ 7-9 ページ） |
| 電話がかけられない | D が点灯していませんか？ | ダイヤルロックを解除してください。「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞ 5-8 ページ） |
| | 「キーロック」と表示されていませんか？ | キーロックスイッチを下げて、キーロックを解除してください。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 5-7 ページ） |
| | ＜公衆モード＞<br>市外局番なしでダイヤルしていませんか？ | 市外局番からダイヤルしてかけ直してください。「電話をかける」（☞ 2-2 ページ） |
| | ＜オフィスモード＞<br>PBX に登録していますか？ | PBX に登録してください。登録方法など詳細については、設置業者、PBX メーカなどにお尋ねください。 |
| | ＜グループモード＞<br>かけたトランシーバ番号は合っていますか？ | 番号を確認してかけ直してください。「グループモードで使う」（☞ 7-9 ページ） |
| | ＜デュアルモード＞<br>優先発信の設定は正しいですか？ | 優先発信が公衆 / オフィスのどちらのモードになっているか、ご確認のうえ、必要に応じて変更してください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 7-5 ページ） |

| 症状 | 確認点 | 対処法 |
|---|---|---|
| <オフィスモード>外線発信ができない | 外線発信番号をつけて発信していますか？ | 電話番号の前に外線発信番号をつけてから発信してください。外線発信番号を本電話機に登録して発信する場合は、正しく登録されているかどうか確認してください。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞ 7-4 ページ） |
| 自動外線発信番号付加を「ON」に設定しているのに外線発信番号が付加されない | 外線発信番号は正しく登録されていますか？ | 外線発信番号の設定を確認してください。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞ 7-4 ページ） |
| 電話がかかってこない | 電外が点灯していませんか？ | 電外が消灯し、～が点灯する場所に移動してください。アンテナは十分伸ばしてください。「電話をかける」（☞ 2-2 ページ） |
| | 待受モードが正しく設定されていますか？ | 利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 7-2 ページ） |
| | 相手の電話番号を着信拒否に登録していませんか？ | 着信拒否の登録を消去してください。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞ 5-4 ページ） |
| | 番号非通知や公衆電話からの電話を受けない設定になっていませんか？ | 「非通知ガード」を解除してください。「番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）」（☞ 5-3 ページ） |
| 着信音が鳴らない | マナーモードになっていませんか？ | マナーモードを必要に応じて解除してください。「マナーモードにする」（☞ 2-48 ページ） |
| | が点灯していませんか？ | 「オートサイレント」を解除してください。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 2-50 ページ） |
| | 着信音量を「OFF」に設定していませんか？ | 着信音量を「OFF」以外に設定してください。「着信音量を設定する」（☞ 2-47 ページ） |
| | が点灯していませんか？ | 「安全運転モード」を必要に応じて解除してください。「安全運転モードにする」（☞ 2-51 ページ） |
| 相手の声が聞こえない、小さい | 受話口に保護シールが貼られていませんか？ | 本電話機ご使用時には保護シールをはがしてお使いください。「セットを確認する」（☞ 0-3 ページ） |
| 通話しているときに、雑音が聞こえる、聞き取りにくい、途切れる | アンテナマークがやになっていませんか？ | アンテナを十分伸ばしてからアンテナマークの表示が、やになる場所に移動してください。「電話をかける」（☞ 2-2 ページ） |
| | 高いビルに囲まれたような場所で使われていませんか？ | 見通しのよい場所に移動してください。 |
| | アンテナは完全に伸びた状態ですか？ | アンテナが完全に伸びた状態でお使いください。「アンテナの使いかた」（☞ 1-9 ページ） |

| 症状 | 確認点 | 対処法 |
|---|---|---|
| 充電してもすぐに電池がなくなる | 本電話機を正しくACアダプタに接続したり、卓上ホルダに置きましたか？ | 正しく接続してください。「ACアダプタで充電する」（☞ 1-4ページ）「卓上ホルダで充電する」（☞ 1-5ページ） |
| | ACアダプタの電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ | ACアダプタの電源プラグをコンセントに確実に差し込んでから充電してください。「ACアダプタで充電する」（☞ 1-4ページ）「卓上ホルダで充電する」（☞ 1-5ページ） |
| | 本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていませんか？ | 端子を乾いた柔らかい清潔な布や綿棒で清掃してください。 |
| | 電池パックが消耗していませんか？ | 新しい電池パックと交換してください。「電池パックを交換するときは」（☞ 1-3ページ） |
| | 一日の利用回数が多いですか？ | 省電力の設定をおすすめします。「省電力モードを設定する」（☞ 6-13ページ） |
| | 「圏外」が表示される場所での使用が多くありませんか？ | 圏外時には、通信可能な電波状態を探すため、多くの電力を消耗します。デュアルモードの場合は、待受モードを変更して、圏内になるモードでのご使用をおすすめします。「利用するモードを選ぶ」（☞ 7-2ページ） |
| | 着信ランプが消灯するまで充電をされていますか？ | 着信ランプが消灯するまで充電をしてください。「ACアダプタで充電する」（☞ 1-4ページ） |
| 充電器に置いても充電ランプが点灯しない | 電池パックを長時間使用しなかったり、使いきった状態で充電せずに放置していましたか？ | 電池パックの寿命や故障でなければ、数分間充電を続けると充電ランプが点灯します。「充電する」（☞ 1-2ページ） |
| 電話帳に登録してあるのに着信時に名前が表示されない | 相手の電話番号がシークレット設定されていませんか？ | シークレットの設定を解除してください。「シークレットを設定する」（☞ 2-34ページ） |
| | 同じ電話番号が空白で二重登録されていませんか？ | 電話帳の登録内容を確認してください。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35ページ） |
| 時計表示を「OFF」以外に設定したのに、時計が表示されない | 省電力モードが設定されていませんか？ | 省電力モードの設定画面で、日時表示設定を「ON」にしてください。「省電力モードの内容を変更する」（☞ 6-14ページ） |
| キーライト点灯を「ON」に設定したのに、キーライトが点灯しない | 省電力モードが設定されていませんか？ | 省電力モードの設定画面で、キーライト点灯を「ON」にしてください。「省電力モードの内容を変更する」（☞ 6-14ページ） |
| 着信ランプを「OFF」以外に設定したのに、リマインダーが点灯しない | 省電力モードが設定されていませんか？ | 省電力モードの設定画面で、リマインダーを「OFF」以外にしてください。「省電力モードの内容を変更する」（☞ 6-14ページ） |

| 症状 | 確認点 | 対処法 |
|---|---|---|
| 正しく日時表示されていない | 電池パックを交換しましたか？ | 電池パックを外すと、設定した日時がリセットされ、正しく表示されなくなります。その場合は、もう一度日時を設定し直してください。「日時を設定する」（☞ 1-15 ページ） |
| 電話機からソフトウェア更新ができない | ◉5 9 2「ソフトウェア更新」が選択できますか？ | 待受モードを公衆モードに変更してください。変更できない場合は、電話機からソフトウェア更新はできません。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（☞ 7-2 ページ） |
| | 電池マーク表示が 1 本以下ですか？ | 電池マーク表示が 2 本以上になるまで充電を行ってからソフトウェアを更新してください。「充電する」（☞ 1-2 ページ） |
| 着信履歴に「SMG」と表示がある | ＜オフィスモード＞ | 交換機から電話機非対応のデータが送信されている可能性があります。詳細については、PBX メーカなどにお尋ねください。 |
| 携帯電話の番号宛にライトメールが送れない | ウィルコム以外の携帯電話にですか？ | PHS につきましては、ウィルコムとご契約中の電話番号へのみライトメールが送信できます。携帯電話には、ライトメールを送ることはできません。 |
| メールの受信は出来るが、送信が出来ない | デュアルモード ( 公衆 / オフィス ) でご利用されていますか？ | 優先発信が公衆 / オフィスのどちらのモードになっているか、ご確認のうえ、必要に応じて変更してください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞ 7-5 ページ） |
| オンラインサインアップに接続しようとすると、「オンラインサインアップ制限設定中です」と表示され、接続できない | — | 管理者ロックのオンラインサインアップ制限が設定されています。社内で本電話機を管理されている方にご相談下さい。 |

さらに詳しい内容については、サポート Web サイトの「Q&A（よくあるご質問と回答集）」でご案内しております。
パソコンから→ http://www.jrcphs.jp/faq/

# エラーメッセージ一覧

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| 記号・アルファベット(A～Z) | ＊は複数設定できません | 着信拒否番号で＊を複数の箇所に設定しました。 | ＊は番号の最後に１つだけ使用してください。「着信拒否番号を登録する」（☞ 5-4 ページ） | セキュリティ |
| | ＊以降には設定できません | 着信拒否番号で＊以降に番号を設定しました。 | ＊は番号の最後に使用してください。「着信拒否番号を登録する」（☞ 5-4 ページ） | セキュリティ |
| | Ｅメール制限設定中です | 管理者ロックによりＥメールが制限されているにもかかわらず、Ｅメール機能を使用しようとしました。 | Ｅメール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 5-18 ページ） | セキュリティ |
| ア行 | 新しい暗証番号が正しくありません | 新しい暗証番号の、１回目と２回目の入力が一致していませんでした。 | 新しい暗証番号を入力し直してください。「暗証番号を設定する」（☞ 5-6 ページ） | セキュリティ |
| | 新しい管理者パスワードが正しくありません | 新しい管理者パスワードの、１回目と２回目の入力が一致していませんでした。 | 新しい管理者パスワードを入力し直してください。「管理者パスワードを設定する」（☞ 5-17 ページ） | セキュリティ |
| | 暗証番号が違います | 登録されていない番号が入力されました。 | 正しい番号を入力してください。「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ） | 認証 |
| | 移動失敗しました | メールの移動に失敗しました。 | フォルダを確認してください。「受信 BOX のフォルダを活用する」（☞ 3-14 ページ） | メール |
| | オートサイレント起動中です | オートサイレントが起動しているのでマナーモードの ON/OFF ができませんでした。 | オートサイレントを解除してからマナーモードを設定してください。「特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）」（☞ 2-50 ページ） | 電話機能 |
| | おかけなおしください | 相手にかかりませんでした。 | しばらくしてからおかけください。 | 電話機能 |
| | オンラインサインアップを実行した後再度操作してください | オンラインサインアップを行っていません。 | オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」（☞ 3-6 ページ） | メール |
| カ行 | 該当データがありません | 電話帳に検索条件に該当するデータが登録されていませんでした。または、そのデータには使用しようとしている項目が登録されていませんでした。 | 検索条件を変更して、検索し直してください。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ） | 電話帳 |

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| カ行 | 加入者なし | 存在しない電話番号に発信しようとしました。 | ー | 電話機能 |
| | 管理者パスワードが初期値のままです | 管理者パスワードが初期値のまま暗証番号が登録されました。 | 安全のため、管理者パスワードも変更することをお勧めします。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 5-17 ページ） | セキュリティ |
| | 管理者パスワードが違います | 登録されていない管理者パスワードが入力されました。 | 正しい管理者パスワードを入力してください。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 5-17 ページ） | セキュリティ |
| サ行 | サイズオーバーです　失敗しました | 赤外線送信しようとしたデータのサイズが、最大サイズを超えました。 | 最大サイズを超えるデータは送信できません。「赤外線通信を行う」（☞ 2-42 ページ） | 赤外線通信 |
| | サイズオーバーです　全件送信できません | 赤外線送信しようとしたデータのサイズが、最大サイズを超えました。 | 最大サイズを超えるデータは送信できません。「赤外線通信を行う」（☞ 2-42 ページ） | 赤外線通信 |
| | 最大サイズを超えるため受信できないメールがあります | 受信しようとするメールのサイズが、最大サイズを超えました。 | ー | メール |
| | シークレットデータが登録されています | 電話帳を登録する際、すでに登録されているメモリ No. に登録しようとした場合に、そのメモリ No. がシークレットデータとして登録されているため、上書きできませんでした。 | 別のメモリ No. で登録してください。「電話帳に登録する」（☞ 2-32 ページ） | 電話帳 |
| | 下書きメール件数がオーバーしています | E メール：下書きメールが 20 件を超えました。ライトメール：下書きメールが 5 件を超えました。 | 不要な下書きメールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-19 ページ） | メール |
| | しばらくしておかけなおしください | 相手にかかりませんでした。 | しばらくしてからおかけください。 | 電話機能 |
| | 充電して下さい | 電池残量が足りませんでした。 | 充電してください。「充電する」（☞ 1-2 ページ） | 電池パック |
| | 受信失敗 を押して下さい | グループ登録する際に、受信側の登録操作を失敗しました。 | を押して、もう一度やり直してください。「受信側の操作」（☞ 7-9 ページ） | グループモード |

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| サ行 | 受信に失敗しました | メールの受信に失敗しました。 | メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「Eメールアドレスを作成する」(☞3-5ページ) | メール |
| | 既に登録されています | 着信拒否の電話番号を登録する際に、すでに登録されている電話番号を登録しようとしました。 | 「特定の番号からの電話を受けない(着信拒否)」(☞5-4ページ) | セキュリティ |
| | 接続に失敗しました | サーバへの接続に失敗しました。 | しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「Eメールアドレスを作成する」(☞3-5ページ) | メール |
| | 全桁0は無効です　もう一度入力してください | 通知許可パスワードとして、全桁0を入力しました。 | 正しいパスワードを入力してください。「位置検索機能の設定をする」(☞6-36ページ) | 位置情報 |
| | センターにEメールがあります　Eメール | Eメール受信中に、[PWR]を押して受信を中断したり、受信中に圏外になるなどの理由で受信できませんでした。管理者ロックによるEメール制限中に自動受信を行おうとして受信できませんでした。 | [クリアマナー]を押して、待ち受け画面を表示したのち、[✉]→[4]を押して、メールを手動受信してください。「手動でEメールを受信する」(☞3-12ページ)管理者ロックされている場合は、Eメール制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞5-18ページ) | メール<br>セキュリティ |
| | 先頭一致発信許可設定中です | 管理者ロックによって先頭一致発信許可設定中に、許可されていない番号へ発信しようとしました。 | 発信許可されている番号に発信するか、先頭一致発信許可設定を「未登録」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」(☞5-18ページ) | セキュリティ |
| | 先頭に＊は設定できません | 着信拒否番号の先頭に＊を設定しようとしました。 | 先頭に＊は使用しないでください。「着信拒否番号を登録する」(☞5-4ページ) | セキュリティ |
| | 送信に失敗しました　再送信しますか？ | 相手にライトメールが送信できませんでした。 | 宛先の電話番号が正しいかどうか確認してください。電話番号に間違いがないときは、しばらくしてから送信してください。「ライトメールを作成して送信する」(☞3-32ページ) | ライトメール |
| | 送信メールはありません | 送信メールが0件でした。 | ― | メール |
| | 送信履歴がありません | 送信履歴が0件でした。 | ― | メール |

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| タ行 | ダイヤルアップ制限設定中です | 管理者ロックによりダイヤルアップが制限されているにもかかわらず、WILLCOM 以外でダイヤルアップを行おうとしました。 | ダイヤルアップ制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 5-18 ページ） | セキュリティ |
| | 短縮設定番号は入力できません | 電話帳を登録する際に、000 ～ 009 のメモリ No. に登録しようとしました。 | 000 ～ 009 以外のメモリ No. に登録してください。「電話帳を新規登録する」（☞ 2-32 ページ） | 電話帳 |
| | 短縮番号しか空きがありません　短縮設定してください | 電話帳データのメモリ No. を登録する際に、短縮番号しか空きがありませんでした。 | 電話帳データに短縮番号を設定してください。「短縮番号を設定する」（☞ 2-34 ページ） | 電話帳 |
| | データはありません | 発信履歴、着信履歴、番号メモのデータがありませんでした。 | ー | 電話機能 |
| | データを復旧しています　しばらくお待ちください | 電源を入れたときに、メールデータに異常が見つかりました。 | メールデータを復旧しています。そのままの状態でしばらくお待ちください。 | メール |
| | 電話帳データがありません | 電話帳にデータが登録されていませんでした。 | 電話帳にデータを登録してください。「電話帳を利用する」（☞ 2-31 ページ） | 電話帳 |
| | 電話帳の起動に失敗しました | 電話帳を開くことができませんでした。 | もう一度操作し直してください。 | メール |
| | 電話帳ロック中です | 電話帳がロックされている状態で、電話帳の機能を使用しようとしました。 | 電話帳のロックを解除してください。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 5-15 ページ） | セキュリティ |
| ナ行 | 入力できない文字が含まれています | 引用または貼り付けするデータ内に一部入力不可な文字がありました。 | 入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ）「電話帳／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞ 2-28 ページ） | 文字入力 |
| | 入力できない文字が含まれています　引用できません | 引用データがすべて入力不可な文字でした。 | 入力可能な文字に置き換えて入力してください。「電話帳／プロフィール／メモ帳から引用する」（☞ 2-28 ページ） | 文字入力 |
| | 入力できない文字が含まれています　ペーストできません | 貼り付けするデータがすべて入力不可な文字でした。 | 入力可能な文字に置き換えて入力してください。「文章をコピー／貼り付けする」（☞ 2-27 ページ） | 文字入力 |

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| ナ行 | 認証に失敗しました | 認証に失敗しました。 | しばらくしてから送受信を行ってください。それでも接続できないときは、メールアカウントの設定が正しいかどうか確認してください。「E メールアドレスを作成する」（☞ 3-5 ページ） | メール |
| | ネットワークエラーが発生しました | ネットワークの設定が正しく行われていません。 | インターネット設定の公衆接続モード選択を「1. 接続モード 1」に設定してください。「接続モードを選択する」（☞ 3-42 ページ）一般のプロバイダや会社のネットワークをご使用の場合は、E メールアカウント設定およびインターネット設定が正しく設定されているかご確認ください。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞ 3-29 ページ）「接続先を変更する（インターネット設定）」（☞ 3-37 ページ） | メール |
| ハ行 | 発信制限設定中です | 管理者ロックにより発信が制限されているにもかかわらず、電話帳に登録されていない番号に発信しようとしました。 | 発信制限を「OFF」にしてください。「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 5-18 ページ） | セキュリティ |
| | 発信できません | 電波が届いていない場所で発信しようとしました。 | 圏外が消灯し、やが点灯する場所に移動してください。 | 電話機能 |
| | 話し中 | 相手が通話中のため、かかりませんでした。 | しばらくしてからおかけください。 | 電話機能 |
| | 保存失敗しました | メールの保存に失敗しました。 | メールを確認してください。「作成中の E メールを保存する」（☞ 3-9 ページ）「作成中のライトメールを下書きとして保存する」（☞ 3-35 ページ） | メール |
| | 保存に失敗したメールがあります | 受信後、メールの保存に失敗しました。 | ー | メール |

| | 表示 | 原因 | 対処方法 | 分類 |
|---|---|---|---|---|
| マ行 | メモリがいっぱいです　オフィスのサーバにメールが残っています　Eメール | 本電話機のメモリに空き容量がないため、Eメールが受信できませんでした。 | 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてからEメールを受信してください。「メールを削除する」（☞ 3-19 ページ） | メール |
| | メールが件数がオーバーしています | 未送信 BOX と送信 BOX の合計で 50 件を超えました。 | 不要な送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-19 ページ） | メール |
| | メール BOX がいっぱいです 受信できないメールがあります | 受信 BOX の容量が不足しているためメールが受信できません。 | 不要な受信メール、送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-19 ページ） | メール |
| | メール受信中 受信完了後に実行してください | メールのバックグラウンド受信中に、受信と並行して実行できない機能を使用しようとしました。 | 受信完了後に実行してください。 | メール |
| | メールの読み込みに失敗しました | メールの読み込みに失敗しました。 | ー | メール |
| ヤ行 | 容量が不足しています | メールの新規作成に必要な容量が不足しています。 | 不要な受信メール、送信メール、未送信メールを削除してください。「メールを削除する」（☞ 3-19 ページ） | メール |
| ラ行 | 利用できません | ライトメールの利用できないモードです。 | 公衆モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 7-2 ページ） | ライトメール |
| | 録音件数がいっぱいです | メモ録音、留守録音、通話録音の件数が保存件数の制限（4 件）をオーバーしました。 | 不要な録音データを削除してください。「録音データを削除する」（☞ 6-32 ページ） | メモ録音、留守録音、通話録音 |

# 付　録

記号・絵文字一覧…… A-2
定格・仕様…… A-3
商標・登録商標…… A-4
索引…… A-5
お問い合わせ窓口…… A-9

# 記号・絵文字一覧

記号・絵文字一覧は、文字入力画面の下半分に表示されます。「記号や絵文字を入力する」（☞ 2-25 ページ）

「半角記号」の画面から「全角記号 8/8」の画面までの各一覧画面までは、ページを切り替えていくことですべて表示されます。「Web 入力用絵文字 1/6」の画面から「絵文字 4/4」の画面までの各一覧画面までは、ページを切り替えていくことですべて表示されます。⋯ で次のページ、✉ で前のページを表示することができます。

| 半角記号・全角記号 | Web 入力用絵文字 | 絵文字 |
|---|---|---|
| 半角 | 1/6 | 1/4 |
| 全角 1/8 | 2/6 | 2/4 |
| 2/8 | 3/6 | 3/4 |
| 3/8 | 4/6 | 4/4 |
| 4/8 | 5/6 | |
| 5/8 | 6/6 | |
| 6/8 | | |
| 7/8 | | |
| 8/8 | | |

# 定格・仕様

## ■ 電話機

| | |
|---|---|
| 無線周波数帯 | 1900MHz 帯 |
| 送信出力 | 10mW（平均） |
| 電源 | DC3.7V 630mAh リチウムイオン電池パック |
| 外形寸法 | 約 43mm（幅）× 14mm（奥行き）× 128mm（高さ） |
| 質量（電池パック含む） | 約 90g |
| 連続待受時間 | 約 660 時間（公衆モード、省電力モード「ON」設定時） |
| 連続通話時間 | 約 8.5 時間（公衆モード） |

## ■ AC アダプタ

| | |
|---|---|
| 外形寸法 | 約 49mm（幅）× 20mm（奥行き）× 53mm（高さ） |
| 質量 | 約 54g |
| 電源 | AC 100V（50/60Hz） |
| 出力 | 5.0V、550mA |

## ■ 電池パック

| | |
|---|---|
| 電池タイプ | Li-ion00 |
| 外形寸法 | 約 33mm（幅）× 6mm（奥行き）× 41mm（高さ） |
| 質量 | 約 16g |
| 電圧 | 3.7V |
| 容量 | 630mAh |

## ■ 卓上ホルダ

| | |
|---|---|
| 外形寸法 | 約 65mm（幅）× 66mm（奥行き）× 35mm（高さ） |
| 質量 | 約 37 g |
| 定格 | DC5.0V、550mA |

# 商標・登録商標

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。
- 本電話機は、日本語入力エンジンとして「かな漢字変換ライブラリ FSKAREN®」を搭載しています。FSKAREN® は富士ソフト株式会社の登録商標です。
- 本電話機は、Red Bend Software 社のソフトウェアを搭載しています。
  Copyright© Red Bend Software, Inc. 1999-2012
- FlashFX®is a registered trademark of Datalight, Inc.
  FlashFX®Copyright 1998-2012 Datalight, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
  FlashFX®Pro ™ is a trademark of Datalight, Inc.
  Datalight®is a registered trademark of Datalight, Inc.
  Copyright 1989-2012 Datalight, Inc., All Rights Reserved
- IrDA Protocol Stack「DeepCore®3.0+」©E-Globaledge Corp. All Right Reserved.
- 本製品の通信機能は株式会社 ACCESS の AVE-TCP を搭載しています。ACCESS、AVE は日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
  ©2008 ACCESS CO.,LTD.All rights reserved.

その他、本取扱説明書に記載されている会社名・システム名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 索　引

## 数字


070 強制公衆発信 ····· 7-6
184 ····· 2-5
186 ····· 2-5


## アルファベット

### A


AC アダプタ ····· 1-4
APOP ····· 3-31


### B


Bcc ····· 3-8


### C


Cc ····· 3-8


### E


E メール ····· 3-2
　移動 ····· 3-16
　コピー ····· 3-19
　削除 ····· 3-19
　作成 ····· 3-7
　下書き ····· 3-9
　受信 ····· 3-11
　送信 ····· 3-7
　転送 ····· 3-14
　電話帳登録 ····· 3-18
　入力 ····· 3-9
　返信 ····· 3-14
　保護／保護解除 ····· 3-20
　保存 ····· 3-9
E メールアカウント設定 ····· 3-29
E メール自動受信機能 ····· 3-25


### H


H-Free ····· 2-14


### M


Mac OS X ····· 4-12


### P


POP ····· 3-29
POP サーバ ····· 3-29


### S


SMTP ····· 3-29
SMTP サーバ ····· 3-29


### U


USB で充電する ····· 6-7
USB ドライバのインストール ····· 4-3


### W


Windows 7 ····· 4-5
Windows Vista ····· 4-8
Windows XP ····· 4-10


## かな

### あ


アクセスポイント ····· 3-38
宛先（To） ····· 3-8
アニメーション絵文字 ····· 3-33
アラーム ····· 6-28
暗証番号 ····· 5-6
安全運転モード ····· 2-51
位置情報通知機能 ····· 6-34
　位置検索機能 ····· 6-36
　自己位置通知機能 ····· 6-36
移動
　E メール ····· 3-16
イヤホン自動応答 ····· 6-38
イヤホン装着時鳴動先 ····· 6-38
イヤホンマイク端子 ····· 6-38
イルミネーション ····· 6-12
インターネット設定 ····· 3-37
引用文 ····· 3-24
英語表示 ····· 6-15
英字モード ····· 2-23
エニーキーアンサー ····· 6-15
絵文字 ····· 2-25
エラーメッセージ ····· 8-6
オートサイレント ····· 2-50

お問い合わせ …… A-9
オフィス接続モード選択 …… 3-42
オフィス番号切替 …… 7-8
オフィスモード ……7-2, 7-3
　外線 ……7-3
　転送 ……7-4
　電話を受ける ……7-4
　電話をかける ……7-3
　内線 ……7-3
オンラインサインアップ …… 3-6
オンラインサインアップ情報を削除 …… 3-6
オンラインサインアップ中着信 …… 6-13

## か

改行 …… 2-24
外線発信番号 …… 7-4
ガイダンス表示 …… 1-11
学習文字クリア …… 2-21
カスタムボタン …… 6-16
カタカナモード …… 2-22
壁紙 …… 6-15
画面 …… 1-10
カレンダー表示 …… 6-9
漢字モード …… 2-19
管理者パスワード …… 5-17
管理者ロック …… 5-17
キー確認音 …… 2-52
キーロック …… 5-7
キーロック起動 …… 5-8
キーロックスイッチ ……1-9, 5-7
記号 …… 2-25
機能ロック …… 5-15
グループ設定 …… 2-40
グループ着信設定 …… 2-40
グループ登録を削除 …… 7-10
グループモード ……7-2, 7-9
　相手の呼び出しに応じる ……7-11
　相手を呼び出す ……7-11
　受信側の操作 ……7-9
　送信側の操作 ……7-10
グループを登録 …… 7-9
圏外／充電警告音 …… 2-53
言語選択 …… 6-15
検索
　電話帳 ……2-37
件名（Sub） ……3-9
効果音 ……2-52, 2-53
公衆 / オフィスモード ……7-2
公衆 / グループモード ……7-2
公衆接続モード選択 …… 3-42
公衆電話発信 …… 2-10
公衆モード …… 7-2
国際電話 …… 6-40
コピー
　メール ……3-19
　文字入力 ……2-27

## さ

サービス …… 2-4
削除
　スケジュール ……6-26
　電話帳 ……2-39
　マイメニュー ……2-56
　メール ……3-19
　メモ録音 ……6-32
　留守録音 ……2-54
作成
　E メール ……3-7
　ライトメール ……3-32
サブアドレス …… 6-14
シークレット …… 2-34
シークレット一時表示 …… 2-41
自作定型文登録 …… 2-26
下書き
　E メール ……3-9
　ライトメール ……3-35
指定着信音 …… 2-34
自動外線発信番号付加 …… 7-4
充電 …… 1-2
受信
　E メール ……3-11
　ライトメール ……3-35
受信行数制限設定 …… 3-27
受信 BOX……3-12
受信メールアカウント …… 3-29
受話音量 ……2-12, 2-45
ショートカット確認画面 …… 7-6
仕様 …… A-3
使用可能時間 …… 1-6
省電力 …… 6-13
署名 …… 3-26
数字モード …… 2-24
スケジュール …… 6-20
　削除 ……6-26
　登録 ……6-21
　表示 ……6-24
　変更 ……6-26
スピーカ受話 …… 2-14
成功／エラー音 …… 2-52
セカンダリ DNS …… 3-39
赤外線通信 ……2-42, 5-22, 6-6
接続モード …… 3-41

接続モードを初期化 ····· 3-43
送信
　Eメール ····· 3-7
　ライトメール ····· 3-32
送信メール ····· 3-17
送信メールアカウント ····· 3-29
送達確認音 ····· 2-53
挿入 ····· 2-27
ソート ····· 3-21
ソフトウェア更新 ····· 6-46

## た

タイマ起動 ····· 5-9
ダイヤルアップ ····· 3-37
ダイヤルアップ設定を初期化 ····· 3-40
ダイヤルロック ····· 5-8
卓上ホルダ ····· 1-5
短縮番号 ····· 2-38
着信音 ····· 2-45
着信拒否 ····· 5-4
着信転送サービス ····· 6-42
着信ランプ ····· 6-12
着信履歴 ····· 2-6
通知不可能 ····· 2-10
通話録音 ····· 2-12
　再生 ····· 2-13
　削除 ····· 2-13
定格 ····· A-3
定型文 ····· 2-25
手に持たずに通話する ····· 2-14
電源 ····· 1-7
　入れる ····· 1-7
　切る ····· 1-7
電源OFFメニュー ····· 1-7
転送
　Eメール ····· 3-14
　オフィスモード ····· 7-4
　ライトメール ····· 3-36
電卓 ····· 6-30
電池残量 ····· 1-6
電池パック ····· 1-2
電話帳 ····· 2-31
　引用 ····· 2-28
　検索 ····· 2-14, 2-37, 2-38
　削除 ····· 2-39
　登録 ····· 2-32
　編集 ····· 2-39
電話帳ロック ····· 5-16
電話を受ける ····· 2-9
電話をかける ····· 2-2
登録
　スケジュール ····· 6-21
　電話帳 ····· 2-32
　マイメニュー ····· 2-56
登録件数表示 ····· 2-41
トランシーバ通話 ····· 7-11

## な

日時 ····· 1-15
日時の自動補正を設定する ····· 6-8
日時表示 ····· 6-8
入力モード ····· 2-17
認証方式設定 ····· 3-31

## は

パソコンと接続 ····· 4-2
バックライト ····· 6-9
発信先応答通知 ····· 2-53
発信者番号の通知／非通知 ····· 2-5
発信時選択 ····· 7-5
発信履歴 ····· 2-6
貼り付け
　文字入力 ····· 2-27
パワーサーチ ····· 2-5
番号通知 ····· 5-2
番号メモ ····· 2-6, 2-15
ハンズフリー通話 ····· 2-14
ビジネス安心サービス ····· 6-43
ひそひそ通話 ····· 2-14
非通知ガード ····· 5-3
フィルタ ····· 3-22
フォルダ一覧 ····· 3-12
プライマリDNS ····· 3-39
プロバイダのメールアカウント ····· 3-29
プロフィール ····· 6-5
　引用 ····· 2-28
分計サービス ····· 6-41
編集
　電話帳 ····· 2-39
返信
　Eメール ····· 3-14
　ライトメール ····· 3-36
返信メールアドレス ····· 3-26
ポーズ ····· 2-8
ポケベル方式 ····· 2-29
保護／保護解除
　Eメール ····· 3-20
保存
　Eメール ····· 3-9
ボタン ····· 1-12

保留 ･･････････････････････････････････ 2-12
本文の引用 ･･････････････････････････････ 3-24

## ま

マイメニュー ･･････････････････････････････ 2-56
　削除 ･･････････････････････････････････2-56
　操作 ･･････････････････････････････････2-56
　登録 ･･････････････････････････････････2-56
待受モード ･･････････････････････････････ 7-2
　設定 ･･････････････････････････････････7-2
マナーモード ･･････････････････････････････ 2-48
未送信メール ･･････････････････････････････ 3-10
メインメニュー ･･････････････････････････････ 1-13
メール BOX の使用状況 ･･････････････････････3-23
メールアカウント ･･････････････････････････ 3-29
メールアドレス ･･････････････････････････････ 3-5
メールメニュー ･･････････････････････････････ 3-4
メニュー一覧表 ･･････････････････････････････ 6-2
メモ帳 ･･････････････････････････････････ 6-33
　引用 ･･････････････････････････････････2-28
メモ帳に入力 ･･････････････････････････････ 2-15
メモリ No.･･････････････････････････････････2-32
メモ録音 ･･････････････････････････････････ 6-31
　再生 ･･････････････････････････････････6-32
　削除 ･･････････････････････････････････6-32
　録音 ･･････････････････････････････････6-31
文字入力 ･･････････････････････････････････ 2-17
　コピー ･･････････････････････････････････2-27
　削除 ･･････････････････････････････････2-27
　貼り付け ･･････････････････････････････2-27

## や

ユーザ非通知 ･･････････････････････････････ 2-10
ユーザ辞書 ･･････････････････････････････････ 2-21
優先発信切替 ･･････････････････････････････ 7-5
優先発信するモードを一時的に切り替える ･･･ 7-5
予測変換 ･･････････････････････････････････ 2-20

## ら

ライトメール ･･････････････････････････････ 3-32
　アニメーション絵文字 ･･････････････････3-33
　作成 ･･････････････････････････････････3-32
　下書き ･･････････････････････････････････3-35
　受信 ･･････････････････････････････････3-35
　返信 ･･････････････････････････････････3-36
　送信 ･･････････････････････････････････3-32
　転送 ･･････････････････････････････････3-36
リセット ･･････････････････････････････････ 5-25
　オール設定リセット ･･････････････････････5-25
　完全消去＋初期化 ･･････････････････････5-25
リダイヤル ･･････････････････････････････････ 2-7
リマインダー ･･････････････････････････････ 6-12
リモートロック〔遠隔ロック〕 ･･････････････5-10
　実行 ･･････････････････････････････････5-13
　設定 ･･････････････････････････････････5-11
留守番電話サービス ･･････････････････････････ 6-42
留守録音 ･･････････････････････････････････ 2-54
　応答時間 ･･････････････････････････････2-54
　応答メッセージ ･･････････････････････････2-54
　再生 ･･････････････････････････････････2-54
　削除 ･･････････････････････････････････2-55
　設定／解除 ･･････････････････････････････2-54
ロック中着信表示 ･･････････････････････････ 2-41

## わ

ワンタイムパスワード ･･････････････････････ 3-39

# お問い合わせ窓口

**以下のような内容は、ウィルコム法人様専用窓口にお問い合わせください。**

- ご契約内容（加入・変更・引越等）
- 基本料金・通話料等
- オプションサービス
- サービスエリア
- 本電話機の修理
- 本電話機の紛失
- その他、通信サービスについて

## ■ウィルコム法人様専用窓口

［受付時間］ 9：00 ～ 18：00（土・日・祝日・年末年始を除く）

**▶ 導入をご検討中のお客さま**

ウィルコム法人ダイレクト　0120-424-130

**▶ すでにご利用中のお客さま**

ウィルコム法人お客さまセンター　0120-923-157

## 本電話機に関するご相談

本電話機に関するご相談、お問い合わせについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■ 保証書

保証書は個装箱に付いています。
お買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。なお、保証期間中でも有料となることがあります。無料修理規定の記載内容をご確認ください。

## ＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書や電話機本体、電池パック、AC アダプタの警告表示などの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。修理の際には、保証書をご用意いただき、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理とさせていただきます。
   イ . 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
   ロ . お買い上げ後の輸送、落下、水濡れなどによる故障や損傷
   ハ . 公害や火災、地震、雷、風水害、その他の天災地変など、あるいは異常電圧、指定外の電源（電圧、周波数）使用等による故障や損傷
   ニ . 本製品に接続した当社指定外の機器および消耗品（電池パック等）に起因する故障や損傷
   ホ . 保証書のご提示がない場合
   ヘ . 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   ト . 消耗部品（電池パック等）などが消耗し取り替えを要する場合
   チ . 電池パック等の液漏れによる故障、損傷
3. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## ■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、取扱説明書の「故障かな？ちょっと確認してください」（☞ 8-2 ページ）をお読みのうえご確認ください。
それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

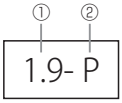
◎ **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容により、無料修理いたします。

◎ **保証期間を過ぎているとき**
修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

**連絡していただきたいこと**
- 製品名、お買い上げ年月日
- 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
- お客様のお名前、ご住所、お電話番号

## ■ 現品表示の意味

本電話機と個装箱には、以下に示す現品表示が記載されています。




① 1.9-　1.9GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備を表します。

② P　デジタルコードレス電話の無線局の種類（時分割多元接続方式狭帯域デジタルコードレス電話）を表します。

**ご注意**

- この電話機は、容易に開けられない構造となっております。むやみに中を開けて改造すると電波法に触れます。また、改造されますと修理をお引き受けできませんのでご注意ください。
- 修理内容により、電話帳の内容、受信メール、送信メール、録音データなどのお客様が登録・保存されたデータが消失する場合があります。大切な情報はあらかじめメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを保管してください。
- 本製品の故障・誤動作・電池の消耗、または停電などの外部要因で本電話機が使用できなかったことによる、通話および通話料金などの間接的損害または付随的補償については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本取扱説明書の内容は 2013 年 5 月現在のものです。

この「取扱説明書」は環境にやさしい
大豆油インキを使用しております

7ZPAN0201A

2013.5　第 1.1 版